現　場　説　明　事　項

工事名称　　市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）
担当部署　　総務部　営繕課

「説明事項」

１．工事目的

本工事は、市立西中学校屋内運動場の改修工事を行う。

２．工事概要

特記仕様書、設計図書による。

３．工事範囲

本工事の目的上必要と思われる、仮設材、安全措置（ガードフェンス・バリケード等）も本工事に含む。

４．特記事項

１）契約後速やかに、設計図製本３部（見開きＡ３版）を提出すること。

２）関係各署への申請や届出は、提出期限を厳守すること。

３）仮設については、学校・学校関係者に十分配慮し安全を確保すること。また、現場事務所については学校と協議して設置し、全体定例会議を開催できるスペースを含むこと。

４）工事中の騒音・振動等の防止に努めると共に指定場所以外に車両等を駐車しないこと。

５）工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。

６）市立西中学校の学校環境を考え、安全面などを十分に考慮し工事を進行すること。また、生徒の授業等に支障となる騒音、振動、異臭等が伴う工事は、原則、学校休業日に行うこと。

７）現場施工期間は令和 8 年 7 月 1 日から令和 8 年 11 月 30 日とする。また、下記①～③の事項に留意し、工事を進めること。

①施工にあたっての調査・準備は学校、監督員と協議の上、施工期間前に可能とする。

②石綿撤去工事は夏季休業期間で完了すること。（令和 8 年 7 月 18 日から令和 8 年 8 月 24 日）

③上記の各施工期間内に現場使用前検査（室内濃度測定含む）を受け、関連工事とともに引き渡すこと。

８）例年同様の降雨日数での工期延長は認めない。ただし、発注者が認めた場合はこの限りではない。

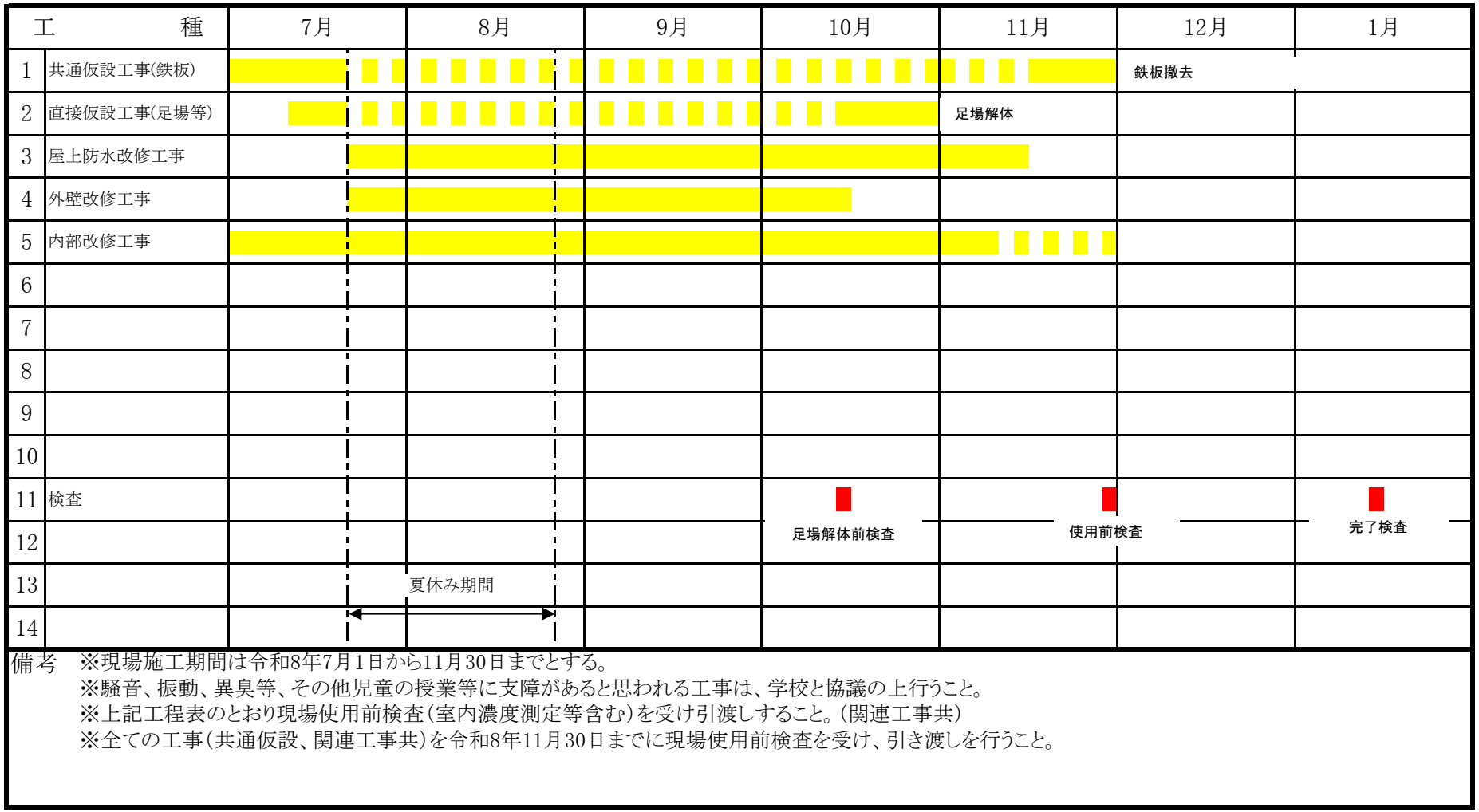
９）ホルムアルデヒド等の有害化学物質の発生材は、SDS（安全データシート）を確認した上で監督員に提出し、厚生労働省及び文部科学省の室内濃度指針値以下に抑えること。

１０）竣工図の原図は、監督員と協議の上、CAD データから作成すること。

１１）提出書類については、富士見市様式にて遅滞無く提出すること。

工　程　表（建築）

工事名　市立西中学校屋内運動場改修工事(ゼロ債務)



備考　※現場施工期間は令和8年7月1日から11月30日までとする。
※騒音、振動、異臭等、その他児童の授業等に支障があると思われる工事は、学校と協議の上行うこと。
※上記工程表のとおり現場使用前検査(室内濃度測定等含む)を受け引渡しすること。(関連工事共)
※全ての工事(共通仮設、関連工事共)を令和8年11月30日までに現場使用前検査を受け、引き渡しを行うこと。

市立西中学校屋内運動場改修工事

移動備品リスト

No.	階	教室名	分類	物品名	数量	物品写真	大きさ			移動先
							高さ	よこ	奥行	
1	1	ステージ	ス1	グランドピアノ	1		1000	1490	1600	特別教室棟1階多目的室
2	1	事務室	事1	ソファ	1		700	1600	800	特別教室棟1階多目的室
3	1	事務室	事2	L型ソファ	1		700	1600 1600	800	特別教室棟1階多目的室
4	1	事務室	事3	冷蔵庫	1		1600	750	750	特別教室棟1階多目的室
5		玄関	玄1	冷蔵庫	1		1200	700	700	特別教室棟1階多目的室
6		玄関	玄2	冷凍庫	1		900	600	600	特別教室棟1階多目的室
7		玄関	玄3	スチールロッカー	1		1800	900	450	特別教室棟1階多目的室
8		控室	控1	スチールロッカー	1		1800	900	450	特別教室棟1階多目的室
9		控室	控1	ストレージ棚	1		1800	1800	450	特別教室棟1階多目的室
10										

設　計　仕　様　書

工事名称　　市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）

工事場所　　富士見市西みずほ台3丁目地内

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事(ゼロ債務)				
請負工事費					
工事概要	市立西中学校屋内運動場改修工事 外壁改修工事 防水改修工事		内部改修工事 外構改修工事 電気設備・機械設備改修工事		

総括表

上段　設計変更
下段　原　設計

名称	摘要	数量	単位	金額	備考
建築工事		1	式		
電気設備工事		1	式		
機械設備工事		1	式		
計		1	式		
共通仮設費		1	式		
純工事費		1	式		
現場経費		1	式		
工事原価		1	式		
一般管理費		1	式		
工事価格		1	式		スクラップ控除前 スクラップ控除
改め		1	式		
消費税相当額		1	式		10%
請負工事費		1	式		

積算用紙

上段	変更設計
下段	原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	工事共通仮設費						
	準備費	予備調査、敷地整理、その他に要する費用	1.0	式			
		現場事務所、倉庫、下小屋、					
	仮設建物費	作業員施設等の費用	1.0	式			
		場内通信設備等の工事用施設に					
	工事施設費	要する費用	1.0	式			
		安全標識、消火設備等の施設の設置					
	環境安全費	隣接物の養生等に要する費用	1.0	式			
		工事用電気設備及び工事用給排水設備					(共通仮設費率)+
	動力用水光熱費	とその料金に要する費用	支給				(積上げ)
		屋外跡片付け、屋外発生材の処分等の					
	屋外整理清掃費	整理清掃に要する費用	1.0	式			
	機械器具費	測量機器及び雑機械器具に要する費用	1.0	式			
	その他	材料試験等に要する費用	1.0	式			
	計						

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
00.共通仮設（積上げ分）						
仮囲い	ガードフェンスｈ1.8	144.0	m			
仮門	キャスターゲートｗ3.6	1.0	ヶ所			
仮設通路	敷き鉄板ｔ22	702.0	㎡			
交通誘導員	60日	1.0	式			
残置物移動再設置		1.0	式			
室内環境測定	工事前後 化学物質6種	14.0	ヶ所			
合計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
市立西中学校屋内運動場改修工事						
建築工事						
直接工事費	改修工事	1.0	式			
直接工事費	解体工事	1.0	式			
合計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
直接工事費	改修工事					
1.直接仮設工事		1.0	式			
2-1.防水改修工事		1.0	式			
3-1.外部改修		1.0	式			
4-1.内部改修		1.0	式			
5-1.鋼製建具改修		1.0	式			
6-1.木製建具改修		1.0	式			
7-1.体育器具改修		1.0	式			
8.舞台装置改修工事		1.0	式			
9-1.外構工事		1.0	式			
合計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1.直接仮設工事						
1-1.養生清掃						
		1.0	式			
1-2.外部足場						
		1.0	式			
合計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1-1.養生清掃						
養生費	外部改修	229.0	㎡			
	防水改修	1,290.0	㎡			
清掃後片付け	外部改修	229.0	㎡			
	防水改修	1,290.0	㎡			
小計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
1-2.外部足場						
枠組足場ｗ900 足場先行	掛払い・基本料	1,388.0	㎡			
	損料	1,388.0	㎡			
	運搬費	1,388.0	㎡			
養生シート	掛払い・基本料	1,388.0	㎡			
	損料	1,388.0	㎡			
	運搬費	1,388.0	㎡			
小計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2-1.防水改修工事						
2-1-1.陸屋根		1.0	式			
2-1-2.軒樋		1.0	式			
2-1-3.金属屋根		1.0	式			
2-1-4.庇		1.0	式			
合計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
2-1-1.陸屋根						
【平場防水】						
高圧水洗浄		311.0	㎡			
目地埋めモルタル		127.0	m			
樹脂モルタル塗布		13.6	㎡			
露出シート防水	機械固定　Ｓ－Ｍ２	309.0	㎡			
露出シート防水	密着　Ｆ－Ｓ２	13.6	㎡			
トップコート	高反射・高耐久	322.0	㎡			
溝段差端部金物	塩ビ被覆鋼板プレート	28.7	m			
平場端末金物	塩ビ被覆鋼板プレート	93.2	m			
脱気筒	ＳＵＳ	7.0	ヶ所			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
改修用ドレン	竪　100φ用	4.0	ヶ所			
改修用ドレン	横　100φ用	2.0	ヶ所			
【立上防水】						
高圧水洗浄		43.5	㎡			
樹脂モルタル塗布		43.5	㎡			
天端補修	モルタル補修・断熱材充填	27.6	m			代価－１３
露出シート防水	密着　Ｆ－Ｓ２	43.5	㎡			
トップコート	高反射・高耐久	43.5	㎡			
アゴ下端末金物	塩ビ被覆鋼板プレート	93.2	m			
【笠木防水】						
高圧水洗浄		46.2	㎡			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
樹脂モルタル塗布		46.2	㎡			
露出ウレタン防水	密着　Ｘ－２	46.2	㎡			
トップコート	高反射・高耐久	46.2	㎡			
水切り	アルミ・シール共	1.2	m			
水切り	水切りテープ	89.0	m			
【構造物防水】						
高圧水洗浄		17.5	㎡			
架台廻りｳﾚﾀﾝ防水併用工法	1.0㎡以上／ヶ所	17.5	㎡			
	1.0㎡以下／ヶ所	11.0	ヶ所			
トップコート	高反射・高耐久	17.5	㎡			
取合いシール		20.0	m			

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
置き基礎脱着	機械工・相番	1.0	式			
置き基礎脱着	電工・相番	1.0	式			
煙突閉塞	ＲＣ造	1.0	ヶ所			別紙明細－１
EXP-J拡幅	ＲＣ造	1.0	ヶ所			別紙明細－２
ＤＰ塗装・細幅	下地調整共（鉄部）	32.0	m			
小計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
2-1-2.軒樋						
【平場防水】						
高圧水洗浄		35.3	㎡			
樹脂モルタル塗布		35.3	㎡			
樹脂モルタル不陸調整	ｔ10程度	8.8	㎡			
露出ウレタン塗膜防水	密着　Ｘ－２	35.3	㎡			
トップコート	高反射・高耐久	35.3	㎡			
改修用ドレン	竪　100φ用	14.0	ヶ所			
【立上防水】						
高圧水洗浄		74.6	㎡			
樹脂モルタル塗布		74.6	㎡			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
露出ウレタン塗膜防水	密着　Ｘ－２	74.6	㎡			
端末シール		143.0	m			
トップコート	高反射・高耐久	74.6	㎡			

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
2-1-3.金属屋根						
【平場防水】						
既存塗膜除去	RA種 全面サンディング	1,147.0	㎡			
高圧水洗浄		1,147.0	㎡			
部材取合いシール		4,505.0	m			
露出ウレタン塗膜防水	スプレー工法　高耐久遮熱仕様	1,147.0	㎡			
【立上防水】						
高圧水洗浄		9.0	㎡			
樹脂モルタル塗布		9.0	㎡			
露出ウレタン塗膜防水	密着　Ｘ－２	9.0	㎡			
取合いシール		50.2	m			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
トップコート	高反射・高耐久	9.0	㎡			

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
2-1-4.庇						
【平場防水】						
高圧水洗浄		8.6	㎡			
樹脂モルタル塗布		8.6	㎡			
露出ウレタン塗膜防水	密着　Ｘ－２	8.6	㎡			
トップコート	高反射・高耐久	8.6	㎡			
【立上防水】						
高圧水洗浄		3.2	㎡			
樹脂モルタル塗布		3.2	㎡			
露出ウレタン塗膜防水	密着　Ｘ－２	3.2	㎡			
トップコート	高反射・高耐久	3.2	㎡			

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－１	煙突閉塞					
【躯体】						
レディーミクストコンクリート	Fc21	0.1	m3			
コンクリート打設	人力	0.1	m3			
鉄筋	SD295A　D13	2.1	kg			
鉄筋加工組立	D13	2.0	kg			
鉄筋運搬		2.0	kg			
差筋アンカー	D13	4.0	ヶ所			
型枠	打放型枠	0.2	㎡			
型枠運搬費		0.2	㎡			

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
【仕上】						
コンクリート打放補修		0.2	㎡			
コンクリート直押え		0.2	㎡			
計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙明細－２	EXP-J拡幅					
【躯体】						
レディーミクストコンクリート	Fc21	0.1	m3			
コンクリート打設	人力	0.1	m3			
鉄筋	SD295A　D13	1.6	kg			
鉄筋加工組立	D13	1.5	kg			
鉄筋運搬		1.5	kg			
差筋アンカー	D13	9.0	ヶ所			
型枠	打放型枠	0.3	㎡			
型枠運搬費		0.3	㎡			

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
【仕上】						
コンクリート打放補修		0.3	㎡			
コンクリート直押え		0.2	㎡			
【建築金物】						
アルミEXP-Jカバー ＣＬ５０	屋根-屋根コーナー	0.4	m			
	屋根-外壁	0.8	m			
	壁-壁	0.3	m			
	小口塞ぎ	2.0	ヶ所			
計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
3-1.外部改修						
【外部床】						
高圧水洗浄		117.0	㎡			
【外壁】						
防水型複層塗材Ｅ	吹付け	820.0	㎡			
下地調整	Ｃ－１	820.0	㎡			
高圧水洗浄	塗膜劣化部除去程度	820.0	㎡			
施工数量調査		820.0	㎡			
目地シール	打継目地　w30	84.0	m			
目地シール	建具周囲目地　w15	348.0	m			
【下地改修】						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ひび割れ改修	自動低圧注入工法	139.0	m			
ひび割れ改修	Ｕカットシール工法(再)	69.1	m			
欠損部補修	エポ樹脂モルタル充填　0.1*0.4換算	41.0	ヶ所			
【外巾木】						
樹脂モルタル塗布		70.0	㎡			
【揚裏】						
外装薄塗材Ｅ	吹付け	129.0	㎡			
高圧水洗浄		129.0	㎡			
【樋】						
竪樋	ＶＰ１００・カラー	98.4	m			
ＤＰ塗装・細幅	下地調整（鉄部）	24.4	m			

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
集水桝	塩ビ	2.0	ヶ所			
横走り管	ＶＰ１５０・カラー　架空	37.1	m			
間接排水口	塩ビ　１００	7.0	ヶ所			
【金物】						
床下換気口	ＳＵＳ網	8.0	ヶ所			代価－２７
玄関マット	ＳＵＳ細目1.9*0.6	1.0	ヶ所			
【建具周囲】						
モルタル補修	建具撤去跡	49.2	m			
合計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4-1.内部改修						
4-1-1.玄関ホール		1.0	式			
4-1-2.事務室		1.0	式			
4-1-3.用具庫		1.0	式			
4-1-4.柔道場		1.0	式			
4-1-5.更衣室－１		1.0	式			
4-1-6.更衣室－２		1.0	式			
4-1-7.屋内運動場	フロア全交換	1.0	式			
4-1-8.キャットウォーク		1.0	式			
4-1-9.舞台		1.0	式			

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4-1-10.控室－１		1.0	式			
4-1-11.控室－２		1.0	式			
4-1-12.放送室		1.0	式			
4-1-13.ホール		1.0	式			
4-1-14.内部階段		1.0	式			
合計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-1-1. 玄関ホール						
【直接仮設】						
内部仕上足場(改修)	一般・階高4.0m以下・脚立足場	30.3	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場)	脚立足場・平屋	30.3	㎡			
墨出(内部改修)	複合改修	30.3	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	30.3	㎡			
整理清掃後片付(内部改修)	複合改修	30.3	㎡			
【床】						
ビニル床シート	t2.0　熱溶接工法	21.3	㎡			
下地補修	付着物除去	21.3	㎡			
ビニル巾木	h75	16.5	m			

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
【壁】						
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（左官面）	37.1	㎡			
【天井】						
化粧石膏ボード	ｔ9.5	27.8	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（ボード面）	6.9	㎡			
廻縁	塩ビ	21.8	m			
出隅材	塩ビ	1.0	m			
軽量鉄骨天井下地	ｈ19	27.8	㎡			
【建具周囲】						
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（木部）	14.0	m			
【建築金物】						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
段鼻ノンスリップ	ＳＵＳｗ35・タイヤ付	2.4	m			
【ユニット】						
ＵＮＴ－４	下足入れ	1.0	ヶ所			
【建具改修】	ＡＤ／１					
磁器質タイル張り		0.6	㎡			
下地モルタル		0.6	㎡			
人造石研ぎ出し		0.6	㎡			
【スロープ】						
ＲＣ躯体		1.0	式			別紙明細－１
防滑ウレタン塗床	ｔ2.0	1.4	㎡			
ＤＰ塗装	素地調整	3.0	㎡			

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
打放補修		3.0	㎡			

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-1-2.事務室						
【直接仮設】						
内部仕上足場(改修)	一般・階高4.0m以下・脚立足場	12.9	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場)	脚立足場・平屋	12.9	㎡			
墨出(内部改修)	複合改修	12.9	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	12.9	㎡			
整理清掃後片付(内部改修)	複合改修	12.9	㎡			
【床】						
ビニル床シート	t2.0　熱溶接工法	12.9	㎡			
下地補修	付着物除去	12.9	㎡			
ビニル巾木	h75	14.4	m			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
【壁】						
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（左官面）	33.2	㎡			
【天井】						
化粧石膏ボード	ｔ9.5	11.2	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（ボード面）	2.9	㎡			
廻縁	塩ビ	13.8	m			
軽量鉄骨天井下地	ｈ19	11.2	㎡			
【建具周囲】						
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（木部）	2.3	m			
【ユニット】						
ＷＢ－１	ホワイトボード・掲示板	1.0	ヶ所			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-1-3.用具庫						
【直接仮設】						
内部仕上足場(改修)	一般・階高4.0m以下・脚立足場	45.2	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場)	脚立足場・平屋	45.2	㎡			
墨出(内部改修)	複合改修	45.2	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	45.2	㎡			
整理清掃後片付(内部改修)	複合改修	45.2	㎡			
【床】						
フローリング塗替え	サンダ掛・ウレタン３回塗り	38.5	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（木部）	15.0	m			
【壁】						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（左官面）	64.9	㎡			
ひび割れ改修	シール充填工法	2.9	m			
【天井】						
石膏ボードｔ9.5	直張（梁型）	0.5	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（ボード面）	19.6	㎡			
ＥＰ塗装	下地調整（ボード面）	37.4	㎡			
出隅材	塩ビ	3.9	m			
【建具周囲】						
木製下枠補修	レール撤去跡	5.2	m			代価－１５
ＵＣ塗装・細幅	下地調整（木部）	5.2	m			
【建築金物】						

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（鉄部）	15.1	m			
【ユニット】						
ＣＬ塗装	下地調整（木部）	30.3	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-1-4.柔道場						
【直接仮設】						
内部仕上足場(改修)	一般・階高4.0m以下・脚立足場	69.8	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場)	脚立足場・平屋	69.8	㎡			
墨出(内部改修)	複合改修	69.8	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	69.8	㎡			
整理清掃後片付(内部改修)	複合改修	69.8	㎡			
【床】						
フローリング塗替え	サンダ掛・ウレタン塗３回	69.8	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（木部）	27.4	m			
【壁】						

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（左官面）	24.8	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（木部）	53.6	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（木部）	37.6	m			
ひび割れ改修	シール充填工法	15.3	m			
【天井】						
石膏ボードｔ9.5	直張（梁型）	0.3	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（ボード面）	31.7	㎡			
ＥＰ塗装	下地調整（ボード面）	58.0	㎡			
【建具周囲】						
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（木部）	32.3	m			
【建築金物】						

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（鉄部）	18.0	m			
カーテンレール	ＳＵＳ（Ｓ）	6.7	m			
面格子脱着		2.0	ヶ所			代価－１６
【ユニット】						
畳寄せ脱着	木製	1.0	式			代価－１７
小計						

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-1-5.更衣室－１						
【直接仮設】						
内部仕上足場(改修)	一般・階高4.0m以下・脚立足場	12.3	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場)	脚立足場・平屋	12.3	㎡			
墨出(内部改修)	複合改修	12.3	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	12.3	㎡			
整理清掃後片付(内部改修)	複合改修	12.3	㎡			
【床】						
ビニル床シート	ｔ2.0　熱溶接工法	12.3	㎡			
下地補修	付着物除去	12.3	㎡			
ビニル巾木	ｈ75	3.8	m			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
【壁】						
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（左官面）	20.8	㎡			
【天井】						
化粧石膏ボード	ｔ9.5	9.4	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（ボード面）	4.8	㎡			
廻縁	塩ビ	15.2	m			
出隅材	塩ビ	6.8	m			
軽量鉄骨天井下地	ｈ19	9.4	㎡			
【建具周囲】						
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（木部）	4.6	m			
【ユニット】						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＵＮＴ－１	更衣ロッカー	1.0	ヶ所			
ＵＮＴ－２	更衣ロッカー・用具庫	1.0	ヶ所			

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-1-6.更衣室－２						
【直接仮設】						
内部仕上足場(改修)	一般・階高4.0m以下・脚立足場	12.3	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場)	脚立足場・平屋	12.3	㎡			
墨出(内部改修)	複合改修	12.3	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	12.3	㎡			
整理清掃後片付(内部改修)	複合改修	12.3	㎡			
【床】						
ビニル床シート	ｔ2.0　熱溶接工法	12.3	㎡			
下地補修	付着物除去	12.3	㎡			
ビニル巾木	ｈ75	3.8	m			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
【壁】						
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（左官面）	20.8	㎡			
【天井】						
化粧石膏ボード	ｔ9.5	9.4	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（ボード面）	4.8	㎡			
廻縁	塩ビ	15.2	m			
出隅材	塩ビ	6.8	m			
軽量鉄骨天井下地	ｈ19	9.4	㎡			
【建具周囲】						
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（木部）	4.6	m			
【ユニット】						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ＵＮＴ－１	更衣ロッカー	1.0	ヶ所			
ＵＮＴ－３	更衣ロッカー・用具庫	1.0	ヶ所			

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4-1-7.屋内運動場						
【直接仮設】						
内部仕上足場	棚足場 運搬費共	664.0	㎡			
墨出(内部改修)	複合改修	666.0	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	666.0	㎡			
整理清掃後片付(内部改修)	複合改修	666.0	㎡			
【床】 鋼製床組み	h650	666.0	㎡			
体育館用床シート	t7.5	666.0	㎡			
下張合板	構造用合板(針葉樹) t 15.0	666.0	㎡			
下張合板	構造用合板(ﾗﾜﾝ) t 12.0	666.0	㎡			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	UC塗装とも					
木製巾木	H150	2.3	m			
EXPゴム		107.0	m			
舞台下框	栂　120×60	11.1	m			
ＵＣ塗装・細幅	下地調整（木部）	59.3	m			
【壁】						
ＵＣ塗装	下地調整（木部）	223.0	㎡			
ＯＳ塗装	下地調整（木部）	141.0	㎡			
ＯＳ塗装・細幅	下地調整（木部）	14.4	m			
ＵＣ塗装・細幅	下地調整（木部）	43.6	m			
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（鉄部）	18.2	㎡			
木胴縁		4.7	㎡			
化粧合板張り		8.8	㎡			代価－１８

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
建具周囲補修	ＳＤ－１、－２撤去跡	18.6	m			代価－１８*0.1幅
【天井面】						
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（鉄部）	1,087.0	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（鉄部）	824.0	m			
【建具周囲】						
ＵＣ塗装・細幅	下地調整（木部）	52.0	m			
ＵＣ塗装	下地調整（木部）	34.0	㎡			
【建築金物】						
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（鉄部）	134.0	m			
床下点検口	アルミ600□	2.0	ヶ所			
面格子脱着		5.0	ヶ所			代価－１６

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
タラップ脱着		1.0	ヶ所			代価－１９
タラップ撤去		1.0	ヶ所			代価－３４
【ユニット】						
ＵＮＴ－５	消火器ボックス扉	2.0	ヶ所			
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（木部）	1.2	㎡			
ホーロー白板	1200×2700	3.0	ヶ所			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4-1-8.キャットウォーク						
【直接仮設】						
墨出(内部改修)	複合改修	76.0	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	76.0	㎡			
整理清掃後片付(内部改修)	複合改修	76.0	㎡			
【床】						
木巾木	栂　h100	96.7	m			
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	素地調整（木部）	96.7	m			
【壁】						
複層仕上塗材Ｅ	ローラー	206.0	㎡			
下地調整	Ｃ－１	206.0	㎡			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ひび割れ補修	シール充填工法	12.0	m			
【建具周囲】						
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（木部）	113.0	m			
【建築金物】						
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（鉄部）	268.0	m			
手摺補修	鋼製手摺手摺子	83.0	ヶ所			代価－２０
手摺補修	タラップ撤去跡閉塞	1.0	ヶ所			代価－３３
【ユニット】						
	重量用					
カーテンレール	アルミ（Ｓ）	86.2	m			
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（木部）	32.4	㎡			

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-1-9.舞台						
【直接仮設】						
内部仕上足場	棚足場	64.7	㎡			
仮設材運搬	棚足場	64.7	㎡			
墨出(内部改修)	複合改修	64.7	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	64.7	㎡			
整理清掃後片付(内部改修)	複合改修	64.7	㎡			
【床】						
フローリング塗替え	サンダ掛・ウレタン塗り３回	64.7	㎡			
ＵＣ塗装・細幅	下地調整（木部）	22.2	m			
【壁】						

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
有孔シナ合板	t 5.5	1.7	㎡			代価－２１
ＯＳ塗装	下地調整（木部）	132.0	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（鉄部）	33.6	㎡			
【天井】						
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（鉄部）	64.7	㎡			
【建具周囲】						
ＵＣ塗装・細幅	下地調整（木部）	13.8	m			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段	変更設計
下段	原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-1-10.控室－１						
【直接仮設】						
内部仕上足場	棚足場	22.1	㎡			
仮設材運搬	棚足場	22.1	㎡			
墨出(内部改修)	複合改修	22.1	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	22.1	㎡			
整理清掃後片付(内部改修)	複合改修	22.1	㎡			
【床】						
フローリング塗替え	サンダ掛・ウレタン塗り３回	19.7	㎡			
ＵＣ塗装	下地調整（木部）	4.5	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（木部）	16.2	m			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
【壁】						
複層仕上塗材Ｅ	ローラー	35.8	㎡			
下地調整	Ｃ－１	35.8	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（木部）	41.9	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（木部）	10.0	m			
シナ合板	ｔ5.5	0.3	㎡			
ひび割れ補修	シール充填工法	18.4	m			
【天井】						
複層仕上塗材Ｅ	ローラー	0.8	㎡			
下地調整	Ｃ－１	0.8	㎡			
【建具周囲】						

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（木部）	9.5	m			
【建築金物】						
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（鉄部）	16.7	m			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-1-11.控室－２						
【直接仮設】						
内部仕上足場	棚足場	22.1	㎡			
仮設材運搬	棚足場	22.1	㎡			
墨出(内部改修)	複合改修	22.1	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	22.1	㎡			
整理清掃後片付(内部改修)	複合改修	22.1	㎡			
【床】						
フローリング塗替え	サンダ掛・ウレタン塗り３回	13.4	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（木部）	6.3	㎡			
ＵＣ塗装	下地調整（木部）	4.5	㎡			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（木部）	16.2	m			
【壁】						
複層仕上塗材Ｅ	ローラー	35.8	㎡			
下地調整	Ｃ－１	35.8	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（木部）	41.9	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（木部）	10.0	m			
ひび割れ補修	シール充填工法	11.6	m			
欠損部補修	100x100程度 エポキシ樹脂モルタル充填	2.0	ヶ所			
【天井】						
複層仕上塗材Ｅ	ローラー	0.8	㎡			
下地調整	Ｃ－１	0.8	㎡			

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
【建具周囲】						
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（木部）	14.3	m			
【建築金物】						
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（鉄部）	16.7	m			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段	変更設計
下段	原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4-1-12.放送室						
【直接仮設】						
内部仕上足場(改修)	一般・階高4.0m以下・脚立足場	6.3	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場)	脚立足場・平屋	6.3	㎡			
墨出(内部改修)	複合改修	6.3	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	6.3	㎡			
整理清掃後片付(内部改修)	複合改修	6.3	㎡			
【床】						
ビニル床シート	t2.0　熱溶接工法	6.3	㎡			
下地補修	付着物除去	6.3	㎡			
フローリング塗替え	サンダ掛・ウレタン塗り３回	0.8	㎡			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＵＣ塗装・細幅	下地調整（木部）	11.3	m			
【壁】						
ＯＳ塗装	下地調整（木部）	23.0	㎡			
【天井】						
ロックウール吸音板	ｔ9.0・下張石膏ボードｔ9.5	6.3	㎡			
廻縁	塩ビ	10.3	m			
軽量鉄骨天井下地	h19	6.3	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-1-13.ホール						
【直接仮設】						
内部仕上足場(改修)	一般・階高4.0m以下・脚立足場	36.6	㎡			
仮設材運搬(内部仕上足場)	脚立足場・平屋	36.6	㎡			
墨出(内部改修)	複合改修	36.6	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	36.6	㎡			
整理清掃後片付(内部改修)	複合改修	36.6	㎡			
【床】						
ビニル床シート	t2.0　熱溶接工法	36.6	㎡			
下地補修	付着物除去	36.6	㎡			
ビニル巾木	h75	21.5	m			

(　　)

上段	変更設計
下段	原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
タイルカーペット敷き	t 7.0	13.2	㎡			
【壁】						
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（左官面）	53.3	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（ボード面）	1.4	㎡			
ひび割れ補修	シール充填工法	0.9	m			
【天井】						
化粧石膏ボード	t 9.5	32.7	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（ボード面）	2.1	㎡			
ＥＰ塗装	下地調整（ボード面）	8.9	㎡			
廻縁	塩ビ	31.7	m			
出隅材	塩ビ	5.6	m			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
軽量鉄骨天井下地	h 19	32.7	㎡			
【建具周囲】						
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（木部）	4.8	m			
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（鉄部）	7.5	m			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-1-14.内部階段						
【下部床】						
フローリング合板	t 18	1.0	㎡			
下張合板	t 15	1.0	㎡			
鋼製床組み	h 1.0	1.0	㎡			
【上部床】						
ウレタン塗床		4.8	㎡			
モルタル補修	塗材撤去跡	3.3	㎡			
モルタル補修	梁型見切り撤去跡	4.4	m			
ビニル床シート	t 2.0	0.6	㎡			
下地合板張り	t 15	0.6	㎡			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
木床組み	h200	0.6	㎡			
上框	栂　200*25	0.7	m			
ＵＣ塗装・細幅	素地調整（木部）	0.7	m			
【壁】						
有孔シナ合板	t5.5	1.4	㎡			代価－２１
シナ合板	t5.5	1.4	㎡			
木軸下地補強		2.2	㎡			
【建具】						
片開きフラッシュ扉	600*1260　シナ合板・金物一式	1.0	ヶ所			
開口枠	集成材　25*160	4.2	m			
フィラー材	集成材　38*70	1.3	m			

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＯＳ塗装	素地調整（木部）	0.9	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装	素地調整（木部）	0.8	㎡			
ＵＣ塗装・細幅	素地調整（木部）	4.2	m			
【建築金物】						
段鼻ノンスリップ	ＳＵＳw35・タイヤ付き	0.6	m			
【鉄骨】						
鉄骨階段・手摺		1.0	式			別紙明細－２
鉄骨デッキ・手摺		1.0	式			別紙明細－３
ＥＰ－Ｇ塗装	素地調整（鉄部）	20.7	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	素地調整（鉄部）	57.8	m			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段	変更設計
下段	原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙明細－１	玄関スロープ					
【躯体】						
レディーミクストコンクリート	Fc21	0.2	m3			
コンクリート打設	人力	0.2	m3			
鉄筋	SD295A　D13	1.0	kg			
鉄筋加工組立	D13	1.0	kg			
鉄筋運搬		1.0	kg			
溶接金網	φ6@150	1.4	㎡			
差筋アンカー	D13	8.0	ヶ所			
型枠	打放型枠	0.3	㎡			
型枠運搬費		0.3	㎡			

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
面取り型枠		3.0	m			

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙明細－２	鉄骨階段・手摺					
【鋼材費】						
軽量溝形鋼	[-250*75*75*6	146.0	kg			
山形鋼	L-30*30*3	7.9	kg			
鋼板	PL-9	15.5	kg			
縞鋼板	CPL-4.5	76.8	kg			
鋼管	φ42.7*3.5	29.8	kg			
	φ34.0*3.2	16.7	kg			
	φ21.7*2.0	12.9	kg			
中ボルト	M12	16.0	組			
【加工・組立費】						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
鉄骨工場加工		290.0	kg			
鉄骨運搬費		290.0	kg			
現場取付費		290.0	kg			
あと施工樹脂アンカー	M16　有効7d	4.0	ヶ所			
	M16　有効5d	10.0	ヶ所			
計						

(P. 内別　4 —　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙明細－３	鉄骨デッキ・手摺					
【鋼材費】						
溝形鋼	[-250*9*11*14.5	98.3	kg			
	[-200*90*8*13.5	237.0	kg			
	[-400*130*10*16	42.6	kg			
鋼板	PL-6	27.9	kg			
縞鋼板	PL-4.5	74.6	kg			
平鋼	ｔ6×30	1.9	kg			
鋼管	φ42.7*3.5	20.8	kg			
	φ34.0*3.2	38.0	kg			
	φ21.7*2.0	11.4	kg			

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
高力ボルト	H.T.B　M16	16.0	組			
【加工・組立費】						
鉄骨工場加工		523.0	kg			
鉄骨運搬費		523.0	kg			
現場取付費		523.0	kg			
あと施工樹脂アンカー	M12	12.0	ヶ所			
高力ボルト締め付け		16.0	ヶ所			
計						

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
5-1.鋼製建具改修						
5-1-1.鋼製建具		1.0	式			
5-1-2.軽量鋼製建具		1.0	式			
合計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
5-1-1.鋼製建具						
ＡＷ／１	屋内運動場	1.0	式			
ＡＷ／２	控室－１，－２	1.0	式			
ＡＷ／３	屋内運動場	1.0	式			
ＡＷ／４	柔道場	1.0	式			
ＡＷ／５	男子便所	1.0	式			
ＡＤ／１	玄関ホール	1.0	式			
ＡＤ／２	通路（便所）	1.0	式			
ＳＤ／３	屋内運動場	1.0	式			
ＳＤ／４	ホール	1.0	式			
ＳＤ／５	柔道場	1.0	式			

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ＳＷ／１	屋内運動場	1.0	式			
ＳＷ／２	屋内運動場	1.0	式			
ＳＧ／１	屋内運動場、ブドウ棚	1.0	式			
ＳＤ／１０	ホール	1.0	式			

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＡＷ／１						
オペレータ交換		4.0	ヶ所			
額縁アングル	新設　５．２８ｍ／１ヶ所	3.0	ヶ所			
クレセント	新設　（既存脱落部）	1.0	台			
サッシ額縁	栂　25*60*5,280	3.0	ヶ所			
学校強化ガラス	ｔ4.0	13.7	㎡			
ガラス留材	シール　5*5	1,258.0	m			
ガラス清掃		275.0	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＡＷ／２						
オペレータ交換		2.0	ヶ所			
ガラス留材	シール　5*5	207.0	m			
ガラス清掃		44.5	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＡＷ／３						
オペレータ交換		2.0	ヶ所			
学校強化ガラス	ｔ4.0	35.1	㎡			
ガラス留材	シール	335.0	m			
ガラス清掃		70.2	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＡＷ／４						
ガラス留材	シール 5*5	81.2	m			
ガラス清掃		17.0	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＡＷ／５						
ガラス留材	シール 5*5	16.4	m			
ガラス清掃		4.1	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＡＤ／１						
袖付き引分け戸	既存撤去／カバー工法改修	1.0	ヶ所			
透明強化ガラス	ｔ8.0	10.0	㎡			
ガラス留材	シール　5*5	70.4	m			
ガラス清掃		20.0	㎡			
小計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＡＤ／２						
片開き扉	既存撤去／カバー工法改修	1.0	ヶ所			
学校強化型ガラス	ｔ4.0	0.6	㎡			
ガラス留材	シール　5*5	6.4	m			
ガラス清掃		1.2	㎡			
小計						

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＳＤ／３						
両開きフラッシュ戸	既存撤去／カバー工法改修	1.0	ヶ所			
ＥＰ－Ｇ塗装	鋼製建具面					
	工程Ａ種	13.5	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ＳＤ／４						
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（鋼製建具面）	7.2	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＳＤ／５						
親子開きフラッシュ戸	既存撤去／カバー工法改修	1.0	ヶ所			
ＥＰ－Ｇ塗装	鋼製建具面					
	工程Ａ種	6.6	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＳＷ／１						
引違い戸	戸車交換　８台／１ヶ所	5.0	ヶ所			
ＤＰ塗装	下地調整（鋼製建具面）	31.9	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ＳＷ／２						
引違い戸	戸車交換　４台／１ヶ所	2.0	ヶ所			
ＤＰ塗装	下地調整（鋼製建具面）	3.9	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＳＧ／１						
ＤＰ塗装	下地調整（鋼製建具面）	3.4	㎡			
小計						

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＳＤ／１０						
両開きフラッシュ戸	既存撤去／カバー工法改修	1.0	ヶ所			
ＥＰ－Ｇ塗装	鋼製建具面					
	工程Ａ種	15.9	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
5-1-2.軽量鋼製建具						
ＳＤ／１	引分け戸　外部軽量鋼製建具	2.0	ヶ所			
ＳＤ／２	引分け戸　外部軽量鋼製建具	1.0	ヶ所			
合計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
6-1.木製建具改修						
WD／1	柔道場	1.0	ヶ所			
WD／2	更衣室－１、－２	2.0	ヶ所			
WD／4	事務室	1.0	ヶ所			
WD／5	放送室	1.0	ヶ所			
WD／6	控室－１	1.0	ヶ所			
WD／7	控室－２	1.0	ヶ所			
WD／8	玄関ホール、器具庫	2.0	ヶ所			
WD／9	控室－１、－２	2.0	ヶ所			
WW／1	器具庫	1.0	ヶ所			
合計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＷＤ／１						
引違いフラッシュ戸	メラミン　1.77*1.9	1.0	ヶ所			
樹脂戸車	ＳＵＳベアリングＹ型	4.0	個			
掘り込み引手	ＳＵＳ１２０	4.0	個			
シリンダ引戸錠		1.0	個			
戸当り		2.0	個			
敷居レール	ＳＵＳフラットＹ型２本引き	1.0	本			
既存木枠補修		1.0	式			代価－５
学校強化ガラス	ｔ4.0	0.7	㎡			
ガラス留材	シール　5*5	4.8	m			
ガラス清掃		1.4	㎡			

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＷＤ／２						
片開きフラッシュ扉	メラミン　800*1900	1.0	ヶ所			
ＳＵＳ丁番		2.0	個			
ドアチェック		1.0	個			
シリンダサムタン錠		1.0	個			
レバーハンドル空錠		1.0	個			
アルミガラリ	500*300	1.0	個			
既存木枠補修		1.0	式			
学校強化型ガラス	ｔ４	0.4	㎡			
ガラス留材	シール　5*5	4.8	m			
ガラス清掃		1.4	m			

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	小計						

(P. 木建　5 —　　)

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
WD／4						
片開きフラッシュ扉	メラミン　800*2000	1.0	ヶ所			
ＳＵＳ丁番		2.0	個			
ドアチェック		1.0	個			
シリンダサムタン錠		1.0	個			
レバーハンドル空錠		1.0	個			
既存木枠補修		1.0	式			代価－５
ガラス清掃	既存面	3.4	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＷＤ／５						
片開きフラッシュ扉	シナ合板　800*2000 ＧＷ充填	1.0	ヶ所			
ＳＵＳ丁番		2.0	個			
ドアチェック		1.0	個			
シリンダサムタン錠		1.0	個			
レバーハンドル空錠		1.0	個			
既存木枠補修		1.0	式			代価－５
ＯＳ塗装	素地調整（木部）	3.4	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＷＤ／６						
片引きフラッシュ戸	シナ合板　1.2*2.0	1.0	ヶ所			
樹脂戸車	ＳＵＳベアリングＹ型	2.0	個			
掘り込み引手	ＳＵＳ１２０	2.0	個			
戸当り		1.0	個			
敷居レール	ＳＵＳフラットＹ型１本引き	1.0	本			
既存木枠補修		1.0	式			代価－５
ＯＳ塗装	素地調整（木部）	2.5	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装	素地調整（木部）	2.5	㎡			
小計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＷＤ／７						
引違いフラッシュ戸	シナ合板　1.8*2.0	1.0	ヶ所			
樹脂戸車	ＳＵＳベアリングＹ型	4.0	個			
掘り込み引手	ＳＵＳ１２０	4.0	個			
戸当り		2.0	個			
敷居レール	ＳＵＳフラットＹ型２本引き	3.6	m			
既存木枠補修		1.0	式			代価－５
ＯＳ塗装	素地調整（木部）	3.8	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗装	素地調整（木部）	3.8	㎡			
小計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＷＤ／８						
引分け戸再取付け	手間	1.0	ヶ所			代価－６
上部トラックレール	スチールL2000	2.0	本			
上部戸車	ハンガー複車	4.0	個			
下部ガイドレール	ＳＵＳL3,600	1.0	本			
下部ガイドﾛｰﾗｰ	ＳＵＳ	4.0	個			
戸当り		2.0	個			
セキ金		1.0	個			
レール受金具	壁用	6.0	個			
レール受金具	壁用　横連結	1.0	個			
あと施工アンカー	Ｍ８　横	8.0	本			

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
既存戸補修		1.0	式			代価－５
ＵＣ塗装	下地調整（木部）	12.2	㎡			

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＷＤ／９						
片開き扉再取付け	手間	1.0	ヶ所			代価－７
丁番	ＳＵＳ	2.0	個			
シリンダーモノロック錠		1.0	個			
ドアチェック	ストッパ無し	1.0	個			
戸当り		1.0	個			
既存扉・枠補修		1.0	式			代価－５
ＵＣ塗装	下地調整（木部）	4.2	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
WW／1						
ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整（木部）	2.3	㎡			
ガラス清掃		3.1	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
7-1.体育器具改修						
7-1-1. ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ①	吊上げ器具改修　１台	1.0	式			
7-1-2. ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ②	吊上げ器具電動化　１台	1.0	式			
7-1-3. ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ③	壁固定器具改修　２対	1.0	式			
7-1-4. 防球ﾈｯﾄ④	w22.5*h6.5　２張	1.0	式			
7-1-5. 防球ﾈｯﾄ⑤	w30.0*h3.5　２張	1.0	式			
7-1-6. 防球ﾈｯﾄ⑥	w22.5*h3.5　１張	1.0	式			
7-1-7. 椅子収納台車	交換　９台	1.0	式			
7-1-8. 姿見鏡	撤去のみ	1.0	式			
7-1-9. 出入口防球ネット	w3.0m×ｈ2.5m　３張	1.0	式			
7-1-10. 床金具(Y)	新設床面　新設	1.0	式			

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
7-1-11. 柔道ﾀﾀﾐ(J)	新設	1.0	式			
7-1-12. ｺｰﾄﾗｲﾝ(L)	新設床面　新設	1.0	式			

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
7-1-1. ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ①	吊上げ器具改修　１台					【B】
ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾄﾞ	一般用/木製	1.0	台			
ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙﾘﾝｸﾞ	ﾘﾝｸﾞﾈｯﾄ付き	1.0	台			
ﾊﾞｽｹｯﾄ緊急停止装置		1.0	台			
脱落防止ﾜｲﾔｰ	9mm、ｼｬｯｸﾙ止め	1.0	台			
第一滑車	φ100	1.0	式			
６mmﾜｲﾔｰ		1.0	式			
既存ﾌﾚｰﾑ調整費	固定ﾔｸﾞﾗ可動ﾌﾚｰﾑ増し締め	1.0	台			
既存撤去工	撤去材処分費含む	1.0	式			
新規取付工		1.0	式			
搬入費		1.0	式			

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（鉄部）	92.6	m			

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
7-1-2. ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ②	吊上げ器具電動化　１台					【A】
ﾊﾞｽｹｯﾄ装置電動昇降ﾓｰﾀｰ	ﾘﾓｺﾝ式	1.0	台			
ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾄﾞ	一般用/木製	1.0	台			
ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙﾘﾝｸﾞ	ﾘﾝｸﾞﾈｯﾄ付き	1.0	台			
ﾊﾞｽｹｯﾄ緊急停止装置		1.0	台			
脱落防止ﾜｲﾔｰ	9mm、ｼｬｯｸﾙ止め	1.0	台			
第一滑車	φ100	1.0	式			
６mmﾜｲﾔｰ		1.0	式			
可動ﾌﾚｰﾑ	吊上ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ用前下がり	1.0	台			
可動ﾌﾚｰﾑ	吊上ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ用後下がり	1.0	台			
既存ﾌﾚｰﾑ調整費	固定ﾔｸﾞﾗ	1.0	台			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
既存撤去工	撤去材処分費含む	1.0	式			
新規取付工		1.0	式			
搬入費		1.0	式			
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（鉄部）	65.6	m			
小　計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段	変更設計
下段	原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
7-1-3. ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ③	壁固定器具改修　２対					
ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾄﾞ	一般用/木製	2.0	対			
ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙﾘﾝｸﾞ	ﾘﾝｸﾞﾈｯﾄ付き	2.0	対			
脱落防止ﾜｲﾔｰ	9mm、ｼｬｯｸﾙ止め	2.0	対			
既存ﾌﾚｰﾑ調整費	固定ﾌﾚｰﾑ	2.0	対			
既存撤去工	撤去材処分費含む	1.0	式			
新規取付工		1.0	式			
搬入費		1.0	式			
ＥＰ－Ｇ塗装・細幅	下地調整（鉄部）	80.0	m			
小　計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
7-1-4. 防球ﾈｯﾄ④	w22.5*h6.5　２張					
防球ネット	片引きﾛｰﾌﾟ操作　110mm	2.0	張			
金物	ﾜｲﾔｰ・ﾛｰﾌﾟ・滑車他	2.0	張			
既存ﾌﾚｰﾑ調整費	支持金物	2.0	張			
既存撤去工	撤去材処分費含む	1.0	式			
新規取付工		1.0	式			
搬入費		1.0	式			
小　計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
7-1-5. 防球ﾈｯﾄ⑤	w30.0*h3.5　２張					
防球ネット	片引き　110mm	2.0	張			
金物	ﾜｲﾔｰ・吊金具他	2.0	張			
既存ﾌﾚｰﾑ調整費	支持金物	2.0	張			
既存撤去工	撤去材処分費含む	1.0	式			
新規取付工		1.0	式			
搬入費		1.0	式			
小　計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
7-1-6. 防球ﾈｯﾄ⑥	w22.5*h3.5　1張					
防球ネット	片引き　110mm	1.0	張			
金物	ﾜｲﾔｰ・吊金具他	1.0	張			
既存ﾌﾚｰﾑ調整費	支持金物	1.0	張			
既存撤去工	撤去材処分費含む	1.0	式			
新規取付工		1.0	式			
搬入費		1.0	式			
小　計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
7-1-7. 椅子収納台車	交換　９台					
椅子収納台車	飾り板付き	9.0	台			
既存撤去工	撤去材処分費含む	1.0	式			
新規取付工		1.0	式			
搬入費		1.0	式			
小　計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
7-1-8. 姿見鏡	撤去　１台					
既存撤去工		1.0	式			
小　計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
7-1-9. 出入口防球ネット	w3.0m×h2.5m　3張					
防球ネット	手引き用片引き　砂重り付き	3.0	張			
新規取付費	支持材共	1.0	式			
搬入費		1.0	式			
小　計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
7-1-10. 床金具(Y)	新設床面　新設					
ﾊﾞﾚｰ床金具	蓋収納式	3.0	組			
ﾊﾞﾚｰ埋設管	既存ＲＣ造枠再利用	3.0	組			
ﾊﾞﾚｰ支柱	ｱﾙﾐ	3.0	組			
ﾊﾞﾚｰﾈｯﾄ	ｱﾙﾐ	3.0	組			
新規取付工		1.0	式			
搬入費		1.0	式			
小　計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
7-1-11. 柔道ﾀﾀﾐ(J)	新設					
柔道タタミ	抗菌樹脂レザー　カバー式	40.0	畳			
新規取付工	現調及び施工費	1.0	式			
搬入費		1.0	式			
小　計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
7-1-12. ｺｰﾄﾗｲﾝ(L)	新設床面　新設					
ｺｰﾄﾗｲﾝ引き （床ｼｰﾄ面）	ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ	3.0	面			
	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ （大）	1.0	面			
	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ （小）	2.0	面			
	ﾊﾞﾄﾐﾝﾄﾝ	4.0	面			
	反復横跳び用	40.0	m			
小　計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
8.舞台装置改修工事						
8-1.舞台装置	吊物設備	1.0	式			
8-2.舞台装置	舞台幕	1.0	式			
8-3.舞台装置	工事費	1.0	式			
8-4.暗幕設備	幕設備・工事費	1.0	式			
合計						

( )

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
8-1.舞台装置	吊物設備					
水引幕釘打ち固定吊装置	L11200	1.0	列			
源氏幕釘打ち固定吊装置	L8000×2	1.0	列			
引割緞帳固定手動開閉装置	ﾚｰﾙ5500×2　ﾛｰﾌﾟ引き	1.0	列			
第１かすみ幕固定吊装置	L12000	1.0	列			
第２かすみ幕固定吊装置	L11000	1.0	列			
第1,2袖幕固定吊装置	L1500×2	2.0	列			
ｽｸﾘｰﾝ手動昇降装置	上部ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ ﾎﾜｲﾄ200Inc 16:9	1.0	式			
吊物ﾊﾞﾄﾝ手動昇降装置	L7000　100kg用ｳｨﾝﾁ仕様	2.0	列			
ﾊﾞｯｸ幕固定吊手動開閉装置	ﾚｰﾙ4800×2　ﾛｰﾌﾟ引き	1.0	列			
ﾎﾘｿﾞﾝﾄ幕固定吊装置	L10000	1.0	列			

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
第1照明用ﾊﾞﾄﾝ固定吊装置	L120000	1.0	列			
第2照明用ﾊﾞﾄﾝ固定吊装置	L110000	1.0	列			

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
8-2.舞台装置	舞台幕					
水引幕 W11200 H900	難燃起毛地 ﾋﾀﾞﾅｼ 裏地 ﾌﾚﾝｼﾞ 校章	1.0	枚			
源氏幕 W800 H4100	難燃起毛地 ﾋﾀﾞﾅｼ 裏地 ﾌﾚﾝｼﾞ	2.0	枚			
引割緞帳 W5300 H4200	難燃起毛地 2倍ﾋﾀﾞ 裏地 ﾌﾚﾝｼﾞ	2.0	枚			
第1かすみ幕 W12000 H800	難燃起毛地 2倍ﾋﾀﾞ	1.0	枚			
第2かすみ幕 W11000 H800	難燃起毛地 2倍ﾋﾀﾞ	1.0	枚			
第1,2袖幕 W1500 H4200	難燃起毛地 2倍ﾋﾀﾞ	4.0	枚			
ﾊﾞｯｸ幕 W7000 H6000	難燃起毛地 2倍ﾋﾀﾞ	2.0	枚			
小計						

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
8-3.舞台装置	工事費					
機材運搬費		1.0	式			
足場養生費		1.0	式			
現場工事雑部材		1.0	式			
既存舞台設備解体工事費		1.0	式			
新設取付工事費		1.0	式			
動作調整費		1.0	式			
法定福利費		1.0	式			
諸経費		1.0	式			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
8-4.暗幕設備	幕設備・工事費					
ギャラリー側面暗幕	W3200H3700遮光一級1.5倍ヒダ	20.0	枚			
ギャラリー正面暗幕	W2700H3700遮光一級1.5倍ヒダ	4.0	枚			
ギャラリー正面暗幕	W1500H3700遮光一級1.5倍ヒダ	2.0	枚			
機材運搬費		1.0	式			
現場工事雑部材		1.0	式			
取付工事費		1.0	式			
法定福利費		1.0	式			
諸経費		1.0	式			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
9-1.外構工事						
9-1-1.土工事						
	1.0	式				
9-1-2.舗装						
	1.0	式				
9-1-3.構造物						
	1.0	式				
9-1-4.外構仕上						
	1.0	式				
9-1-5.外構躯体						
	1.0	式				
合計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
9-1-1.土工事						
根伐	機械	19.4	m3			
埋戻し	発生土	12.9	m3			
伐根跡埋戻し	発生土	1.7	m3			
盛土	発生土	3.0	m3			
締固め	タンパ	17.6	m3			
残土処分		1.8	m3			
残土運搬	DID区間有り　15km以内	1.8	m3			
砕石地業	再生砕石	0.8	m3			
土工機械運搬		1.0	往復			
捨てコン	Fc18	0.5	m3			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
打設費	ポンプ	0.5	m3			
圧送費		0.5	m3			
ポンプ基本料		1.0	回			

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
9-1-2.舗装						
	溶接金網共					
コンクリート舗装	t 70・砕石 t 100	12.2	㎡			
砂利舗装	t 60	1.4	m3			
縁石	PC-150*150*600	0.4	m			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
9-1-3.構造物						
排水桝改修	側塊　1000□　h400	1.0	ヶ所			代価－２８
排水桝改修	縁塊　1000□	1.0	ヶ所			代価－２９
排水桝蓋	化粧蓋　600□	1.0	ヶ所			代価－３０
側溝	落し蓋側溝　PU300B	7.8	m			
側溝蓋	落し蓋　400*500	16.0	枚			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
9-1-4.外構仕上						
ゴムチップ舗装	t 7	12.2	㎡			
伸縮目地	エラスタイト	1.7	m			
床磁器質タイル	150□	0.8	㎡			
床モルタル塗り	タイル下地	0.8	㎡			
フッ素樹脂塗装	素地調整（左官面）	15.2	㎡			
打放補修		15.2	㎡			
手摺	ＳＵＳ	1.0	式			別紙明細－１
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
9-1-5.外構躯体						
レディーミクストコンクリート	Fc21+3・S=18	5.4	m3			
打設費	地下部　ポンプ	3.4	m3			
打設費	地上部　ポンプ	2.0	m3			
圧送費	ポンプ	5.4	m3			
ポンプ基本料		2.0	回			
型枠	普通型枠	23.6	㎡			
型枠	打放型枠	24.7	㎡			
型枠	面取り型枠	54.8	m			
型枠運搬費		48.3	㎡			
鉄筋	SD295A　D10	208.0	kg			

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
鉄筋	SD295A　D13	90.5	kg			
鉄筋加工組立		287.0	kg			
鉄筋運搬費		287.0	kg			
スクラップ		8.0	kg			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
別紙明細－１	ＳＵＳ手摺					
【鋼材費】						
ＳＵＳ鋼管	φ42.7*1.5	27.6	m			
	φ38.0*1.5	24.9	m			
ＳＵＳ切板	PL-5*160*80	19.6	kg			
副資材		1.0	式			
【加工組立】						
工場加工・現場取付		27.6	m			代価－２４
あと施工樹脂アンカー	M12	78.0	ヶ所			
計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
直接工事費	解体工事					
2-2.防水解体工事		1.0	式			
3-2.外部解体		1.0	式			
4-2.内部解体		1.0	式			
5-2.鋼製建具解体		1.0	式			
6-2.木製建具撤去		1.0	式			
7-2.体育器具解体		1.0	式			
9-2.外構解体		1.0	式			
10.産廃処分		1.0	式			
11.有価物処分費		1.0	式			
合計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2-2.防水解体工事						
2-2-1.陸屋根						
		1.0	式			
2-2-2.軒樋						
		1.0	式			
2-2-3.金属屋根						
		1.0	式			
合計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
2-2-1.陸屋根						
【平場解体】						
伸縮目地撤去		128.0	m			
排水溝モルタル撤去		13.6	㎡			
【立上解体】						
防水押え層解体		7.8	m3			
アスファルト防水撤去	アスベスト含有	43.5	㎡			
壁溝ハツリ		1.2	m			
【笠木解体】						
既存塗膜除去		46.2	㎡			
【金物解体】						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段	変更設計
下段	原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ドレン上皿撤去		6.0	ヶ所			
EXP-Jカバー撤去		1.0	m			
U字溝撤去		36.1	m			代価－１４
モルタル塗撤去	煙突天端	0.2	㎡			
カッター入れ	モルタル面	1.2	m			
モルタル撤去	立上笠木面	0.1	㎡			
コンクリート解体	コンクリートブレーカ	0.1	m3			
カッタ入れ	コンクリート面	1.9	m			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
2-2-2.軒樋						
【平場解体】						
シート防水撤去		35.3	㎡			
【立上解体】						
シート防水撤去		74.6	㎡			
端末金物撤去		70.6	m			
既存塗膜除去	RA種	14.1	㎡			
【金物撤去】						
ドレン上皿撤去		14.0	ヶ所			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
2-2-3.金属屋根						
【立上撤去】						
既存塗膜除去	RA種	9.0	㎡			
シール撤去		50.2	m			
小計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
3-2.外部解体						
【外壁】						
目地シール撤去	打継目地	84.0	m			
目地シール撤去	建具周囲目地	348.0	m			
【樋】						
竪樋撤去		98.4	m			
集水桝撤去		2.0	ヶ所			
床下換気口撤去	防鼠網　1000*150	8.0	ヶ所			
玄関マット撤去	SUS　1900*600	1.0	ヶ所			
合計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-2.内部解体						
4-2-1.玄関ホール		1.0	式			
4-2-2.事務室		1.0	式			
4-2-3.柔道室		1.0	式			
4-2-4.用具庫		1.0	式			
4-2-5.更衣室－１		1.0	式			
4-2-6.更衣室－２		1.0	式			
4-2-7.屋内運動場		1.0	式			
4-2-8.キャットウォーク		1.0	式			
4-2-9.控室－１		1.0	式			

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4-2-10.控室－２		1.0	式			
4-2-11.放送室		1.0	式			
4-2-12.ホール		1.0	式			
4-2-13.内部階段		1.0	式			

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-2-1. 玄関ホール						
【床解体】						
ビニル床シート撤去		21.3	㎡			
ビニル巾木撤去	アスベスト含有建材	16.5	m			
【天井解体】						
ボード撤去	一重	27.8	㎡			
天井下地撤去		27.8	㎡			
廻縁撤去	塩ビ	21.8	m			
【建築金物撤去】						
段鼻ノンスリップ撤去		2.4	m			
【ユニット撤去】						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段	変更設計
下段	原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
木製家具撤去	下足入れ	4.8	㎡			
【内部スロープ撤去】						
人研ぎ撤去		1.6	㎡			
カッタ入れ	モルタル面	2.6	m			
テラゾブロック撤去	上框	1.4	m			
【建具改修撤去】						
床タイル撤去	下地モルタル共	0.6	㎡			
人研ぎ撤去		0.6	㎡			
カッタ入れ	モルタル面	8.3	m			
小計						

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4-2-2.事務室						
【床解体】						
ビニル床シート撤去		12.9	㎡			
ビニル巾木撤去	アスベスト含有建材	14.4	m			
【天井解体】						
ボード撤去	一重	11.2	㎡			
天井下地撤去		11.2	㎡			
廻縁撤去	塩ビ	13.8	m			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-2-3.柔道室						
【壁】						
ボード撤去	一重	0.3	㎡			
【建築金物撤去】						
カーテンレール		6.7	m			
小計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-2-4.用具庫						
【壁】						
ボード撤去	一重	0.5	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-2-5.更衣室－１						
【床解体】						
ビニル床シート撤去		12.3	㎡			
ビニル巾木撤去	アスベスト含有建材	3.8	m			
【天井解体】						
ボード撤去	一重	9.4	㎡			
天井下地撤去		9.4	㎡			
廻縁撤去	塩ビ	15.2	m			
【ユニット解体】						
木製家具	更衣ロッカー	20.0	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-2-6.更衣室－２						
【床解体】						
ビニル床シート撤去		12.3	㎡			
ビニル巾木撤去	アスベスト含有建材	3.8	m			
【天井解体】						
ボード撤去	一重	9.4	㎡			
天井下地撤去		9.4	㎡			
廻縁撤去	塩ビ	15.2	m			
【ユニット解体】						
木製家具	更衣ロッカー	20.0	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-2-7.屋内運動場						
【床解体】						
フローリング撤去		666.0	㎡			
下地合板撤去		666.0	㎡			
鋼製床組み撤去		666.0	㎡			
EXPゴム撤去		107.0	m			
舞台下框撤去		11.1	m			
【壁撤去】						
合板撤去	一重	4.1	㎡			
【建具周囲撤去】						
開口枠撤去	鋼製建具面額縁	24.6	m			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-2-8.キャットウォーク						
【建築金物解体】						
カーテンレール撤去		79.6	m			
【備品撤去】						
暗幕取外し		26.0	面			代価－２６
小計						

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4-2-9.控室－１						
【壁解体】						
ボード撤去	一重	0.3	㎡			
既存塗膜除去		35.8	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4-2-10.控室－２						
【壁解体】						
既存塗膜除去		35.8	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-2-11.放送室						
【床解体】						
ビニル床シート撤去		6.3	㎡			
【天井解体】						
ボード撤去	二重	6.3	㎡			
天井下地撤去		6.3	㎡			
廻縁撤去	塩ビ	10.3	m			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
4-2-12.ホール						
【床解体】						
ビニル床シート撤去		36.6	㎡			
カーペット撤去		13.2	㎡			
ビニル巾木撤去	アスベスト含有建材	21.5	m			
【天井解体】						
ボード撤去	一重	32.7	㎡			
天井下地撤去		32.7	㎡			
廻縁撤去	塩ビ	31.7	m			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4-2-13.内部階段						
【下部床解体】						
フローリング撤去		1.0	㎡			
下地合板撤去		1.0	㎡			
鋼製床組み撤去		1.0	㎡			
【上部床解体】						
既存塗膜除去		3.3	㎡			
梁型見切り撤去		4.4	m			
【壁解体】						
合板撤去	一重	4.4	㎡			
壁下地撤去		2.2	㎡			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
【建築金物撤去】						
鋼製手摺撤去		1.1	m			代価－２２
小計						

(P. 内解 18 —　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
5-2.鋼製建具解体						
ＡＷ／１	屋内運動場	1.0	式			
ＡＷ／２	控室－１，－２	1.0	式			
ＡＷ／３	屋内運動場	1.0	式			
ＡＷ／４	柔道場	1.0	式			
ＡＷ／５	男子便所	1.0	式			
ＡＤ／１	玄関ホール	1.0	式			
ＡＤ／２	通路	1.0	式			
ＳＤ／１	屋内運動場	1.0	式			
ＳＤ／２	屋内運動場	1.0	式			
ＳＤ／３	屋内運動場	1.0	式			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ＳＤ／５	柔道場	1.0	式			
ＳＤ／１０	ホール	1.0	式			

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＡＷ／１						
ガラス撤去		13.3	㎡			
ガラス留材撤去		1,258.0	m			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＡＷ／２						
ガラス留材撤去		252.0	m			
小計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＡＷ／３						
ガラス撤去		35.1	㎡			
ガラス留材撤去		335.0	m			
小計						

(P. 鋼解　5 —　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＡＷ／４						
ガラス留材撤去		81.2	m			
小計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＡＷ／５						
ガラス留材撤去		16.4	m			
小計						

(P. 鋼解　7 —　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＡＤ／１						
ガラス撤去		10.5	㎡			
フロアヒンジ撤去		2.0	ヶ所			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ＡＤ／２						
ガラス撤去		0.4	㎡			
小計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＳＤ／１						
鋼製建具撤去	枠共	16.8	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＳＤ／２						
鋼製建具撤去	枠共	8.4	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ＳＤ／３						
鋼製建具撤去	戸のみ	5.2	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ＳＤ／５						
鋼製建具撤去	戸のみ	2.4	㎡			

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＳＤ／１０						
鋼製建具撤去	戸のみ	6.1	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
6-2.木製建具撤去						
WD／1	柔道場	1.0	ヶ所			
WD／2	更衣室－1、－2	2.0	ヶ所			
WD／4	事務室	1.0	ヶ所			
WD／5	放送室	1.0	ヶ所			
WD／6	控室－1	1.0	ヶ所			
WD／7	控室－2	1.0	ヶ所			
WD／8	玄関ホール、器具庫	2.0	ヶ所			
WD／9	控室－1、－2	2.0	ヶ所			
合計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＷＤ／１						
木製建具撤去	戸のみ	3.4	㎡			
敷居レール撤去		1.8	m			
小計						

(P. 木撤　2 —　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
WD／2						
木製建具撤去	扉のみ	1.5	㎡			

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
WD／4						
木製建具撤去	扉のみ	1.6	㎡			

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
WD／5						
木製建具撤去	戸のみ	1.6	㎡			
小計						

(P. 木撤　5 —　　)

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
WD／6						
木製建具撤去	戸のみ	2.5	㎡			

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＷＤ／７						
木製建具撤去	戸のみ	3.6	㎡			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
WD／8						
木製建具撤去	戸のみ	5.8	㎡			
吊りレール撤去		5.6	m			
ガイドレール撤去		5.6	m			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
ＷＤ／９						
木製建具撤去	扉のみ	2.0	㎡			
金物撤去		1.0	式			代価－２３
小計					0	

(0)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
7-2.体育器具解体						
床埋設管撤去	コンクリート解体　ハンドブレーカ	0.2	m3			
床金具撤去		16.0	ヶ所			代価－２５
既存柔道タタミ撤去費	ｔ55　6.74m×8.84m	1.0	面			代価－３２
小計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
9-2.外構解体						
コンクリート解体	花壇	0.2	m3			
	コンクリート舗装	0.3	m3			
	側溝	0.5	m3			
	縁塊	0.1	m3			
カッター入れ	コンクリート面	7.8	m			
地業解体		0.2	m3			
植栽伐採・伐根	中高木	4.0	株			
	低木	4.0	株			
植栽伐根	中低木	1.0	株			
小計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
10.産廃処分						
10-1.発生材積込み		1.0	式			
10-2.発生材運搬		1.0	式			
10-3.発生材処分		1.0	式			
合計					0	

(0)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
10-1.発生材積込み						
コンクリート類	人力	10.7	m3			
廃石膏ボード	人力	0.9	m3			
廃プラスチック	人力	4.3	m3			
混合廃棄物	人力	22.4	m3			
ガラス・タイル類	人力	0.2	m3			
がれき類	人力	0.2	m3			
木類	人力	27.1	m3			
アスベスト含有建材	人力	1.2	m3			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
10-2.発生材運搬						
コンクリート類	DID区間有り　12km	10.7	m3			
廃石膏ボード	DID区間有り　12km	0.9	m3			
廃プラスチック	DID区間有り　12km	4.3	m3			
混合廃棄物	DID区間有り　12km	22.4	m3			
ガラス・タイル類	DID区間有り　12km	0.2	m3			
がれき類	DID区間有り　12km	0.2	m3			
木類	DID区間有り　12km	27.1	m3			
アスベスト含有建材	DID区間有り　60km	1.2	m3			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
10-3.発生材処分						
コンクリート類		24.6	t			
廃石膏ボード		0.9	m3			
廃プラスチック		4.3	m3			
混合廃棄物		22.4	m3			
ガラス・タイル類		0.2	m3			
がれき類		0.2	m3			
木類		27.1	m3			
アスベスト含有建材		1.2	m3			
小計						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
11.有価物処分費						
鉄くず		161.0	kg			
合計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

名　称	摘　要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
代価-5	木建既存枠等補修					
建具工		0.380	人			
その他	労×0.13	1.000	式			
小計						
改め						
代価-6	木建取付け手間　引分け					
建具工		0.300	人			
その他	労×0.13	1.000	式			
小計						
改め						
代価-7	木建取付け手間　片開き					
建具工		0.150	人			
その他	労×0.13	1.000	式			
小計						
改め						
代価-13	天端補修					
モルタル補修		1.000	m			
断熱材	ｔ50	0.200	㎡			
小計						
改め						
代価-14	Ｕ字溝解体　陸屋根					
コンクリート解体	コンクリートブレーカ	0.013	m3			
小計		0.013				
改め						
代価-15	ガイドレール撤去					
SUS沓摺程度	特殊作業員	0.180	人			
小計						
改め						

名　称	摘　要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
代価-16	面格子脱着					
面格子取外し	特殊作業員	0.195	人			
面格子取付け	特殊作業員	0.380	人			
その他	労×0.13	1.000	式			
小計						
改め						
代価-17	柔道畳寄せ					
脱着	普通作業員	0.120	人			
小計						
改め						
代価-18	壁化粧合板張り					
化粧合板		1.100	㎡			
釘		0.020	kg			
大工		0.080	人			
普通作業員		0.008	人			
その他	労×0.16	1.000	式			
小計						
改め						
代価-19	タラップ脱着					
タラップ取外し	特殊作業員	0.080	人			
タラップ取付け	特殊作業員	0.160	人			
その他	労×0.13	1.000	式			
小計						
改め						
代価-20	鋼製手摺補修					
鋼材	L-30*30*3×0.04ｍ×2程度	0.109	kg			
副資材	材×5%	1.000	式			
鉄工	特殊作業員	0.130	人			
手元	普通作業員	0.035	人			
現場取付	特殊作業員	0.065	人			
その他	材労×0.13	1.000	式			
小計						
改め						

名　称	摘　要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
代価-21	有孔シナ合板張り					
有孔シナ合板	t 5.5　3×6	0.605	枚			
釘		0.020	kg			
大工		0.080	人			
普通作業員		0.008	人			
その他	労×0.16	1.000	式			
小計						
改め						
代価-22	鋼製手摺撤去					
現場取付	特殊作業員	0.065	人			
小計						
改め						
代価-23	木建金物撤去					
建具工		0.110	人			
小計						
改め						
代価-24	スロープ手摺加工組立					
鉄工	特殊作業員	0.250	人			
手元	普通作業員	0.055	人			
現場取付	特殊作業員	0.130	人			
その他	労×0.13	1.000	式			
小計						
改め						
代価-25	床金具撤去					
内装工		0.060	人			
小計						
改め						
代価-26	カーテン取外し					
内装工		0.020	人			
小計						
改め						

名　称	摘　要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
代価-27	床下換気口					
SUS網	1000*1000	0.200	枚			
現場取付	特殊作業員	0.069	人			
その他	材労×0.13	1.000	式			
小計						
改め						
代価-28	ため桝側塊					
雨水ます中間部	1100*1100*400	1.000	個			
特殊作業員	特殊作業員	0.200	人			
普通作業員	普通作業員	0.140	人			
その他	労×0.19	1.000	式			
小計						
改め						
代価-29	ため桝縁塊					
縁塊	1100*1100	1.000	個			
特殊作業員	特殊作業員	0.200	人			
普通作業員	普通作業員	0.140	人			
その他	労×0.19	1.000	式			
小計						
改め						
代価-30	ため桝縁塊					
桝蓋	化粧ます600	1.000	個			
特殊作業員	特殊作業員	0.200	人			
普通作業員	普通作業員	0.140	人			
その他	労×0.19	1.000	式			
小計						
改め						

名　称	摘　要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
代価-32	柔道タタミ撤去					
普通作業員	普通作業員	0.500	人			
その他	労×0.16	1.000	式			
小計						
改め						
名　称	摘　要	数 量	単位			備 考
代価-33	タラップ撤去跡閉鎖					
鋼材	□-40*20*1.6*0.37m	0.718	kg			
	FB-6*0.38*0.37m×2本	1.325	kg			
	L-30*30*3×0.04m×4程度	0.218	kg			
副資材	材×5%	1.000	式			
鉄工	特殊作業員	0.450	人			
手元	普通作業員	0.260	人			
現場取付	特殊作業員	0.200	人			
その他	材労×0.13	1.000	式			
小計						
改め						
代価-34						
タラップ取外し	特殊作業員	0.080	人			建
その他	労×0.13	1.000	式			
小計						
改め						

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
Ⅱ	電気設備工事						
1	電灯設備工事		1.0	式			
2	コンセント設備工事		1.0	式			
3	放送設備工事		1.0	式			
4	音響設備工事		1.0	式			
5	火災報知設備工事		1.0	式			
6	産業廃棄物処分		1.0	式			
	小計						
7	スクラップ		1.0	式			

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	電灯設備工事						
	ねじ無し電線管	E19 露出 塗装	270.0	m			
	1種金属線ぴ	A型	21.0	m			
	EM-IE電線	1.6mm　管内	585.0	m			
	EM-IE電線	2.0mm　管内	1,294.0	m			
	EM-IE電線	5.5mm2　管内	22.0	m			
	EM-CEｹｰﾌﾞﾙ	5.5mm2-3C　管内	30.0	m			
	EM-FCPEEｹｰﾌﾞﾙ	0.65mm-1P　管内	30.0	m			
	EM-FCPEEｹｰﾌﾞﾙ	0.9mm-1P　管内	381.0	m			

(.....)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
金属製ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	1000×500×300	1.0	個			
丸型露出ﾎﾞｯｸｽ	塗装共　2方出	10.0	個			
丸型露出ﾎﾞｯｸｽ	塗装共　3方出	23.0	個			
1種金属線ぴ付属品	A型ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ	3.0	個			
1種金属線ぴ付属品	A型1個用ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ	7.0	個			
ｽｲｯﾁ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	1P15A×1	6.0	個			
ｽｲｯﾁ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	1P15A×2	1.0	個			
ｽｲｯﾁ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	1P15A×3+PL	2.0	個			
ｽｲｯﾁ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	1P15A×4+PL	1.0	個			
ﾗｲﾄﾏﾈｰｼﾞｬｰ	6回路	1.0	個			
ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ	1回路	1.0	個			

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ	9回路	1.0	個			
ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ	12回路	4.0	個			
	高天井照明 側面ｶﾞｰﾄﾞ・下面ｶﾞｰﾄﾞ					
照明器具　A	取付金具・露出ﾎﾞｯｸｽ取付金具共	30.0	個			
照明器具　B	LED 露出形 6,500lm 反射笠	18.0	個			
照明器具　C	LSS9-4-30 LN	7.0	個			
照明器具　D	LSS10-4-65 LN	14.0	個			
照明器具　E	LRS6-4-30 LN	2.0	個			
照明器具　F	LRS20-4-65 LN	2.0	個			
照明器具　G	LED 露出形 740lm	2.0	個			
照明器具　H	LBF3MP/RP-4-26 LN	1.0	個			

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
照明器具　I	LBF3MP/RP-2-13 LN	3.0	個			
照明器具　J	LED 露出形 3,200lm ｺｰﾅｰﾗｲﾄ	3.0	個			
照明器具　K	K1-LSS10-4-65 LN	1.0	個			
照明器具　N	LEDﾎﾞｰﾀﾞｰﾗｲﾄ	6.0	個			
誘導灯　a	SH1-FSF20-BL	1.0	個			
誘導灯　b	SH1-FBF20-BL	4.0	個			
天井直付型 通信補助器	取付金具・防球ｶﾞｰﾄﾞ共	7.0	個			
信号変換制御ﾎﾞｯｸｽ		1.0	個			
電灯盤	LB-1A	1.0	面			
電灯盤	LB-1B	1.0	面			
電灯盤	L-1C	1.0	面			

(.....)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
貫通補修費	50φ 200㎜程度	2.0	か所			
撤去工事	電灯設備 取外し再取付含む	1.0	式			別紙-1
計						

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2	コンセント設備工事						
	ｺﾝｾﾝﾄ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	2P15A×1	4.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	2P15A×2	27.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	2P15A×1　抜け止め形	6.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	2P15A×1　接地極付	1.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	2P15A×2　接地極付	1.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	3P20A×1	5.0	個			
	床ｺﾝｾﾝﾄ	2P15A×2	5.0	個			
		取外し再取付含む					
	撤去工事	コンセント設備	1.0	式			別紙-2
	計						

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3	放送設備工事						
	ﾎｰﾝｽﾋﾟｰｶ	SH-15	2.0	個			
	天井埋込型ｽﾋﾟｰｶｰ	ATT付	3.0	個			
	壁掛型ｽﾋﾟｰｶｰ		1.0	個			
	壁掛型ｽﾋﾟｰｶｰ	ATT付	1.0	個			
	ﾌﾗｯｼｭﾌﾟﾚｰﾄ(金属製)	角型 1連用	1.0	枚			
	撤去工事	放送設備	1.0	式			別紙-3
	計						

(.....)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4	音響設備工事						
	ねじ無し電線管	E19 露出 塗装	24.0	m			
	ねじ無し電線管	E25 露出 塗装	57.0	m			
	1種金属線ぴ	A型	6.0	m			
	EM-ｽﾋﾟｰｶｰｹｰﾌﾞﾙ	4S8-EM　管内	40.0	m			
	EM-ｽﾋﾟｰｶｰｹｰﾌﾞﾙ	4S8-EM　天井	23.0	m			
	EM-MEESｹｰﾌﾞﾙ	0.75mm2-2C　管内	102.0	m			
	EM-同軸ｹｰﾌﾞﾙ	EM-S-5C-FB　管内	138.0	m			
	金属製ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	200×200×200	2.0	個			
	金属製ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	300×300×200	1.0	個			
	丸型露出ﾎﾞｯｸｽ	2方出	2.0	個			

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
丸型露出ﾎﾞｯｸｽ	3方出	2.0	個			
ﾜｺﾞﾝｱﾝﾌﾟ		1.0	個			
ﾜｺﾞﾝ接続盤		1.0	台			
ﾒｲﾝｽﾋﾟｰｶｰ		2.0	個			
ﾊﾈ返りｽﾋﾟｰｶ		1.0	個			
ﾓﾆﾀｰｽﾋﾟｰｶ		1.0	個			
ﾜｲﾔﾚｽｱﾝﾃﾅ		4.0	個			
ﾏｲｸｺﾝｾﾝﾄ	床	3.0	個			
ﾏｲｸｺﾝｾﾝﾄ	壁	3.0	個			
ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸﾛﾎﾝ	ﾊﾝﾄﾞ型	3.0	個			
ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾜｲﾔﾚｽﾅｲｸﾛﾎﾝ	ﾀｲﾋﾟﾝ型	1.0	個			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
充電器		2.0	個			
ﾀﾞｲﾅﾐｯｸﾏｲｸﾛﾎﾝ		1.0	個			
ﾏｲｸﾛﾎﾝｽﾀﾝﾄﾞ	床上型	1.0	個			
ﾏｲｸﾛﾎﾝｽﾀﾝﾄﾞ	卓上型	1.0	個			
撤去工事	音響設備	1.0	式			別紙-4
計						

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
5	火災報知設備工事						
	ｽﾎﾟｯﾄ感知器	差動 2種 露出	12.0	個			
	分布型感知器	埋込型 2個用	4.0	個			
	発信器	埋込型	3.0	個			
	表示灯	普通	3.0	個			
	ﾍﾞﾙ	露出	3.0	個			
	空気管	ﾒｯｾﾝｼﾞｬｰﾜｲﾔｰ付	540.0	m			
	火災報知立会検査	P型1級	1.0	工事			
	撤去工事	火災報知設備	1.0	式			別紙-5
	計						

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
6	産業廃棄物処分						
	蛍光灯器具 処分費		1.0	式			
	蛍光管 処分費		1.0	式			
	発生材処分	混合廃棄物	2.4	m^3			
	収集運搬費	照明器具　　2ｔ車　25Km	1.0	回			
	収集運搬費	ﾘｻｲｸﾙ施設まで	1.0	回			
	収集運搬費	混合廃棄物　　2ｔ車　25Km	1.0	回			
	収集運搬費	有価物　　2ｔ車　25Km	1.0	回			
	計						

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
7	スクラップ						
	有価物処分	1号銅線	1.0	式			
	計						

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙-1	撤去工事　電灯設備					
撤去						
IV電線	1.2mm　管内	72.0	m			
撤去						
IV電線	1.6mm　管内	398.0	m			
撤去						
IV電線	2.0mm　管内	3,790.0	m			
撤去						
IV電線	5.5mm2　管内	22.0	m			
撤去						
ｽｲｯﾁ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	1P15A×1	6.0	個			
撤去						
ｽｲｯﾁ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	1P15A×2	1.0	個			
撤去						
ｽｲｯﾁ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	1P15A×3+PL	2.0	個			
撤去						
ｽｲｯﾁ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	1P15A×4+PL	1.0	個			
撤去						
ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ	1回路	1.0	個			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
撤去						
ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ	9回路	1.0	個			
撤去						
ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ	12回路	1.0	個			
撤去						
照明器具	FL20W×1 露出	5.0	個			
撤去						
照明器具	FL40W×1 露出	11.0	個			
撤去						
照明器具	FL40W×2 露出	33.0	個			
撤去						
照明器具	FL40W×1 埋込	2.0	個			
撤去						
照明器具	FL40W×2 埋込	2.0	個			
撤去						
照明器具	HF400W 露出 昇降装置含む	30.0	個			
撤去						
誘導灯	B級	5.0	個			
撤去						
照明器具	ﾎﾞｰﾀﾞｰﾗｲﾄ、端子ﾎﾞｯｸｽ	6.0	個			
撤去						
電灯盤	LB-1A	1.0	面			

(.....)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
撤去						
電灯盤	LB-1B	1.0	面			
撤去						
電灯盤	L-1C	1.0	面			
撤去						
安定器収納盤		1.0	面			
取外し再取付						
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	400×400×300	1.0	個			
取外し再取付						
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	500×500×300	1.0	個			
取外し再取付						
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	800×300×300	1.0	個			
取外し再取付						
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	1000×500×300	2.0	個			
取外し再取付						
照明器具	高天井用LED　露出形	6.0	個			
計						
改め						

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙-2	撤去工事　コンセント設備					
撤去						
ｺﾝｾﾝﾄ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	2P15A×1	4.0	個			
撤去						
ｺﾝｾﾝﾄ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	2P15A×2	27.0	個			
撤去						
ｺﾝｾﾝﾄ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	2P15A×1　抜け止め形	6.0	個			
撤去						
ｺﾝｾﾝﾄ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	2P15A×1　接地極付	1.0	個			
撤去						
ｺﾝｾﾝﾄ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	2P15A×2　接地極付	1.0	個			
撤去						
ｺﾝｾﾝﾄ　金属ﾌﾟﾚｰﾄ	3P20A×1	5.0	個			
撤去						
床ｺﾝｾﾝﾄ	2P15A×2	5.0	個			
計						
改め						

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙-3	撤去工事　放送設備					
撤去						
IV電線	1.2mm	37.0	m			
撤去						
ﾎｰﾝｽﾋﾟｰｶ	SH-15	3.0	個			
撤去						
天井埋込型ｽﾋﾟｰｶｰ	ATT付	3.0	個			
撤去						
壁掛型ｽﾋﾟｰｶｰ		1.0	個			
撤去						
壁掛型ｽﾋﾟｰｶｰ	ATT付	1.0	個			
撤去						
ｱｯﾃﾈｰﾀ		1.0	個			
計						
改め						

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙-4	撤去工事　音響設備					
1種金属線ぴ	A型	6.0	m			
EM-MVVSｹｰﾌﾞﾙ	0.75mm2-2C　管内	102.0	m			
ﾜｺﾞﾝｱﾝﾌﾟ		1.0	台			
ﾜｺﾞﾝ接続盤		1.0	個			
ﾒｲﾝｽﾋﾟｰｶｰ		2.0	個			
ﾊﾈ返りｽﾋﾟｰｶ		1.0	個			
ﾓﾆﾀｰｽﾋﾟｰｶ		1.0	個			
ﾏｲｸｺﾝｾﾝﾄ	壁付	3.0	個			
ﾏｲｸｺﾝｾﾝﾄ	床	3.0	個			

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	計						
	改め						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙-5	撤去工事　火災報知設備					
撤去						
ｽﾎﾟｯﾄ感知器	差動 2種 露出	12.0	個			
撤去						
分布型感知器	2個用	4.0	個			
撤去						
発信器		3.0	個			
撤去						
表示灯		3.0	個			
撤去						
ﾍﾞﾙ		3.0	個			
撤去						
空気管		540.0	m			
計						
改め						

(.....) 富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
Ⅲ	機械設備工事						
1	換気設備工事		1.0	式			
2	給水設備工事		1.0	式			
3	衛生器具設備工事		1.0	式			
4	消火設備工事		1.0	式			
5	撤去工事		1.0	式			
6	産業廃棄物処分		1.0	式			
	小計						
7	スクラップ		1.0	式			

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
1	換気設備工事						
	天井換気扇	CVF-4　100φ×80㎥/h×100Pa	1.0	台			
	換気扇	VE-1　200φ×200㎥/h×30Pa	2.0	台			
	ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ	100 インサート無	4.0	m			
	ﾊﾟｲﾌﾟﾌｰﾄﾞ	100A SUS製ｷﾞｬﾗﾘｰ, FD付	1.0	個			
	塗装保温	既存ﾀﾞｸﾄ含む	1.0	式			別紙-1
	計						

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
2	給水設備工事						
	ｽﾃﾝﾚｽ鋼管	拡管式20　一般	23.0	m			
	保温		1.0	式			別紙-2
	仕切弁	SUS-20	1.0	個			
	ｺｱ抜き他雑工事		1.0	式			別紙-3
	計						

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3	衛生器具設備工事						
	手洗器	L-2　洗面器 水栓金具 排水金具	1.0	組			
	化粧鏡	M-2　350×450　耐食鏡	1.0	枚			
	計						

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4	消火設備工事						
	屋内消火栓箱	1号　埋込型　取外し・再取付	2.0	組			
	消火・配管用炭素鋼鋼管	50A 屋内一般	55.0	m			
	管切断接続		1.0	式			別紙-4
	計						

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
5	撤去工事						
	機器類撤去		1.0	式			別紙-5
	配管・ﾀﾞｸﾄ類撤去		1.0	式			別紙-6
	計						

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
6	産業廃棄物処分						
	発生材処分	混合廃棄物	0.7	m^3			
	収集運搬費	混合廃棄物　２ｔ車　25Km	1.0	台			
	収集運搬費	有価物　　２ｔ車　25Km	1.0	台			
	計						

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
7	スクラップ						
	有価物	鉄くず　H3	1.0	式			
	計						

(.....)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙-1	塗装保温					
ﾀﾞｸﾄ 塗装	亜鉛鉄板製ﾀﾞｸﾄ・露出	1.2	㎡			
ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ保温	屋内露出　ｶﾗｰ亜鉛鉄板　100mm	1.0	m			
既存塗膜除去		17.7	㎡			
既存ﾀﾞｸﾄ塗装		17.7	㎡			
計						
改め						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙-2	給水　保温					
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出　15A	23.0	m			
計						
改め						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙-3	ｺｱ抜き他雑工事					
機械はつり	63φ 150mm程度	1.0	ヶ所			
機械はつり	75φ 150mm程度	1.0	ヶ所			
ﾌﾟﾗｸﾞ止め	20	1.0	ヶ所			
配管切断	鋼管　20A　保温有	1.0	ヶ所			
計						
改め						

(　　)

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙-4	管切断接続					
配管切断	鋼管　50A　保温無し	1.0	ヶ所			
配管接続	鋼管　50A　保温無し	1.0	ヶ所			
計						
改め						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙-5	機器類撤去					
手洗器		1.0	組			
鏡		1.0	枚			
天井扇		1.0	台			
換気扇	200φ	2.0	台			
計						
改め						

(　　)

富士見市 総務部 営繕課

上段　変更設計
下段　原 設計

積 算 用 紙

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
別紙-6	配管・ﾀﾞｸﾄ類撤去					
（換気）						
ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ	100	2.8	m			
（消火）						
白ｶﾞｽ管	50　一般	54.5	m			
計						
改め						

(　　)

市立西中学校屋内運動場改修工事
（ゼロ債務）

富士見市総務部営繕課

市立西中学校屋内運動場改修工事
（ゼロ債務）

意匠図				電気設備図		機械設備図	
Ａ－000	図面リスト	Ａ － 26	階段改修　詳細図＜既　存＞	Ｅ － 01	電気設備工事特記仕様書	Ｍ － 01	機械設備工事特記仕様書（１）
Ａ－001	特記仕様書（改修その１）	Ａ － 27	階段改修　詳細図【改修後】	Ｅ － 02	電気設備工事特記仕様書（２）	Ｍ － 02	機械設備工事特記仕様書（２）
Ａ－002	特記仕様書（改修その２）	Ａ － 28	便所改修　平面詳細図・展開図　＜既　存＞	Ｅ － 03	工事区分表	Ｍ － 03	機械設備工事特記仕様書（３）
Ａ－003	特記仕様書（改修その３）	Ａ － 29	便所改修　平面詳細図・展開図　【改修後】	Ｅ － 04	配置図・付近見取図	Ｍ － 04	工事区分表
Ａ－004	特記仕様書（改修その４）	Ａ － 30	部分詳細図	Ｅ － 05	改修前後　電灯盤リスト	Ｍ － 05	配置図・付近見取図
Ａ－005	特記仕様書（改修その５）	Ａ － 31	天井伏図　１階	Ｅ － 06	照明器具姿図	Ｍ － 06	改修後　衛生器具表・機器表
Ａ－006	特記仕様書（改修その６）	Ａ － 32	天井伏図　屋根面	Ｅ － 07	改修後　電灯設備１階・中２階平面図	Ｍ － 07	改修後　給排水・換気設備１階平面図
Ａ － 01	配置図・付近見取図	Ａ － 33	建具表　キープラン	Ｅ － 08	改修後　コンセント設備平面図	Ｍ － 08	改修前　給排水・換気設備１階平面図
Ａ － 02	仕上表－１（防水）	Ａ － 34	建具表－１（アルミ）　＜既　存＞	Ｅ － 09	放送設備　機器姿図-１		
Ａ － 03	仕上表－２（外壁）	Ａ － 35	建具表－１（アルミ）　【改修後】	Ｅ － 10	放送設備　機器姿図-２		
Ａ － 04	仕上表－１（内部仕上）	Ａ － 36	建具表－２（スチール）　＜既　存＞	Ｅ － 11	改修後　放送設備１階平面図		
Ａ － 05	平面図　１階	Ａ － 37	建具表－２（スチール）　【改修後】	Ｅ － 12	改修後　放送設備中２階平面図		
Ａ － 06	平面図　キャットウォーク	Ａ － 38	建具表－３（軽量鋼製建具）	Ｅ － 13	改修後　自火報設備１階平面図		
Ａ － 07	屋根伏図	Ａ － 39	建具表－４（トイレブース）	Ｅ － 14	改修後　自火報設備中２階平面図		
Ａ － 08	矩計図	Ａ － 40	建具表－５（木建）　＜既　存＞	Ｅ － 15	改修前　電灯設備平面図		
Ａ － 09	防水改修　平面図　＜既　存＞	Ａ － 41	建具表－５（木建）　【改修後】	Ｅ － 16	改修前　コンセント設備平面図		
Ａ － 10	防水改修　平面図　【改修後】	Ａ － 42	体育器具　リスト	Ｅ － 17	改修前　放送設備１階平面図		
Ａ － 11	防水改修　部分詳細図	Ａ － 43	体育器具　キープラン	Ｅ － 18	改修前　放送設備中２階平面図		
Ａ － 12	外壁改修　立面図－１	Ａ － 44	舞台装置　リスト・キープラン	Ｅ － 19	改修前　自火報設備１階平面図		
Ａ － 13	外壁改修　立面図－２	Ａ － 45	ユニット　キープラン	Ｅ － 20	改修前　自火報設備中２階平面図		
Ａ － 14	外壁改修　劣化調査図－１	Ａ － 46	ユニット　詳細図				
Ａ － 15	外壁改修　劣化調査図－２	Ａ － 47	外構スロープ　平面・断面詳細図				
Ａ － 16	外壁改修　劣化調査図－３	Ａ － 48	外構スロープ　伏図・軸組図				
Ａ － 17	内部改修　平面詳細図・展開図　玄関ホール、事務室、器具庫	Ａ － 49	仮設計画図＜参考図＞				
Ａ － 18	内部改修　平面詳細図・展開図　柔道場、更衣室－１、更衣室－２						
Ａ － 19	内部改修　平面詳細図　屋内運動場						
Ａ － 20	内部改修　平面詳細図　キャットウォーク						
Ａ － 21	内部改修　展開図　屋内運動場、キャットウォーク－１						
Ａ － 22	内部改修　展開図　屋内運動場、キャットウォーク－２						
Ａ － 23	内部改修　平面詳細図・展開図　舞台、控室－１、控室－２、放送室						
Ａ － 24	内部改修　展開図　舞台、控室－１、控室－２						
Ａ － 25	内部改修　平面詳細図・展開図　ホール						

特記事項

課長	副主幹	主査	担当	

工事名称　市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）　設計図

株式会社 宮下設計事務所　一級建築士事務所
埼玉県知事登録(10)409　管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号
さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号
TEL048(824)3286 FAX048(824)3658
URL http://www.archi-miya.co.jp/

設計　担当

図面名称　図面リスト

縮尺

図面番号　Ａ — 000

ID:25211.19:06:07\a00図面リスト（西中単体）　令和　年　月　日

工事名　市立西中学校屋内運動場改修工事

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　富士見市西みずほ台３丁目地内

2．敷地面積

3．工事種目（建物概要）　体育館：鉄筋コンクリート造平屋建て
延床面積　1,060㎡

4．工事内容
防水改修工事：陸屋根、庇、金属屋根の防水改修工事を行う。
外壁改修工事：下地改修、外壁塗装改修工事を行う。
建具改修工事：アルミ建具の調整、部品交換を行う。
　スチール建具の交換、カバー工法改修を行う。
　木製建具の交換、部品交換を行う。
内部改修工事：床仕上、壁仕上、天井仕上げの撤去、新設他改修工事を行う。
　体育館器具の改修工事、家具の改修工事を行う。
塗装改修工事：内部壁他塗装改修工事を行う。
外構改修工事：スロープの新設工事を行う。

5．工　　期

契約工期	契　約	日から令和 9年 1月29日まで
共通仮設費率の算定に用いる工期		令和 8年 7月 1日から令和 8年11月30日まで
主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間	現場施工に着手するまで	
現場代理人の現場への常駐を要しない期間	現場施工に着手するまで	
現場施工期間	令和 8年 7月 1日から令和 8年11月30日まで	
	ただし、仮設工事等は施設との協議による	

6．工事範囲
※「3．工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3．工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。
　ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。

工事項目＼工事種目	改修工事			
2　仮設工事	●			
3　防水改修工事	●			
4　外壁改修工事	●			
-1　コンクリート打放し仕上げ外壁				
-2 モルタル塗り仕上げ外壁				
-3 タイル張り仕上げ外壁				
-4 塗り仕上げ外壁	●			
-5 外壁用塗膜防水塗り				
5　建具改修工事	●			
6　内装改修工事	●			
7　塗装改修工事	●			
8　耐震改修工事				
9　環境配慮改修工事	●			
10　鉄筋工事	●			
11　コンクリート工事	●			

Ⅱ　建築改修工事仕様

（1）質問回答書、本特記仕様書（改修）及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別共通仕様書」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。
　なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
（2）改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。
（3）本特記仕様書の表記
1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、・印の付いたものを適用する。　・印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　・印と※印の付いた場合は、共に適用する。　・印と※の場合は、・のみを適用する。
3）特記事項に記載の｛　．　．｝内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。
4）特記事項に記載の［　．　．］内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
5）特記事項に記載の（　．　．）内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
6）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、（　　）内は製品名を示す。
7）本工事において、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（最新版）」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針（最新版）」による特定調達品目のうち、「判断の基準」を満たす環境物品等（以下「特定調達物品等」という）を選択するよう努めるものとする。
　なお、G 印は設計図書で定めのある品目を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	①適用基準等	※埼玉県建築工事実務要覧に記載の要領等 ※建築工事監理指針（国土交通省監修）（参考図書） ※建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　令和４年版） なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
	②条件明示事項	保険の種類　[1.1.3] ※法定外の労災保険（工事に従事する者(全ての下請負人を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの） ※建設工事保険等（工事目的物及び工事材料等を対象とするもの） ・　※請負業者賠償責任保険等　・ 保険の期間　※工事完成期日後１４日を含む期間　・
	③工事実績情報の登録	※行う（請負代金額500万円以上、10日以内に登録）　・行わない　[1.1.4] [1.1.8]
	④適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力　風速（Vo=　m/s）　地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ） ・積雪荷重　H12.5.31告示第1455号における区域　別表（　） ・大地震時の非構造部材の変形追従性能を確認する場合の層間変形角 ・1/200　・1/150　・1/120　・　・図示（　） 確認箇所（　）
	5 別契約の関連工事	※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主導的に調整する。[1.1.7] ・監督員指定の別契約工事が行う全体調整に全面的に協力する。
	6 施工に注意を要する区域等	本工事場所は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。[1.1.12、13] ・周知の埋蔵文化財包蔵地　・史跡名勝天然記念物 ・　・
	⑦工事の記録	埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。[1.2.4] [1.6.6] 埼玉県電子納品運用ガイドライン　※適用する（CD-R又はDVD-Rで１部提出） ・適用しない
	⑧電気保安技術者	適用する　[1.3.3] [1.3.1]
	9 施工条件	施工時間　(1.3.5) [1.3.5] ・行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外とする。 ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ※公告に別に添付する＜埼玉県営繕工事における「週休２日制モデル工事」特記仕様書＞を参照のこと 施工時間以外の施工条件 ・図示による　・
	⑩施工中の安全確保	本工事の受注者を、作業が同一の場所において行われることによって生じる労働災害を防止するために必要な措置を講ずべき者（統括安全衛生管理義務者）とする。[1.3.7]
	⑪環境保全等	建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。[1.3.11]
	⑫発生材の処理等	引渡しを要するもの　[1.3.12] [1.1.13] ※無し（全て構外搬出適正処理）　・有り（※図示　・　）
		注 a）発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に報告する。 b）産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。 c）引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。
	⑬県産品の使用	受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は[1.4.2]埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。
	⑭環境への配慮	建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。[1.4.1] [1.4.3] ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-ｎ-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	⑮材料の品質等	※本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。[1.4.2] ※材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定的な供給が可能であること ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」（林野庁 H18.2.15）に準拠した証明書を監督員に提出する。
	⑯石綿含有建材の調査	調査　[1.5.1] ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 貸与資料（　） ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法

材料名	定性分析方法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	定量分析方法 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所

サンプル数　1箇所あたり3サンプル
採取箇所　・図示　・

	⑰技能士	※監督員との協議による。[1.6.2] [1.3.3] 工事種別 ― 適用技能士 仮設工事 ・とび作業 防水改修工事 ・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業 ・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系シート防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・合成ｺﾞﾑ系シート防水工事作業 ○塩化ﾋﾞﾆﾙ系シート防水工事作業 ・ｹｲﾄﾚ系防水工事作業 ・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾁｪ工法防水工事作業 ・左官作業 ・内外装板金作業 外壁改修工事 ・左官作業 ・タイル張り作業 ○建築塗装作業 ・樹脂接着剤注入工事作業 建具改修工事 ・ビル用サッシ工施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業 ・建築フィルム作業 内装改修工事 ○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ・鋼製下地工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・タイル張り作業 ・吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱工事作業 ・保温保冷工事作業 ・壁装作業 塗装改修工事 ○木工塗装作業 ・建築塗装作業 耐震改修工事 ・鉄筋組立て作業 ・型枠工事作業 ・とび作業 ・構造物鉄工作業 その他 ・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業
	⑱化学物質の濃度測定	(1.5.9) [1.7.9] 測定方法 採取及び分析は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者が行う。 ①検体の採取方法　※吸引方式（アクティブ法）又は拡散方式（パッシブ法） ・吸引方式（アクティブ法）　・拡散方式（パッシブ法） ②アクティブ法 ホルムアルデヒドは、ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着／溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法（以下ＨＰＬＣ）により行う。 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法、容器採取法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ／質量分析法（以下ＧＣ／ＭＳ）により行う。 ③パッシブ法 ホルムアルデヒドは、パッシブ採取機器により採取し、ＨＰＬＣ又はガスクロマトグラフ法（以下ＧＣ）あるいはＡＨＭＴ－吸光光度法のうち採取機器に適応した分析法による。 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、パッシブ採取機器により採取しＧＣまたはＧＣ／ＭＳのうち採取機器に適応した分析法による。 測定対象室　○監督員の指定する室（　３室）アリーナ4P、柔道場2P、事務室1P 測定箇所数　※（　１４　）　・図示 測定時期　※工事着手前及び完了後 報告書　※２部　・
	19 中間検査	中間検査　※行う（埼玉県建設工事検査要綱第５条）・行わない　[1.7.2] [1.5.1] 中間検査実施回数（　）　実施段階（　）監督員の指示による 中間検査成績評定　※対象外　・対象（埼玉県建築工事成績評定要領第２）
	⑳完成図等	監督員の指示により埼玉県建築工事監督要綱別表第１に示す書類を原則電子データで提出する。[1.8.1～3] [1.6.1～3] 完成図等の種類及び記入内容 完成(竣工)図（※監督員が指定した設計図面に完成時の状態を表現したもの） 図面情報電子化媒体　※CD-R又はDVD-R、１部 CADデータの形式　※SXF(sfc)　・DXF　○JWW及びPDF （埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領による。CADﾃﾞｰﾀのﾊﾞｰｼﾞｮﾝは監督員と協議する） 保全に関する資料　※１部　・　部（通常取扱いに注意を要するものの使用方法を解説する） 完成写真（埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成する） 埼玉県電子納品運用ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ　※適用する(CD-R又はDVD-Rで1部提出)　・適用しない 撮影者　※監督員の承諾する撮影者　・ 撮影箇所　※外部（　）内部（　） 着工時と完成時の状況を比較できるように撮影する ・埼玉県建築工事写真作成要領別表５ 原本及びアルバムを各1部提出 原本（電子媒体：撮影時のJPEG）及びアルバム（紙媒体又は電子媒体）を各1部提出 パネル入り（外部全景）完成写真　・要　・不要 施設CADデータ　・更新して提出　・更新しない
	㉑保証書	防水工事　※屋上防水　・外壁防水　・金属屋根　・　[1.6.4] 建物引渡し日から10年間、受注者、施工者、材料ﾒｰｶｰの3者連名とし2部提出する。 上記以外　・１部提出
	㉒その他	・予備材料　※監督員の指示による　・ ・下請契約　※全体及び県内に分け、契約数及び契約金額の総計を提出する。
2 仮設工事	1 騒音・粉じん等の対策	・防音パネル　・防音シート　[2.1.3] 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲　※図示　・
	②足場等	[2.2.1] [表2.2.1] 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり掘削き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場　○設置する（設置範囲　○図示　・　）・設置しない 防護シート　○設置する（設置範囲　○図示　・　）・設置しない 内部足場　○設置する（※脚立、足場板等　○棚足場　）・設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 ○Ｅ種） Ｃ種：利用可能なエレベーター（・図示　・　） Ｄ種：利用可能な階段　（・図示　・　） 墜落制止用器具の使用は、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」（厚生労働省 H30.6.22）による。 ○フルハーネス型墜落制止用器具を用いる。 幅が1メートル以上の箇所において足場を使用するときは、原則として本足場を使用する（労働安全衛生規則第561条の2）
	③既存部分の養生	[2.3.1] 既存部分　養生の方法（※ビニルシート、合板等　・　） 既存家具、既存設備等　養生の方法（※ビニルシート等　・　） 既存ブラインド、カーテン等 養生の方法（・ビニルシート等　・　） 保管場所　（・図示　・　） 固定された備品、机、ロッカー等の移動　・図示　・ 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
	4 仮設間仕切り	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　・図示　・　[2.3.2] [表2.3.1] 仮設間仕切りの種別と材質等

種別	下地	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填材
・Ａ種	・木	・せっこうボード（9.5mm）	・無し	※有り
	・軽量鉄骨	種類（　）	・片面	
・Ｂ種		・合板（9.0mm）		
		材種（　）		
※Ｃ種	単管	防炎シート		

充填材：グラスウール32k（厚：50mm以上）

		仮設開仕切りに設ける仮設扉の材質等 材質：※木製　仕上げ：※合板張り程度　塗装：・無し・片面　設置箇所：※図示　・　か所　充填材：・有り・無し 充填材：グラスウール32k（厚：50mm以上）
	⑤現場事務所	規模　・既存建物内の一部を使用　[2.4.1] ○構内に新設　㎡ ※設置しない（下記備品のみ用意する） 備品（　名分相当） ・机　・椅子　・書棚　・黒板　・掛時計　・寒暖計　・長靴　・雨合羽 ・保護帽　・懐中電灯　・簞笥制止用器具　○簞手　・衣類ロッカー ・冷暖房機器　・消火器　・湯沸器　・茶器　・掃除用具　・電話機 ・ＦＡＸ　・電子メール通信機器　・スキャナー　・プリンター
	⑥現場表示板	※設置する（[1.1.12]による表示　・要　・不要）　・設置しない　[2.4.1] [1.1.12]
	⑦工事用水	構内既存の施設　※利用できない　○利用できる（※有償　○無償） ※その仮設に係る費用は受注者の負担とする。
	⑧工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　○利用できる（別途施設調整を行うこと） ※その仮設に係る費用は受注者の負担とする。
	⑨工事用搬入路	※図示　・
	⑩仮囲い	※設置位置等は監督員の指示による　・図示
	⑪交通誘導員	必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。 配置箇所　※監督員の指示による　・図示
	12 快適トイレ	仕様　※図示　・
3 防水改修工事	1 施工数量調査	調査範囲　・図示の範囲　・　[1.6.2、3] 調査方法　・図示　・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示　・ 調査報告書　提出部数　・２部　・
	②降雨等に対する養生方法（とい共）	※[3.1.3] (5) (ｱ)～(ｳ)による　・　[3.1.3]
	③既存防水の処理	[3.1.4] [3.2.3、4、6] 既存保護層の撤去　・行う（範囲　・図示　・　）・行わない 既存防水層の撤去　・行う（範囲　・図示　・　）・行わない 既存露出防水層表面の仕上塗装除去　・行う（・MAAS　・M4AS　・M4C　・M4D）　・行わない 既存塗膜防水層表面の仕上塗装除去　・行う（L4X）　・行わない
	④既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等　・図示　・　[3.2.6] POS工法及びPOSI工法（機械式固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理　※[3.2.6] (4) (ｳ) (g) ①～③による　・
		設備機器架台、配管受部、パラペット、笠木、階段室入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理　・図示　・
	5 アスファルト防水	屋根保護防水　[3.3.2～5] 新設防水層（屋根保護絶縁工法）の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G [9.2.1～3]	絶縁用シート	立上り部の保護
・Ｐ２Ａ	・A-1 ・A-2 ・A-3			※ｶﾞﾗｽﾘﾝﾃｨﾌｪﾙﾑ 厚さ0.15mm 以上 又はﾌﾗｯﾄｻｰﾝｸﾛｽ 70g/㎡程度 ・	・乾式保護材 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ押え ・れんが押え ※JIS R 1250 ・ ・ﾓﾙﾀﾙ押え（壁内）
・Ｐ１Ｂ	・B-1 ・B-2				
・Ｐ２Ａ	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3		（材質） ※JIS A 9521に基づく押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA （ｽｷﾝ層付き） （厚さ）・　mm ・	※ﾌﾗｯﾄｻｰﾝｸﾛｽ 70g/㎡程度 ・	
・Ｐ１Ｂ Ⅰ ・Ｔ１Ｂ Ⅰ	・BI-1 ・BI-2				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※[表3.3.3]から[表3.3.9]による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
　用途による区分　・
　材料による区分　※Ⅱ種
　厚さ（　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※[表3.3.3]から[表3.3.9]による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
　用途による区分　・
　材料による区分　※Ⅱ種
　厚さ（　）mm以上
平場の保護コンクリートの厚さ
　こて仕上げ　※水下　80mm以上　・
　床タイル張り　※水下　60mm以上　・
・乾式保護材
　窯業系パネルⅠ類（厚さ　mm、幅　mm）

屋根露出防水
新設防水層（屋根露出工法）の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料	備考
・Ｍ４Ｃ	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4			（種類・使用量） ※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	
・Ｍ３Ｄ ・ＰＯＤ	・D-1 ・D-2			（種類・使用量） ※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	（脱気装置） ・設ける ・設けない （改修用ﾄﾞﾚﾝ） ・設ける ・設けない
・ＰＯＤⅠ ・Ｍ３ＤⅠ ・Ｍ４ＤⅠ	・DI-1 ・DI-2		[3.3.2(9)] （種類） ・ （厚さ） ・　mm ・	（種類・使用量） ※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	（脱気装置） ・設ける ・設けない （改修用ﾄﾞﾚﾝ） ・設ける ・設けない

高日射反射率防水の適用 G　※適用する　・適用しない
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※[表3.3.3]から[表3.3.9]による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
　用途による区分　・
　材料による区分　※Ⅱ種
　厚さ（　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※[表3.3.3]から[表3.3.9]による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
　用途による区分　・
　材料による区分　※Ⅱ種
　厚さ（　）mm以上
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定　・　（個）

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称	特記仕様書１
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(10)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3266 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 担当	縮尺	
			図面番号	A ― 001

10:29216 15:01:21 特記仕様書（改修工事①） Ver.R7-1

屋内防水
防水層の種別

工法	種別	施工箇所	備考
・Ｐ１Ｅ ・Ｐ２Ｅ	・E-1 ・E-2		保護層　・設ける ・設けない

・E-1の工程3を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位　・　）
押え金物の材質及び形状
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・
屋根排水溝　※図示　・

⑥ 改質アスファルトシート防水

屋根露出防水（既存）　[3.4.2、3]
新設防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G [9.2.1～3]	仕上塗料	備考
・Ｍ４ＡＳ	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			（種類・使用量） ※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様・	
・Ｍ３ＡＳ ・Ｐ０ＡＳ	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3（PO4Sのみ）			（種類・使用量） ※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様・	（脱気装置） ・設ける ・設けない （改修用ﾄﾞﾚﾝ） ・設ける ・設けない
・Ｍ３ＡＳ ・Ｍ４ＡＳ ・Ｐ０ＡＳ	・AS1-T1 ・AS1-J1		（材質） ※JIS A 9521による発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ （厚さ）・　・	（種類・使用量） ※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様・	（脱気装置） ・設ける ・設けない （改修用ﾄﾞﾚﾝ） ・設ける ・設けない

高日射反射率防水の適用 G　※適用する　・適用しない
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※[表3.4.1]から[表3.4.3]による　・
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※[表3.4.1]から[表3.4.3]による　・
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※[表3.4.1]から[表3.4.3]による　・
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
脱気装置の種類及び設置数量
※改質アスファルトシートの製造所の指定による
・種類（　　）、設置数量（　　）個／㎡
押え金物
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定・
設置数量　※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定・　（個）
絶縁断熱工法の防湿用シート　・設置する　・設置しない

⑦ 合成高分子系ルーフィングシート防水

新設防水層の種別　[3.5.2～4][表3.5.1～3]

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料	備考
・PO5 ・S4S	・S-F1 ⊙S-F2 ・S-M1 ⊙S-M2 ・S-M3	立上り 陸屋根		（種類・使用量） ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	（脱気装置） ・設ける　・設けない （改修用ﾄﾞﾚﾝ） ・設ける　・設けない
・S3S	・S-F1 ・S-F2	・ﾌﾞﾚｷｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・ﾌﾞﾚｷｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地		（種類・使用量） ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	（脱気装置） ・設ける　・設けない
・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			（種類・使用量） ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	（脱気装置） ・設ける　・設けない
・P0S1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S1-F1 ・S1-F2 ・S1-M1 ・S1-M2	・ﾌﾞﾚｷｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地	（材質） ※JIS A 9521による発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ （厚さ）・25mm　・50mm	（種類・使用量） ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	（脱気装置） ・設ける　・設けない （改修用ﾄﾞﾚﾝ） ・設ける　・設けない

高日射反射率防水の適用 G　※適用する　・適用しない
・S-M2で立上り面を接着工法とする場合
立上り面のシート厚（※1.5mm　・　）
・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用
※非歩行使用　・軽歩行仕様
・S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム（・設置する　・設置しない）

屋内防水
防水層の種別

改修工法	種別	施工箇所	保護層	
			平場の保護モルタル塗厚	立上り部の保護モルタル塗厚
・P1S	・S-C1		・	※7mm以下 ・

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の
厚さ　（　　）mm
目地割り　（※2㎡程度　最大目地間隔3m程度　・　）
目地の種類（※押し目地　・　）
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ（種類　厚さ　mm以上）
絶縁用シート可塑剤移行防止シートの材質
※発泡ポリエチレンシート　・
固定金具の材質及び寸法形状
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
脱気装置の種類及び設置数量
※ルーフィングシートの製造所の指定による
・種類（　　）、設置数量（　　）個／㎡

接着工法の目地処理
・ＰＣコンクリート下地の場合（　　）
ＰＣコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、S1-F1の場合）
・行う（・図示　・　）　・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑧ 塗膜防水

※特定化学物質障害予防規則の対象とならない材とする　[3.6.2、3]
新設防水層（ウレタンゴム系塗膜防水）の種別

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考
・P0X	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・		（種類・使用量） ※主材料の製造所の仕様・	（脱気装置） ・設ける　・設けない （改修用ﾄﾞﾚﾝ） ・設ける　・設けない
⊙L4X	・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H ・	軒樋　庇	（種類・使用量） ※主材料の製造所の仕様・	（脱気装置） ・設ける　・設けない

高日射反射率防水の適用 G　※適用する　・適用しない
脱気装置の種類及び設置数量
※主材料の製造所の指定による
・種類（　　）
・設置数量（　　）個／㎡

新設防水層（ゴムアスファルト系塗膜防水）の種別

工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様・	・保護モルタル ・保護コンクリート厚さ（　mm）
・P2Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様・	・保護モルタル ・保護コンクリート厚さ（　mm）

⑨ シーリング

シーリング改修工法の種類　[3.1.4][3.7.2、3、7、8]
・シーリング充填工法
・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ボンドブレーカー張り　・適用する　・適用しない
エッジング材張り　・適用する　・適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
建具目地	変性シリコーン系（MS-2）
ガラス目地	シリコーン系（SR-1）
外壁目地、打継目地	ポリウレタン系（PU-2）

仕上げを行わない施工箇所
・図示による　・

シーリング材の目地寸法
※改修標準仕様書3.7.3(1)による
・図示による　・
接着性試験
※簡易接着性試験　・引張接着性試験

注　練り混ぜた2成分形シーリング材は、1組の作業班が1日に行った施工箇所を1ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。

⑩ とい

といその他の材種　[3.8.2、3]
※配管用鋼管　⊙硬質ポリ塩化ビニル管　・ルーフドレン
・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類・　）
・
とい受金物及び足金物の材種、形状、取付け間隔
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）　・
形状
※市販品　・
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による　・
多雪地域　・適用する　・適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法　・図示　・
鋼管製といの防露巻き　※[表3.8.4]による　・

ルーフドレンの種別及び呼び

種別	呼び	施工箇所
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式　・80　・100　・125　・150	
・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式　・80　・100　・125　・150	
・バルコニー中継用	※ねじ込み式　・50　・80　・100	
	・差し込み式　・50　・75　・100	
・バルコニー用	※ねじ込み式　・50　・80　・100	
	・差し込み式　・50　・75　・100	

たてどい受金物の取付　※図示　・
ルーフドレンの取付　※水はけがよく、床面より下げ、周囲の除開にモルタルを充填

11 アルミニウム製笠木

種類　・押出形材形（・押出250形　・押出300形　・押出350形）　[3.9.2、3]
・板材折曲げ形（・オープン形式　・シール形式）
本体幅：（　）mm、板厚（※2.0mm　・　mm）
表面処理　種別　・
着色　・標準色（・アンバー　・ブロンズ　・ブラック系　・ステンカラー）
・特注色（　）
既存笠木等の撤去　・行う（範囲　・図示　・　）　・行わない
下地補修の工法　※図示　・
板材折曲げ形の笠木の取付方法　※図示　・
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑫ 防水工事施工票　[2.1.2]
※設置する（　1ヶ所）（施工年月日は防水工事施工完了日（手直しは除く）を記入）
・設置しない

④ 外壁改修工事

① 施工数量調査

調査範囲　⊙外壁改修範囲　・図示の範囲　[1.6.2、3]
調査時期　⊙外壁仕上げ等除去撤去前　・外壁仕上げ等除去撤去後
調査方法
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びひく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示　・
調査報告書の部数　⊙２部　・

4-1 コンクリート打放し仕上げ外壁

1 ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法　[4.1.4][4.2.4～7]

工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.5未満　低	※200～300　・	・130　・
	0.5以上～1.0以下　中	※200～300　・	・130　・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満　低	・50～100　・	・40　・
	0.3以上～0.5未満　低	・100～200　・	・70　・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下　中	・150～250　・	・130　・
			・

※エポキシ樹脂　低：低粘度形　中：中粘度形

コア抜取り検査　・行う　・行わない
抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき１個　・
抜取り部の補修方法　※図示　・

・Ｕカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料　※１成分形又は２成分形ポリウレタン系　・
ポリマーセメントモルタルの充填　・行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂　・可とう性エポキシ樹脂

2 欠損部改修工法

※充填工法　[4.1.4][4.2.4、7]
・エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル

4-2 モルタル塗り仕上げ外壁

1 既存モルタル塗りの撤去

2 ひび割れ部改修工法

※全面　・図示の範囲　・

・樹脂注入工法　[4.1.4][4.3.5～8]

工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.5未満　低	※200～300　・	・130　・
	0.5以上～1.0以下　中	※200～300　・	・130　・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満　低	・50～100　・	・40　・
	0.3以上～0.5未満　低	・100～200　・	・70　・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下　中	・150～250　・	・130　・
			・

※エポキシ樹脂　低：低粘度形　中：中粘度形

コア抜取り検査　・行う　・行わない
抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき１個　・
抜取り部の補修方法　※図示　・
・Ｕカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料　※１成分形又は２成分形ポリウレタン系　・
ポリマーセメントモルタルの充填　・行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂　・可とう性エポキシ樹脂

3 欠損部改修工法

・充填工法　[4.1.4][4.3.9、10]
・エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル

・モルタル塗替え工法
・現場調合材料
セメントの種類　※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。
・既調合材料（　）
既製目地材　・使用する（形状　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置　※図示　・

4 浮き部改修工法

[4.1.4][4.3.11～16]

工法の種類	アンカーピンの本数（本/㎡）		注入口の箇所数（箇所/㎡）		注入量（ml/箇所）
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	― ・	― ・	※25 ・
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	― ・	― ・	※25 ・
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・充填工法	―	―	―	―	―
・モルタル塗替え工法	―	―	―	―	―

アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
・
注入口付アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm
・
注入工法用材料
・ポリマーセメントスラリー

広がり速度（cm/s）	長さ変化率（収縮）（%）	引張接着性（材齢28日）（N/mm²）	曲げ性能（材齢28日）（N/mm²）	吸水性（72時間）（%）	耐久性（劣化曲げ強さ）（N/mm²）
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

充填工法
※３ 欠損部改修方法の「充填工法」による
・
モルタル塗替え工法
※３ 欠損部改修方法の「モルタル塗替え工法」による
・

4-3 タイル張り仕上げ外壁

1 既存タイル張りの撤去

・外壁タイル張り全面　・図示の範囲
撤去範囲　※下地モルタルまで　・張付けモルタルまで

2 タイルの形状、寸法等

タイルの形状、寸法等　[4.4.5、8]

施工箇所	形状/寸法（mm）	再生材料の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
見本焼き
・行う（施工箇所：　）　・行わない
試験張り
・行う（範囲、仕様等は図示による）　・行わない

3 ひび割れ部改修工法

改修箇所　※既存タイル張り面　[4.1.4][4.4.5、6]
・既存タイル撤去面（・コンクリート面　・モルタル面）

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.5未満　低	※200～300	・130　・
	0.5以上～1.0以下　中	※200～300	・130　・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満　低	・50～100	・40　・
	0.3以上～0.5未満　低	・100～200	・70　・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下　中	・150～250	・130　・
			・

※エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形

コア抜取り検査　・行う　・行わない
抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき１個　・
抜取り部の補修方法　・図示　・

4 欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法　[4.1.4][4.4.5、7、8]
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557 による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・タイル張替え工法
張替え用材料
・JIS A 5557 による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル（・現場調合材料　・既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位置　※改修標準仕様書表4.4.2による　・
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験
・行う　・行わない
・セメントモルタルによるタイル張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
タイルの種類及び工法
・外装タイル（・密着張り　・改良圧着張り）
・ユニットタイル（・マスク張り　・モザイクタイル張り）
シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による。
・
・有機系接着剤によるタイル張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地（※ポリウレタン系　・　）
・伸縮調整目地その他の目地　（※変成シリコーン系　・　）
・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。
目地詰め（※行う　・行わない）
・

5 浮き部改修工法

[4.1.4][4.4.5、9～15][4.5.9～15]

工法の種類	アンカーピンの本数（本/㎡）		注入口の箇所数（箇所/㎡）		注入量（ml/箇所）
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	― ・	― ・	※25 ・
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	― ・	― ・	※25 ・
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	・	・	― ・	― ・	※25 ・
・タイル部分張替え工法	―	―	―	―	―
・タイル張替え工法	―	―	―	―	―

アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
・
注入口付アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm
・
タイル部分張替え工法
※４ 欠損部改修方法の「タイル部分張替え工法」による
・
タイル張替え工法
※４ 欠損部改修方法の「タイル張替え工法」による

6 目地改修工法

・目地ひび割れ部改修工法　[4.1.4][4.4.5、16]
・伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法　・図示　・
シーリングは、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

4-4 塗り仕上げ外壁等

① 既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

[4.5.4]

工法	処理範囲	下地の補修
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体　・図示	⊙ひび割れ改修工法
⊙高圧水洗工法 加圧力　※30MPa程度以上	※既存仕上げ面全体　・図示 （既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする）	・浮き部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体　・図示 ・	⊙欠損部改修工法
・水洗い工法	※上記以外の既存仕上げ面全体　・図示 ・	

下地調整　※下地調整塗材　・ポリマーセメントモルタル　[4.5.2]

・その他特殊な工法等（既存塗膜等に含有する石綿の除去を行う場合など。下地調整含む。）
※図示による　・

② 仕上塗材仕上げ

[4.1.5][4.5.2][表4.5.1]

新規仕上塗材の種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓi	・	・砂壁状
	・可とう形外装薄塗材Ｓi	・	・ゆず肌状（・吹付け・ローラー塗り）
	⊙外装薄塗材Ｅ	・	・さざ波状　・平たん状
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・	・凹凸状（・吹付け・こて塗り）
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け・こて塗り）
	・外装薄塗材Ｓ	・	・砂壁状じゅらく　・京壁状じゅらく
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材Ｃ	・	・吹放し　・凸部処理　・平たん状
	・外装厚塗材Ｓi	・	・凹凸状　・ひき起こし　・かき落とし
	・外装厚塗材Ｅ	・	上塗材　・適用する　・適用しない
	・複層塗材ＣＥ	・	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状
・複層仕上塗材	・可とう形複層塗材ＣＥ	・	
	・複層塗材Ｓi	・	・耐候性　※耐候形３種　・
	・複層塗材Ｅ	・	上塗材
	・複層塗材ＲＥ	・	溶媒　※水系　・溶剤系　・弱溶剤系
	・防水形複層塗材ＣＥ	・	樹脂　※アクリル系　・
	⊙防水形複層塗材Ｅ	・	外観　※つやあり　・つやなし
	・防水形複層塗材ＲＥ	・	・メタリック
		・	
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材Ｅ	・	・平たん状　・さざ波状　・ゆず肌状
	・可とう形改修塗材ＲＥ	・	・耐候性　※耐候形３種　・
	・可とう形改修塗材ＣＥ	・	上塗材
			溶媒　※水系　・溶剤系　・弱溶剤系
			樹脂　※アクリル系　・
			外観　※つやあり　・つやなし　・ﾒﾀﾘｯｸ

③ マスチック塗材塗り

種別　・Ａ種　・Ｂ種　[4.1.5][4.6.2][表4.6.1]

4-5 外壁用塗膜防水材塗り

1 外壁用塗膜防水材塗り

[4.1.5][4.7.2、3][表4.7.1]
仕上げの形状（　）工法（　）
外壁用仕上塗料の耐候性　※JIS A 6909 の耐候形１種相当
・
下地挙動緩衝材の適用　・する　・しない
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による。
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による。
吹付け工法の模様材の種類
・　（・所要量　(kg/㎡)）
外壁用仕上塗料の種類
・　（・所要量　(kg/㎡)）
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による。

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図
株式会社 宮下設計事務所 埼玉県知事登録(10)409　管理建築士 宮下光男　一級建築士事務所	一級建築士事務所	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/

設計	担当

図面名称	縮尺	図面番号
特記仕様書２		A ― 002

10:28209 9 :17:09特記仕様書（改修工事②）Ver07-1

⑤ 建具改修工事

① 改修工法 [5.1.3]

既存建具の種類	かぶせ工法	散去工法	適用箇所
⊙ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具	・	・	⊙建具表による ・
・樹脂製建具	―	・	・建具表による ・
⊙鋼製建具 ⊙外部	・	・	⊙建具表による ・
⊙内部	・	・	⊙建具表による ・
・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による ・
・ステンレス製建具	・	・	・建具表による ・
・木製建具	・	・	・建具表による ・

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方 ※図示 ・
新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 ・
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。
・再使用（・ブラインドボックス ・ ）
② 防火戸 [5.1.4]
適用箇所 ※建具表による ・
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・行う（※建具表による ・ ） ・行わない

3 見本の製作等
建具見本の製作 ・行う（建具符号： ） ・行わない [5.1.5]
建具見本製作の目的等：（ ）
特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ） ・行わない

4 防犯建物部品
適用箇所（・建具表による ・ ） [5.1.7]

⑤ アルミニウム製建具
性能値等 [5.2.2～5][表5.2.1、2]
耐風圧性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
気密性の等級 （ ）（適用する建具 ※建具表による）
水密性の等級 （ ）（適用する建具 ※建具表による）
外部に面する建具の種別

種別	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所
⊙Ａ種	S-4	A-3	W-4	※図示による
・Ｂ種	S-5			※図示による
・Ｃ種	S-6	A-4	W-5	※図示による

防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級 （ ）（適用する建具 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ
断熱性の等級 （ ）（適用する建具 ※建具表による）
枠の見込み寸法 ※建具表による
材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具 種別 ・BB-1種 ・BB-2種 ・
着色 ・標準色 ・特注色
屋内の建具 種別 ・BC-1種 ・BC-2種 ・
着色 ・標準色 ・特注色
結露水の処理方法 ・水貯め式 ・排水式
工法
水切り板、ぜん板等 ※図示 ・

6 網戸等 [5.2.3][5.3.3]

種類	材種	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

7 樹脂製建具
性能値等 [5.2.2][5.3.2～5]
耐風圧性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
気密性の等級 （ ）（適用する建具 ※建具表による）
水密性の等級 （ ）（適用する建具 ※建具表による）
外部に面する建具の種別

種別	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所
・Ａ種	S-4	A-4	W-4	※図示による
・Ｂ種	S-5		W-5	※図示による
・Ｃ種	S-6			※図示による

防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級 ・T-1 ・T-2（適用する建具 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ
断熱性の等級 ・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8
（適用する建具 ※建具表による）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・
枠の見込み寸法 ※建具表による
材料
ガラス ※複層ガラス ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
表面色 ・標準色 ・特注色
工法
水切り板、ぜん板 ※図示 ・

⑧ 鋼製建具
性能値等 [5.2.2][5.4.2、4][表5.4.2]
簡易気密型ドアセット
・適用する（※建具表による ・ ）・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級 （ ）（適用する建具 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ
断熱性の等級 （ ）（適用する建具 ※建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100 ）
（適用する建具 ※建具表による）
材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
大型建具（1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの）
※建具表による ・
上記以外の鋼製建具 ※[表5.4.2]による ・建具表による ・
標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・

⑨ 鋼製軽量建具
性能値等 [5.2.2][5.5.2～4]
簡易気密型ドアセット
・適用する（※建具表による ・ ）・適用しない
防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級 （ ）（適用する建具 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ
断熱性の等級 （ ）（適用する建具 ※建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100 ）
（適用する建具 ※建具表による）
材料
鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ﾋﾞﾆﾙ被膜鋼板 ・ｶﾗｰ鋼板 ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
召合せ、縦小口包み板の材質
※鋼板
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
大型建具（1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの）
※建具表による ・
上記以外の鋼製軽量建具 ※[表5.5.1]による ・建具表による ・
防音性能を求める戸（建具表による）
防音充填剤（グラスウール又はロックウール）
標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・

10 ステンレス製建具
性能値等 [5.2.2][5.4.2][5.6.2～5]
簡易気密型ドアセット
・適用する（※建具表による ・ ）・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ
断熱性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100 ）
（適用する建具 ※建具表による）
材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
表面仕上げ ※ＨＬ ・鏡面仕上げ ・
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

⑪ 木製建具
建具材の加工、組立時の含水率 ※Ａ種 ・ [5.7.2～4]
建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆ ・

・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※改修標準仕様書5.7.2(2)(ｲ)(a)による ・

表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板 Ⓖ	表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等 ・ ） 接着の程度（・１類 ・２類）	
・天然木化粧合板 Ⓖ	樹種名（ ） 接着の程度（・１類 ・２類）	
・特殊加工化粧合板 Ⓖ	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度（・１類 ・２類）	
・MDF Ⓖ		

表面板の厚さ ※[表5.7.6]による ・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
・適用しない ・適用する

・かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・

・ふすま
張りの種別（・Ｉ型 ・Ⅱ型）
上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・

・戸ぶすま
表面板の仕上 ・建具表による ・
見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・

・紙張り障子
見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・

枠及びくつずりの材料 ・建具表による ・

⑫ 建具用金物
金物の種類及び見え掛り部の材質等 [5.8.1～3]
※[表5.8.1]及び適用は建具表による ・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※[表5.8.2]による ・建具表による ・
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※[表5.8.3]による ・建具表による ・
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※[表5.8.4]による ・建具表による ・
木製建具に使用する戸車及びレール
※[表5.8.5]による ・建具表による ・
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置
・建具表による ・図示 ・
錠前類
シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠
クローザ類

⑬ 鍵
マスターキー ・製作する（・新規 ・既存マスター合わせ） ・製作しない [5.8.4]
その他の鍵 ※各室３本１組（室名札付き） ・
鍵箱 ・無 ・有

14 自動ドア開閉装置
戸の開閉方式 [5.9.2、3]
・建具表による ・
・引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.1による （防錆 ・適用する ・適用しない）
・種類・開閉方式（ ） ・耐電圧（ ）
・温度上昇（ ） ・耐久性(サイクル)（ ）
・防錆（ ） ・電源（ ）
・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.2による （防錆 ・適用する ・適用しない）
・耐電圧（ ） ・温度上昇（ ）
・耐久性(サイクル)（ ） ・防錆（ ）
・電源（ ）
・引き戸用検出装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.3による （防錆 ・適用する ・適用しない）
・耐電圧（ ） ・防錆（ ）
・防滴（ ） ・電源（ ）
引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 ・建具表による ・
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房操作スイッチの種類
・大型押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ
凍結防止措置 ・行う ・行わない

15 自閉式上吊り引戸装置
性能 ※[表5.10.1]による ・ [5.10.3]

16 重量シャッター
シャッターの種類 [5.11.2、3]
・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（ ）Pa
開閉方式の種類 ※電動式（手動併用） ・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
電動式シャッターの障害物感知装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）

17 軽量シャッター
開閉形式の種類 ・電動式（手動併用） ※手動式 [5.12.2～4]
耐風圧強度（ ）Pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置 （設置箇所 ・建具表による ・ ）
スラットの材質の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（※Z06又はF06 ・ ）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（※AZ90 ・ ）
スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形

18 オーバーヘッドドア [5.13.2、3]

セクション材料による区分	風圧力による強さの区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）

⑲ ガラス [3.7][5.14.2～4]
適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。
・フロート板ガラス

フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類	※建具表による ・

・型板ガラス

型板ガラスの厚さによる種類	※建具表による ・

・網入板ガラス

網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類	※建具表による ・

・合わせガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類	※建具表による ・
形状による種類	・平面合わせｶﾞﾗｽ・曲面合わせｶﾞﾗｽ
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類	・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類

⊙強化ガラス

形状による種類、材料板ガラスの種類厚さの呼びによる種類及び特性による種類	※建具表による ・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類	・Ⅰ類 ・Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス

板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による ・
性能による種類	・１種 ・２種

・複層ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ	※建具表による ・
断熱性による区分	・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6
日射取得性及び日射遮蔽性による区分	・G ・S
乾燥気体の種類	・空気 ・アルゴン

・熱線反射ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による ・
日射熱遮へい性による区分	・１種 ・２種 ・３種
耐久性による区分（日射熱遮へい性が２種の場合）	・Ａ種 ・Ｂ種

・倍強度ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による ・

⊙ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	⊙シーリング材 ・グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
樹脂製	・グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による

20 ガラスブロック [5.14.5]

呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材の材質及び形状 ※図示 ・
力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) ・
寸法 ※径5.5mm ・
形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・
化粧目地モルタルの色 ・白 ・グレー
シーリングの種類 ・SR-1 ・PS-1
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法 ※図示 ・
形状 ※図示 ・
目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

21 ガラス用フィルム
※施工箇所は建具表による

種類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	その他性能等
・日射調整フィルム Ⓖ	※SC-1	・SC-2	可視光線透過率：65%以上
・低放射フィルム	・LE		
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI-1	・GI-2	
・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1	・GD-2	
・ガラス貫通防止フィルム	・SF		

品質 JIS A 5759 による

熱割れ計算書 ※要 ・不要
第3者機関による性能測定データ ※要 ・不要

⑥ 内装改修工事

① 改修範囲 [6.1.3]
既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま ・図示

② 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]
ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「４章 外壁改修工事」による。
改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・

3 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2]
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※[4.3.10]によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示）
・図示 ・

④ 施工一般
材料のホルムアルデヒド放散量 [6.5.2]
※Ｆ☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ｲ)(b)による

5 製材 Ⓖ [6.5.2]
・JAS 1083-5 に基づく下地用製材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
			※2級 ・	※A種 ・B種 ・	
			※2級 ・	※A種 ・B種 ・	

・JAS 1083-2 に基づく造作用製材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
見え掛り面			※上小節 ・	※A種 ・B種 ・	
見え掛り面以外			※小節以上 ・	※A種 ・B種 ・	
				※A種 ・B種 ・	

・JAS 1083-6 に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
			※1等 ・	※10%以下 ・A種・B種・	
			※1等 ・	※10%以下 ・A種・B種・	

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用
		（ ） 造作材の場合 （※A種・B種）	※A種 ・B種 ・	・する ・しない
		（ ） 造作材の場合 （※A種・B種）	※A種 ・B種 ・	・する ・しない

6 造作用集成材 Ⓖ
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※１等 ・２等	・
					※１等 ・２等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質
							※１等 ・２等
							※１等 ・２等

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下 ・
				※15%以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
						※15%以下 ・
						※15%以下 ・

7 造作用単板積層材 Ⓖ
・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2]

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用
				・する ・しない

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用
			※14%以下 ・	・する ・しない
			※14%以下 ・	・する ・しない

・JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法(mm)

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図
図面名称	特記仕様書３	
縮尺		
図面番号	A ― 003	

株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所
埼玉県知事登録(10)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号
さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号
TEL048(824)3286 FAX048(824)3658
URL http://www.archi-miya.co.jp/

設計 担当

ID:25209 9 :17:42特記仕様書（改修工事③） Ver.R7-1

8 合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板 G [6.5.2]

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
	※5.5・		※1類・2類	広葉樹 ※2等以上・1等 針葉樹 ※C-D以上・	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 G

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	保存処理	防虫処理	強度等級
	※2級以上・1級		※1類・特類	※C-D以上・	※12・		・適用する ・適用しない	・適用する（ ）・適用しない

※屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
			・特類 ・1類	・適用する ・適用しない

※屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 G

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボード G

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※13タイプ・	※PフはM・		※15・

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法(mm)

・MDF G

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

9 接合具等

造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3]
※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し
錆金物の形状、寸法および材質
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
（改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度）
・ （形状： 寸法： 材質： ）

⑩ 接着剤

接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・ [6.5.3、4]

11 防腐・防蟻処理

・薬剤の加圧注入による防腐、防蟻処理 [6.5.5]

適用部材	保存処理性能区分
	・K２ ・K３ ・K４

・薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による・	※JIS K 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（ ）
・合板等の加圧注入処理等の適用
適用部位（ ）

12 不燃処理木材等

不燃等の処理は部材単位で行うこと
・不燃材料
適用部位（部位） ・図示による
・準不燃材料
適用部位（部位） ・図示による
・難燃材料
適用部位（部位） ・図示による

13 内部間仕切軸組及び床組み

間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6.5.6]
※杉又は松 ・
床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松 ・
・土間スラブの類の場合の土台、転ばし大引き及び転ばし根太
※ひのき又は保存処理木材

⑭ 窓、出入口その他

窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6.5.7]
吊元枠、水掛りの下枠及び敷居 ※ひのき ・
その他 ※松又は杉 ・

⑮ 床板張り

・縁甲板及び上がりかまちに用いる樹種名(製材を用いる場合) [6.5.8]
※ひのき
・

⑯ 壁及び天井下地

・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6.5.9]
※杉又は松
・

⑰ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 屋外（※25形 ・19形） 屋内（※19形 ・25形） [6.6.2～4]
屋外の形式及び寸法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・
周辺部の端からの間隔 ・図示 ・
野縁の間隔 ・図示 ・
既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ・（ ）箇所
引張試験にて確認する強度
※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
（ ）N
・行わない

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・
・天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 ・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 ・
補強方法 ※図示 ・

・屋外の天井における耐風圧性を考慮した補強
（補強箇所 ※図示による ・ ）
（補強方法 ※図示による ・ ）

18 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類 [6.7.3、4][表6.7.1]
※[表6.7.1]により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類 ・図示 ・
スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・
出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※[6.7.4](5)による ・

⑲ ビニル床シート G

[6.8.2、3]

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ)・	・無地 ・ﾏｰﾌﾞﾙ柄 ・柄物	※2.0・	

接合部の処理 ※熱溶接工法 ・

⑳ 接着剤（ビニル床シート等）

ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示による
・

21 ビニル床タイル G

[6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
※KT(ｺﾝﾎﾞｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	※2.0 ・3.0 ・	
・TT(単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・	
・FT(複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・2.5 ・3.0	
・FOA(置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・500×500 ・	・4.0 ・	
・FOB(薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・	・	

22 特殊機能床材

[6.8.2]
・帯電防止床シート
種類（ ） 性能（ ） 厚さ(mm)（ ）
・帯電防止床タイル
種類（ ） 性能（ ） 寸法(mm)（ × ） 厚さ(mm)（ ）
・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類（ ） 形状（ ）
・耐動荷重性床シート
種類（ ） 厚さ(mm)（ ）
・防滑性床シート
種類（ ） 厚さ(mm)（ ）
・防滑性床タイル
種類（ ） 寸法(mm)（ × ） 厚さ(mm)（ ）

㉓ ビニル幅木

材質の種類 ○軟質 ・硬質 ・床シート巻上げ(端部の処理は図示による) [6.8.2]
高さ(mm) ※60 ・75 ・100
厚さ(mm) ※1.5以上 ・

24 ゴム床タイル

種類 ・単層品 ・積層品 [6.8.2]
色柄 （ ）
厚さ(mm)（ ）
寸法(mm)（ ）×（ ）

25 下地の工法

改修標準仕様書6.8.3(1)(ｱ)～(ｳ)以外の下地の工法 [6.8.3]
・図示による

㉖ カーペット敷き G

・織じゅうたん [6.9.2、3][表6.9.1]

織り方	パイル形状
・ウィルトンカーペット	・カットパイル
・フェイストゥフェイスカーペット	・ループパイル
・アキスミンスターカーペット	・カット/ループパイル

色柄 ※模様のない無地 ・
パイル糸の繊維種等 ※無地の織りじゅうたんの種別（・A種 ・B種 ・C種）
帯電性 ・適用する ・適用しない
織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い
下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・

・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5～7 ・	・全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・適用する ・適用しない	
・ループパイル	・4～6 ・			
・カット、ループ併用				

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・

・タイルカーペット

パイル形状	種 別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種・第二種		※500× 500・	※6.5・	
・カットパイル	・第一種・第二種		※500× 500・	※6.5・	
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・第一種・第二種		※500× 500・	※6.5・	

タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・
階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・
見切り、押え金物
材質（ ）種類（ ）形状等（※図示 ・ ）

27 合成樹脂塗床

[6.10.2、3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材(弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材(ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床)		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材(ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ
・ｱｸﾘﾙ樹脂塗床(防塵塗料塗り)		※製造所の指定による	表面仕上げ ※平滑 溶剤 ※水性

塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・

28 フローリング張り G

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 [6.11.2～6]
※改修標準仕様書6.11.2.(2)による ・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・
単層フローリング（フローリングボード１等）
工法 ・釘止め工法（・根太張り ・直張り） ・接着工法
樹種 ※なら ・
間伐材等の適用 ・する ・しない
単層フローリング（フローリングブロック１等）
樹種 ・ ・
厚さ(mm) ・ ・
大きさ ・ ・
間伐材等の適用 ・する ・しない
複合フローリング
工法 ・釘止め工法（・根太張り ・直張り） ・接着工法
樹種 ※なら ・
種別 ・A種 ・B種 ・C種
間伐材等の適用 ・する ・しない
接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・
・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

29 畳敷き

[6.12.2]
種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種（畳床：・KT-Ⅰ ・KT-Ⅱ ・KT-Ⅲ ・KT-K ・KT-N）
下地の種類 ・標準仕様書 表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G ）
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳（畳表： ・C１ ・C２ ）

30 せっこうボードその他のボード及び合板張り

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3]
※F☆☆☆☆ ・
合板のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)の(a)～(d)のいずれか ・
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・

木毛セメント板 G

種 類	厚さ(mm)、規格等
・硬質(HW)	・15 ・20 ・25 ・
・半硬(MW)	・15 ・20 ・25 ・
・普通(NW)	・15 ・20 ・25 ・

木片セメント板 G

種 類	厚さ(mm)、規格等
・硬質(HF)	・12 ・15 ・18 ・21 ・
・普通(NF)	・30 ・

繊維強化セメント板

種 類	厚さ(mm)、規格等
・けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK タイプ２（無石綿） ・6 ・8
・化粧けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK タイプ２（無石綿） ・6 ・8 表面への化粧張り等の加工 ・アクリル樹脂系焼付け

火山性ガラス質複層板(VSボード)

種 類	厚さ(mm)、規格等
・火山性ガラス質複層板 ・普通 ・化粧	・図示による

繊維板 G

種 類	厚さ(mm)、規格等
ハードボード スタンダードボード（無処理）	・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(未研磨板(RN)・研磨板(RS)) ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DI) 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
ハードボード テンパードボード（処理）	・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(未研磨板(RN)・研磨板(RS)) ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DE) 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF) G	厚さ ・3 ・7 ・9 ・12
・インシュレーションボード G	A級（・天井仕上げ ・内装仕上げ ・ ） ・9 ・12 ・15 ・18

パーティクルボード G

種 類	厚さ(mm)、規格等
・単板張りパーティクルボード	・無研磨板（VN） ・研磨板（VS） ・10 ・12 ・15 ・18
・化粧パーティクルボード	・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ(OV) ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ(DO) ・塗装(DC) ・10（難燃） ・12（難燃） ・

吸音材料

種 類	厚さ(mm)、規格等
・ロックウール化粧吸音板(DR)	・フラットタイプ（・9(不燃) ・12(不燃) ・ ） ・凹凸タイプ（・12(不燃) ・15(不燃) ・ ）
・ロックウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号	・25 ・
・グラスウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ32K	・25(ガラスクロス包) ・

せっこうボード製品

種 類	厚さ(mm)、規格等
○せっこうボード(GB-R)	○12.5（不燃） ・15（不燃）
・不燃積層せっこうボード(GB-NC)	9.5（不燃） ・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード(GB-S)	12.5（※ 不燃 ・ 準不燃）
・強化せっこうボード(GB-F)	・12.5（不燃） ・15（不燃）
・せっこうラスボード(GB-L)	9.5
○化粧せっこうボード(GB-D)	・木目12.5（不燃）幅 440mm 程度 模様（・柾目 ・板目） 専用下地材有り ○ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様 9.5（準不燃）

合板 G

種 類	厚さ(mm)、規格等
・普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り（※ラワン合板程度 ・ ） 不透明塗料塗り（※しな合板程度 ・ ） 板面の品質 ・ 厚さ(mm) ※図示による ・ 防虫処理 ・行う ・行わない
・天然木化粧合板	化粧板の樹種名 ・ 厚さ(mm) ※図示による ・ 防虫処理 ・行う ・行わない
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装 表面性能 ・（タイプ） 厚さ(mm) ※図示による ・ 防虫処理 ・行う ・行わない

化粧板

○ メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による （※ 1.2 ・ ）
・ ポリエステル樹脂化粧板	

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 ※図示による
合板類の張付け ・A種 ・B種 ・
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類 ※仕上表による

突付け工法及び目透し工法のエッジの種類

突付け工法のエッジの種類	・ベベルエッジ ・スクェアエッジ
目透かし工法のエッジの種類	・ベベルエッジ ・スクェアエッジ

化粧加工の方法（・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・ ）

31 壁紙張り

壁紙のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ [6.14.2、3]

施工箇所	壁紙の種類 紙	織物	塩ﾋﾞｺﾞﾑ	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他	防火種別	備考
	・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種別 ※B種 ・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別 ※B種 ・A種
せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種別 ※B種 ・A種

32 モルタル塗り

モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料 [6.15.3、5、6]
既製目地材 ・設ける 施工箇所（ ）形状（※図示 ・ ）
・設けない
床目地 ・設ける 目地割り ※2㎡程度(最大目地間隔3m程度) ・
種類 ※押し目地 ・
・設けない
壁面の仕上げ厚さは全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理 ※図示による ・

33 タイル張り

伸縮調整目地の位置 [6.16.2～4]
床タイル （※縦、横とも４ｍ以内ごと ・図示 ・ ）
床タイル以外 （・図示 ・ ）

伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改特記仕様書第３章による
試験張り ・行う（範囲、仕様等は図示による） ・行わない
見本焼き ・行う（施工箇所： ） ・行わない
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り

タイルの形状・寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
既調合目地材

壁タイル張りの工法
内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状・寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・

34 セルフレベリング材塗り

塗厚(mm) ・ [6.17.2、3]

35 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構 法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上げ材	備 考
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500・		・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500・		・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称	特記仕様書４
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(10)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 担当	縮尺	図面番号 A — 004

ID:25209 9 :18:14特記仕様書（改修工事④） Ver.R7-1

フリーアクセスフロアスフロアの試験方法
※標準仕様書20.2.2(2)(ｲ)(a)～(d)による ・
寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(ｲ)(a)～(c)による ・
・以下による
パネルの長さの寸法精度（ ）
パネルの平面形状（角度）の寸法精度（ ）
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度（ ）
帯電防止性能
・評価値（U）≧0.6以上
・評価値（U）≧1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗（R）≧1×10^{6}Ω

36 可動間仕切　パネル材料のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆ ・ (20.2.3)

構造形式	構成基材の種類 スﾀｯﾄﾞ	構成基材の種類 パネル	パネル表面仕上げ	遮音性(db/500HZ)	防火性能
・ｽﾀｯﾄﾞ式（内蔵） ・ｽﾀｯﾄﾞ式（露出） ・パネル式 ・スタッドパネル式			・メラミン樹脂焼付又は アクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具 ・あり（※図示 ・ ） ・なし
パネル内に取付ける建具のドアクローザ、丁番、錠前、上げ落しは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。

37 移動間仕切　パネル材料のホルムアルデヒド放射量 ※F☆☆☆ ・ (20.2.4)

構造形式	操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材 材質	パネル表面材 仕上げ	遮音性(dB/500Hz)
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書19章による。
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
・図示
パネルをランナーに取り付ける部品
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
ハンガーレール及びランナー
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの

38 トイレブース　パネル材料のホルムアルデヒド放射量 ※F☆☆☆ ・ (20.2.5)

表面材の種類	脚部種類	ドアエッジの材質	ドアエッジの形状
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	※製造所の標準仕様 ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材	・標準 ・Rタイプ

39 手すり　材料の種類及び仕上げ (20.2.6)
・SUS304 表面処理 ※HL程度 ・
・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき（※標準仕様書 表14.2.2による種別（ 種））
・アルミニウム 表面処理（※標準仕様書 表14.2.1による種別（ 種））
色合等 ・標準色（ ） ・特注色（ ）
手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材（材種： ）	・ｸﾘｱﾗｯｶｰ ・	・30程度・35程度 ・45程度		
・ﾋﾞﾆﾙ製ﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙ	・	・30程度・35程度 ・45程度		
・樹脂被膜ﾀｲﾌﾟ	・	・34φ		

40 階段滑り止め　材種 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 (20.2.7)
・アルミニウム製押出型材 ・
形状 ※タイヤ型（タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂合等） ・タイヤレス製
端部の形状 フラットエンド ・あり ・なし
寸法(幅) ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度
取付け工法 ※接着工法 ・埋め込み工法 ・

41 黒板及びホワイトボード G　・黒板 区分 ※焼き付け ・ (20.2.9)
種類 ・ほうろう ・鋼製 ・
色 ※緑 ・
・ホワイトボード（ ）

42 表示　衝突防止表示 (20.2.11)
・設置場所 ※図示による
形状・寸法（・30Φ ・ ）
材質 （・ステンレス製 ・塩ビシート ）
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 ・
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等(案内用図記号はJIS Z 8210による)
※図示による

43 タラップ　材質及び仕上げ (20.2.12)
・SUS304（スリップ止め加工 ※あり ・なし ）
・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき
（※標準仕様書表 14.2.2による種別（※C種 ・ 種））

44 ブラインド (20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの材種	スラット幅(mm)	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種	幅・高さ取付箇所
・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 G ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・
	・電動	ー				
・縦形	・手動	※2本操作ｺｰﾄﾞ式 ・1本操作ｺｰﾄﾞ式	・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ ・	・80 ・100	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製	・図示 ・
	・電動	ー				

縦型ブラインドのスラットの材質
アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 G とする

45 ロールスクリーン　操作方法 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式 (20.2.15)
幅、高さ、取付箇所 ・図示 ・
材種 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製
品質等 ・
その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による ・
スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする

46 カーテン　(20.2.16)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付け箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ﾌﾞﾚｰﾝひだ	・図示 ・	
					（暗幕）

生地の仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、G とする
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上 ・

47 カーテンレール　材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 (20.2.16)
強さによる区分 ※10-90 ・
仕上げ ※アルマイト ・
形状 ※角形 ・

48 ブラインドボックス及びカーテンボックス　溝幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材種 ・集成材（仕上げ： ）
・アルミニウム製 押出し型材（市販品）
種別（標準仕様書表14.2.1） ・BC-1種 ・BC-2種
色合い ・標準色（ ） ・特注色（ ）
・鋼製（仕上げ： ）

49 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製 ・	・450×450 ・600×600 ・	・一般形	・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ・目地タイプ	・額縁タイプ ・目地タイプ
		・気密形			

50 床点検口

材種	寸法	形式		備考
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き

密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものをとする。

51 くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製 ・	・ステンレス製(SUS304) ・硬質アルミニウム合金 ・	

52 流し台ユニット

材種	寸法(mm) W	寸法(mm) D	寸法(mm) H	備考
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	ー	ー	市販品 ステンレス製 ・1段式 ・

品質・性能 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1 による。
構成材は、JIS A 4420の8 により試験を行ったとき、表1 の規定による。
形状 ※図示 ・

53 鋼製書架及び物品棚

種 類	規 格 等	JIS による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種 ・2種 ・3種
・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種 ・

54 屋内掲示板　枠の材質 ※アルミニウム製 ・
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・

55 洗面カウンター　材種 ・メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材） ・人工大理石
奥行き(mm) ・約450 ・約600

56 防煙垂れ壁　・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

57 収納家具　材質、形状、寸法 ※図示 ・
材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

⑦ 塗装改修工事

① 材料　屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ [7.1.3]
防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所： ）

② 下地調整　塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1～7]
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す ・図示 ・

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
・木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	ー
・鉄鋼面	・RA種（注） ※RB種 ・	ー
・亜鉛めっき面	・RA種（注） ※RB種 ・	ー
・亜鉛めっき面(鋼製建具)	・RA種 ※RB種 ・	ー
ﾓﾙﾀﾙ、せっこうﾌﾞﾗｽﾀｰ面	・RA種 ※RB種 ・	・行う ・行わない
コンクリート面(DP以外) ＡＬＣパネル面	・RA種 ※RB種 ・	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・RA種（注） ・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
コンクリート面(DP)	・RA種（注） ・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	・RA種 ※RB種 ・	ー

(注)DP以外からDPへ塗替える場合の下地調整は、既存塗膜の種類及び劣化状況に応じてRA種(既存塗膜全除去)又はRB種(既存塗膜一部除去)を選定すること。

③ 素地ごしらえ　[7.3.2～7]

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※Ａ種 ・Ｂ種
	透明塗料塗りの場合	・Ａ種 ※Ｂ種
鉄鋼面（DP以外）		・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種
鉄鋼面（DP）		・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種
亜鉛めっき鋼面		・Ａ種 ・Ｂ種
モルタル面及びせっこうプラスター面		・Ａ種 ※Ｂ種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		・Ａ種 ※Ｂ種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）		・Ａ種 ・Ｂ種
コンクリート面（DPのみ）		・Ａ種 ※Ｂ種
せっこうボード面及び	目地：継目処理工法	※Ａ種 ・Ｂ種
その他ボード面	目地：継目処理工法以外	・Ａ種 ※Ｂ種

④ 錆止め塗料塗り　錆止め塗料塗りの種別 [7.4.2、3]

素地面	塗装の種類	塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP（工程の種別は[表7.4.3]） 塗替え	Ａ種	※Ｃ種 ・
	新規見え掛り	Ａ種	※Ａ種 ・
	新規見え隠れ	Ａ種	※Ｂ種 ・
	EP-G（工程の種別は[表7.4.3]） 塗替え	・Ａ種 ※Ｂ種	※Ａ種 ・
	新規見え掛り	・Ａ種 ※Ｂ種	※Ｃ種 ・
	新規見え隠れ	・Ａ種 ※Ｂ種	※Ｂ種 ・
	DP（工程の種別は[表7.4.4]） 塗替え	7.4.2(1)(ｲ)(b)による	・A種（下地調整RA種） ・B種（下地調整RB種） ・C種（下地調整RC種）
	新規	7.4.2(1)(ｲ)(a)による	Ａ種
亜鉛めっき鋼面	SOP（工程の種別は[表7.4.5]） 塗替え	※Ａ種 ・Ｂ種	※Ｃ種 ・
	新規鋼製建具等	※Ａ種 ・Ｂ種	※Ａ種 ・
	新規その他	※Ｂ種 ・	※Ｂ種 ・
	EP-G（工程の種別は[表7.4.5]） 塗替え	Ｃ種 ・	※Ｃ種 ・
	新規鋼製建具等	Ｃ種 ・	※Ａ種 ・
	新規その他	Ｃ種 ・	※Ｂ種 ・
	DP（工程の種別は[表7.4.6]） 塗替え	Ｂ種 ・	ー
	新規	Ｂ種 ・	ー

⑤ 塗装 G　[7.5.2～7.13.2]

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗料の種別 ※1種 ・2種	木部屋外	※Ｂ種 ・	※Ａ種 ・
	木部屋内	※Ｂ種 ・	※Ｂ種 ・
	鉄鋼面	※Ｂ種 ・	※Ｂ種 ・Ａ種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※Ａ種 ・	※Ｂ種 ・
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※Ｂ種 ・	※Ｂ種 ・
・クリヤラッカー塗り(CL)		※Ｂ種 ・Ａ種	※Ｂ種 ・Ａ種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※Ｂ種 ・Ａ種	※Ｂ種 ・Ａ種
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級（ ）級	ー	ー
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（ ）級	ー	ー
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・	・
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※Ｂ種 ・	※Ｂ種 ・Ａ種
	屋内の木部	※Ｂ種 ・	※Ａ種 ・
	屋内の鉄鋼面	※Ｂ種 ・	※Ｂ種 ・Ａ種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※Ａ種 ・	・Ｂ種 ※Ａ種
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※Ｂ種 ・	・Ａ種 ※Ｂ種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※Ｂ種 ・Ａ種	※Ｂ種 ・Ａ種
・ステイン塗り			・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)
・木材保護塗料塗り(WP)		※Ｂ種 ・Ａ種	※Ｂ種 ・Ａ種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾞﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面）の塗替えの場合のしみ止め
※Ｂ種又はC種の場合は[表7.9.1]の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする ・

合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※Ｂ種又はC種の場合は[表7.10.1]の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする ・

注）DP以外からDPへの塗替えは、下地調整の種別に注意すること。

・高日射反射塗料塗り G
下地調整［7.2.2］ ・ＲＡ種 ※ＲＢ種 ・ＲＣ種

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量(kg/㎡)
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りＡ種の工程2の適用
・適用しない
・適用する（着色剤：・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤）
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する ・適用しない
ピグメントステイン塗りの工程等
・製造所の仕様による

8 耐震改修工事

特記仕様書（改修その７～８）による

⑨ 環境配慮改修工事

1 石綿粉じん濃度測定　測定時期、場所及び測定点 [9.1.1]

適用 レﾍﾞﾙ1	適用 レﾍﾞﾙ2	適用 レﾍﾞﾙ3	測定点名称	測定時期	測定場所	測定点（処理作業室ごと）
※	※	・	測定１	処理作業前	処理作業室内	・各2又は3点 ・（ ）点
※	※	・	測定２		施工区画周辺又は敷地境界	・各2点 ・（ ）点
・	・	・	測定３	処理作業中	処理作業室内	・各2点 ・（ ）点
※		・	測定４		ｾｷｭﾘﾃｨｰｿﾞｰﾝ入口	・各1点 ・（ ）点
※	・	・	測定５		集じん・排気装置の装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec下の位置 ・各1点 ・（ ）点
※	・	・	測定６		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点 ・（ ）点
※	※	※	測定７	処理作業後(隔離ｼｰﾄ撤去前)	処理作業室内	・各2点(ﾚﾍﾞﾙ3は各1点) ・（ ）点
※	※	・	測定８		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点
・	・	・	測定９	処理作業後(ｼｰﾄ撤去後)	処理作業室内	・（ ）点
・	・	・	測定10		施工区画周辺又は敷地境界	・（ ）点

さいたま市内で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。

測定方法
・自動測定器による測定
測定4.5 ※ﾊﾟｰﾃｨｸﾙｶｳﾝﾀｰ、粉じん相対濃度計（ﾃﾞｼﾞﾀﾙ粉じん計）、繊維状粒子自動計測器（ｱｽﾍﾞｽﾄﾌｧｲﾊﾞｰﾓﾆﾀｰ）等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

	測定4.5	測定	測定
ﾒﾝﾌﾞﾚﾝﾌｨﾙﾀの直径(mm)	25	47	47
試料の吸引流量(L/min)	5	10	10
試料の吸引時間(min)	30	120	240

2 石綿含有吹付け材の除去（レベル１）　除去対象範囲 ・図示 ・ [9.1.3]
除去工法 ※[9.1.3](2)(ｱ)による ・
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※密封処理 ※湿潤化 ・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

3 石綿含有保温材等の除去（レベル２）　除去工法 [9.1.4]
※[9.1.4](2)による（原形のまま、手ばらしが可能な場合）
除去対象範囲 ・図示 ・
・[9.1.3](2)による（損傷、劣化等で石綿粉塵を発散するおそれがある場合）
除去対象範囲 ・図示 ・
除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置
※密封処理 ※湿潤化 ・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

4 石綿含有成形板の除去（レベル３）　除去対象範囲 ・図示 ・ [9.1.5]
石綿含有けい酸カルシウム板第一種の場合の隔離養生（負圧不要）方法
・ビニールシート等による養生を行う ・
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分（管理型最終処分場）
・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
・埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
・埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

5 石綿含有建築用仕上塗材等の除去（レベル３）　除去対象範囲 ・図示 ・ [9.1.6]
着工前の試験施工 ・行う ・行わない
除去工法（ ）
除去した石綿含有建築用仕上塗材等の飛散防止
※密封処理 ※湿潤化 ・固形化
除去した石綿含有建築用仕上塗材等の処分
・埋立処分（安定型最終処分場）
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

6 PCB含有シーリング材処分

種類	採取する部位・箇所数	備考
・ＰＣＢ含有シーリング 分析調査（第一次判定）	部位 ・図示 ・ 箇所数： 箇所	
・ＰＣＢ含有シーリング 分析調査（第二次判定）	部位 ・図示 ・ 箇所数： 箇所	

詳細は監督員との協議による

7 外断熱改修工事 G　断熱材 [9.2.1～4]
種類（ ）厚さ（ mm）施工箇所（・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放射量 ※F☆☆☆☆ ・
外装材

種類	防火性能	備考

鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。
笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による。
既存外壁の処置
既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない
下地面の清掃 ・行う ・行わない
次張部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による ・
工法
建築基準法に基づき定める風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
不陸等の下地調整 ・
断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による ・
外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による ・
通気層の有無 ・あり（ mm） ・なし
外装材の外壁への取付け ・図示 ・
笠木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による

8 断熱・防露改修工事G　フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 [9.3.2～4]
※F☆☆☆☆ ・
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
工法
・断熱材打込み工法
断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材
種類 ・
厚さ(mm) ・
施工箇所 ・
・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H
厚さ(mm) ・25 ・30 ・
施工箇所 ・図示 ・
・断熱材後張り工法
断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材
種類 ・ 厚さ(mm) ・
・せっこうボード等を張り付けたパネルを使用
材質 ・ ・ 厚さ(mm) ・
・張り付け工法
断熱材の張り付け工法 ・
断熱材へのボードの張付け工法 ・

9 屋上緑化改修工事 G　植栽基盤及び材料 [9.4.2～4]
屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 ・
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 ・
工法
建築基準法に基づき定める風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
かん水装置 ・設置する（種類 ）
既存保護層の撤去 ・行う ・行わない
新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引き渡しの日から1年 ・

10 透水性アスファルト舗装改修工事　適用範囲：歩道 [9.5.2～5、9]
既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 ・

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン G ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂（改修標準仕様書表9.5.1による）	・図示 ・
・フィルター層	・改修標準仕様書9.5.3(2)(ｳ)による	・図示 ・

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験）
・行う ・行わない

・路床安定処理 ・適用する ・適用しない
安定処理の方法 ・置き換え工法（・ ） ・安定処理工法
路床安定処理用添加材料
種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントＢ種 G
・フライアッシュセメントＢ種
・生石灰（・特号 ・1号） ・消石灰（・特号 ・1号）
添加量（ ）kg/m³（目標CBR ※3以上 ・ ）
目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBD試験 ・

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	設計	担当
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/			
埼玉県知事登録(10)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号				

図面名称	縮尺	図面番号
特記仕様書５		A — 005
ID:25209 9 :18:43特記仕様書（改修工事⑤）Ver.R7-1		

安定処理工法に関する試験
安定処理のＣＢＲ試験（配合試験含む）　・行う　・行わない
六価クロム溶出試験　・行う　・行わない

・不織布ジオテキスタイル
単位面積質量　・60g/㎡以上　・
厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
引張強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水係数　・1.5×10^{-1}cm/sec以上　・

試験
路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　・行う　・行わない
（試料採取方法　・変状土　・現状土）
現場ＣＢＲ試験　・行う　・行わない
路床締固め度の試験　・行う　・行わない
六価クロム溶出試験　・行う　・行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ　・図示　・
路盤材料（改修標準仕様書表9.7.3による種別）
・クラッシャラン
・粒度調整砕石
・再生クラッシャラン Ｇ
・再生粒度調整砕石 Ｇ
・クラッシャラン鉄鋼スラグ Ｇ
・粒度調整鉄鋼スラグ Ｇ
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ Ｇ
舗装の構成　・図示　・
舗装の平たん性　※著しく不陸がないもの　・
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

11 舗装版切断時に発生する濁水の処理
（舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書）

濁水の処理
１）受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
種類及び処理量　・図示による
処理方法
・中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却含まず）
・中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入（処理に焼却含む）
２）受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。
共通事項
１）受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
２）受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
３）受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
４）受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。
提出書類等
１）受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
２）受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。
その他
１）濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。
２）受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。
３）疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

10 鉄筋工事

① 鉄筋

鉄筋の種類　(5.2.1)

種類の記号	呼び径（mm）	備考
○SD295	※ D16以下	
・SD345	※ D19以上	
・		
・		

② 溶接金網

形状等　(5.2.2)

種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径（mm）	使用部位
○溶接金網			
・鉄筋格子			

③ 鉄筋の継手

鉄筋の継手方法等　(5.3.4)

部位	継手方法	呼び径（mm）
柱、梁の主筋	・ガス圧接　・機械式継手 ・溶接継手	※ D19以上
耐力壁の鉄筋	・重ね継手　・	
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手　・ガス圧接	
その他の鉄筋（　　）	・重ね継手　・	

継手位置
・図示による（構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1）
基礎梁主筋の継手位置・図5.2　・図5.3　・図5.4
・図示による（　　）　・
柱及び梁の重ね継手の長さ
・図示による（　　）　・
耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ
※図示による（構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(ｳ)）
・図示による（　　）　・
柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所に設ける部分の位置及び施工方法等
・図示による（　　）　・

④ 鉄筋の定着

鉄筋の定着長さ　(5.3.4)
・図示による（　　）

機械式定着工法
運用場所
・図示による（　　）　・
種類
・摩擦圧接接合　・螺合グラウト固定
・鈑合グラウト固定　・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ
※評定等の評価内容による
補強筋形状
※評定等の評価内容による
かぶり厚さ
※評定等の評価内容による
品質確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による

鉄筋の余長の長さ
構造関係共通図（配筋標準図）による。これによらない箇所は図示による。

⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）

最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う）　(5.3.5)
※図示による（構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1）
・図示による（　　）　・

柱及び梁の主筋にD29以上の使用
・あり　適用箇所（　　）
主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する
耐久性上不利な部分（塩害等を受けるおそれのある部分等）
・あり　適用箇所（　　）
・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　　）mm
・

⑥ 各部配筋

※図示による　(5.3.7)

7 ガス圧接

圧接完了後の圧接部の試験　(5.4.10)
外観試験
※行う（全ての圧接部）
抜取試験
※超音波探傷試験（試験方法　標準仕様書5.4.10(ｲ)(a)による）
・引張試験
試験方法　※標準仕様書5.4.10(ｲ)(b)による
・

8 機械式継手

適用箇所　(5.5.3、5)
・図示による（　　）　・
H12建告第1463号に適合する性能
・Ａ級　・
種類
・ねじ式鉄筋継手
充填方式
・無機グラウト方式　・有機グラウト方式　・
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填式継手
・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法
鉄筋相互のあき
※評定等の評価内容による
品質の確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象　※全数
試験項目
・評定等の評価内容による　・
試験方法
・評定等の評価内容による　・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・１組の作業班が１日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする
・
試験の箇所数
・１ロットに対して（　　）箇所
・全数
試験項目　※挿入長さ
試験方法
※JIS Z 3064（鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置
・

9 溶接継手

適用箇所　(5.5.3、5)
・図示による（　　）　・
H12建告第1463号に適合する性能
・Ａ級　・
溶接継手の工法
・図示による（　　）　・
鉄筋相互のあき
・標準仕様書5.3.5(4)による
・評定等の評価内容による
・図示による（　　）

施工完了後の溶接部の試験
・外観試験
試験対象　※全数
試験項目
・評定等の評価内容による　・
試験方法
・評定等の評価内容による　・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・１組の作業班が１日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度とする
・
試験の箇所数
・１ロットに対して（　　）箇所
・全数
試験項目　※内部欠陥の検出
試験方法
※JIS Z 3063（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置
・

11 コンクリート工事

① コンクリートの種類等

類別　(6.2.1)
※Ⅰ類（JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308 に適合したコンクリート）

普通コンクリート　(6.2.1～6.2.4)

設計基準強度（N/mm²）	気乾単位容積質量（t/m³）	スランプ	適用箇所
・24	2.3程度	・15又は18　・18	
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

構造体強度補正値(S)　(6.3.2)
※標準仕様書 表6.3.2による
補正値Ｓ＝３（　月　日～　月　日、　月　日～　月　日）
Ｓ＝６（　月　日～　月　日、　月　日～　月　日）
・

② セメント

種類　(6.3.1)
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントＡ種、シリカセメントＡ種又はフライアッシュセメントＡ種
適用箇所（※下記以外全て　・　）
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352Ｊ/ｇ以下、かつ28日目で 402Ｊ/ｇ以下のものとする。
・高炉セメントＢ種 Ｇ
適用箇所（・1FL より下部（立上り部含む）　・　）
・フライアッシュセメントＢ種 Ｇ
適用箇所（・　）

③ 骨材

アルカリシリカ反応性による区分　(6.3.1)
※Ａ　・Ｂ（コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m³ 以下）

④ 混和材料

・混和剤　(6.3.1)
混和剤の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(a)による　・
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(b)による　・

5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地

打継ぎの位置　(6.6.4)
梁及びスラブ
※スパンの中央又は端から1/4の付近
・図示による（　　）　・
柱及び壁
※スラブ、壁梁又は基礎の上端
・図示による（　　）　・

目地の寸法　(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
・標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)による　・
※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する
・図示による（　　）　・

ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法　(6.8.1)
・図示による（　　）　・

6 湿潤養生

湿潤養生の期間　(6.7.2)
・セメントの種類が普通エコセメントの場合　（　　）日

⑦ コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ　(6.2.5)(6.8.2)

種別	適用箇所
・Ａ種	※図示による（　　）
・Ｂ種	※図示による（　　）
・Ｃ種	※図示による（　　）

コンクリートの仕上りの平たんさ

種別	適用箇所
・ａ種	※図示による（　　）
・ｂ種	※図示による（　　）
・ｃ種	※図示による（　　）

⑧ 打増し厚さ（打放し仕上げ部）

打増し厚さ　(6.8.1)
・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
・20mm　・
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・10mm　・20mm　・
・外装タイル後張り面の打増し処理
・20mm　・
打増し範囲
・図示による（　　）　・

⑨ 型枠

せき板の材料及び厚さ　(6.8.2)
・合板（※12mm　・　）Ｇ
コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。
・断熱材を兼用した型枠の使用
適用箇所　・図示による（　　）　・
・ＭＣＲ工法用シートの使用
適用箇所　・図示による（　　）　・
打増し厚さ　・20mm　・
打増し範囲　・図示による（　　）　・
スリーブの材種・規格等
・図示による（　　）　・

存置期間及び取外し　(6.8.4)
※標準仕様書6.8.4による
・普通エコセメントの場合（※図示による（　　）　・　　）

10 軽量コンクリート

適用箇所　(6.10.1、2)
・図示による（　　）　・
種類
・1種　・2種
気乾単位容積質量
・標準仕様書 表6.10.1による　・
スランプ
※21cm　・

11 寒中コンクリート

適用期間（　月　日～　月　日）　(6.11.1、2)
構造体強度補正値(S)を積算温度を基に定める場合
・図示による（　　）、Ｓ＝（　）・

(6.12.2)

12 暑中コンクリート

適用期間（　月　日～　月　日）
構造体強度補正値(S)
※6N/mm²　・図示による（　　）、Ｓ＝（　）・

13 マスコンクリート

適用箇所　(6.13.1、2)
・図示による（　　）　・
セメントの種類
・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・中庸熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・低熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ
・高炉セメントＢ種　・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄＢ種　・シリカセメント
混和材料の適用
・あり（・標準仕様書6.13.2(2)(ｱ)による　・標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)による
・　）
スランプ
※15cm　・
構造体強度補正値(S)
※標準仕様書表6.13.1による　・

14 無筋コンクリート

コンクリートの種類　(6.14.1)
※普通コンクリート　・
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントＡ種、シリカセメントＡ種又はフライアッシュセメントＡ種
・高炉セメントＢ種 Ｇ
・フライアッシュセメントＢ種 Ｇ
設計基準強度　※18（N/mm²）　・
スランプ　※15cm又は18cm　・
適用箇所
※標準仕様書6.14.1(4)による箇所　・図示による（　　）

15 コンクリートの単位水量測定

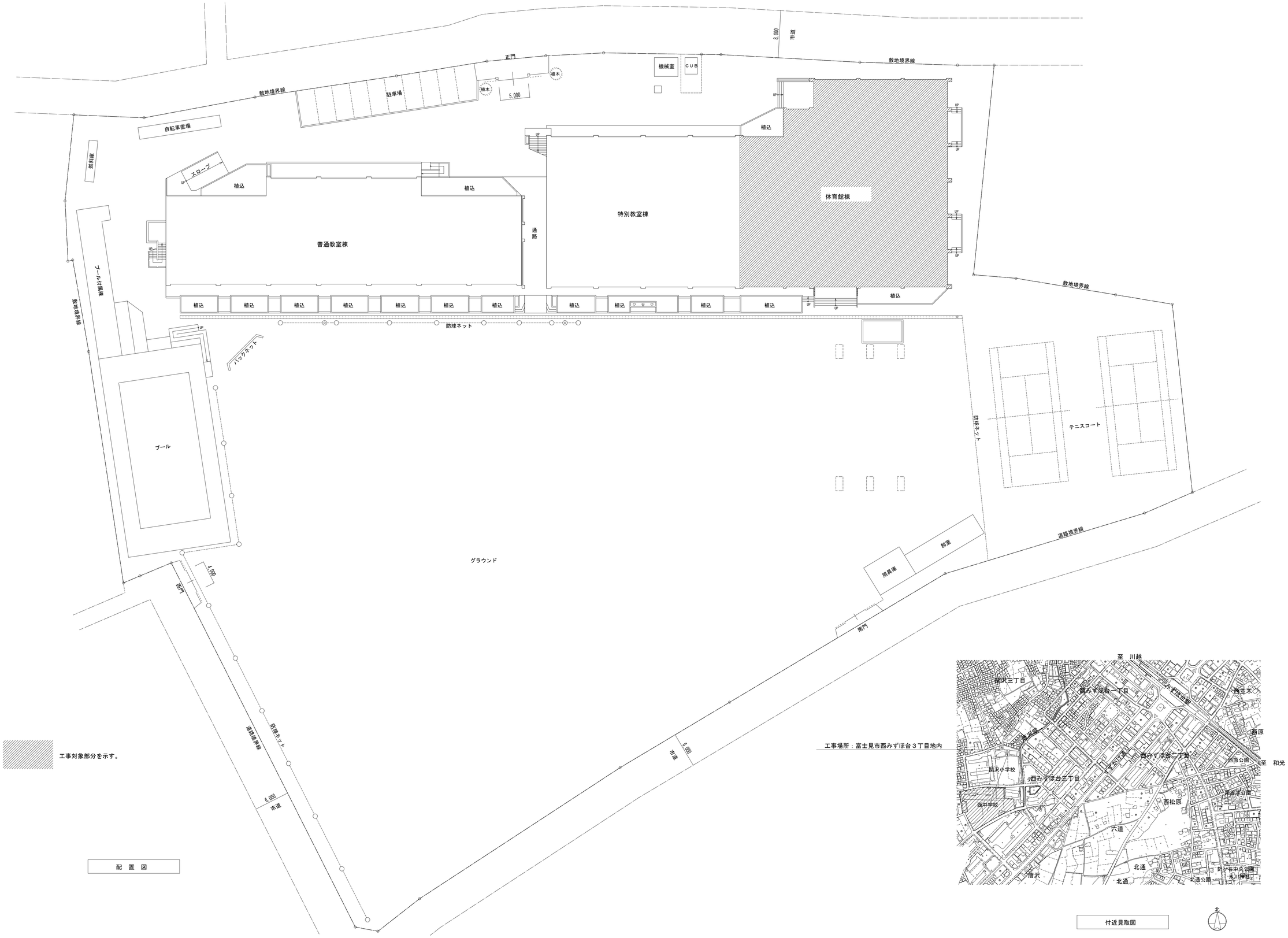
実施要領
(1)単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(ｲ)(c)による。
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。
1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。
2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m³ 以内で安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
3)設計値±20kg/m³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。
(5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、ｴｱﾒｰﾀ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図
株式会社 宮下設計事務所	一級建築士事務所	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/
埼玉県知事登録(10)409　管理建築士 宮下光芳　一級建築士大臣登録第81291号		設計　担当

図面名称	縮尺	図面番号
特記仕様書６		Ａ — 006

ID:25209 9 .19:15特記仕様書（改修工事系） Ver.R7-1



特記事項			
	工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図
	図面名称	配置図・付近見取図	
	縮尺	A1：1/300 A3：1/600	
	図面番号	A — 01	

株式会社 宮下設計事務所　一級建築士事務所
埼玉県知事登録(1)409　管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号
さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号
TEL048(824)3286 FAX048(824)3658
URL http://www.archi-miya.co.jp/

設計　担当

ID:25 12 16 1509:39 01-配置図　令和　年　月　日

外部仕上表

既　存 ➡ 改修後

部　位		下層 ↓ 表層 既存下地・仕上	下層 ↓ 表層 下地処理	下層 ↓ 表層 防水改修	下層 ↓ 表層 仕上改修	金物	備　考
陸屋根	平場	コンクリート直押え	高圧水洗浄	塩ビ露出シート防水　機械固定工法　Ｓ－Ｍ２		平場固定金物	
		アスファルト防水	目地埋め貧調合モルタル	高反射・高耐久塗料仕上		端部金物	
		エアモルタルｔ100押え				SUS脱気筒	
		塩ビ伸縮目地					
	立上	コンクリート直押え	高圧水洗浄	塩ビ露出シート防水　密着工法　Ｓ－Ｆ２		端部金物・シール	丸環周囲シール打替え
		アスファルト防水	樹脂モルタル塗布	高反射・高耐久塗料仕上			
		レンガ積押え					
		モルタル金ゴテ					
	排水溝	コンクリート直押え	高圧水洗浄	塩ビ露出シート防水　密着工法　Ｓ－Ｆ２			
		アスファルト防水	樹脂モルタル塗布	高反射・高耐久塗料仕上			
		エアモルタルｔ100押え					
		排水溝モルタル金ゴテ					
	笠木 立上笠木	コンクリート打放	高圧水洗浄	露出ウレタン塗膜防水　密着工法　Ｘ－２		水切テープｔ0.14	
		複層塗材Ｅ塗装	ひび割れ補修：Ｕカットシーリング充填工法	端末シール（立上壁取り合い部）			
			欠損部補修：エポキシ樹脂モルタル充填工法	高反射・高耐久塗料仕上			
			樹脂モルタル塗布				
	ルーフドレン	鋳鉄製ドレン（横引・竪引）	樹脂モルタル塗布			改修用ドレンφ100用（横引・竪引）	
		上皿				ストレーナ	
軒樋	平場	コンクリート下地	高圧水洗浄	露出ウレタン塗膜防水　密着工法　Ｘ－２			
		露出シート防水	樹脂モルタル塗り不陸調整	端末シール（立上壁取り合い部）			
				高反射・高耐久塗料仕上			
	立上	コンクリート下地	高圧水洗浄	露出ウレタン塗膜防水　密着工法　Ｘ－２			
		露出シート防水	樹脂モルタル塗布	端末シール（立上壁取り合い部）			
		アルミ端末金物		高反射・高耐久塗料仕上			
	ルーフドレン	鋳鉄製ドレン	樹脂モルタル塗布			改修用ドレンφ100用	
		上皿（残置ボルト）				ストレーナ	
金属屋根	勾配屋根	ドリゾール板ｔ５０＜耐火Ｒ００１７＞	全面サンディング	露出ウレタン塗膜防水　吹付け工法			
		アスルーフィング２０ｋｇ	高圧水洗浄	高反射・高耐久塗料仕上			
		長尺カラー鉄板＃２８・瓦棒葺き					
		アスファルト系防錆防食塗料塗					
	役物	長尺カラー鉄板＃２８	全面サンディング	露出ウレタン塗膜防水　吹付け工法			
		アスファルト系防錆防食塗料塗	高圧水洗浄	高反射・高耐久塗料仕上			
	立上	コンクリート打放	高圧水洗浄	露出ウレタン塗膜防水　密着工法　Ｘ－２			
		複層塗材Ｅ塗装	ひび割れ補修：Ｕカットシーリング充填工法	端末シール（立上壁取り合い部）			
			欠損部補修：エポキシ樹脂モルタル充填工法	高反射・高耐久塗料仕上			
			樹脂モルタル塗布				
庇	平場 立上	コンクリート打放	高圧水洗浄	露出ウレタン塗膜防水　密着工法　Ｘ－２			
		複層塗材Ｅ塗装	ひび割れ補修：Ｕカットシーリング充填工法	端末シール（立上壁取り合い部）			
			欠損部補修：エポキシ樹脂モルタル充填工法	高反射・高耐久塗料仕上			
			樹脂モルタル塗布				

備　考

凡　例　：　撤去する建材を示す

　　撤去する建材の内、アスベスト含有建材を示す

特記事項　：　外装・内装仕上色については色分けを予定。監督員と協議の上、色分けを決定すること。

　　：　部分的な解体、改修は各平面詳細図・展開図による。

　　：　ビニル巾木はアスベストを含有する接着剤、下地調整材共に除去する。

　　：　便所壁タイルはアスベストを含有する接着材共に除去する。

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 担当
埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号		

図面名称	縮尺	図面番号
仕上表－１（防水）	A1：1/100 A3：1/200	Ａ — ０２

10:25 12 16 1510:13 02-仕上表-1（防水）　令和　年　月　日

外部仕上表

既　存 ➡ 改修後

部　位		下層 ↓ 表層　既存下地・仕上	下層 ↓ 表層　下地処理	下層 ↓ 表層　防水改修	下層 ↓ 表層　仕上改修	金物	備　考
外壁	外壁	コンクリート打放	劣化部除去：高圧水洗工法		下地調整材Ｃ－２塗布		
		複層塗材Ｅ塗装	ひび割れ補修：自動式低圧エポキシ樹脂注入		防水型複層塗材Ｅ吹付		
			欠損部補修：エポキシ樹脂モルタル充填工法				
	外巾木	モルタル金ゴテｈ800	高圧水洗浄		樹脂モルタル塗布		
			ひび割れ補修：自動式低圧エポキシ樹脂注入				
			欠損部補修：エポキシ樹脂モルタル充填工法				
	軒裏	コンクリート打放	劣化部除去：高圧水洗工法		外装薄塗材Ｅ吹付		
		外装薄塗材Ｅ塗装	ひび割れ補修：自動式低圧エポキシ樹脂注入				
			欠損部補修：エポキシ樹脂モルタル充填工法				
	目地	シーリング		シーリング再充填			
	竪樋	支持金物				金属拡張アンカー	
		ＶＰ１００φ				支持金物	
						ＶＰ１００φ（カラー）	
	養生管	鋼管１２５Ａ　H2,000			下地調整ＲＢ種		
		ＳＯＰ塗装			ＤＰ塗装		
	Exp-Jカバー	ＳＵＳカバー		シーリング再充填			
		周囲シーリング					
玄関ポーチ	床	モルタル下地			高圧水洗浄		
		磁器質タイル２００口張り					
		段鼻ＮＳタイル張					
	壁	モルタル下地			高圧水洗浄		
		装飾タイル張り					
ポーチ テラス	床 踏面・蹴込	モルタル金ゴテ仕上			高圧水洗浄		
		段鼻ＮＳタイル張					
	壁	モルタル金ゴテ仕上	劣化部除去：高圧水洗工法		樹脂モルタル塗布		
			ひび割れ補修：自動式低圧エポキシ樹脂注入				
			欠損部補修：エポキシ樹脂モルタル充填工法				

備　考

凡　例　：　撤去する建材を示す

撤去する建材の内、アスベスト含有建材を示す

特記事項　：　内装仕上色については色分けを予定。監督員と協議の上、色分けを決定すること。

：　部分的な解体、改修は各平面詳細図・展開図による。

：　ビニル巾木はアスベストを含有する接着剤、下地調整材共に除去する。

：　便所壁タイルはアスベストを含有する接着材共に除去する。

特記事項

工事名称　市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）　設計図

株式会社 宮下設計事務所　一級建築士事務所
埼玉県知事登録(11)409　管理建築士 宮下光秀 一級建築士大臣登録第81291号
さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号
TEL048(824)3286 FAX048(824)3658
URL http://www.archi-miya.co.jp/

設計　担当

図面名称　仕上表－２（外壁）

10:25 12 16 1510:35 03-仕上表-2（外壁）　令和　年　月　日

縮尺　A1：1/100　A3：1/200

図面番号　A — 03

内部仕上表

上段：既存下地・仕上
下段：改修下地・仕上

棟	階	室名	床	巾木	壁	壁（２）	天井	梁　型	廻縁	天井高	備考
屋内運動場	1	玄関ホール	コンクリート直押(モノリシック工法)・ビニル床シート	ビニル巾木ｈ75	モルタル金ゴテ・ＶＰ塗装		ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.0	石膏ボードｔ9.0直張・ＶＰ塗装	塩ビ	2,700	
			下地補修・ビニル床シートｔ2.0	ビニル巾木ｈ75	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装		ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.5	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装＜劣化部補修＞	塩ビ	2,700	
		（たたき）	人造石研出し・真鍮目地棒入	テラゾブロックｈ150							
			－	－							
		事務室	コンクリート直押(モノリシック工法)・ビニル床シート	ビニル巾木ｈ75	モルタル金ゴテ・ＶＰ塗装		ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.0	石膏ボードｔ9.0直張・ＶＰ塗装	塩ビ	2,600	
			下地補修・ビニル床シートｔ2.0	ビニル巾木ｈ75	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装		ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.5	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装＜劣化部補修＞	塩ビ	2,600	
		用具庫	空練りモルタル・ブナフローリングブロック・ＰＰ塗装	ラワンｈ150・ＯＰ塗装	モルタル金ゴテ・ＶＰ塗装		スタイロフォームｔ25・ひる石吹付・吸音ＰＢｔ9.5	石膏ボードｔ9.0直張・ＶＰ塗装	塩ビ	2,950	
			サンダ掛け・ウレタン塗装（油性１液３回塗装）	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装		下地調整・ＥＰ塗装	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装＜劣化部補修＞	－		
		柔道場	鋼製床組・下張合板ｔ15.0・フローリング合板ｔ18.0特殊張・ＰＰ塗装	ラワンｈ140・ＯＰ塗装	シナ合板ｔ5.5目透し張り・ＯＰ塗装	モルタル金ゴテ・ＶＰ塗装	スタイロフォームｔ25・ひる石吹付・吸音ＰＢｔ9.5	石膏ボードｔ9.0直張・ＶＰ塗装	塩ビ	3,220	既存タタミ撤去
			サンダ掛け・ウレタン塗装（油性１液３回塗装）	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整・ＥＰ塗装	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装＜劣化部補修＞	－		タタミ新設
		更衣室－１，－２	コンクリート直押(モノリシック工法)・ビニル床シート	ビニル巾木ｈ75	モルタル金ゴテ・ＶＰ塗装		ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.0		塩ビ	2,700	
			下地補修・ビニル床シートｔ2.0、防滑性ビニル床シートｔ2.5	ビニル巾木ｈ75	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装		ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.5		塩ビ	2,700	
		屋内運動場	鋼製床組・下張合板ｔ15.0・フローリング合板ｔ18.0特殊張・ＰＰ塗装	ラワンｈ150・ＯＳ塗装	有孔ラワン合板ｔ5.5・ＯＳ塗装		ドリゾール板ｔ50・ＯＰ吹付塗装				
			鋼製床組み・構造用合板(針葉樹)ｔ15.0・構造用合板(ﾗﾜﾝ)ｔ12.0・体育用床シート	下地調整・ＵＣ塗装	下地調整・ＯＳ塗装		－				
					化粧合板ｔ13.5相決り（塗装品）		鉄骨現わし・ＳＯＰ塗装				
					下地調整・ＵＣ塗装		下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装				
		舞台	鋼製床組・下張合板ｔ15.0・フローリングｔ18.0特殊張・ＰＰ塗装	ラワンｈ150・ＯＳ塗装	有孔ラワン合板ｔ5.5・ＯＳ塗装		鋼製ブドウ棚・ＳＯＰ塗装			5,380	
			サンダ掛け・ウレタン塗装（油性１液３回塗装）	下地調整・ＵＣ塗装	下地調整・ＯＳ塗装		下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装				
		控室－１，－２	鋼製床組・下張合板ｔ15.0・フローリングｔ18.0特殊張・ＰＰ塗装	ラワンｈ150・ＯＳ塗装	打放・吹付タイル	シナ合板ｔ5.5目透し張り・ＯＰ塗装	ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.5			4,950～5,400	
			サンダ掛け・ウレタン塗装（油性１液３回塗装）	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装	下地調整・複層塗材Ｅ塗装	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装	－				
		放送室	鋼製床組・下張合板ｔ15.0・木造床組・ビニル床シート	ラワンｈ100・ＯＳ塗装	有孔ラワン合板ｔ5.5・ＯＳ塗装		ＬＧＳ下地・繊維板系吸音テックス		塩ビ	2,400	
			下地補修・ビニル床シートｔ2.0	下地調整・ＵＣ塗装	下地調整・ＯＳ塗装		ＬＧＳ下地・石膏ボードｔ9.5・ＲＷ吸音板ｔ9.0		塩ビ	2,400	
		ホール	コンクリート直押(モノリシック工法)・ビニル床シート	ビニル巾木ｈ75	モルタル金ゴテ・ＶＰ塗装		ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.0	石膏ボードｔ9.0直張・ＶＰ塗装	塩ビ	2,600	
			下地補修・ビニル床シートｔ2.0、一部タイルカーペット貼	ビニル巾木ｈ75	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装		ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.5	劣化部補修・塗替え	塩ビ		
		通路	コンクリート直押(モノリシック工法)・ビニル床シート	ビニル巾木ｈ75	モルタル金ゴテ・ＶＰ塗装		ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.0・ＥＰ塗装		塩ビ	2,700	
			－	－	－		ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.5		塩ビ	2,700	
		男子、女子便所 多目的便所	モルタル下地・モザイクタイル張り	モザイクタイル張りｈ150	モルタル下地・半磁器質タイル100口張り	打放・吹付タイル	ＬＧＳ下地・フレキシブルボードｔ4.0目透し張り・ＥＰ塗装		塩ビ	2,600	
			ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘｭ10・乾式床組・ﾊｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞｔ20・耐水合板ｔ12×2・ビニル床シートｔ2.0(抗菌・防汚・消臭・防滑)	ＳＵＳ巾木ｈ60	耐水ＰＢｔ12.5直張・メラミン化粧板ｔ3.0	耐水ＰＢｔ12.5直張・メラミン化粧板ｔ3.0	ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.5		塩ビ	2,550	
		（間仕切り壁）									
					ＬＧＳ下地・耐水ＰＢｔ12.5・メラミン化粧板ｔ3.0						
	2	キャットウォーク	木製床組・下張合板・ビニル床シート		打放・吹付タイル			打放・吹付タイル		3,720	暗幕　※全数
			－	木巾木ｈ60・EP-G塗装	下地調整・複層塗材Ｅ塗装			下地調整・複層塗材Ｅ塗装			遮光一級品暗幕１．５倍ヒダ　※全数

備　考

凡　例　：　撤去する建材を示す

撤去する建材の内、アスベスト含有建材を示す

特記事項　：　内装仕上色については色分けを予定。監督員と協議の上、色分けを決定すること。
：　部分的な解体、改修は各平面詳細図・展開図による。
：　ビニル巾木はアスベストを含有する接着剤、下地調整材共に除去する。
：　便所壁タイルはアスベストを含有する接着材共に除去する。

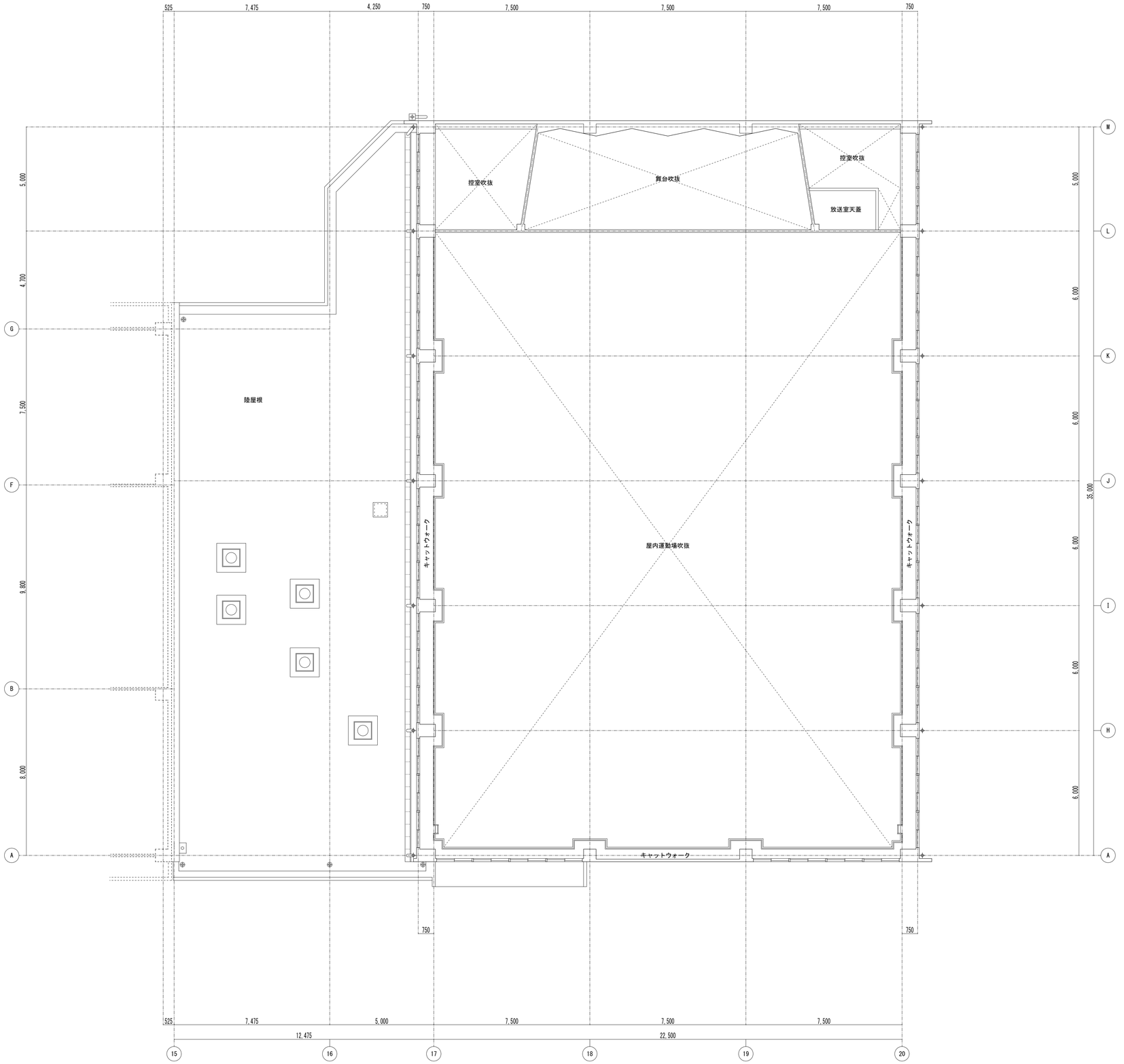
特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 埼玉県知事登録(11)409　管理建築士 宮下光芳	一級建築士事務所 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計　担当
図面名称	仕上表－３（内部仕上）	縮尺	A1：1/100 A3：1/200
図面番号	A ― 04		
ID:25 12 16 1510:56 04-仕上表-3（内部）	令和　年　月　日		



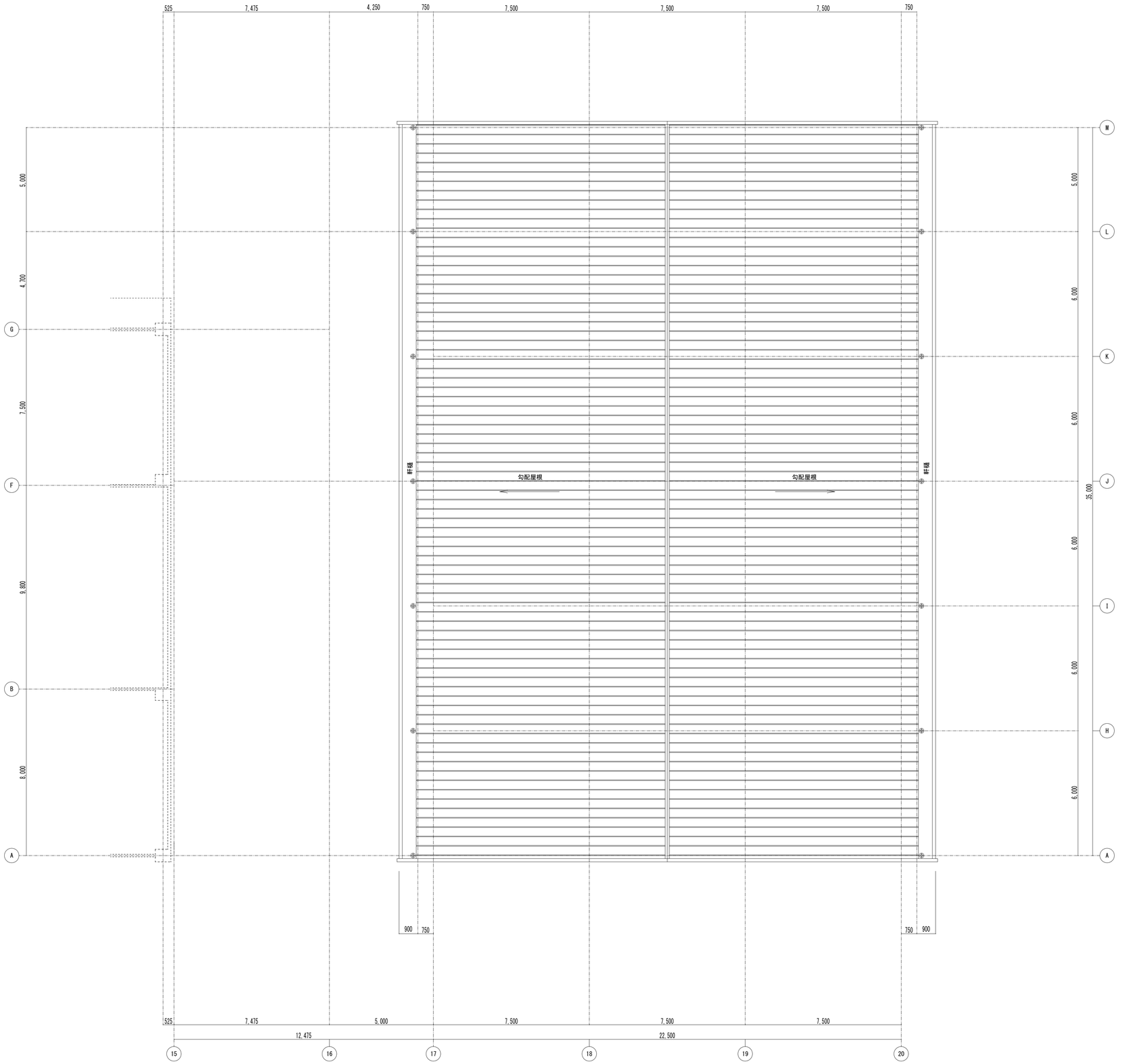
北

特記事項	工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称	縮尺	図面番号
	株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 担当	平面図 １階 ID:25 12 16 1511:14 05-平面図-1 令和 年 月 日	A1：1/100 A3：1/200	A — 05



特記事項

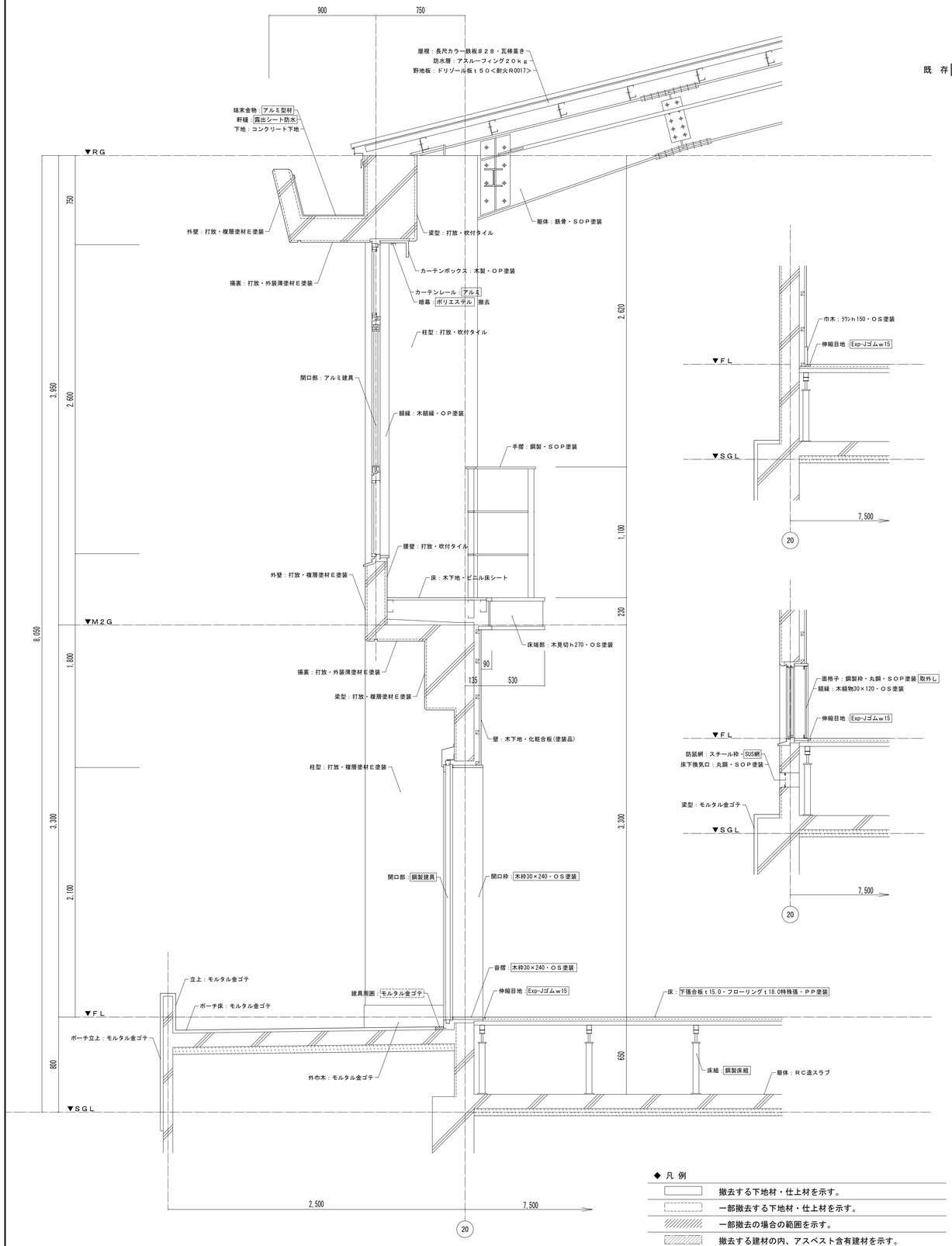
工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）		設計図
株式会社 宮下設計事務所 埼玉県知事登録(11)409　管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	一級建築士事務所	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計　担当
図面名称	平面図　キャットウォーク		
縮尺	A1：1/100 A3：1/200		
図面番号	A — 06		
ID 25 12 16 1511 33 06-平面図-2	令和　年　月　日		

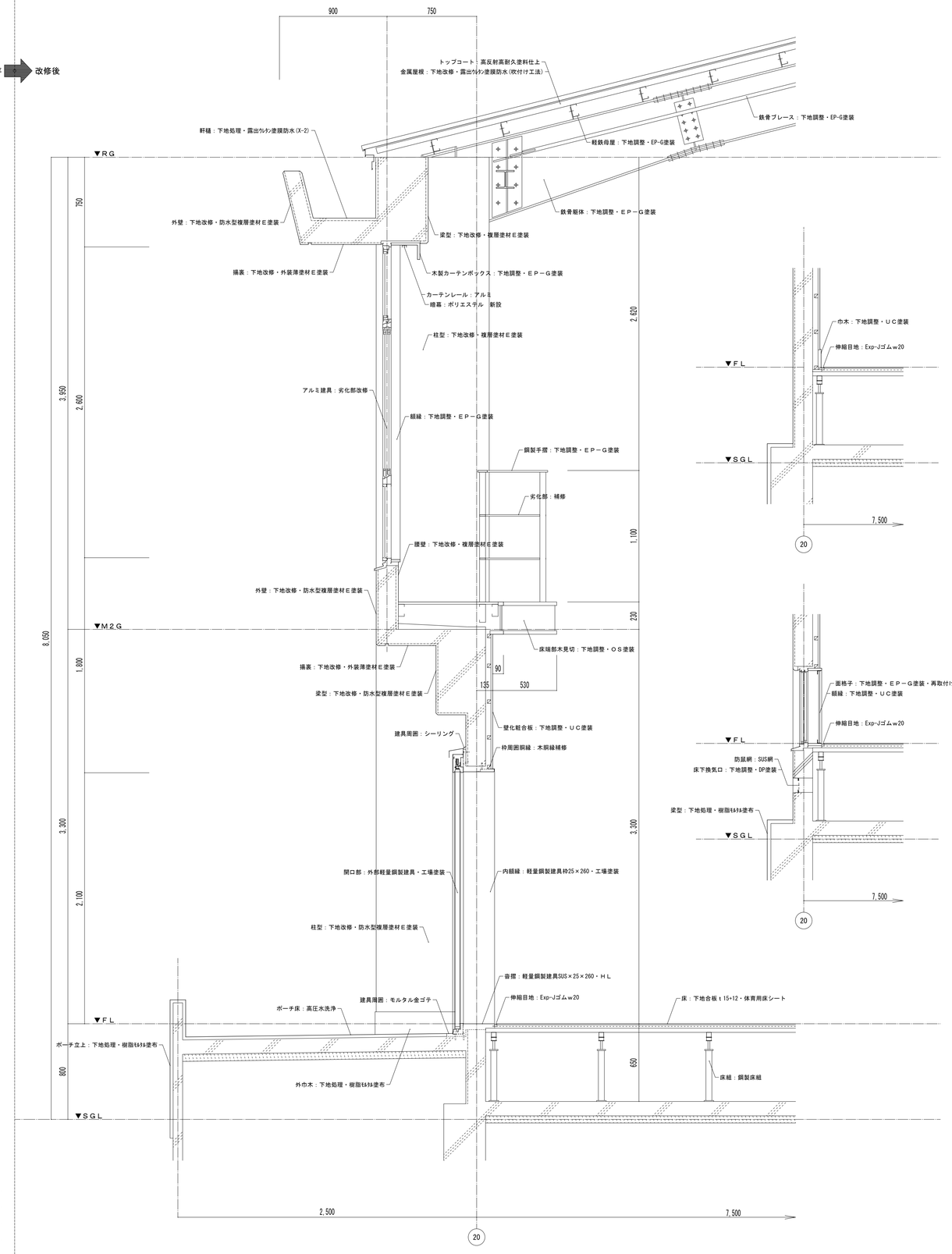


特記事項	工事名称 市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務） 設計図		図面名称	縮尺
	株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所	設計 担当	屋根伏図	A1：1/100 A3：1/200
	埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号		ID:25 12 16 1511:54 07-平面図-3 令和 年 月 日	図面番号 A — 07

さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号
TEL048(824)3286 FAX048(824)3658
URL http://www.archi-miya.co.jp/

既存 ⇒ 改修後





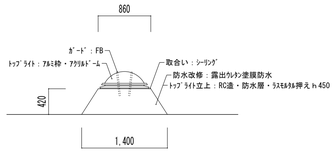
特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）		設計図
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号			

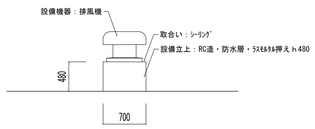
図面名称	縮尺	図面番号
矩計図	A1：1/20 A3：1/40	A — 08

10:25 12 16 1512:54 08-矩計図-1　　令和　年　月　日

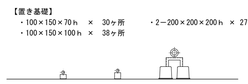
屋上構造物　S＝1/50



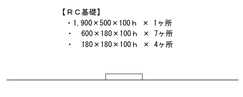
H　ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ



I　設備架台

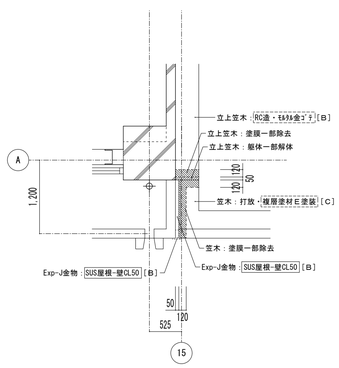


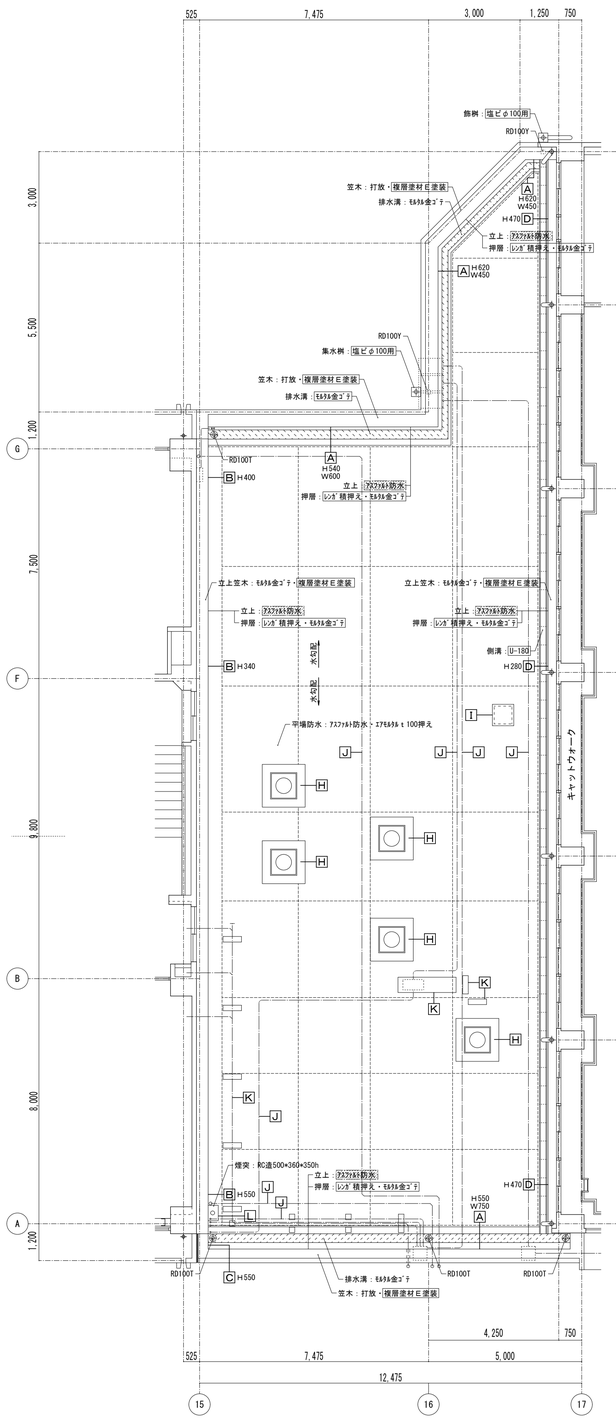
J　電気設備基礎



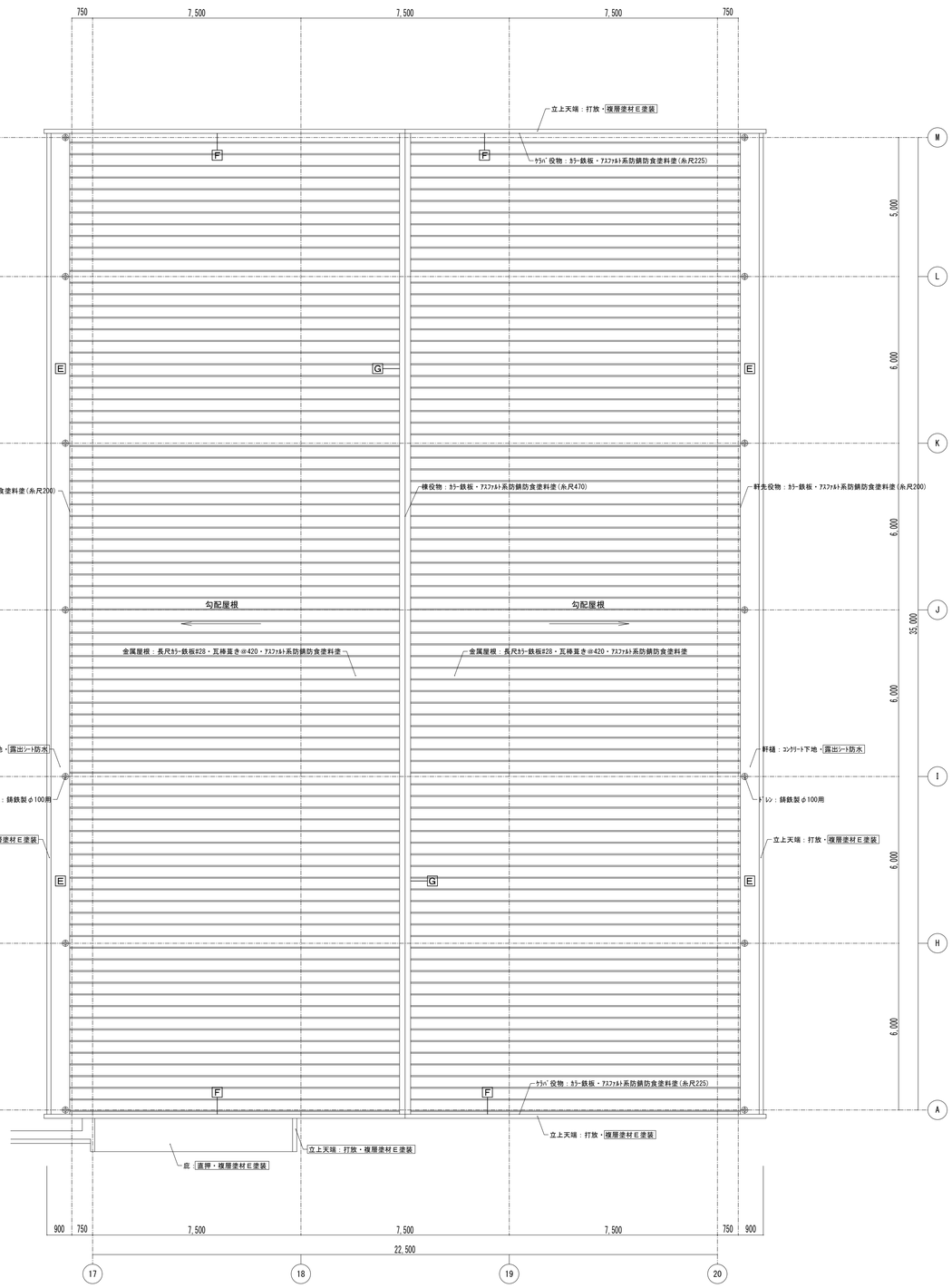
K　機械設備基礎

C　Exp-J金物　S＝1/50





陸屋根　屋根伏図



金属根　屋根伏図

◆ 凡 例

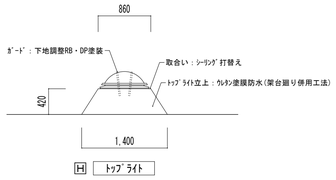
	撤去する下地材・仕上材を示す。
	一部撤去する下地材・仕上材を示す。
	一部撤去の場合の範囲を示す。
	撤去する建材の内、アスベスト含有建材を示す。

◆特記事項　：　改修範囲は全面とする。

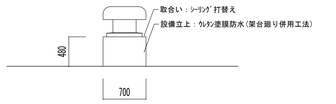
特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所　一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409　管理建築士 宮下光芳　一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	防水改修　平面図　＜既　存＞	縮尺	図面番号
10:25 12 16 15:13:23 09-防水改修平面-1	令和　年　月　日	A1：1/100 A3：1/200	A ― 09

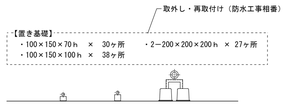
屋上構造物　S＝1/50



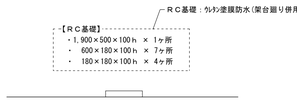
H　トップライト



I　設備架台

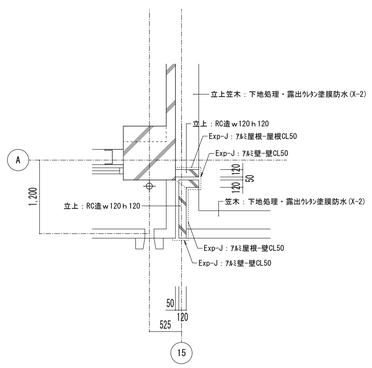


J　電気設備基礎

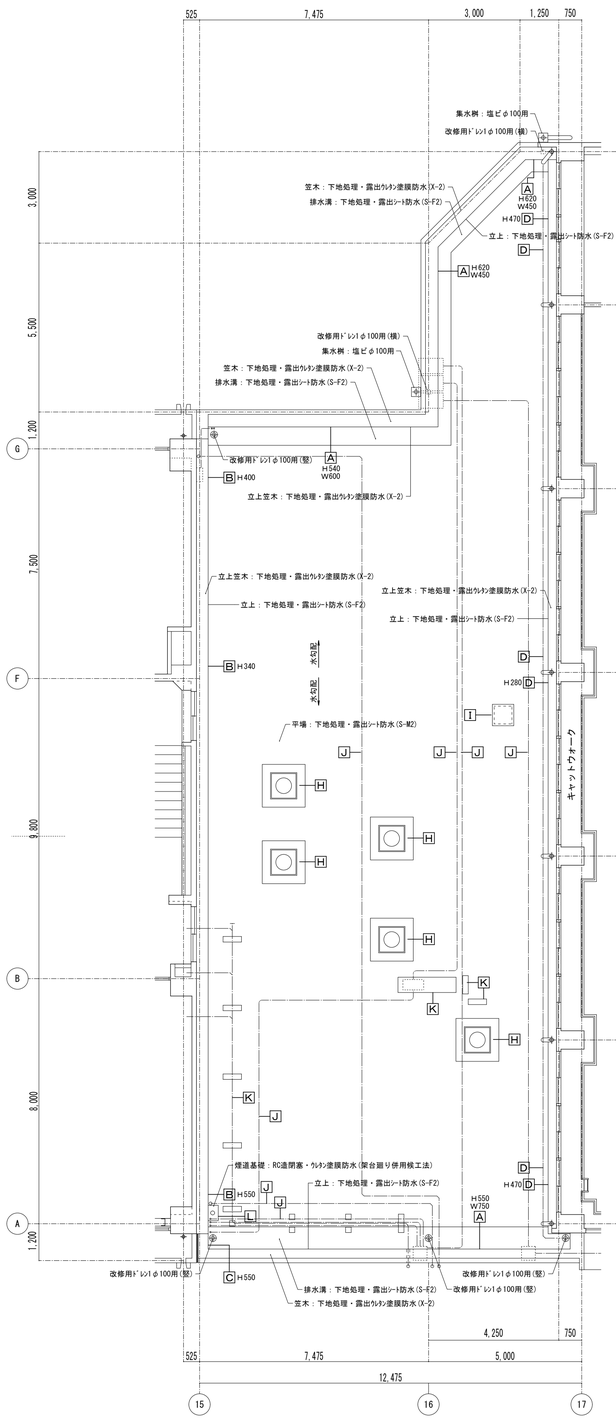


K　機械設備基礎

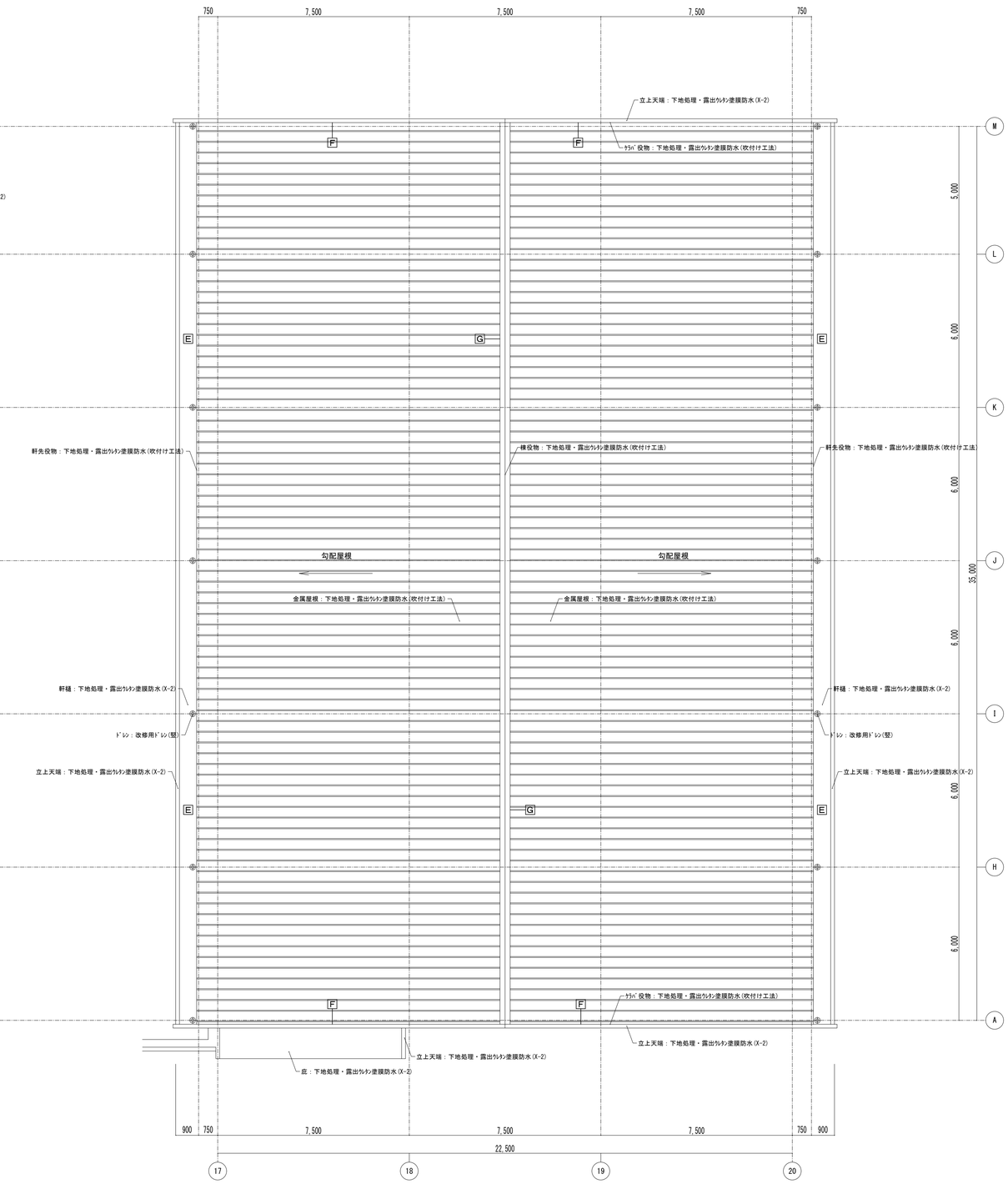
C　Exp-J金物　S＝1/50



【新設ＲＣ造立上】
・ｺﾝｸﾘｰﾄ：Fc21
・縦筋：差筋ｱﾝｶｰD13@200
・横筋：1-D13
・仕上：防水型複層塗材Ｅ塗装



陸屋根　屋根伏図



金属根　屋根伏図

北

◆ 凡 例

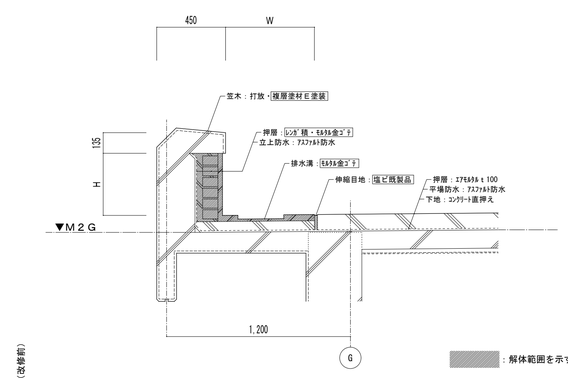
一部改修の場合の範囲を示す。

◆特記事項 ： 改修範囲は全面とする。

特記事項

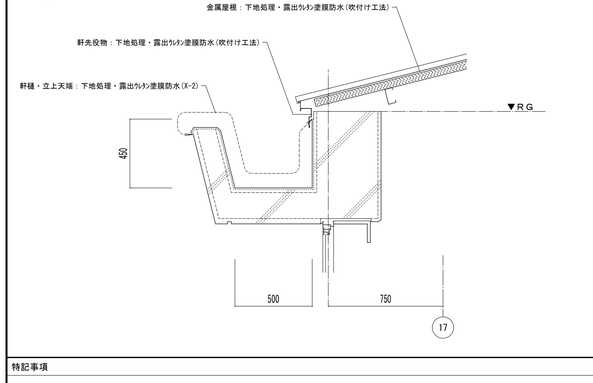
工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）			設計図	
株式会社 宮下設計事務所　一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409　管理建築士 宮下光芳　一級建築士大臣登録第81291号		さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当	
図面名称	防水改修　平面図　【改修後】		縮尺	A1：1/100 A3：1/200	図面番号 A — 10
10:25 12 16 1513:49 10-防水改修平面-2	令和　年　月　日				

A



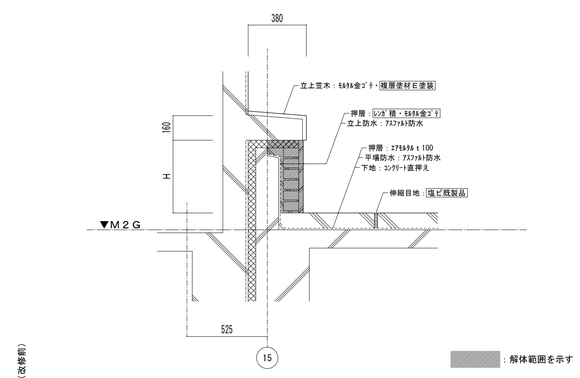
：解体範囲を示す

【改修後】



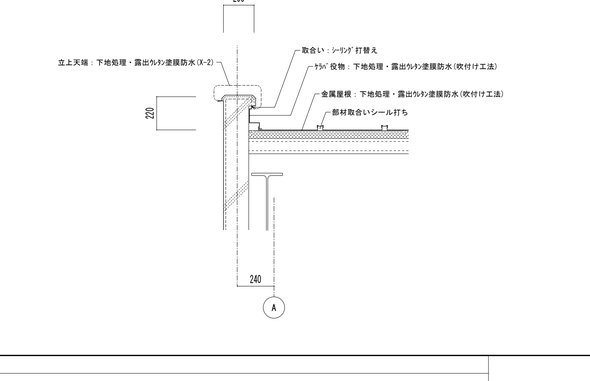
【改修前】

B



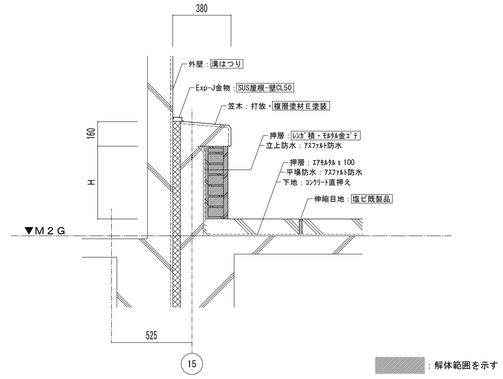
：解体範囲を示す

【改修後】



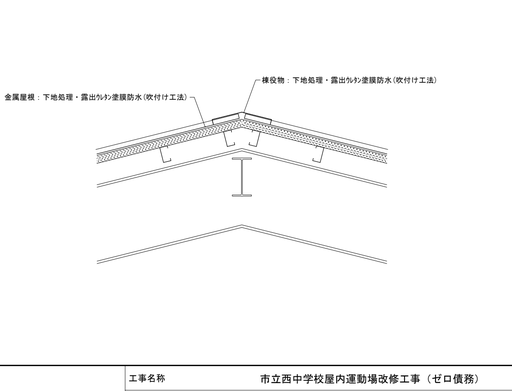
【改修前】

C



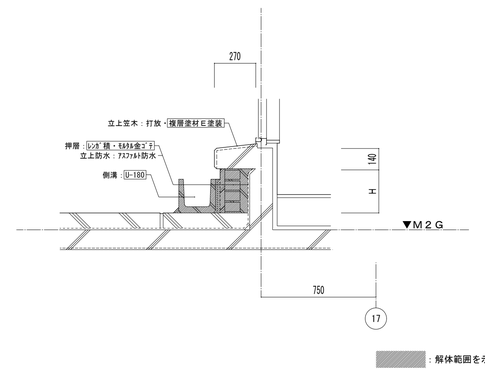
：解体範囲を示す

【改修後】



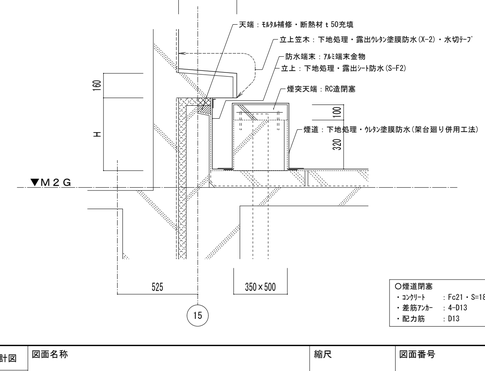
【改修前】

D



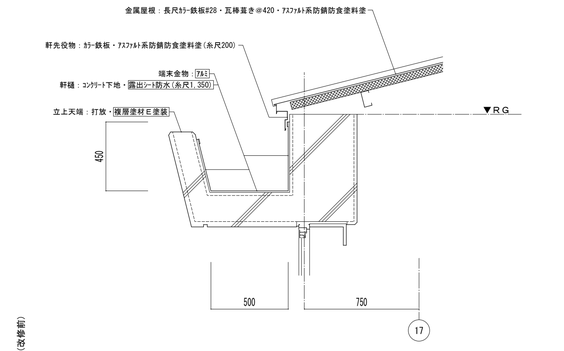
：解体範囲を示す

【改修後】



【改修前】

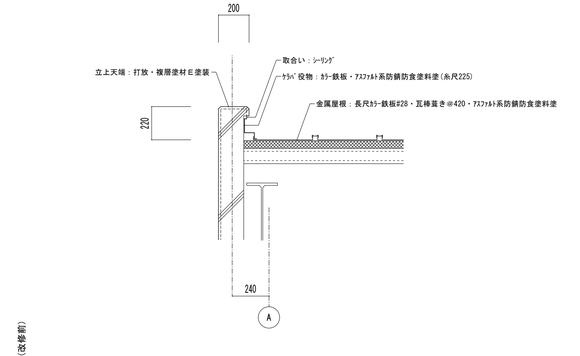
E



【改修後】

【改修前】

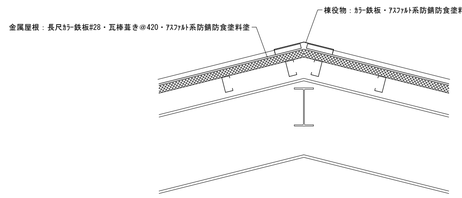
F



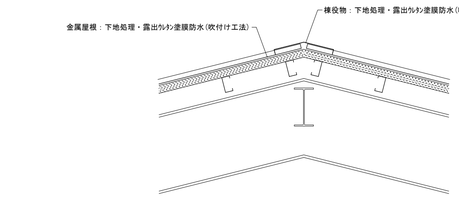
【改修後】

【改修前】

G

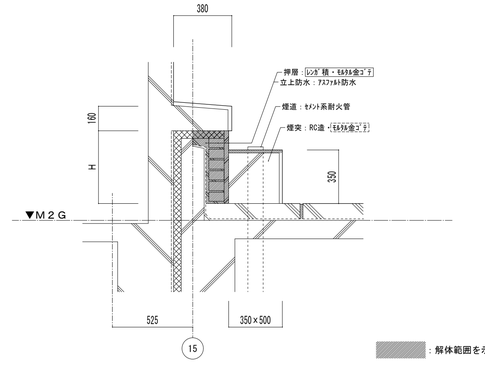


【改修後】



【改修前】

L



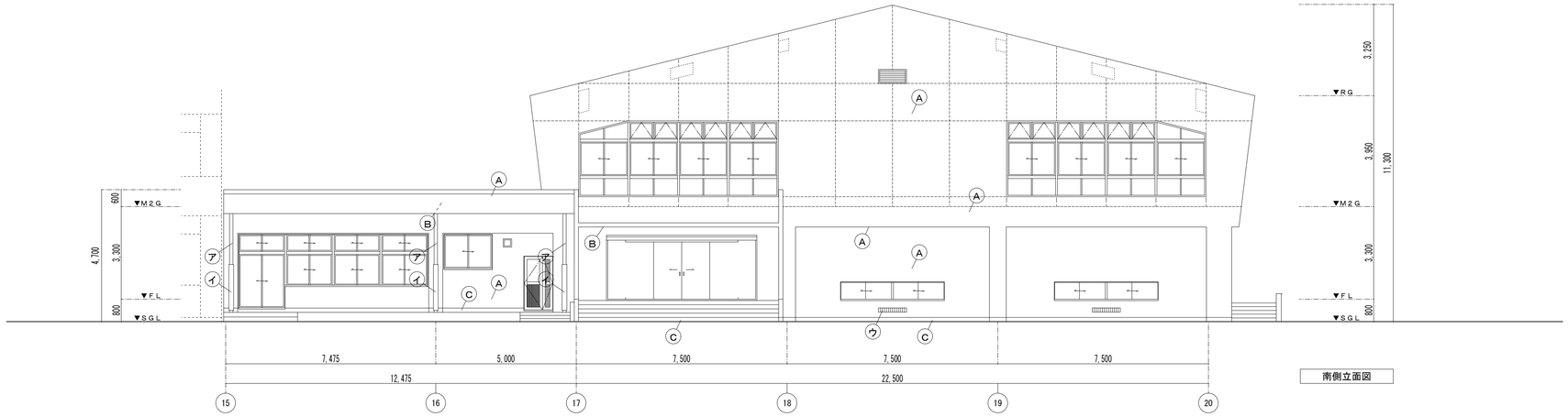
：解体範囲を示す

【改修後】

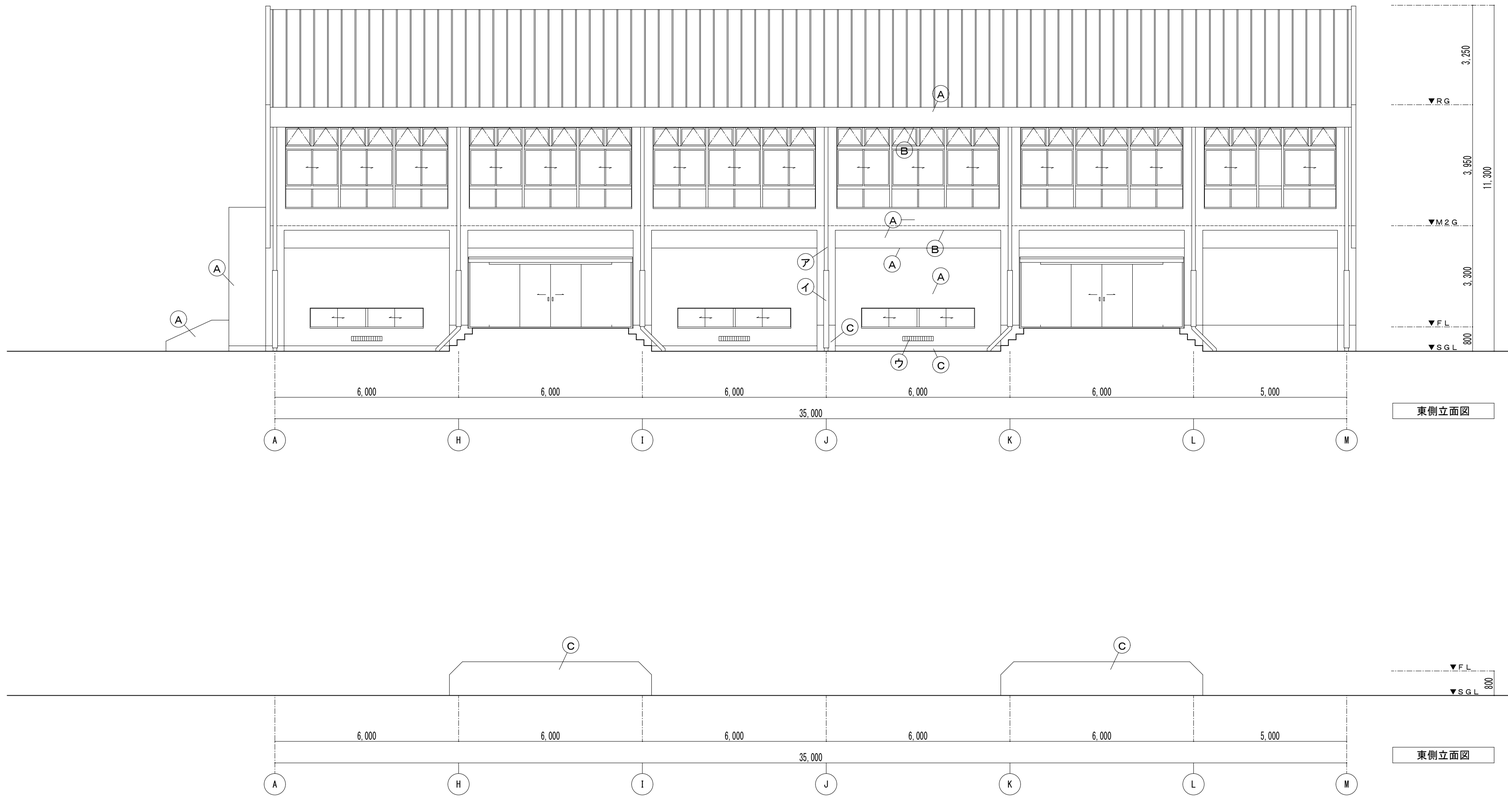
特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）		設計図
株式会社 宮下設計事務所　一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1)409　管理建築士 宮下光秀 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	防水改修　部分詳細図	縮尺	A1：1/20 A3：1/40
図面番号	A ― 11		

10:25 12 16 1514:07 11-防水改修詳細　　令和　年　月　日



南側立面図



東側立面図

仕上表（改修前）

	下　地	仕　上
A	コンクリート打放	複層塗材Ｅ吹付
B	コンクリート打放	外装薄塗材Ｅ吹付
C	コンクリート	モルタル金ゴテ

ア	竪樋：ＶＰ１００φ
イ	養生管：鋼管１２５Ａ・ＳＯＰ塗装
ウ	床下換気口：丸鋼・ＳＯＰ塗装・防鼠網
------	目地：化粧目地
------	目地：打継目地・シーリングw30

特記事項

既存の下地・仕上を示す。

撤去する下地材・仕上材は　　で示す。

仕上表【改修後】

	下地処理	改　修
A	劣化部除去・ひび割れ欠損部補修	防水型複層塗材Ｅ吹付
B	劣化部除去・ひび割れ欠損部補修	外装薄塗材Ｅ吹付
C	洗浄・ひび割れ欠損部補修	樹脂モルタル塗布

ア	交換
イ	塗替え
ウ	塗替え・網張り替え
------	―
------	シーリング再充填

特記事項

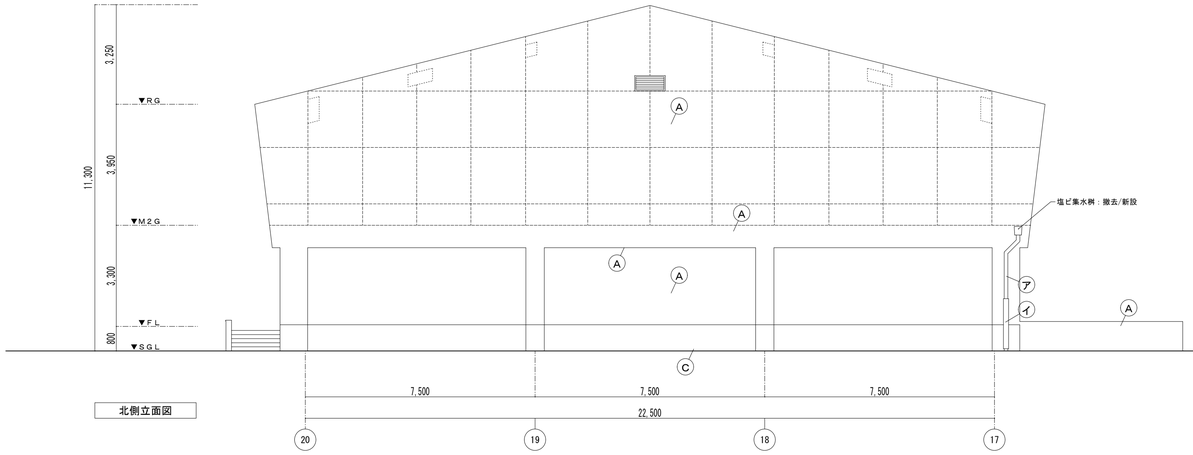
下地・仕上の改修内容を示す。

改修範囲は全面とする。

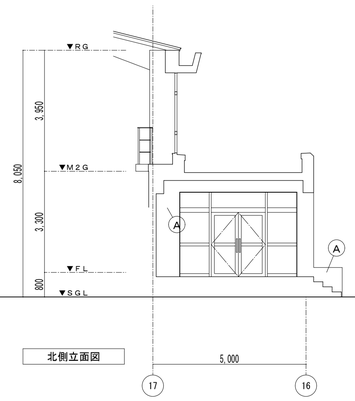
特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409　管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	外部改修　立面図－１	縮尺	A1：1/100 A3：1/200
図面番号	A ― 12		

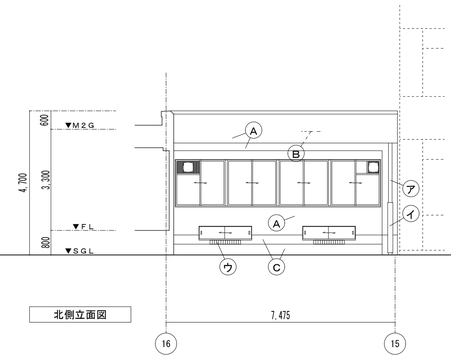
ID:25 12 16 1514:32 12-立面図-1　　令和　年　月　日



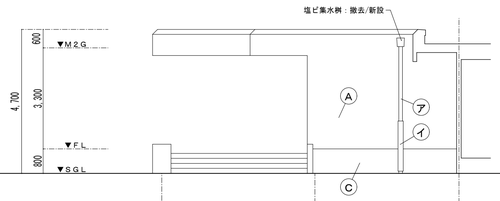
北側立面図



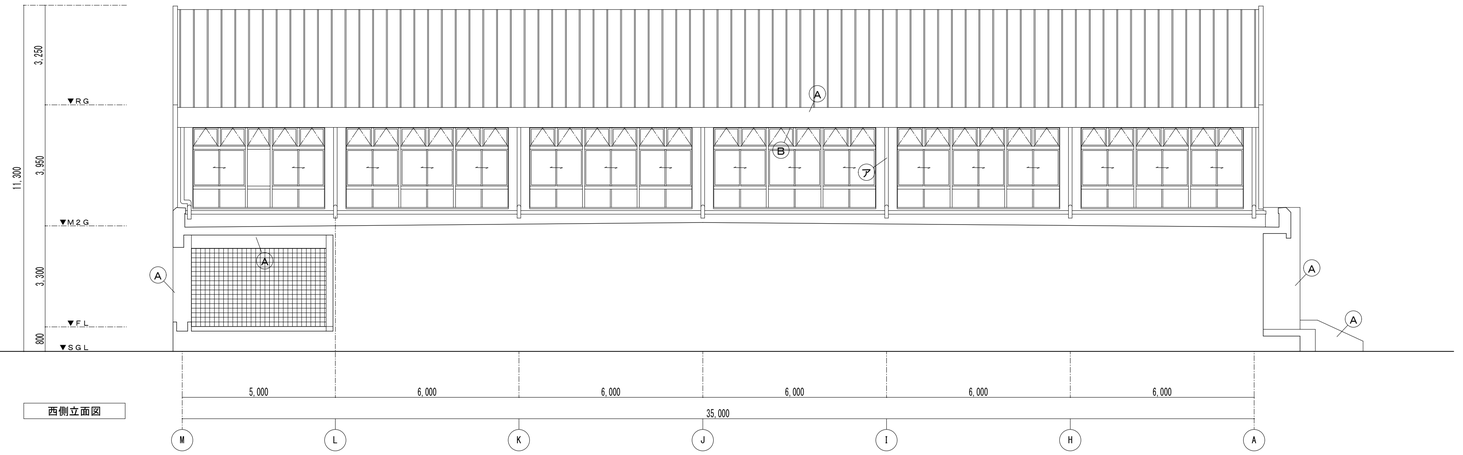
北側立面図



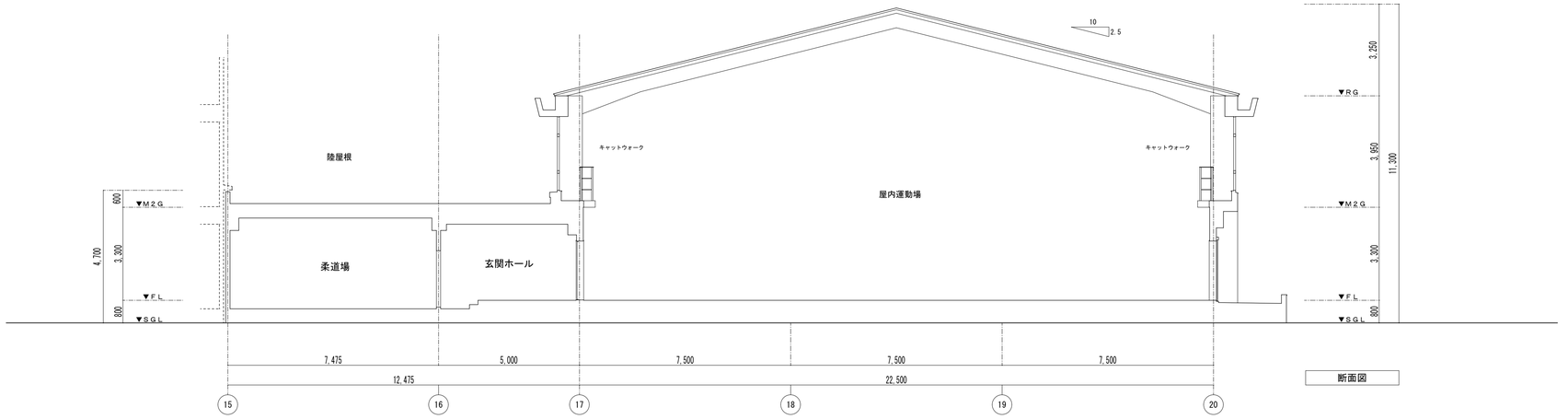
北側立面図



西側立面図



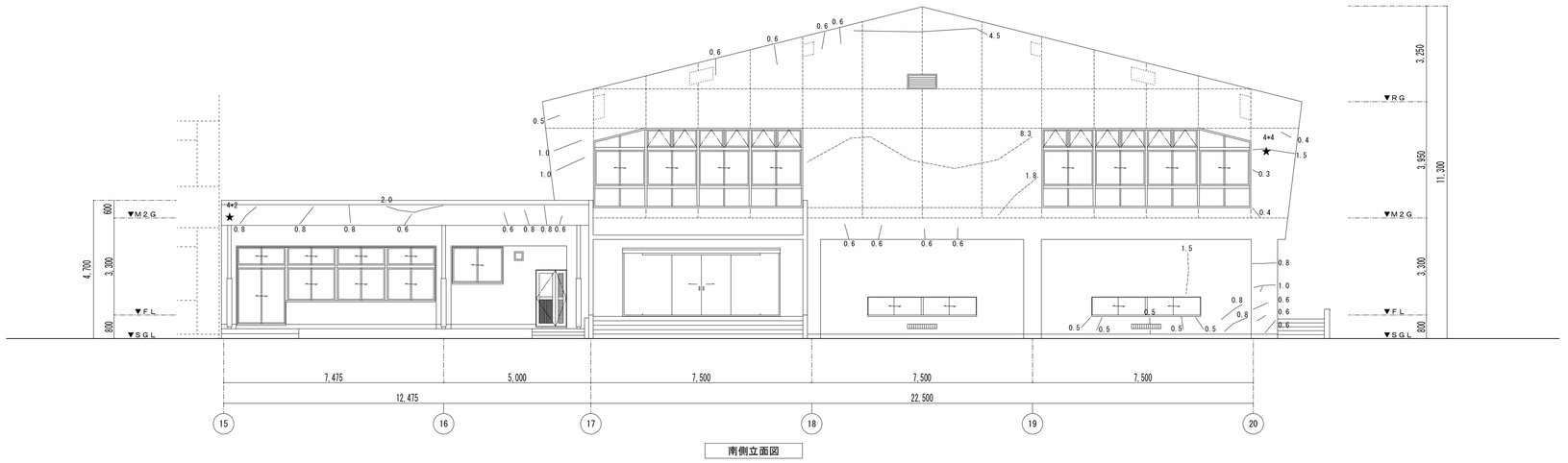
西側立面図



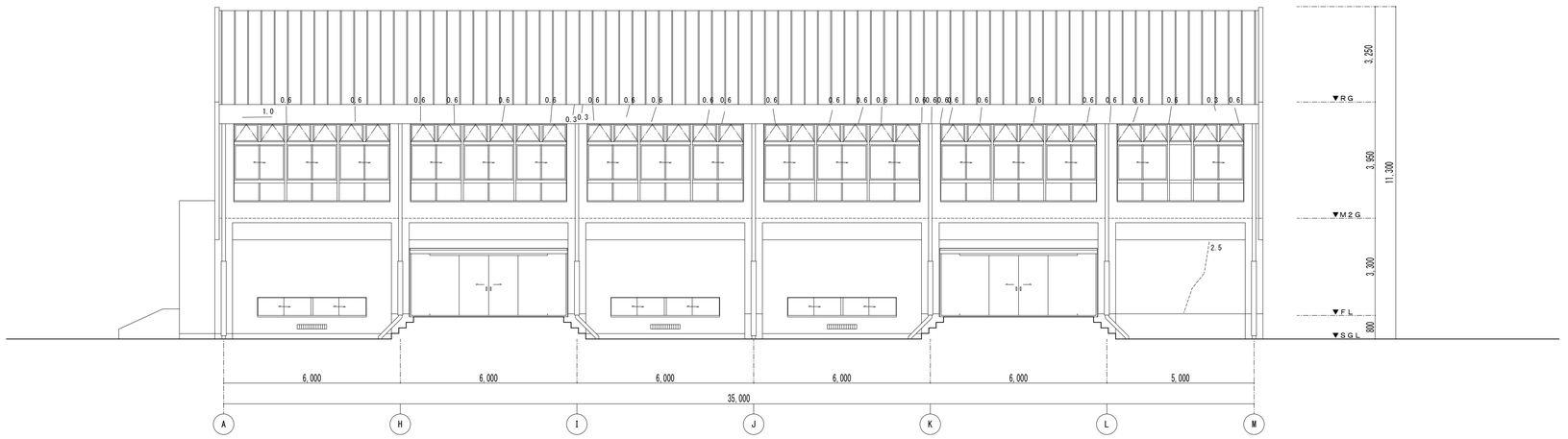
断面図

特記事項	工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称	縮尺
	株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 / 担当	外部改修　立面図－２ ID:25 12 16 1514:50 13-立面図-2　令和　年　月　日	A1：1/100 A3：1/200

図面番号：A — 13



南側立面図



東側立面図

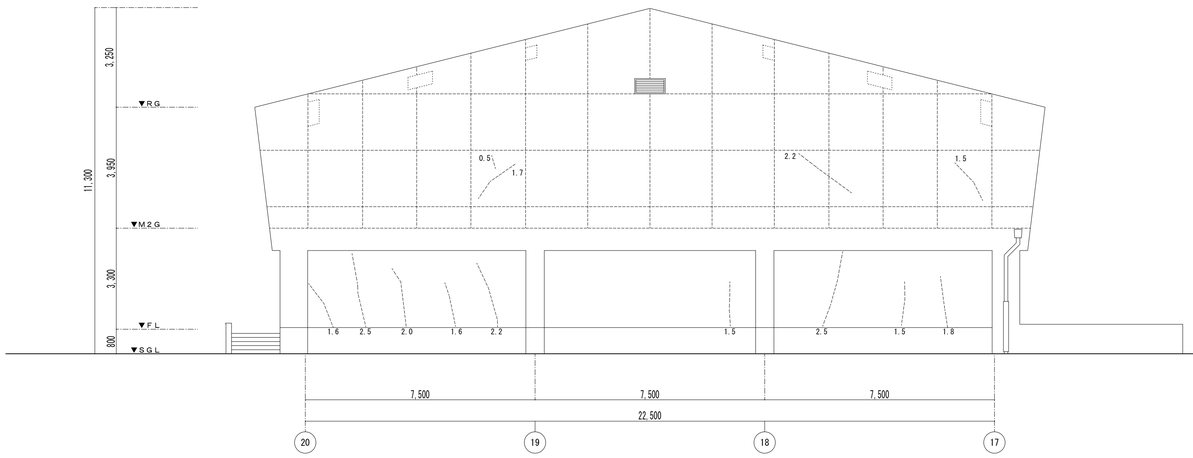
外壁下地改修　凡例

凡例	劣化状況	設計数量	下地改修方法
1.0	コンクリート面ひび割れ（巾0.3mm以上）	１３９．０ｍ	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
1.0	コンクリート面ひび割れ（従前改修）	６９．１ｍ	（再）Ｕカットシール材充填
★ 1×2	コンクリート欠損部	100□×４１ヶ所	エポキシ樹脂モルタル充填工法

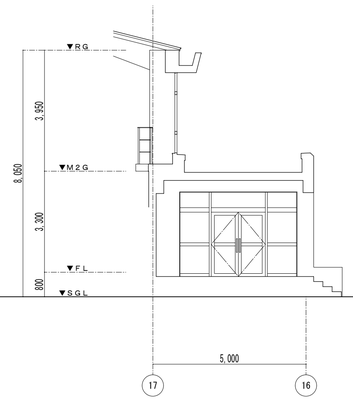
※工事着手前に施工数量調査を行う事。
※凡例の設計数量は、各面の総数とする。

特記事項

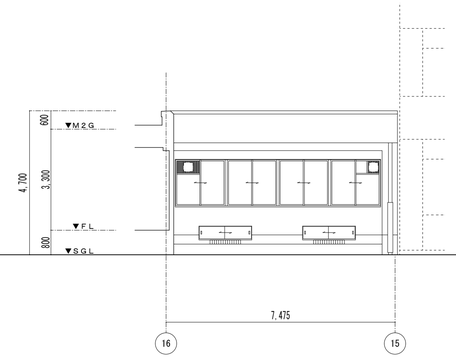
工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 埼玉県知事登録(11)409　管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第61291号	一級建築士事務所	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計　担当
図面名称	外部改修　劣化調査図－１	縮尺	A1：1/100 A3：1/200
図面番号	A ― １４		
ID:25 12 16 1515:16 14-劣化調査図-1	令和　年　月　日		



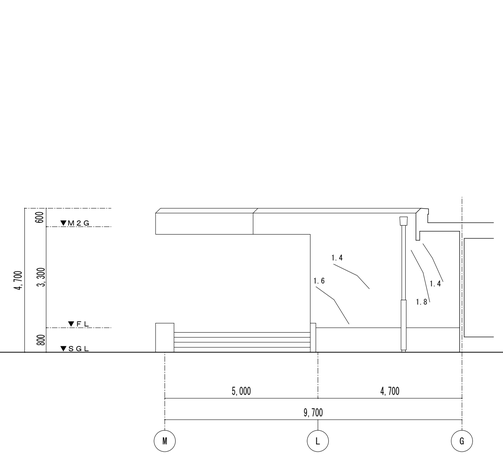
北側立面図



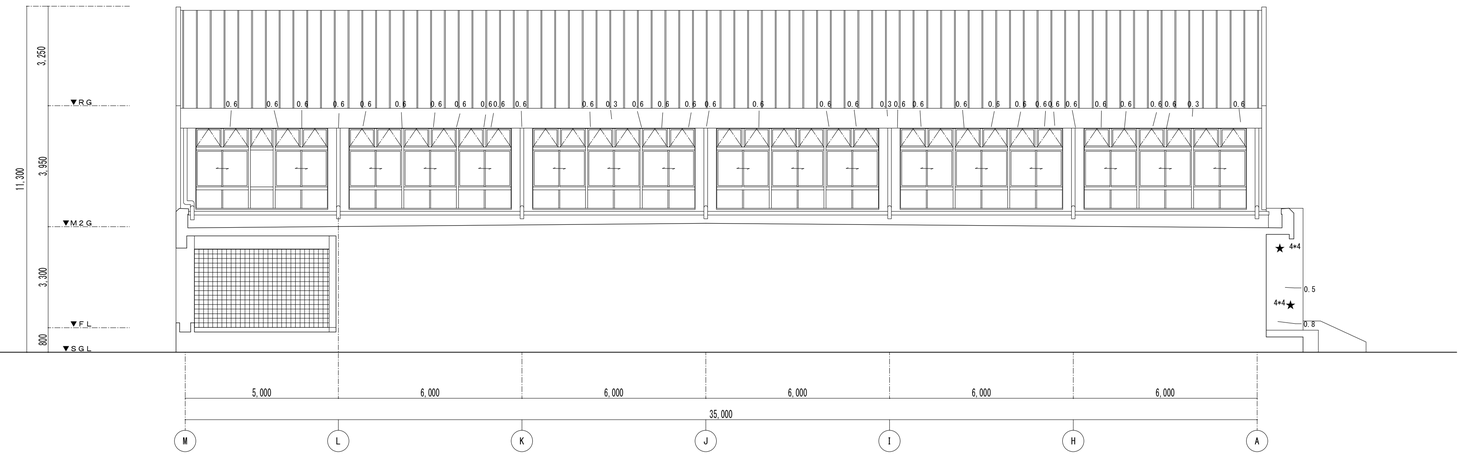
北側立面図



北側立面図



西側立面図



西側立面図

外壁下地改修　凡例

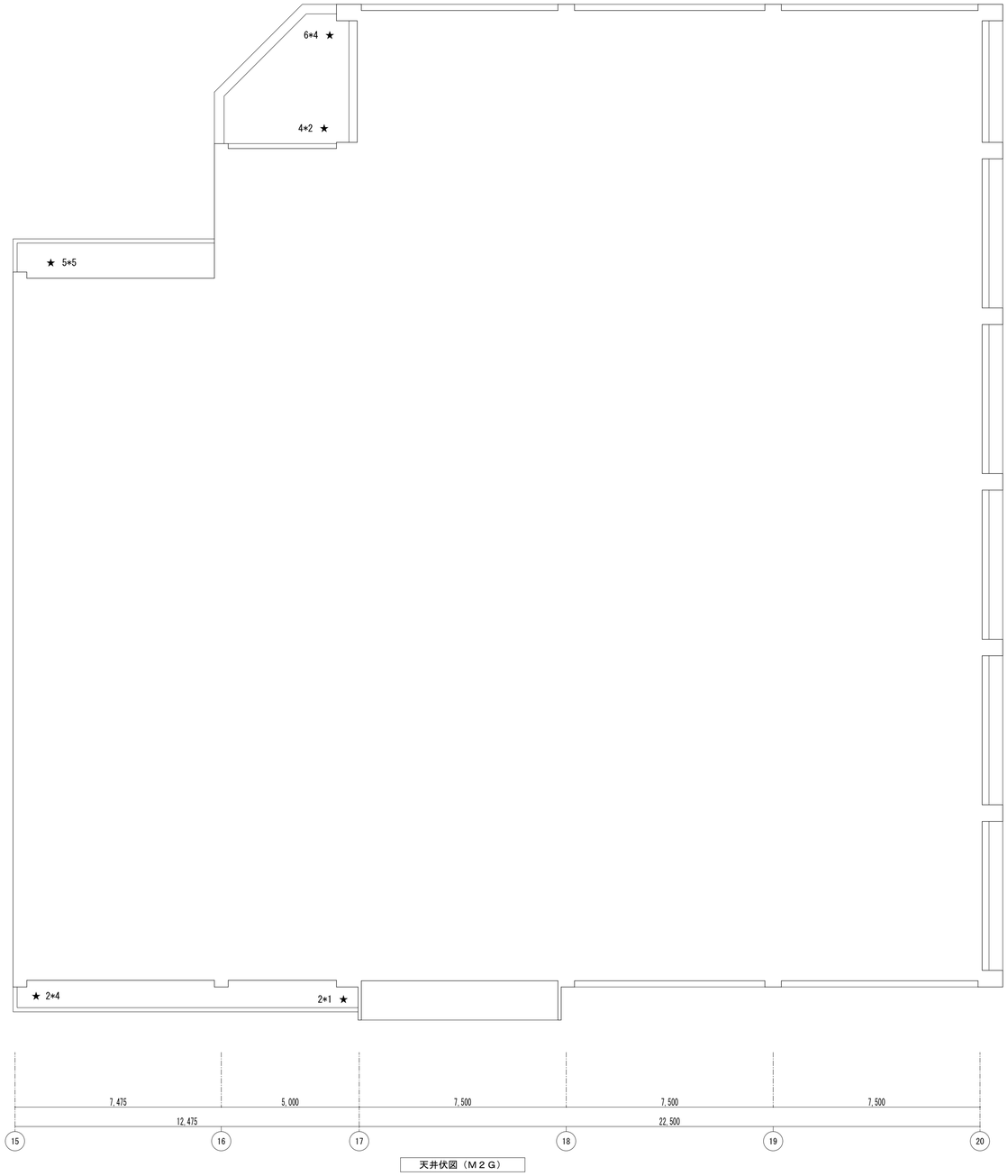
凡例	劣化状況	設計数量	下地改修方法
1.0	コンクリート面ひび割れ（巾0.3mm以上）	１３９．０ｍ	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
1.0	コンクリート面ひび割れ（従前改修）	６９．１ｍ	（再）Ｕカットシール材充填工法
★ 1×2	コンクリート欠損部	100□×４１ヶ所	エポキシ樹脂モルタル充填工法

※工事着手前に施工数量調査を行う事。
※凡例の設計数量は、各面の総数とする。

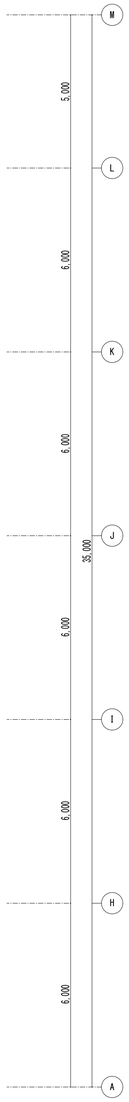
特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号			

図面名称	縮尺	図面番号
外部改修　劣化調査図－２	A1：1/100 A3：1/200	A — 15
ID:25 12 16 1515:35 15-劣化調査図-2　令和　年　月　日		

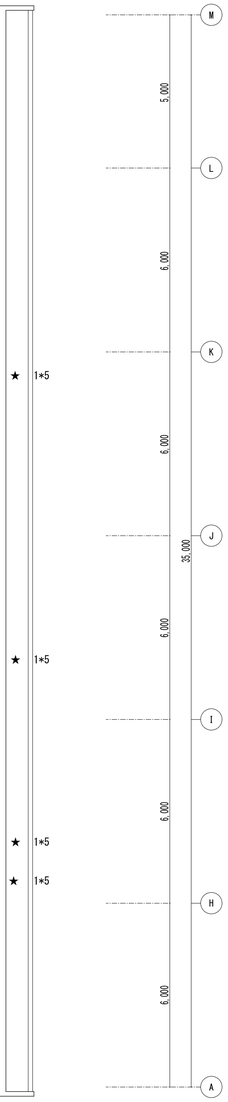


天井伏図（Ｍ２Ｇ）





天井伏図（ＲＧ）



外壁下地改修　凡例

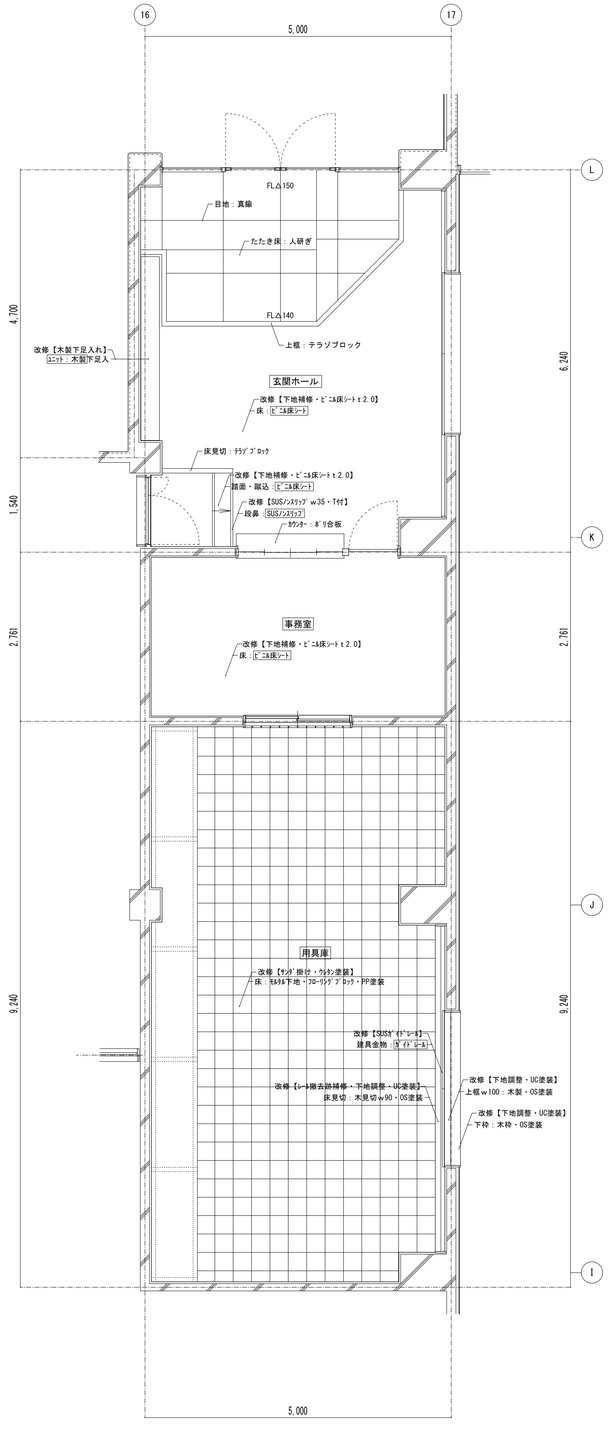
凡例	劣化状況	設計数量	下地改修方法
1.0	コンクリート面ひび割れ（巾0.3mm以上）	１３９．０ｍ	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
1.0	コンクリート面ひび割れ（従前改修）	６９．１ｍ	（再）Ｕカットシール材充填工法
★ 1*2	コンクリート欠損部	100□×４１ヶ所	エポキシ樹脂モルタル充填工法

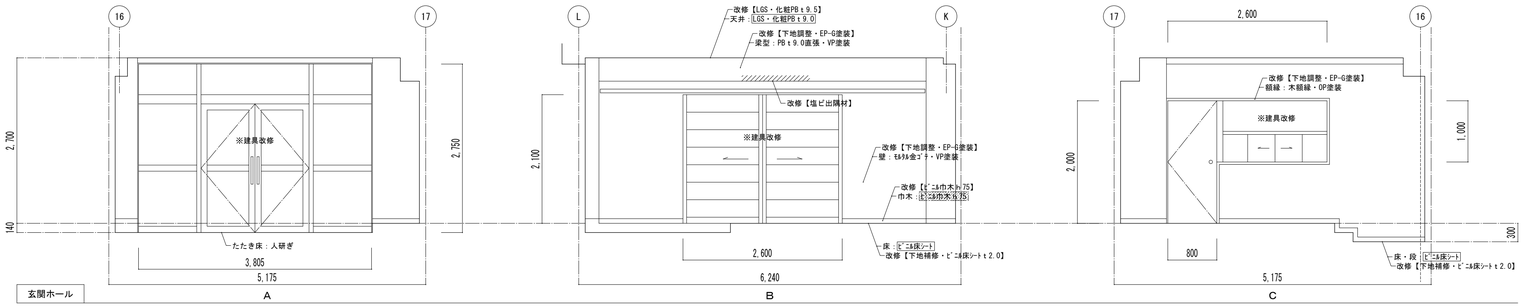
※工事着手前に施工数量調査を行う事。
※凡例の設計数量は、各面の総数とする。

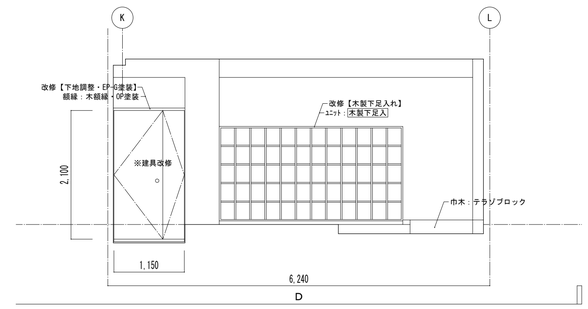
北

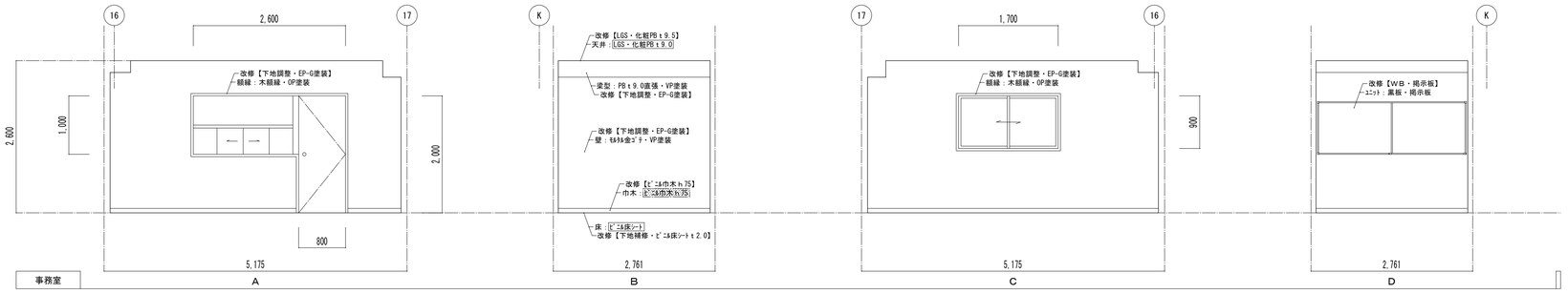
特記事項

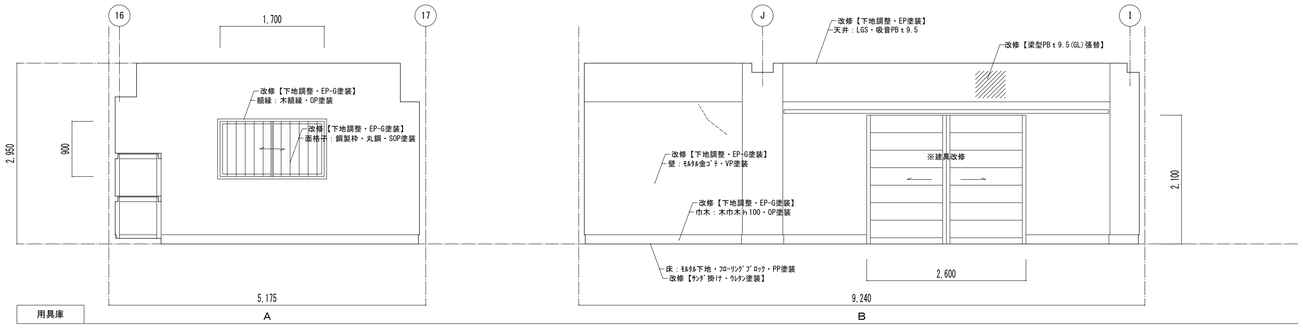
工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	外部改修　劣化調査図－３	縮尺	A1：1/100 A3：1/200
図面番号	Ａ ― １６		
ID:25 12 16 1515:51 16-劣化調査図-3	令和　年　月　日		

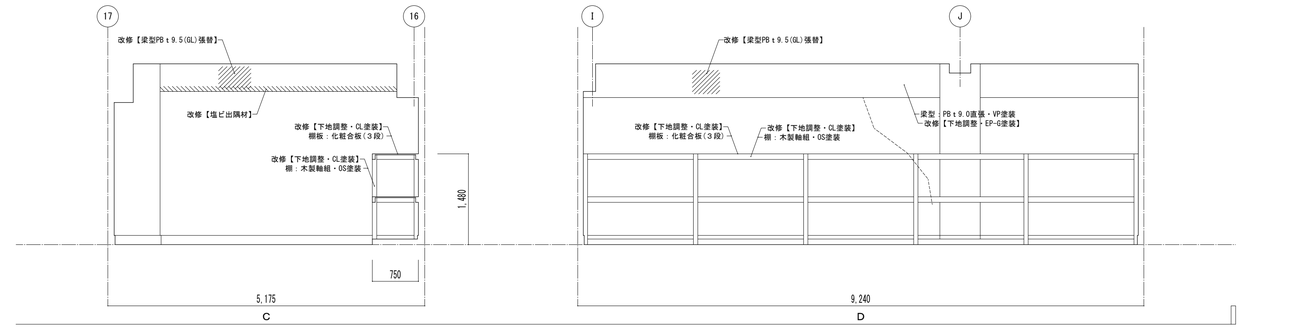












A
D 展開指示方向 B
C

北

◆ 凡 例

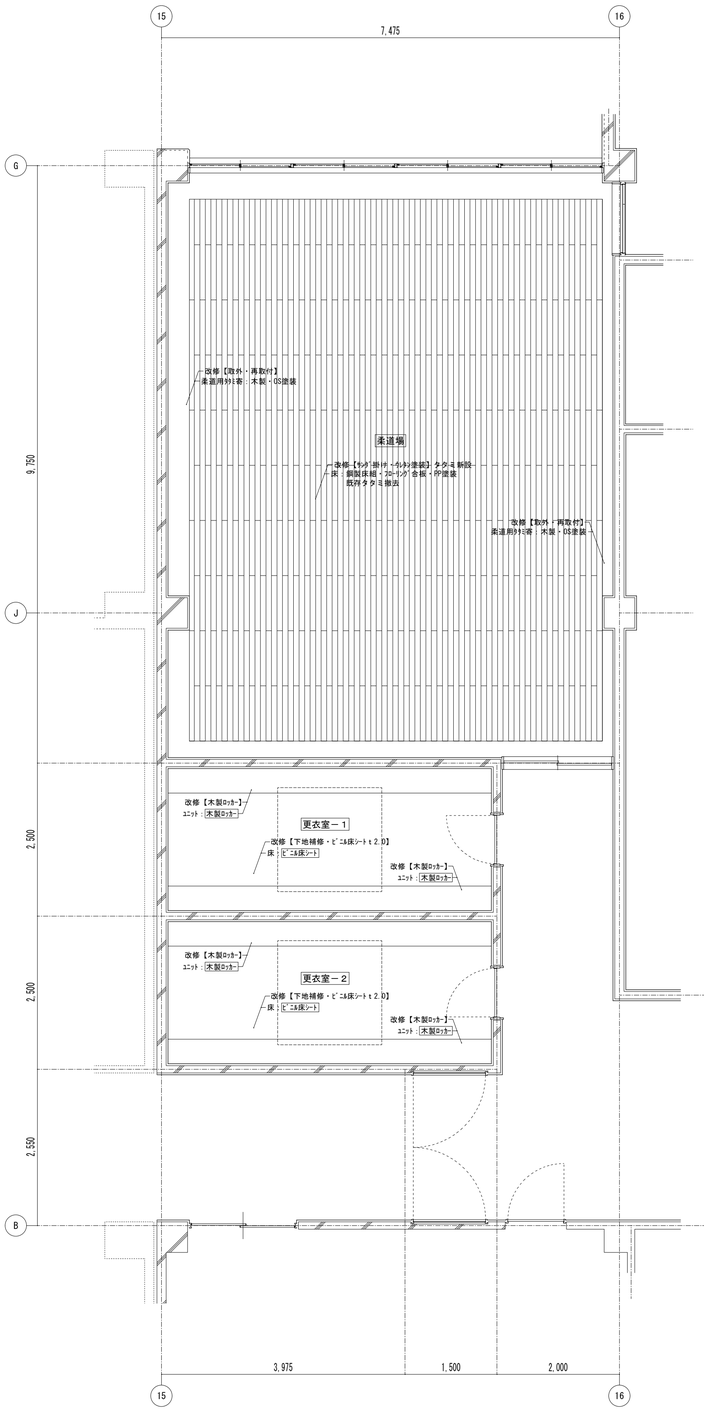
	撤去する下地材・仕上材を示す。
	撤去する建材の内、アスベスト含有建材を示す。
	部分撤去改修する範囲を示す。
改修【 】	改修内容を示す。
	ひび割れ補修シール充填工法を示す。

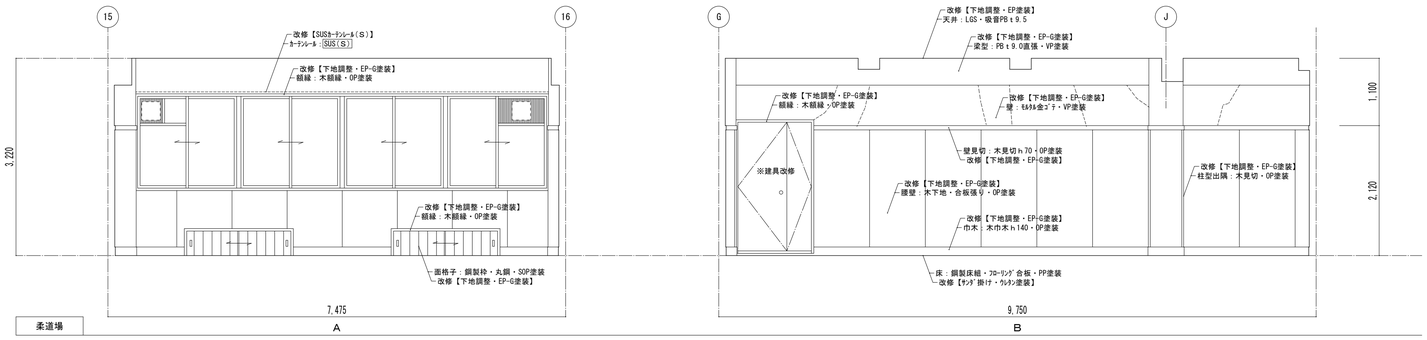
◆特記事項 ： 改修範囲は全面とする。

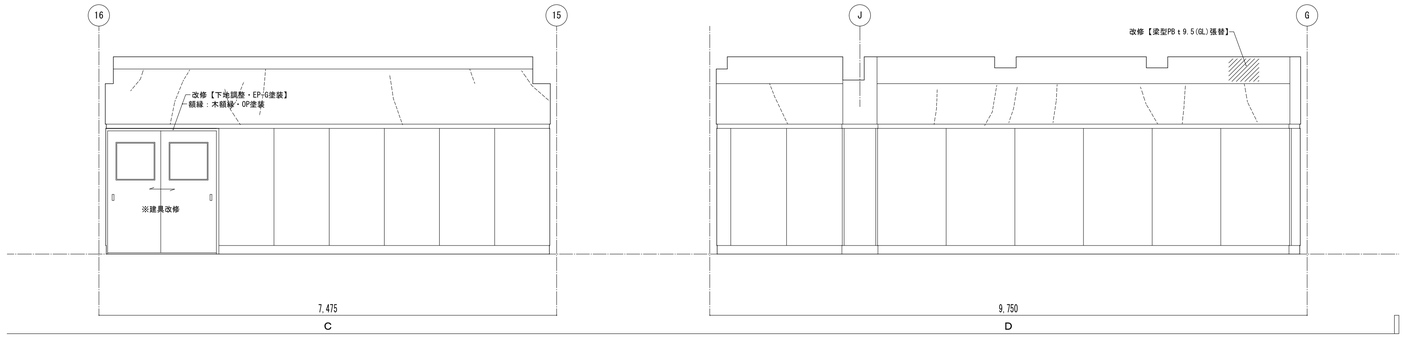
特記事項

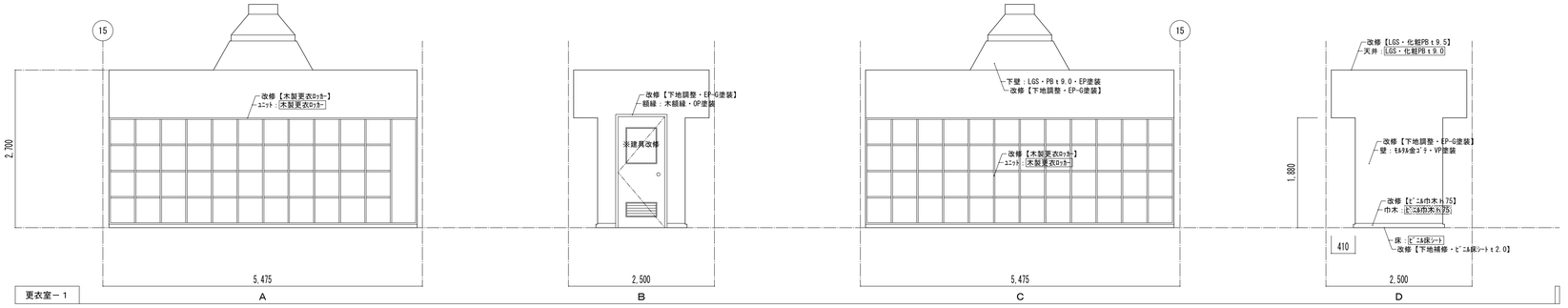
工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳	一級建築士事務所	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 担当
図面名称	内部改修 平面詳細図・展開図 玄関ホール、事務室、器具庫	縮尺	A1：1/50 A3：1/100
図面番号	A — 17		

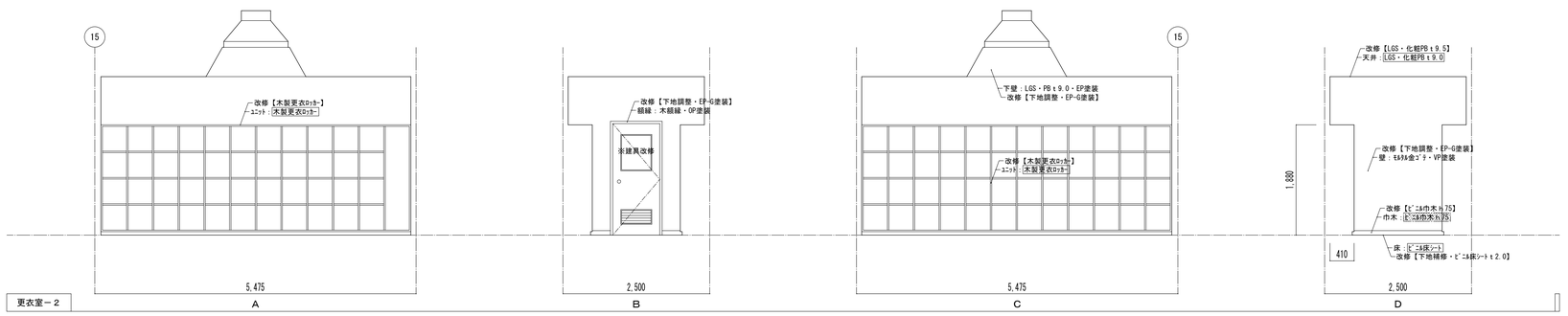
ID:25 12 16 15:16:11 17-平詳-1(玄関事務用庫) 令和 年 月 日















◆ 凡 例

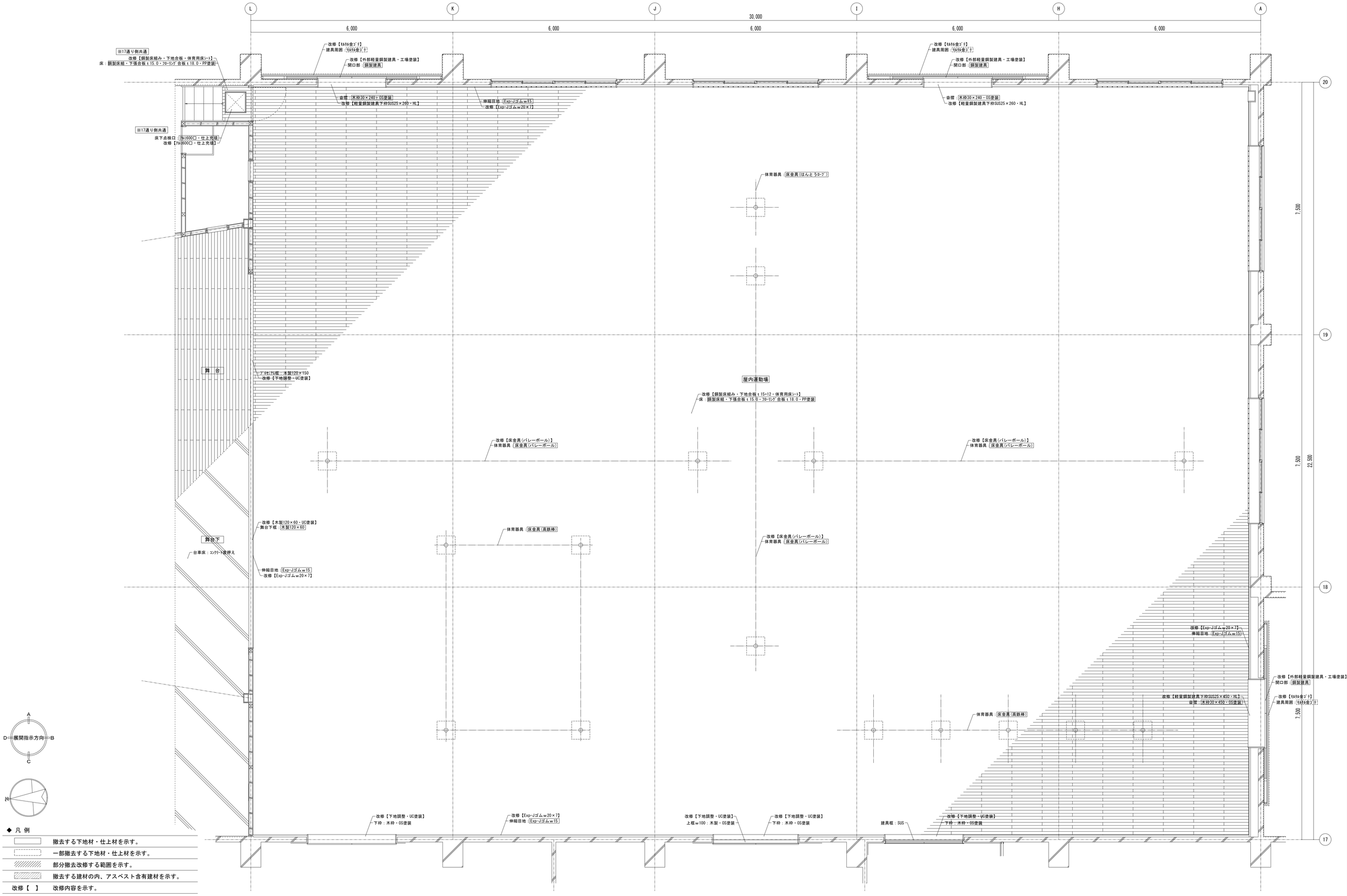
	撤去する下地材・仕上材を示す。
	撤去する建材の内、アスベスト含有建材を示す。
	部分撤去改修する範囲を示す。
改修【 】	改修内容を示す。
	ひび割れ補修シール充填工法を示す。

◆特記事項 ： 改修範囲は全面とする。

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第61291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	内部改修 平面詳細図・展開図 柔道場、更衣室－１、更衣室－２	縮尺	A1：1/50 A3：1/100
図面番号	A ― 18		

ID:25 12 16 1516:29 18-平詳-2(柔道更衣) 令和 年 月 日



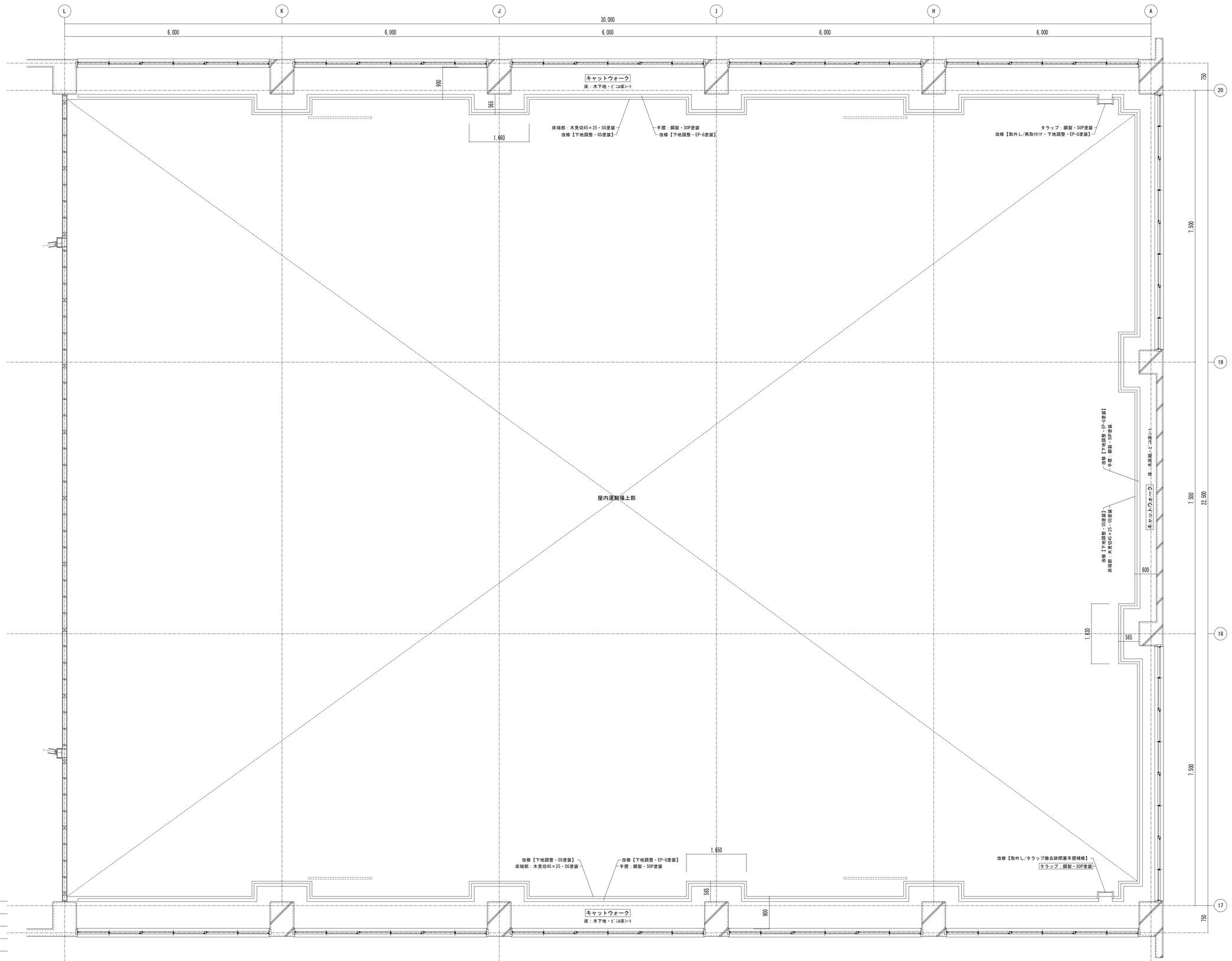
◆ 凡 例

	撤去する下地材・仕上材を示す。
	一部撤去する下地材・仕上材を示す。
	部分撤去改修する範囲を示す。
	撤去する建材の内、アスベスト含有建材を示す。
改修【 】	改修内容を示す。

◆特記事項 ： 改修範囲は全面とする。

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	内部改修 平面詳細図 屋内運動場	縮尺	A1：1/50 A3：1/100
図面番号	A — 19		
ID:25 12 16 1516:53 19-平詳-3-1(運動場)	令和 年 月 日		



A
D 展開指示方向 B
C

2E

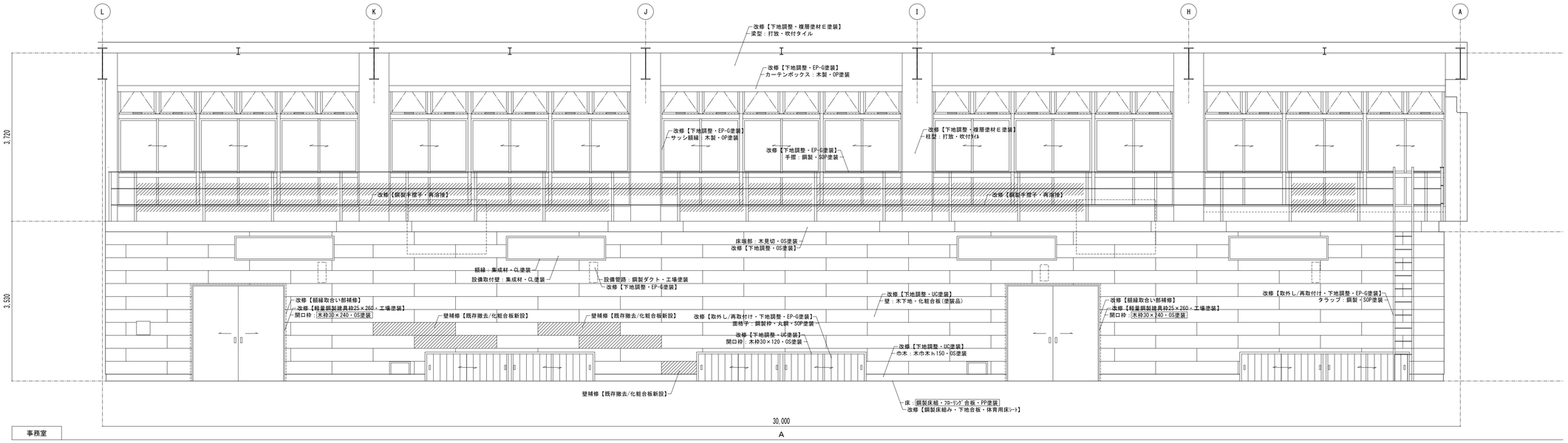
◆ 凡 例

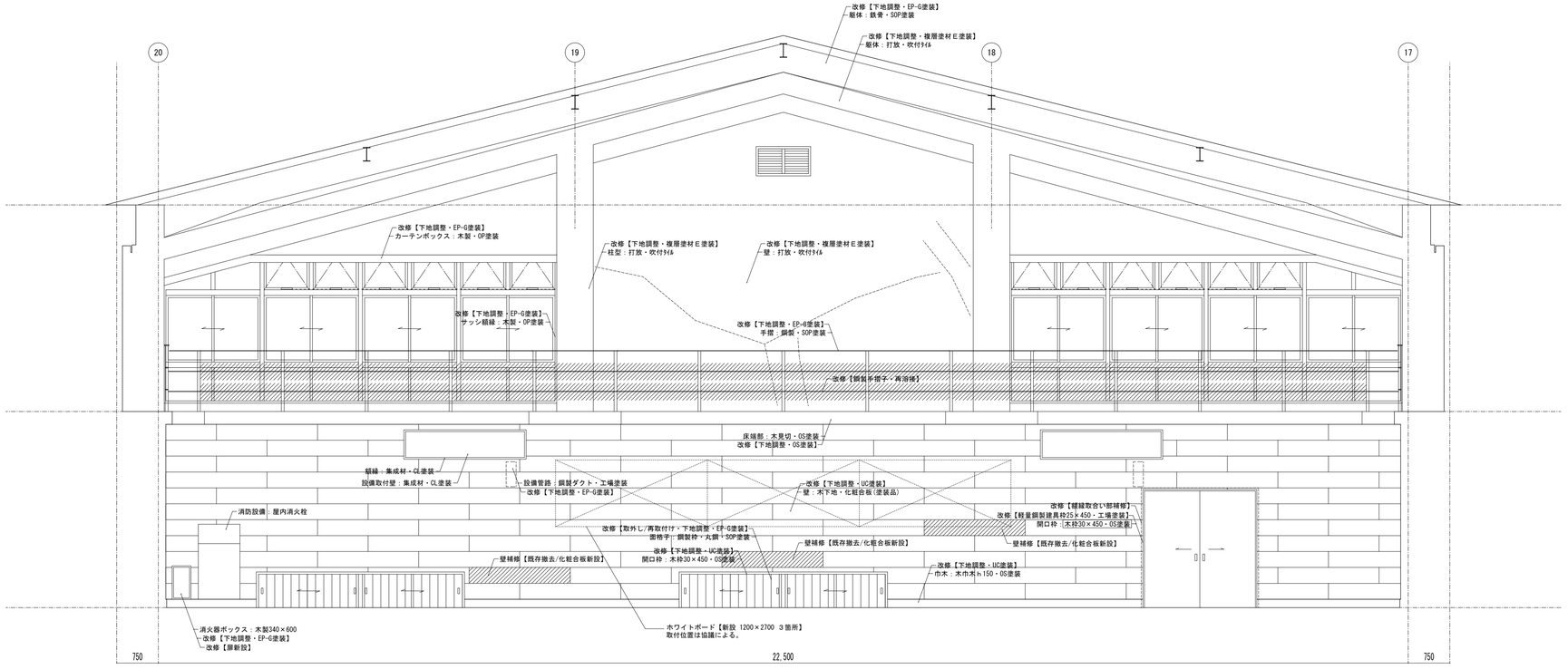
	撤去する下地材・仕上材を示す。
	一部撤去する下地材・仕上材を示す。
	部分撤去改修する範囲を示す。
	撤去する建材の内、アスベスト含有建材を示す。
改修【 】	改修内容を示す。

◆特記事項 ： 改修範囲は全面とする。

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称	縮尺	図面番号
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 担当	内部改修 平面詳細図 キャットウォーク	A1：1/50 A3：1/100	A — 20
埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号			ID:25 12 16 1518:34 20-平詳-3-2(運動場) 令和 年 月 日		





◆ 凡 例

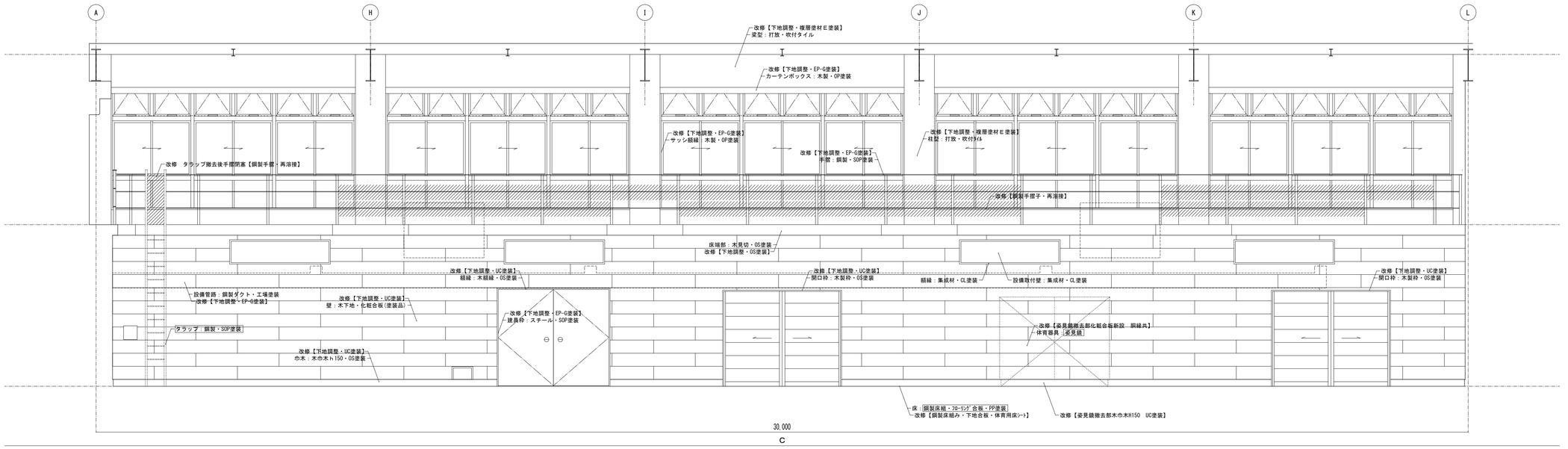
	撤去する下地材・仕上材を示す。
	撤去する建材の内、アスベスト含有建材を示す。
	部分撤去改修する範囲を示す。
改修【　】	改修内容を示す。
	ひび割れ補修シール充填工法を示す。

◆特記事項 ： 改修範囲は全面とする。

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）		設計図
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	内部改修　展開図 屋内運動場、キャットウォーク１	縮尺	A1：1/50 A3：1/100
図面番号	A ― 21		

ID:25 12 16 1519-05 21-平詳-3-3(運動場)　　令和　年　月　日



◆ 凡 例

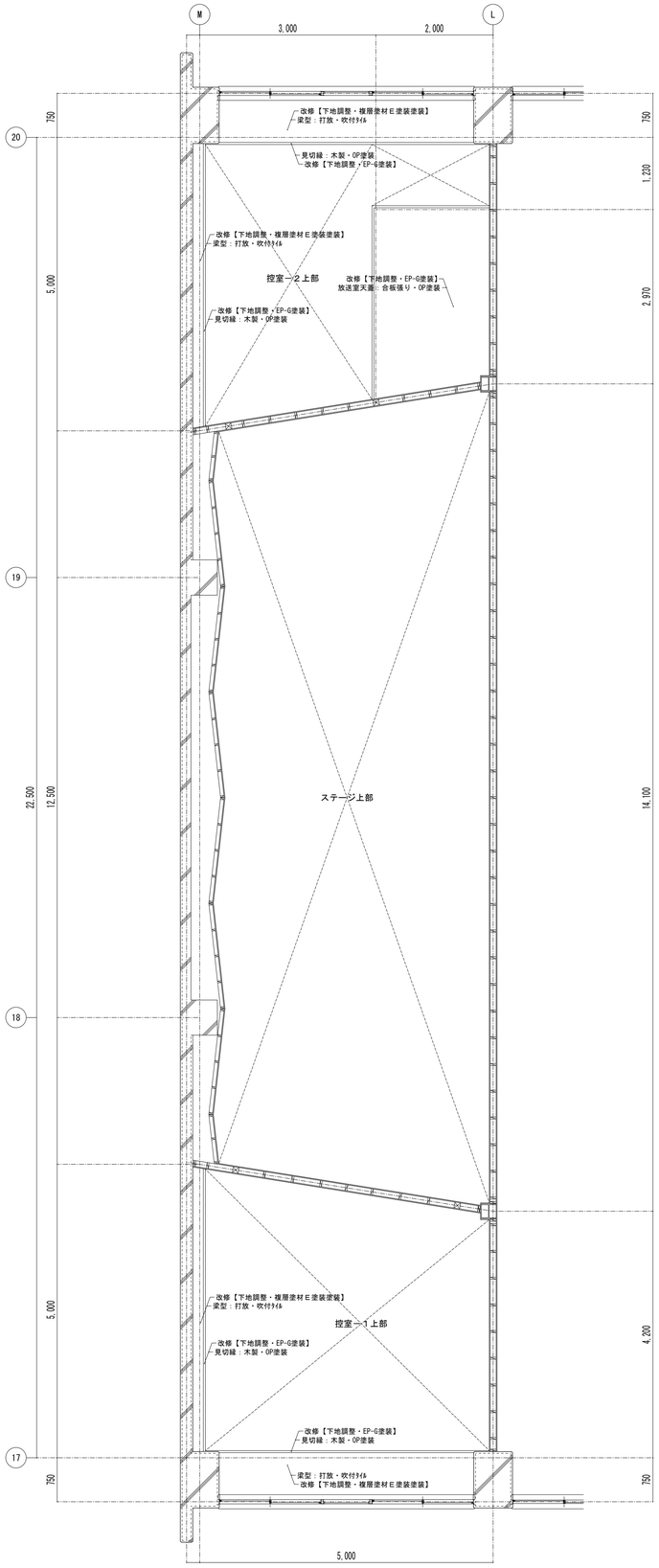
	撤去する下地材・仕上材を示す。
	撤去する建材の内、アスベスト含有建材を示す。
	部分撤去改修する範囲を示す。
改修【　】	改修内容を示す。
	ひび割れ補修シール充填工法を示す。

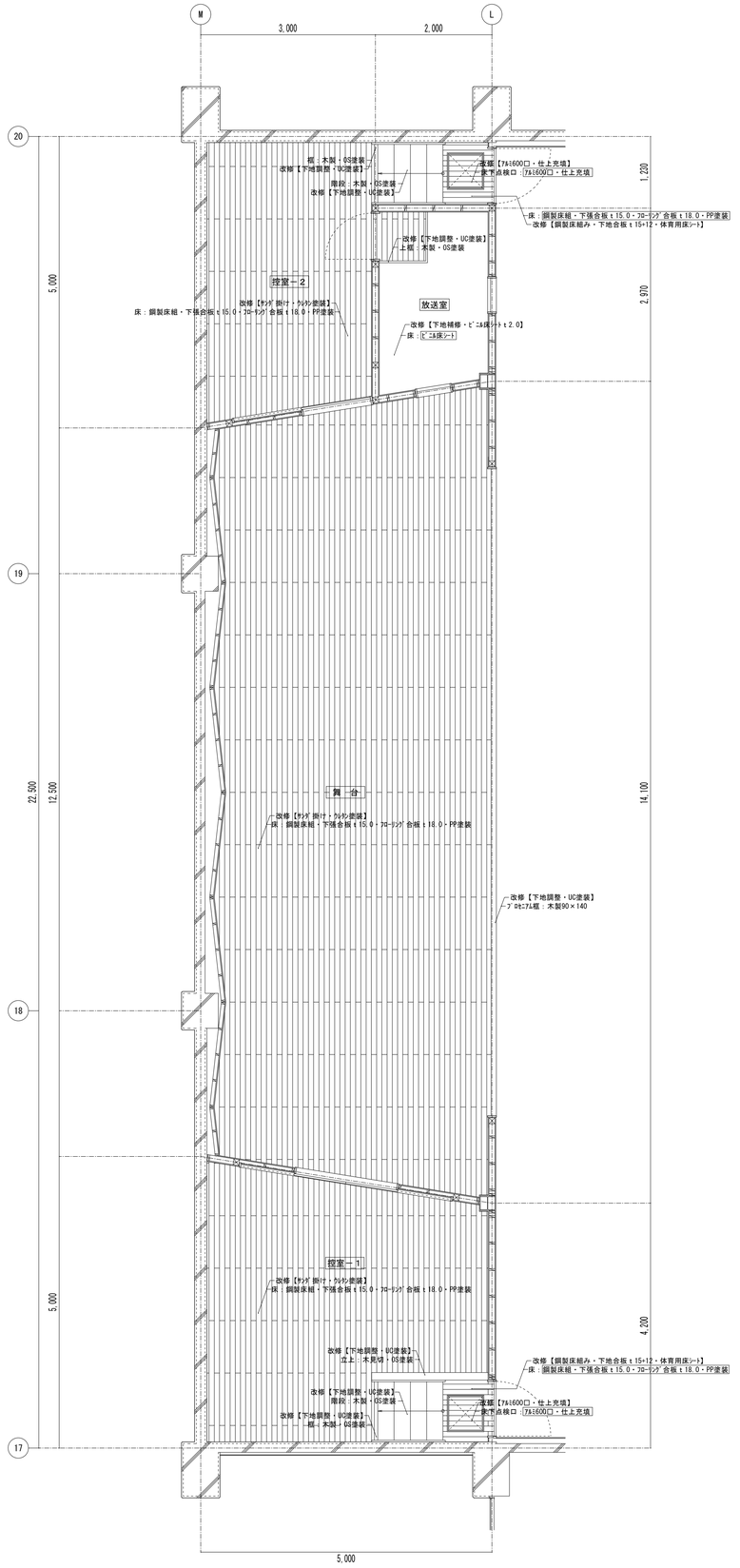
◆特記事項 ： 改修範囲は全面とする。

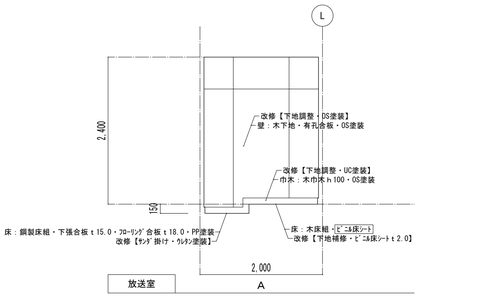
特記事項

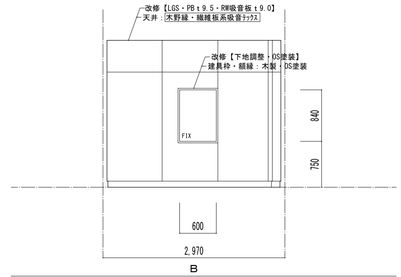
工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳	一級建築士事務所 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 / 担当
図面名称	内部改修　展開図 屋内運動場、キャットウォーク－２	縮尺	A1：1/50 A3：1/100
図面番号	A ― 22		

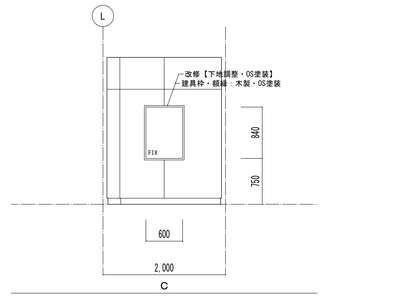
ID:25 12 16 1519:23 22-平詳-3-4(運動場)　令和　年　月　日

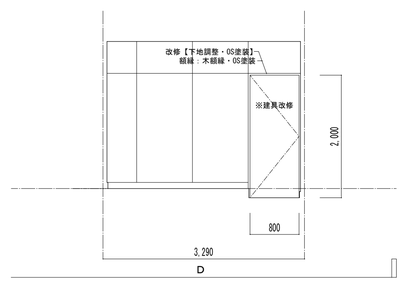


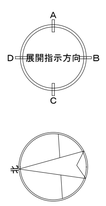












◆ 凡 例

	撤去する下地材・仕上材を示す。
	撤去する建材の内、アスベスト含有建材を示す。
	部分撤去改修する範囲を示す。
改修【　】	改修内容を示す。

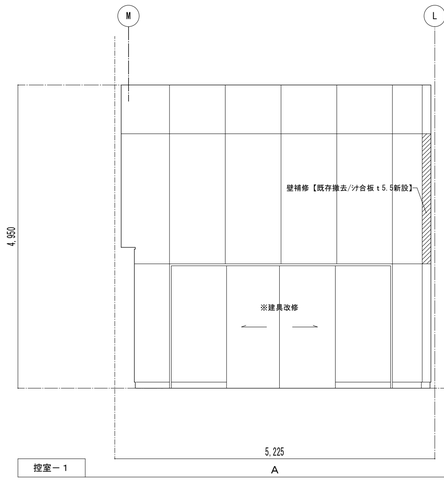
◆特記事項 ： 改修範囲は全面とする。

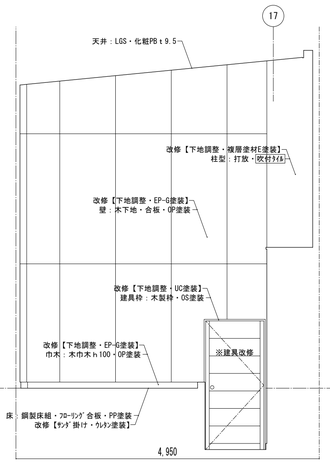
特記事項

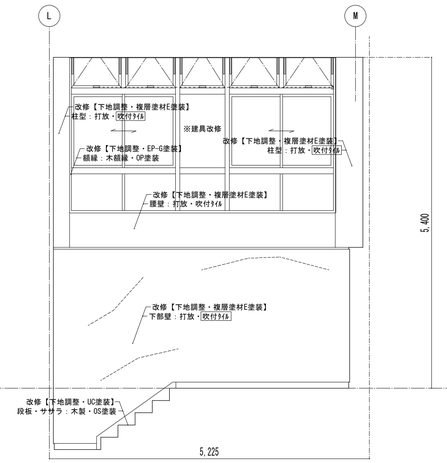
工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号			

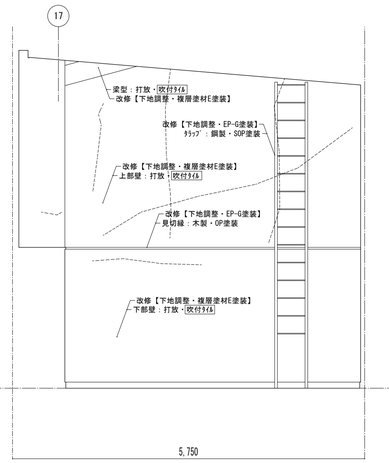
図面名称	内部改修　平面詳細図・展開図 舞台、控室－１、控室－２、放送室	縮尺	A1：1/50 A3：1/100
図面番号	A — 23		

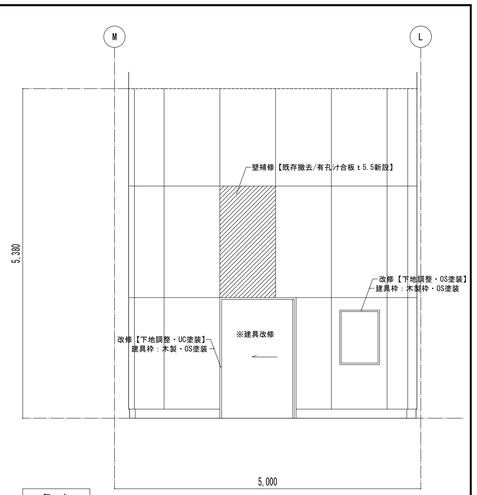
ID:25 12 16 1519:43 23-平詳-4-1(舞台控放送) 令和 年 月 日



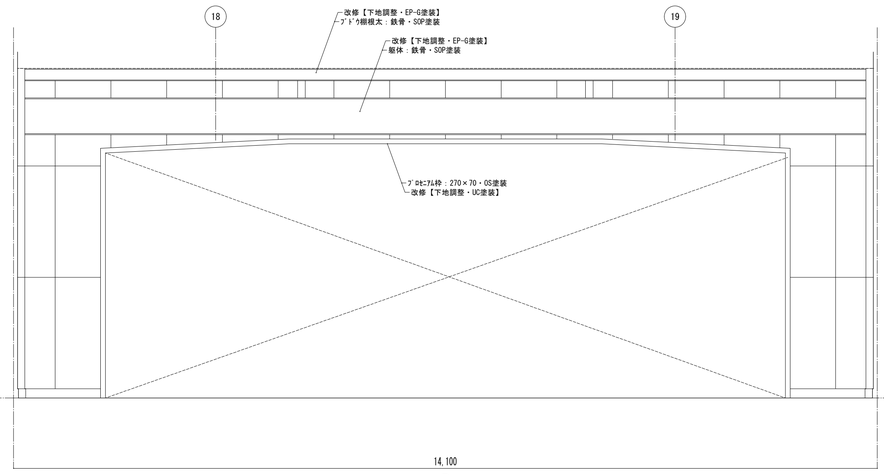


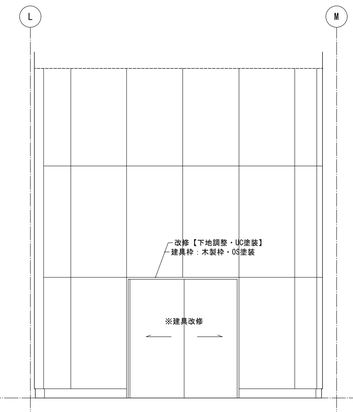


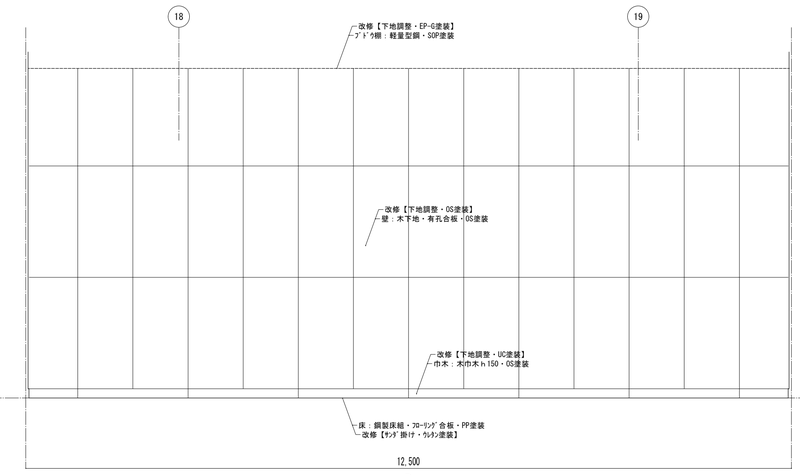


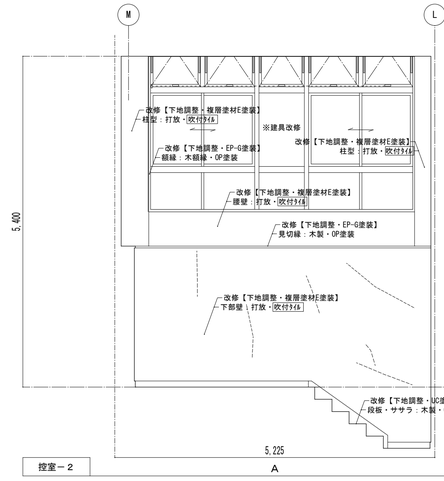


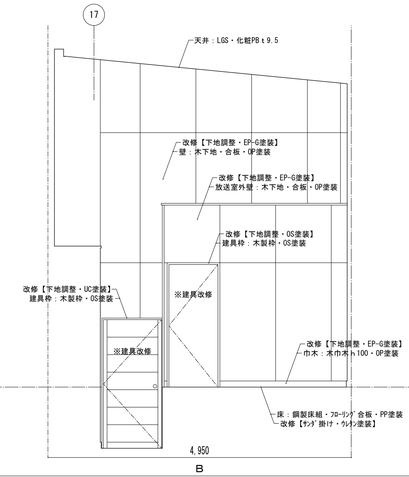
舞台

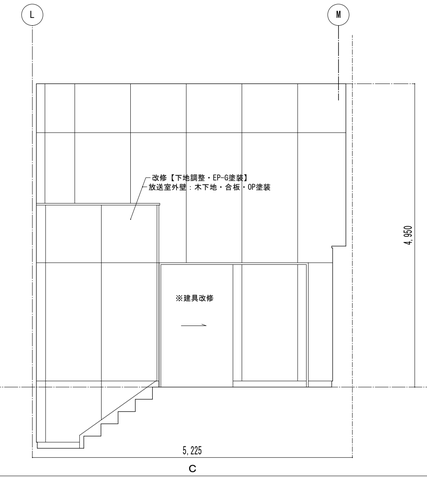


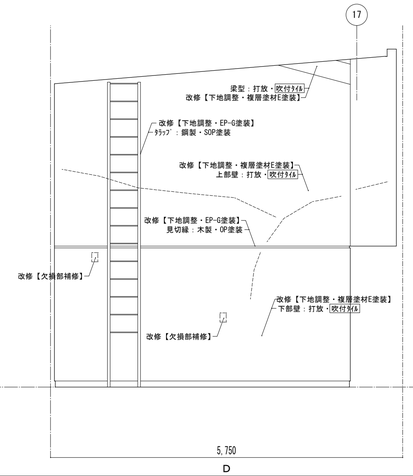












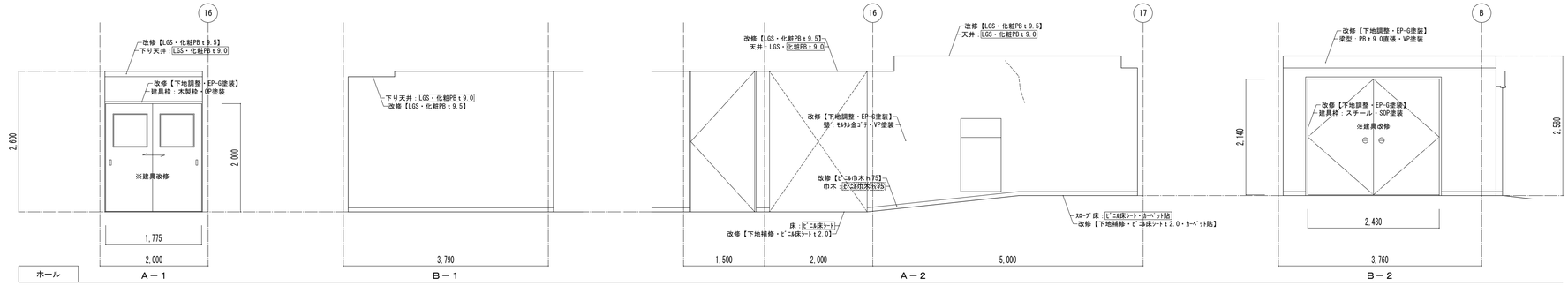
◆ 凡 例

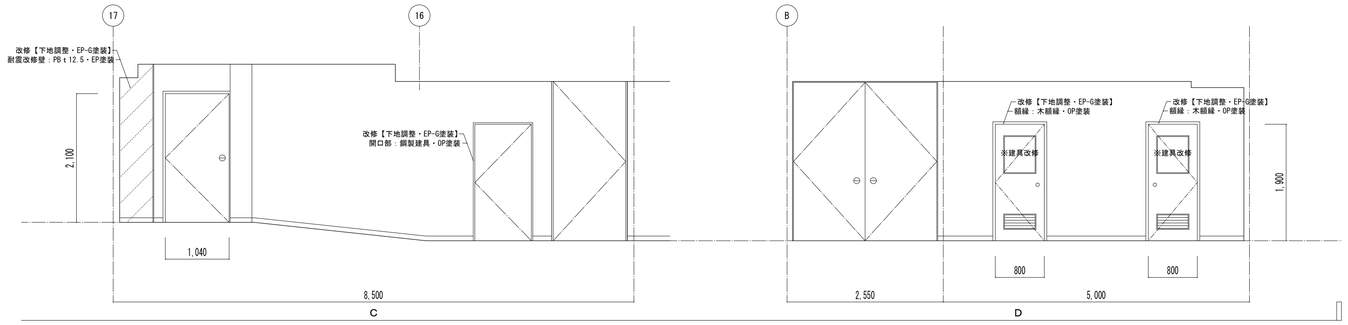
	撤去する下地材・仕上材を示す。
	撤去する建材の内、アスベスト含有建材を示す。
	部分撤去改修する範囲を示す。
改修【 】	改修内容を示す。
	ひび割れ補修シール充填工法を示す。

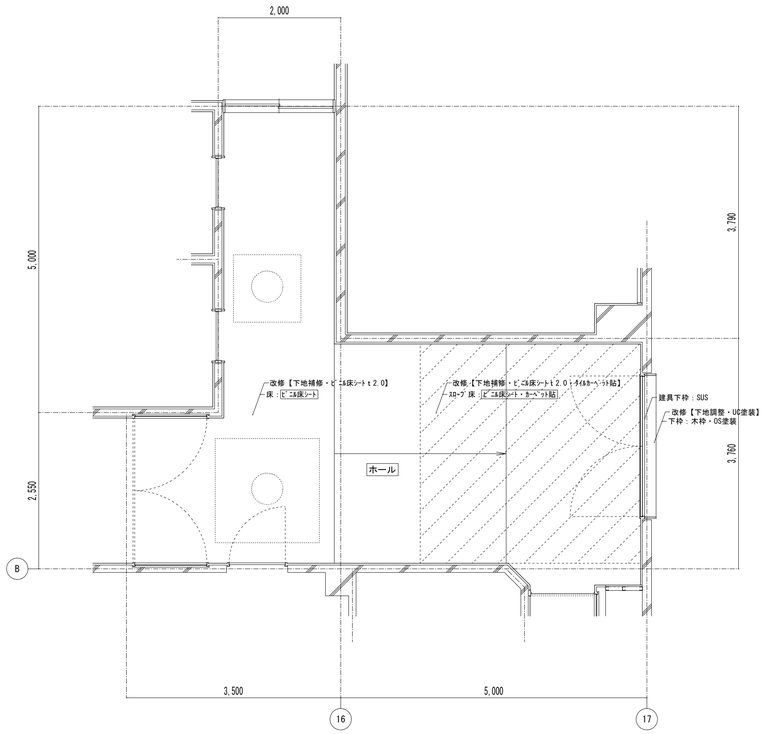
◆特記事項 ： 改修範囲は全面とする。

特記事項	工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称
	株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658	設計 担当	内部改修 展開図 舞台、控室－１、控室－２
	埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	URL http://www.archi-miya.co.jp/		縮尺 A1：1/50 A3：1/100
				図面番号 A ― 24

10:25 12.16 1520:04 24-平詳-4-2(舞台控放送) 令和 年 月 日











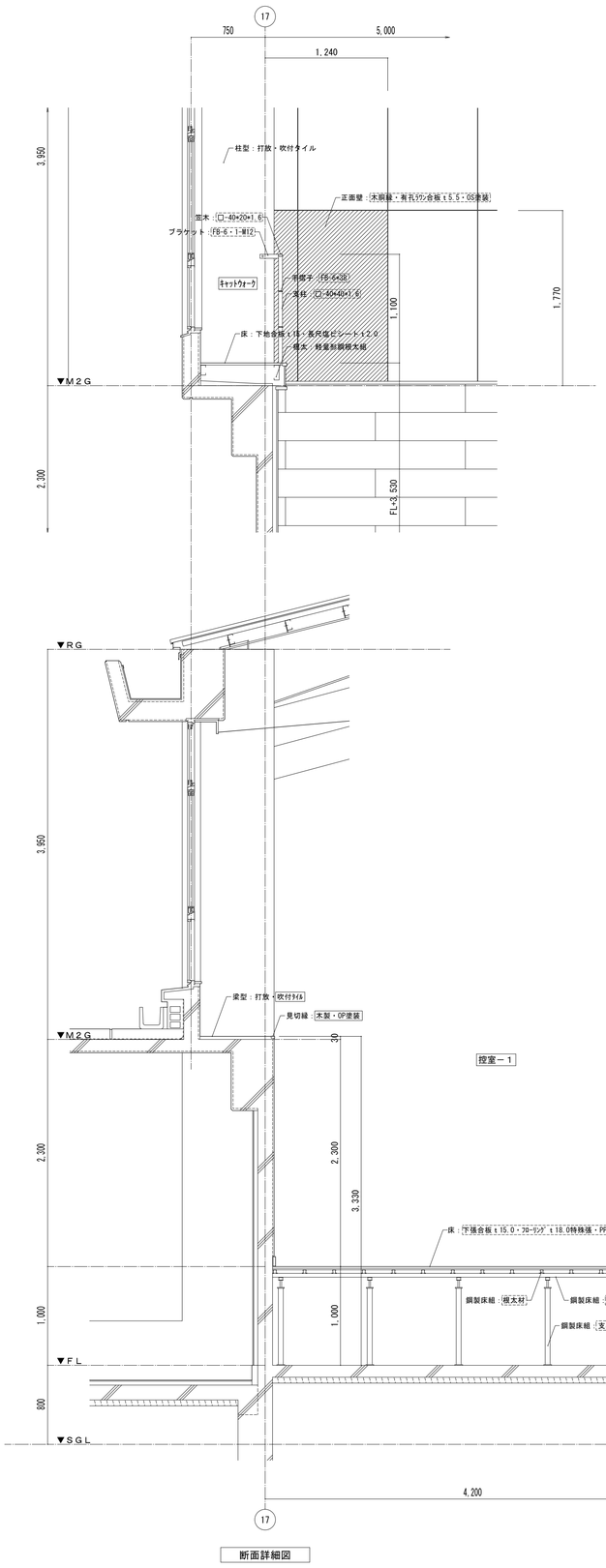
◆ 凡 例

	撤去する下地材・仕上材を示す。
	撤去する建材の内、アスベスト含有建材を示す。
	部分撤去改修する範囲を示す。
改修【 】	改修内容を示す。
	ひび割れ補修シール充填工法を示す。

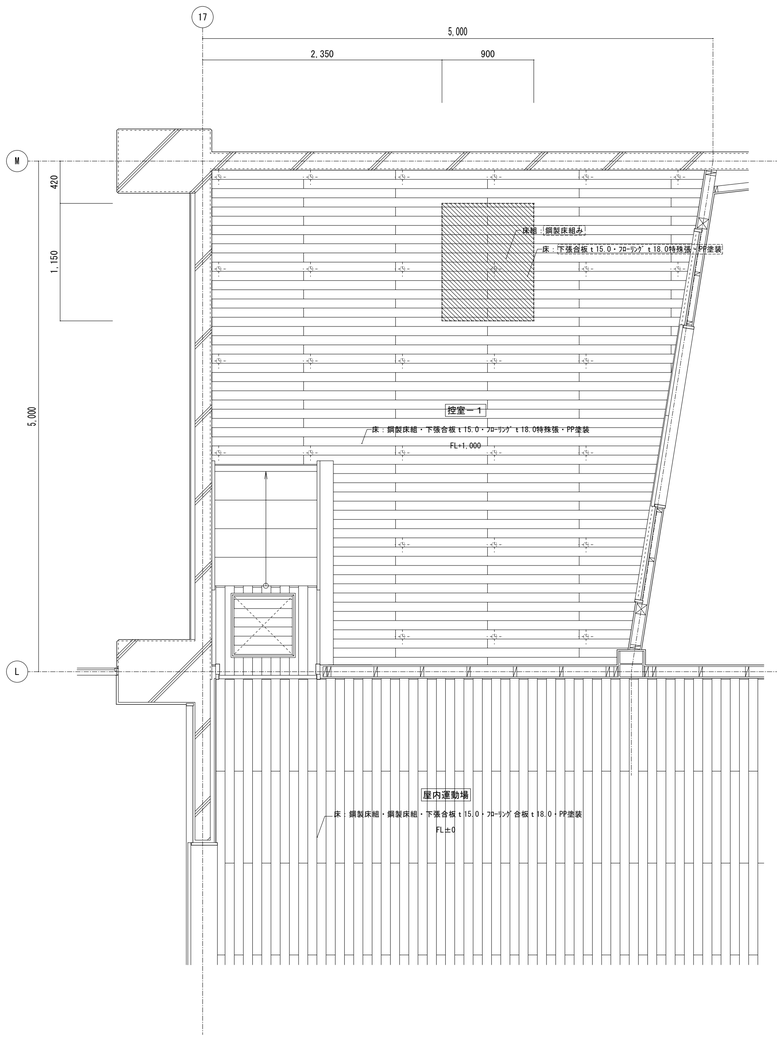
◆特記事項 ： 改修範囲は全面とする。

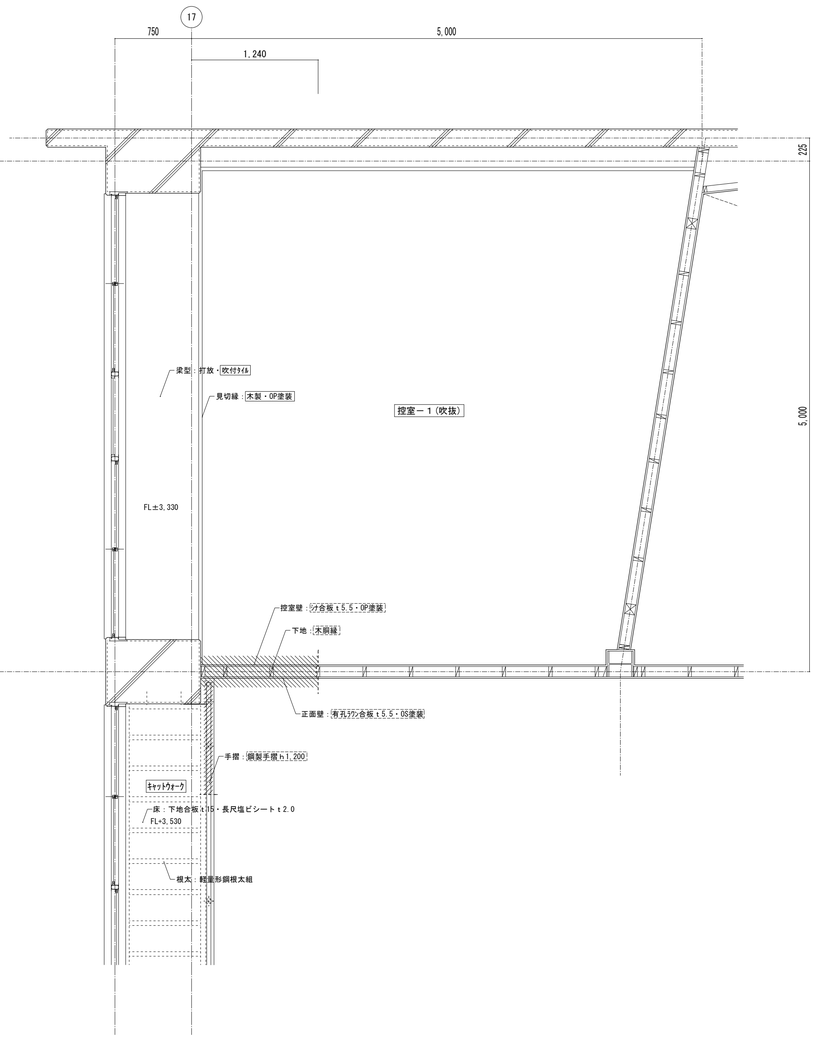
特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）		設計図
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	内部改修 平面詳細図・展開図 ホール	縮尺	A1：1/50 A3：1/100
図面番号	A — 25		
ID:25 12 16 1520:27 25-平詳-5(ホール)	令和 年 月 日		



断面詳細図





平面詳細図

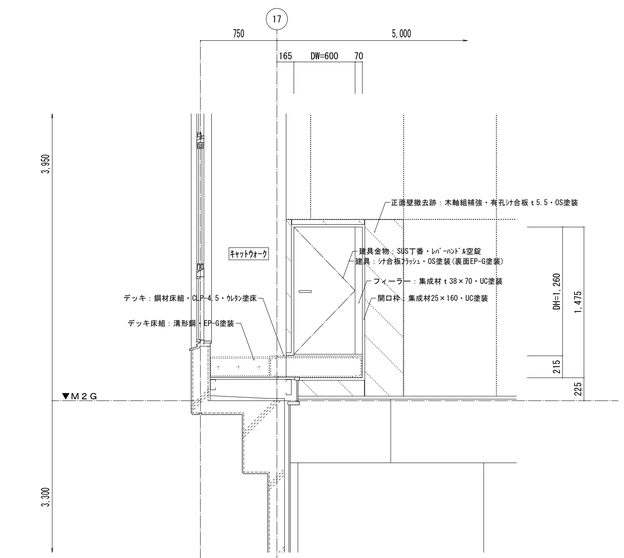
◆ 凡 例

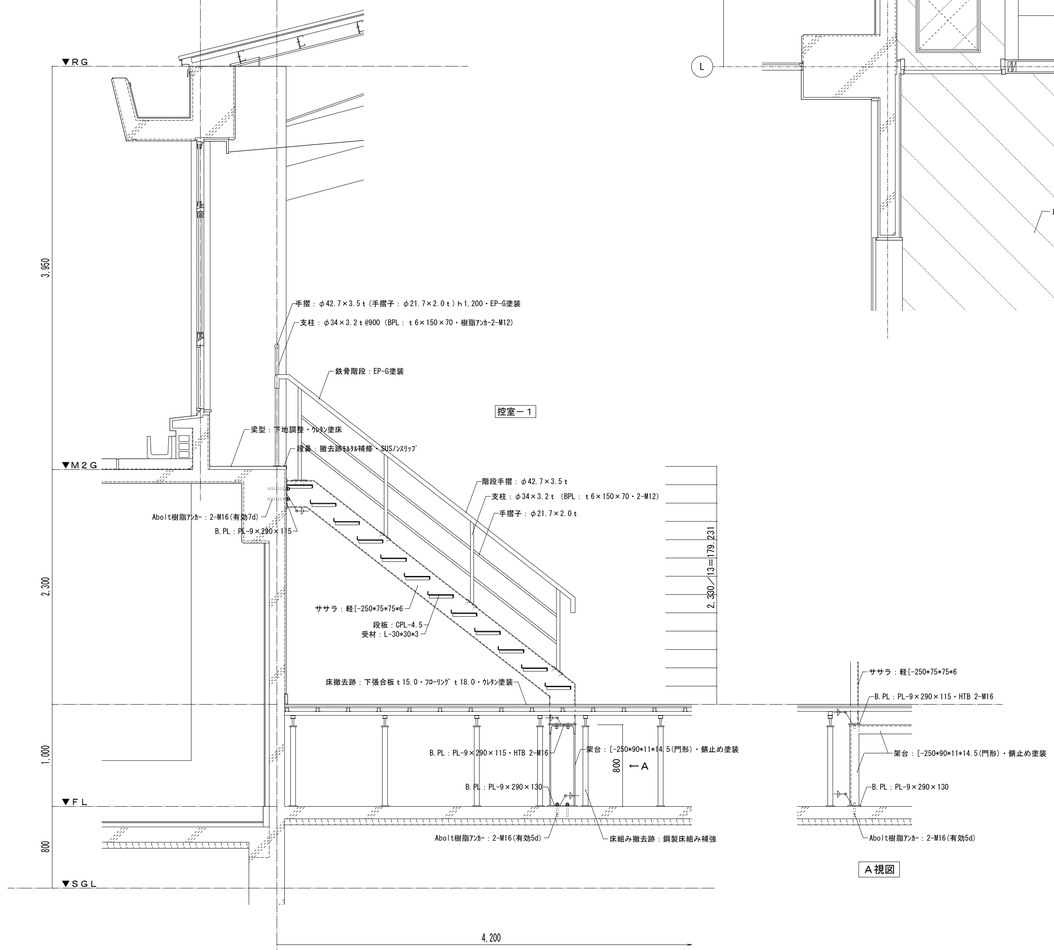
	撤去する下地材・仕上材を示す。
	一部撤去する下地材・仕上材を示す。
	部分撤去改修する範囲を示す。
	撤去する建材の内、アスベスト含有建材を示す。
改修【 】	改修内容を示す。

◆特記事項 ： 改修範囲は全面とする。

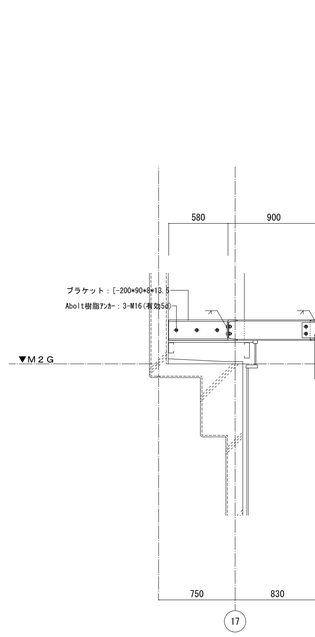
特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	階段改修 詳細図＜既 存＞	縮尺	A1：1/30 A3：1/60
図面番号	A — 26		
ID:25 12 16 1522:04 26-階段改修-1	令和 年 月 日		

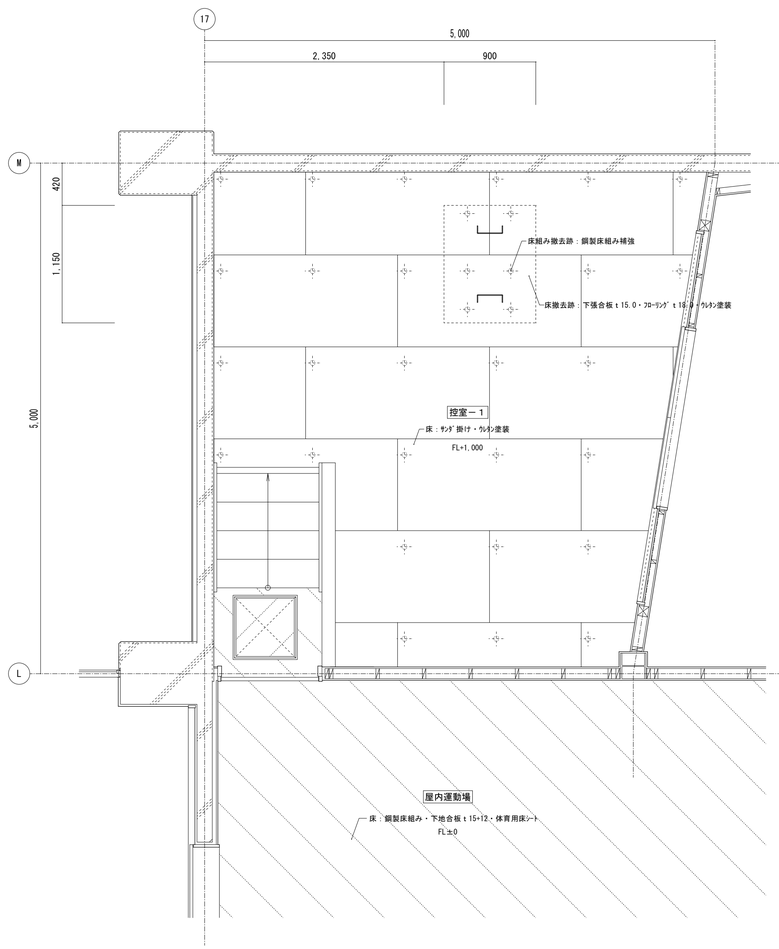


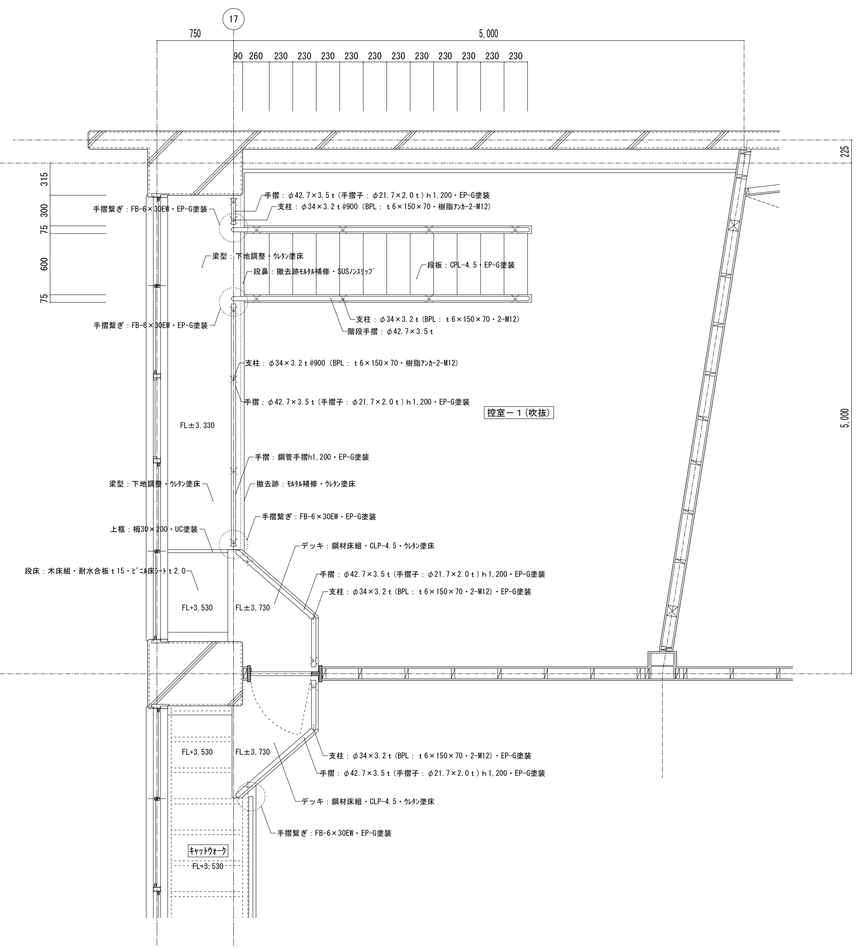


断面詳細図

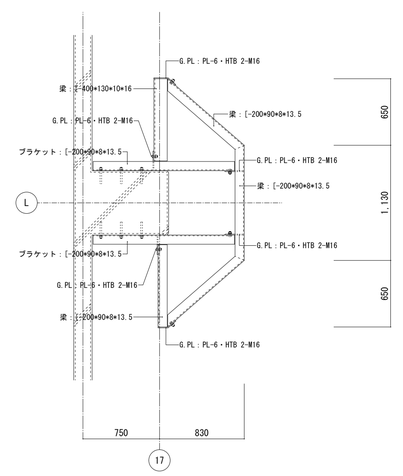


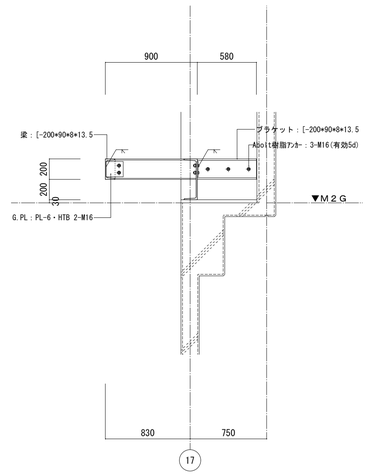
A視図





平面詳細図

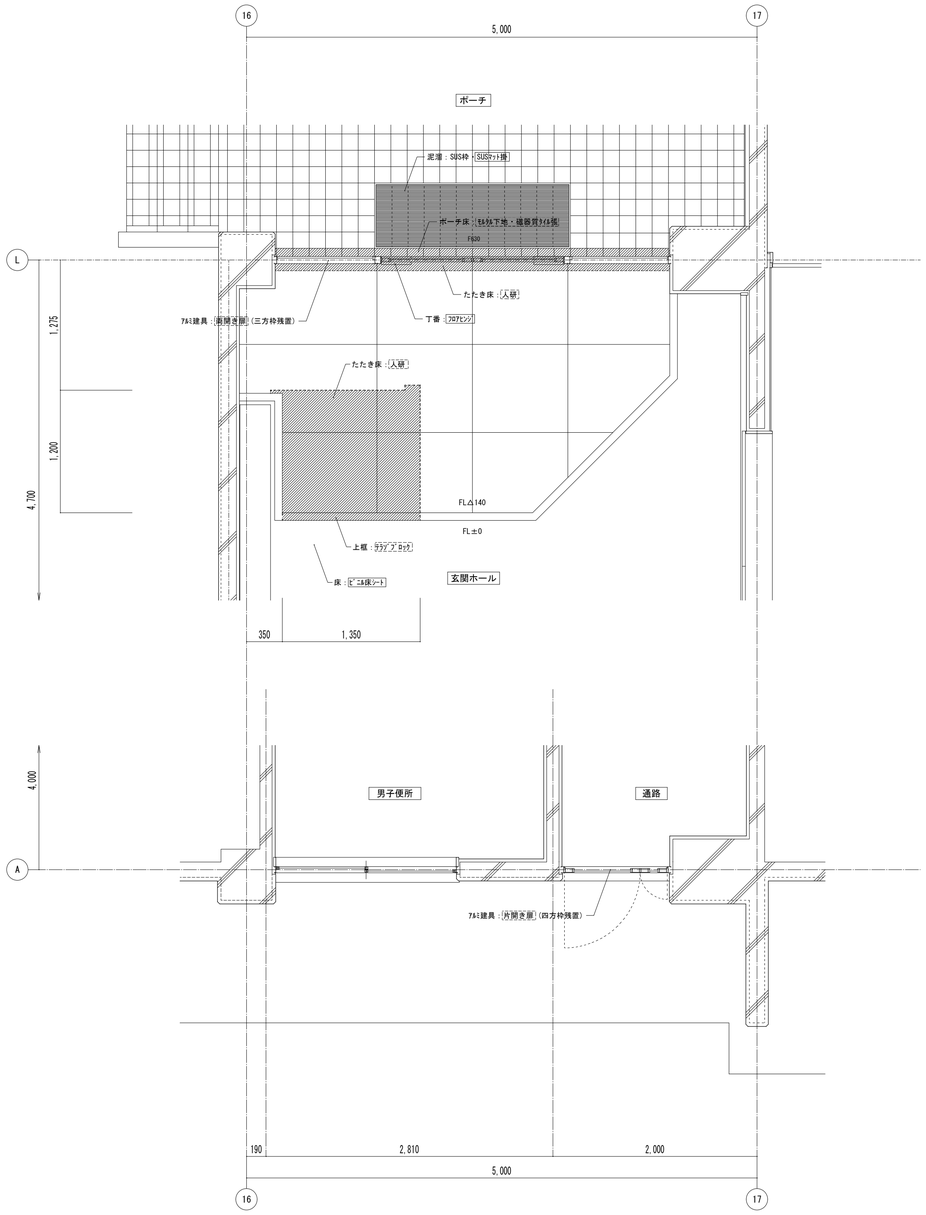


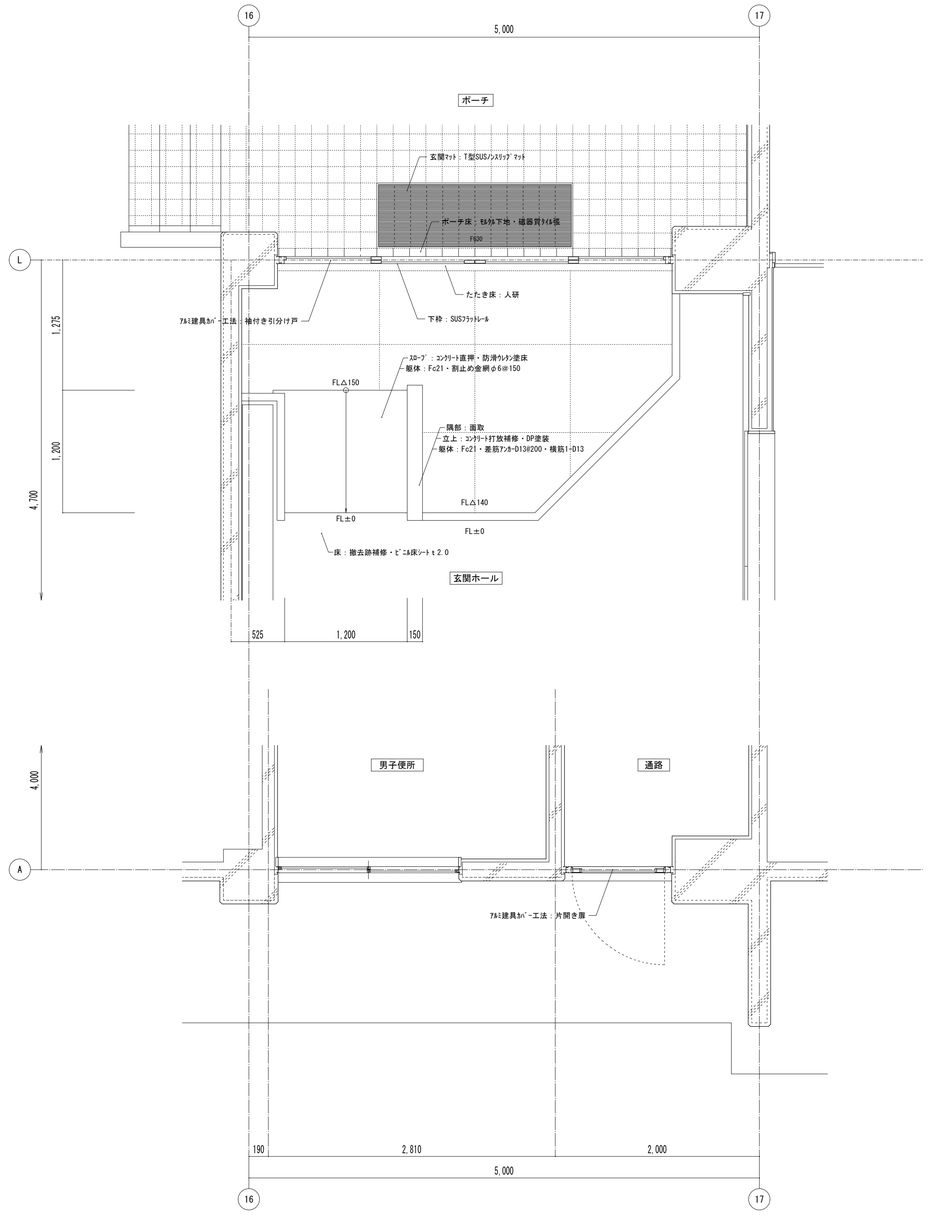


デッキ詳細図

特記事項						
	工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称	縮尺	図面番号
	株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 / 担当	階段改修　詳細図【改修後】 ID:25 04 25 1420:44 27-階段改修-2　令和　年　月　日	A1：1/30 A3：1/60	A — 27

既 存 → 改修後





◆ 凡 例

	撤去する下地材・仕上材を示す。
	一部撤去する下地材・仕上材を示す。
	一部撤去の場合の範囲を示す。
	撤去する建材の内、アスベスト含有建材を示す。

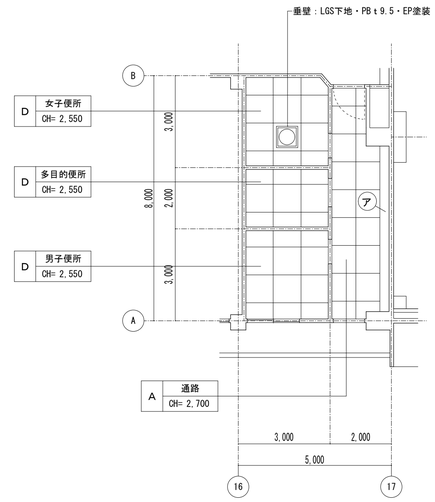
◆特記事項 ： 改修範囲は全面とする。

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）		設計図
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/		設計	担当
埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号			

図面名称	縮尺	図面番号
部分詳細図	A1：1/30 A3：1/60	A — 30
10:25 12 16 1522:55 30-部分詳細 令和 年 月 日		





【改修後】便所・通路天井伏図

符号	＜既　存＞	【改修後】
A	ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.0	ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.5
B	ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.5	－
C	ＬＧＳ下地・繊維板系吸音テックス	ＬＧＳ下地・石膏ボードｔ9.5・ＲＷ吸音板ｔ9.0
D	ＬＧＳ下地・フレキシブルボードｔ4.0目透し張り・ＥＰ塗装	ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.5
E	ドリソール板ｔ50・ＯＰ吹付塗装	－
F	ＬＧＳ下地・吸音石膏ボードｔ9.5	下地調整・ＥＰ塗装
G	ブドウ棚・ＳＯＰ塗装	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装
ア	石膏ボードｔ9.0直張・ＶＰ塗装	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装
イ	打放・吹付タイル	下地調整・複層塗材Ｅ塗装
ウ	ＬＧＳ下地・石膏ボードｔ9.0・ＥＰ塗装	下地調整・ＥＰ塗装
エ	木製造作・ＯＳ塗装	下地調整・ＯＳ塗装
オ	木製カーテンボックス・ＯＰ塗装	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装
カ	打放・複層塗材Ｅ塗装	下地改修・防水型複層塗材Ｅ塗装
キ	打放・外装薄塗材Ｅ塗装	下地改修・外装薄塗材Ｅ塗装
ク	鋼材面・ＳＯＰ塗装	下地改修・ＥＰ－Ｇ塗装
☒	点検口	
n	設備開口LGS開口補強（ｎ：寸法）	

特記事項

暗幕は撤去/新設とする。
カーテンレールは撤去/新設とする。（アルミカーテンレール）

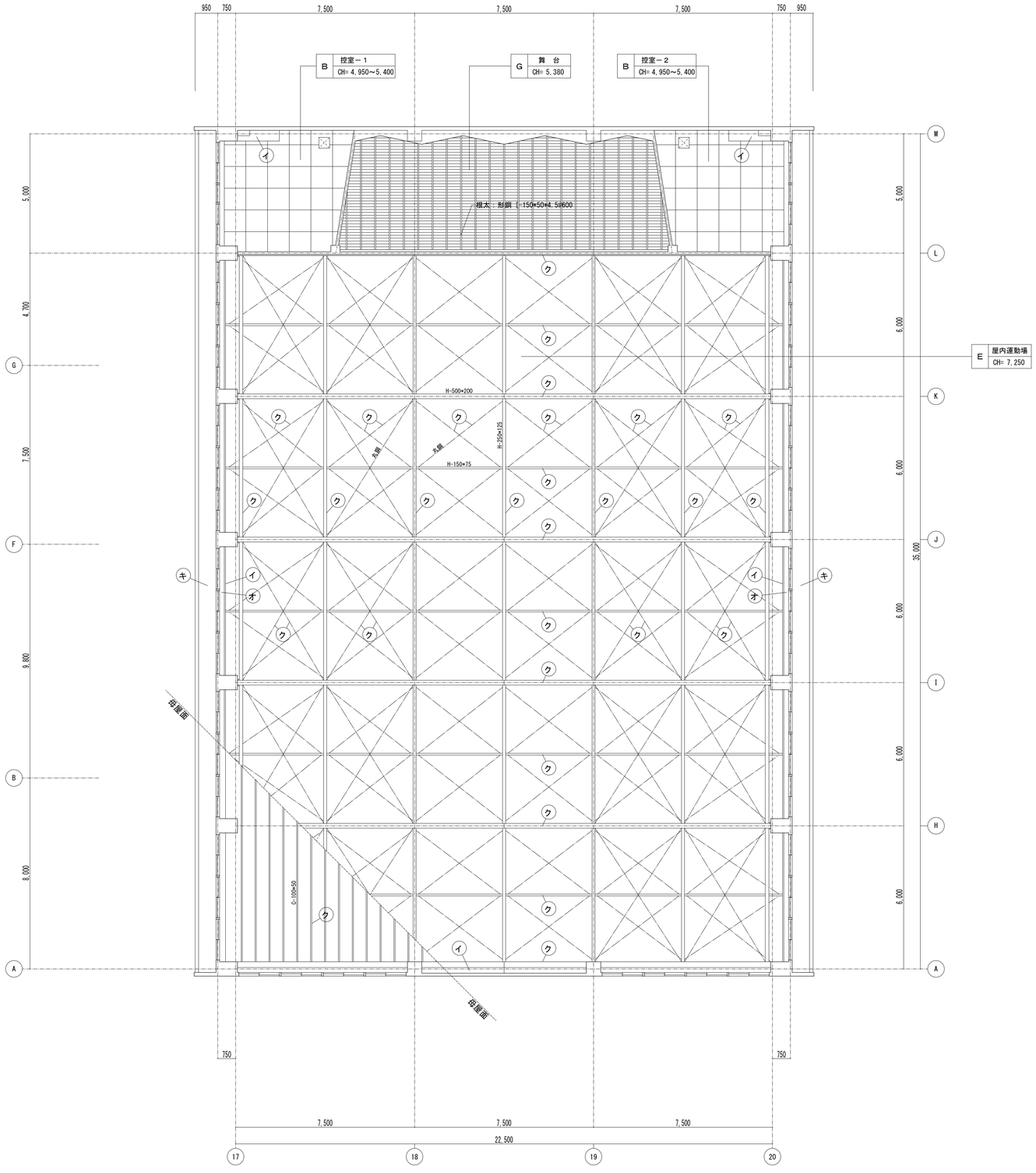
◆ 凡 例

n	撤去/新設する下地材・仕上材を示す。
⌂	撤去/新設する建材の内、アスベスト含有建材を示す。
▨	部分撤去改修する範囲を示す。

◆特記事項 ： 改修範囲は全面とする。

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1)409　管理建築士 宮下光男 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	天井伏図　１階	縮尺	A1：1/100 A3：1/200
図面番号	A ― 31		
10:25 12 16 1523:30 31-天井伏図-1	令和　年　月　日		



符号	＜既　存＞	【改修後】
A	ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.0	ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.5
B	ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.5	－
C	ＬＧＳ下地・繊維板系吸音テックス	ＬＧＳ下地・石膏ボードｔ9.5・ＲＷ吸音板ｔ9.0
D	ＬＧＳ下地・フレキシブルボードｔ4.0目透し張り・ＥＰ塗装	ＬＧＳ下地・化粧石膏ボードｔ9.5
E	ドリゾール板ｔ50・ＯＰ吹付塗装	－
F	ＬＧＳ下地・吸音石膏ボードｔ9.5	下地調整・ＥＰ塗装
G	ブドウ棚・ＳＯＰ塗装	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装
ア	石膏ボードｔ9.0直張・ＶＰ塗装	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装
イ	打放・吹付タイル	下地調整・複層塗材Ｅ塗装
ウ	ＬＧＳ下地・石膏ボードｔ9.0・ＥＰ塗装	下地調整・ＥＰ塗装
エ	木製造作・ＯＳ塗装	下地調整・ＯＳ塗装
オ	木製カーテンボックス・ＯＰ塗装	下地調整・ＥＰ－Ｇ塗装
カ	打放・複層塗材Ｅ塗装	下地改修・防水型複層塗材Ｅ塗装
キ	打放・外装薄塗材Ｅ塗装	下地改修・外装薄塗材Ｅ塗装
ク	鋼材面・ＳＯＰ塗装	下地改修・ＥＰ－Ｇ塗装
⊠	点検口	
n	設備開口LGS開口補強（ｎ：寸法）	

特記事項

暗幕は撤去/新設とする。
カーテンレールは撤去/新設とする。（アルミカーテンレール）

◆ 凡 例

n	撤去/新設する下地材・仕上材を示す。
n	撤去/新設する建材の内、アスベスト含有建材を示す。
	部分撤去改修する範囲を示す。

◆特記事項 ： 改修範囲は全面とする。

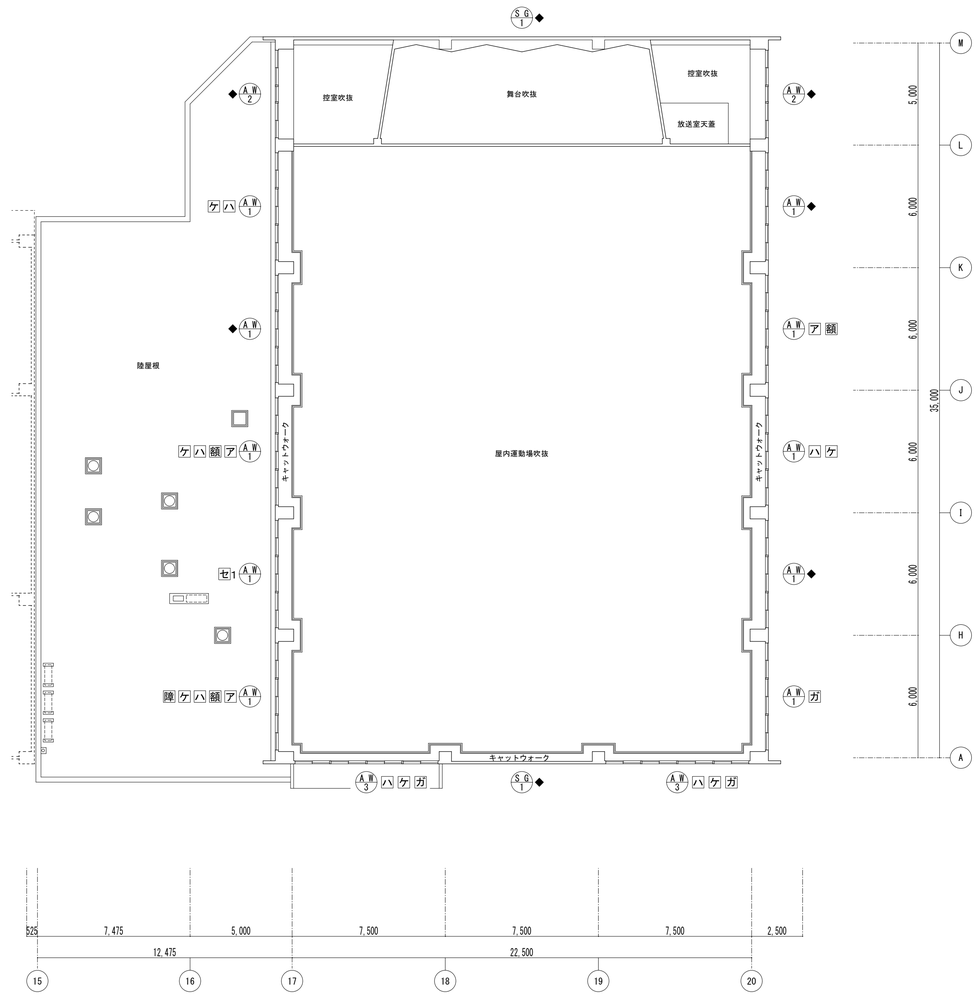
北

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）		設計図	図面名称	縮尺	図面番号
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当	天井伏図　屋根面	A1：1/100 A3：1/200	A — 32
				ID:25 12 16 1522:50 32-天井伏図-2	令和　年　月　日	



１階　キープラン



キャットウォーク　キープラン

凡　例

防火：防火設備

特防：特定防火設備

◆：建具表に基づく改修を示す

n：上記の他、下記の部品交換を示す

- ハ　露出ハンドルボックス
- ケ　露出メインパイプ・メインケーブル
- 障　障子金具
- ワ　露出メインパイプ・メインワイヤ
- ダ　ステイダンパー
- ア　アルミアングル(下部に限る)
- 額　木製サッシ額縁・EP-G塗装
- セn　クレセント　×ｎヶ所
- 車　戸車
- ガ　既存ガラス撤去／学校用強化ガラス新設

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）
設計図	
図面名称	建具表　キープラン
縮尺	A1：1/150 A3：1/300
図面番号	A — 33

株式会社 宮下設計事務所　一級建築士事務所
埼玉県知事登録(11)409　管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号
さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号
TEL048(824)3286 FAX048(824)3658
URL http://www.archi-miya.co.jp/

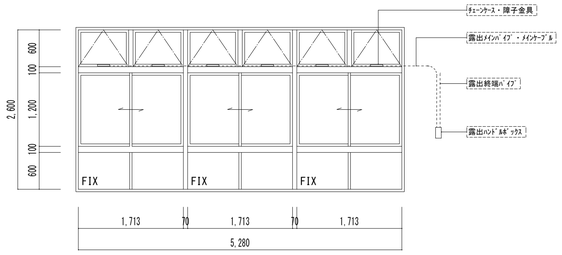
設計　担当

ID:25 12 16 1524:08 33-建具表-0　令和　年　月　日

個数・箇所 符号 AW1 × 10

部位：キャットウォーク

姿図



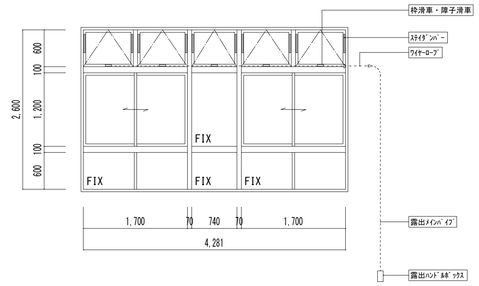
＜既　存＞

材質・形式	材質	アルミ	仕上	アルマイト	形式	引き違い連窓・突出し窓	劣化部　手動開閉装置撤去＜キープランに依る＞
部材寸法	見込	70	方立	70	無目	100	劣化部　ガラス撤去＜キープランに依る＞
ガラス	種類	透明フロート板ガラス	板厚	3.0			建具周囲シール撤去
金物	戸車、クレセント、アルミ水切、アルミアングル、突出し窓オペレーター式（ハンドル式手動開閉）						ガラスシール撤去
分類	防火	―	遮音	―	断熱	―	
備考	備考						

個数・箇所 符号 AW2 × 2

部位：控室－１、控室－２

姿図



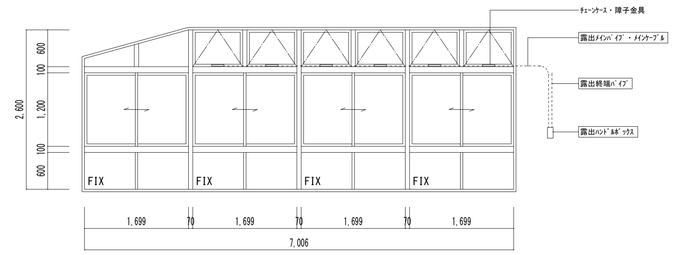
＜既　存＞

材質・形式	材質	アルミ	仕上	アルマイト	形式	引き違い連窓・突出し窓	手動開閉装置撤去
部材寸法	見込	70	方立	70	無目	100	建具周囲シール撤去
ガラス	種類	透明フロート板ガラス	板厚	3.0			ガラスシール撤去
金物	戸車、クレセント、アルミ水切、アルミアングル、突出し窓オペレーター式（ワンタッチ式手動開閉）						
分類	防火	―	遮音	―	断熱	―	
備考	備考						

個数・箇所 符号 AW3 × 2

部位：キャットウォーク

姿図



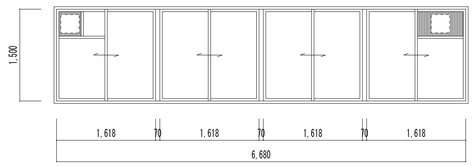
＜既　存＞

材質・形式	材質	アルミ	仕上	アルマイト	形式	引き違い連窓・突出し窓	手動開閉装置一部撤去＜キープランに依る＞
部材寸法	見込	70	方立	70	無目	100	ガラス撤去
ガラス	種類	透明フロート板ガラス	板厚	3.0			建具周囲シール撤去
金物	戸車、クレセント、アルミ水切、アルミアングル、突出し窓オペレーター式（ワンタッチ式手動開閉）						
分類	防火	―	遮音	―	断熱	―	
備考	備考						

個数・箇所 符号 AW4 × 1

部位：柔道場

姿図



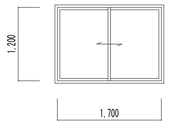
＜既　存＞

材質・形式	材質	アルミ	仕上	アルマイト	形式	引き違い窓	建具周囲シール撤去
部材寸法	見込	70	方立	70	無目	―	ガラスシール撤去
ガラス	種類	透明フロート板ガラス	板厚	3.0			
金物	戸車、クレセント、アルミ水切、アルミアングル、換気扇用アルミパネル						
分類	防火	―	遮音	―	断熱	―	
備考	備考						

個数・箇所 符号 AW5 × 1

部位：男子便所

姿図



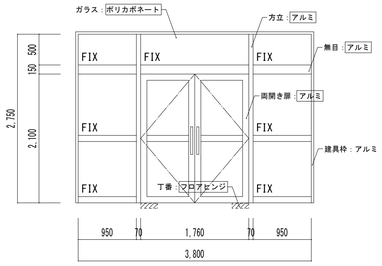
＜既　存＞

材質・形式	材質	アルミ	仕上	アルマイト	形式	引き違い窓	建具周囲シール撤去
部材寸法	見込	70	方立	70	無目	―	ガラスシール撤去
ガラス	種類	透明フロート板ガラス	板厚	3.0			
金物	戸車、クレセント、アルミ水切、アルミアングル						
分類	防火	―	遮音	―	断熱	―	
備考	備考						

個数・箇所 符号 AD1 × 1

部位：玄関ホール

姿図



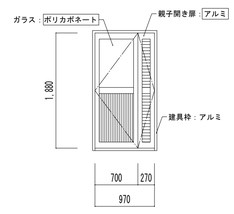
＜既　存＞

材質・形式	材質	アルミ	仕上	アルマイト	形式	両開き扉	両開き扉撤去
部材寸法	見込	100	方立	70	無目	150	無目・方立撤去
ガラス	種類	ポリカーボネート	板厚	5.0			建具金物一式撤去
金物	フロアヒンジ、フランス落し、押棒、シリンダサムタン錠						ガラス撤去
分類	防火	―	遮音	―	断熱	―	
備考	備考	フロアヒンジ：OHTORI KIKO DIA D-22					

個数・箇所 符号 AD2 × 1

部位：便所通路

姿図



＜既　存＞

材質・形式	材質	アルミ	仕上	アルマイト	形式	親子開き扉	親子開き扉撤去
部材寸法	見込	70	方立		無目		建具金物一式撤去
ガラス	種類	ポリカーボネート	板厚	5.0			ガラス撤去
金物	丁番、ドアチェック、アームストッパー、ノブ、シリンダーモノロック、アルミガラリ						
分類	防火	―	遮音	―	断熱	―	
備考	備考						

◆ 凡 例

- 撤去する下地材・仕上材を示す。
- 一部撤去する下地材・仕上材を示す。
- 一部撤去の場合の範囲を示す。

◆特記事項 ： 改修範囲は全面とする。

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図
図面名称	建具表－１（アルミ）＜既　存＞	
縮尺	A1：1/50 A3：1/100	
図面番号	A ― 34	

株式会社 宮下設計事務所　一級建築士事務所
埼玉県知事登録(1)409　管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号
さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号
TEL048(824)3286 FAX048(824)3658
URL http://www.archi-miya.co.jp/

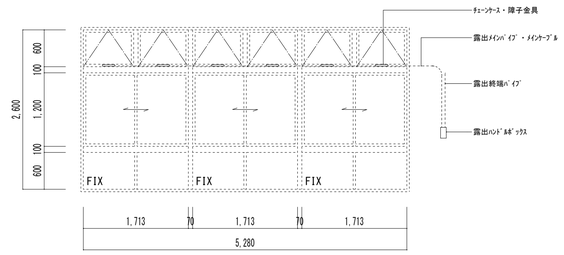
設計　担当

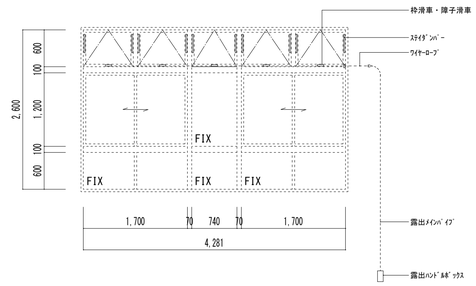
10:25 12 16 1524:27 34-建具表-1-1(AW)　令和　年　月　日

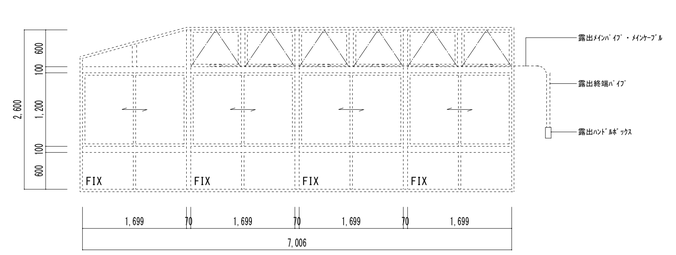
個数・箇所

符号	個数	部位
AW1	× 10	キャットウォーク
AW2	× 2	控室－１、控室－２
AW3	× 2	キャットウォーク

姿図







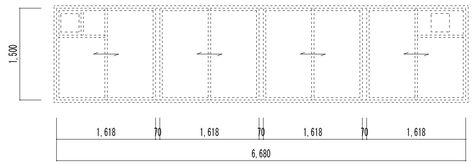
【改修後】

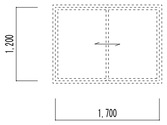
材質・形式	材質	―	仕上	―	形式	―	劣化部　手動開閉装置改修＜キープランに依る＞	材質	―	仕上	―	形式	―	手動開閉装置新設	材質	―	仕上	―	形式	―	劣化部　手動開閉装置改修＜キープランに依る＞
部材寸法	見込	―	方立	―	無目	―	劣化部　ガラス新設＜キープランに依る＞	見込	―	方立	―	無目	―	建具周囲シール新設	見込	―	方立	―	無目	―	ガラス新設
ガラス	種類	学校強化ガラス	板厚	4.0			建具周囲シール新設	種類	―	板厚	―			ガラスシール新設	種類	学校強化ガラス	板厚	4.0			建具周囲シール新設
金物	クレセント、アルミアングル、突出し窓オペレーター式（ハンドル式手動開閉）						ガラスシール新設	アルミアングル、突出し窓オペレーター式（ワンタッチ式手動開閉）						ガラス清掃	突出し窓オペレーター式（ハンドル式手動開閉）						ガラス清掃
分類	防火	―	遮音	―	断熱	―	ガラス清掃	防火	―	遮音	―	断熱	―		防火	―	遮音	―	断熱	―	
備考	備考							備考							備考						

個数・箇所

符号	個数	部位
AW4	× 1	柔道場
AW5	× 1	男子便所

姿図





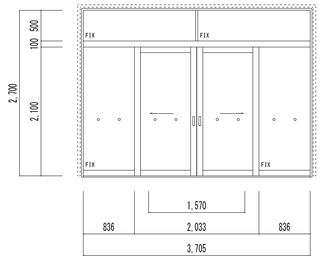
【改修後】

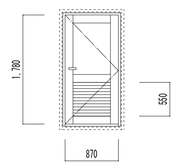
材質・形式	材質	アルミ	仕上	アルマイト	形式	引き違い窓	建具周囲シール新設	材質	アルミ	仕上	アルマイト	形式	引き違い窓	建具周囲シール新設	
部材寸法	見込	70	方立	70	無目	―	ガラスシール新設	見込	70	方立	70	無目	―	ガラスシール新設	
ガラス	種類	透明フロート板ガラス	板厚	3.0			ガラス清掃	種類	透明フロート板ガラス	板厚	3.0			ガラス清掃	
金物	戸車、クレセント、アルミ水切、アルミアングル、換気扇用アルミパネル							戸車、クレセント、アルミ水切、アルミアングル							
分類	防火	―	遮音	―	断熱	―		防火	―	遮音	―	断熱	―		
備考	備考							備考							

個数・箇所

符号	個数	部位
AD1	× 1	玄関ホール
AD2	× 1	便所通路

姿図





【改修後】

材質・形式	材質	アルミ（カバー工法）	仕上	アルマイト	形式	袖付き引分け戸	カバー工法改修	材質	アルミ（カバー工法）	仕上	アルマイト	形式	片開き框扉	カバー工法改修	
部材寸法	見込	100	方立	100	無目	100	下枠フラットレール新設	見込	70	方立	―	無目	―	建具金物新設	
ガラス	種類	透明強化ガラス	板厚	8.0			建具金物新設	種類	学校強化型ガラス	板厚	4.0			ガラス清掃	
金物	戸車、SUSフラットレール、シリンダサムタン引戸錠、SUS引手、SUS衝突防止マーカー						ガラス清掃	SUS丁番、レバーハンドル、シリンダサムタン錠、SUS音摺、ドアチェック（S付）、アルミパネルガラリ（33%）							
分類	防火	―	遮音	―	断熱	―		防火	―	遮音	―	断熱	―		
備考	備考							備考							

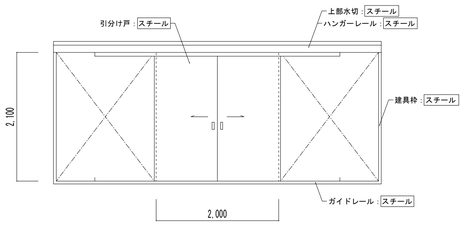
特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1)409　管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	建具表－１（アルミ）【改修後】	縮尺	A1：1/50 A3：1/100
図面番号	A ― 35		
ID:25 12 16 1524:44 35-建具表-1-2.JWC	令和　年　月　日		

個数・箇所 符号 S.D 1 × 2

部位：屋内運動場

姿図



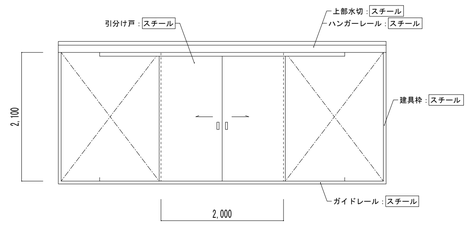
＜既　存＞

材質・形式	材質：スチール	仕上：ＯＰ塗装	形式：引分けフラッシュ戸	鋼製建具枠撤去		
部材寸法	見込：40	方立：—	無目：—	戸撤去		
ガラス	種類：—	板厚：—	建具金物一式撤去			
金物	ハンガーレール、ハンガー戸車、ガイドレール、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、中央堰止、彫込引手、戸当					
分類	防火：—	遮音：—	断熱：—			
備考	備考：					

個数・箇所 符号 S.D 2 × 1

屋内運動場

姿図



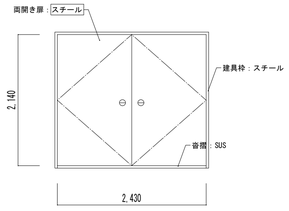
＜既　存＞

材質・形式	材質：スチール	仕上：ＯＰ塗装	形式：引分けフラッシュ戸	鋼製建具枠撤去		
部材寸法	見込：40	方立：—	無目：—	戸撤去		
ガラス	種類：—	板厚：—	建具金物一式撤去			
金物	ハンガーレール、ハンガー戸車、ガイドレール、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、中央堰止、彫込引手、戸当					
分類	防火：—	遮音：—	断熱：—			
備考	備考：					

個数・箇所 符号 S.D 3 × 1

ホール

姿図



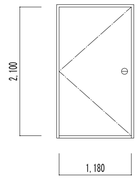
＜既　存＞

材質・形式	材質：スチール	仕上：ＯＰ塗装	形式：両開きフラッシュ扉	扉撤去		
部材寸法	見込：100	方立：—	無目：—	建具金物一式撤去		
ガラス	種類：—	板厚：—				
金物	丁番、ドアチェック、フランス落し、ケースハンドル、シリンダー錠					
分類	防火：甲種防火戸	遮音：—	断熱：—			
備考	備考：					

個数・箇所 符号 S.D 4 × 1

ホール

姿図



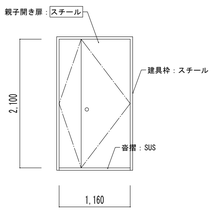
＜既　存＞

材質・形式	材質：スチール	仕上：ＯＰ塗装	形式：片開きフラッシュ扉(戸袋付き)	—		
部材寸法	見込：100	方立：—	無目：—			
ガラス	種類：—	板厚：—				
金物	ヒンジ吊、ドアチェック、フランス落し、ケースハンドル、シリンダーサムタン錠					
分類	防火：—	遮音：—	断熱：—			
備考	備考：					

個数・箇所 符号 S.D 5 × 1

柔道場

姿図



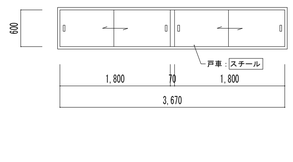
＜既　存＞

材質・形式	材質：スチール	仕上：ＯＰ塗装	形式：親子開きフラッシュ扉	扉撤去		
部材寸法	見込：100	方立：—	無目：—	建具金物一式撤去		
ガラス	種類：—	板厚：—				
金物	丁番、ビボットヒンジ、ドアチェック、フランス落し、ノブ、シリンダーモノロック					
分類	防火：甲種防火戸	遮音：—	断熱：—			
備考	備考：					

個数・箇所 符号 S.W 1 × 5

屋内運動場

姿図



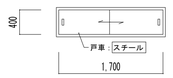
＜既　存＞

材質・形式	材質：スチール	仕上：ＯＰ塗装	形式：引分けフラッシュ戸	戸車撤去		
部材寸法	見込：86	方立：—	無目：—			
ガラス	種類：—	板厚：—				
金物	戸車、クレセント、アングル、水切、彫込引手					
分類	防火：—	遮音：—	断熱：—			
備考	備考：					

個数・箇所 符号 S.W 2 × 2

柔道場

姿図



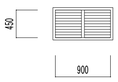
＜既　存＞

材質・形式	材質：スチール	仕上：ＯＰ塗装	形式：引違いフラッシュ戸	戸車撤去		
部材寸法	見込：86	方立：—	無目：—			
ガラス	種類：—	板厚：—				
金物	戸車、クレセント、アングル、水切、彫込引手					
分類	防火：—	遮音：—	断熱：—			
備考	備考：					

個数・箇所 符号 S.G 1 × 2

屋内運動場、ステージ

姿図



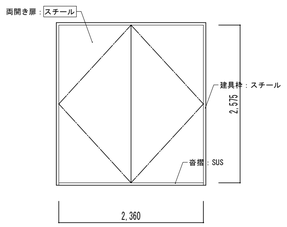
＜既　存＞

材質・形式	材質：スチール	仕上：ＯＰ塗装	形式：固定ガラリ	—		
部材寸法	見込：—	方立：—	無目：—			
ガラス	種類：—	板厚：—				
金物						
分類	防火：—	遮音：—	断熱：—			
備考	備考：					

個数・箇所 符号 S.D 10 × 1

部位：ホール

姿図



＜既　存＞

材質・形式	材質：スチール	仕上：ＯＰ塗装	形式：両開きフラッシュ扉	扉撤去		
部材寸法	見込：100	方立：—	無目：—	建具金物一式撤去		
ガラス	種類：—	板厚：—				
金物	丁番、ドアチェック、フランス落し、ケースハンドル、シリンダー錠					
分類	防火：—	遮音：—	断熱：—			
備考	備考：					

◆ 凡 例

- 撤去する下地材・仕上材を示す。
- 一部撤去する下地材・仕上材を示す。
- 一部撤去の場合の範囲を示す。

◆特記事項 ： 改修範囲は全面とする。

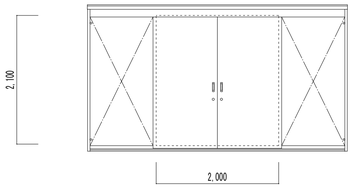
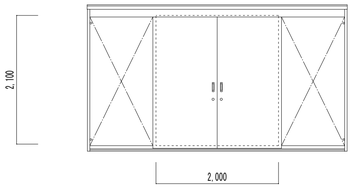
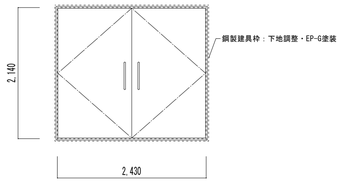
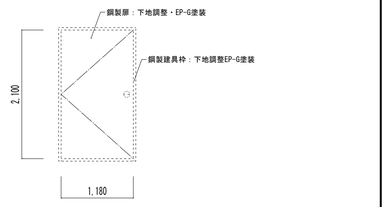
特記事項

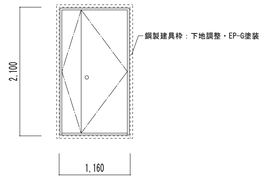
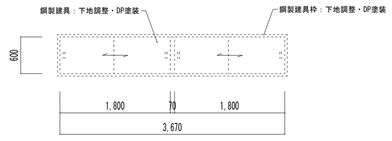
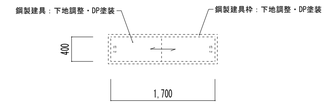
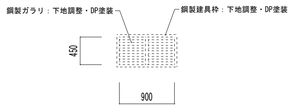
工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）		設計図
図面名称	建具表－２（スチール）＜既　存＞	縮尺	A1：1/50 A3：1/100
図面番号	A — 36		

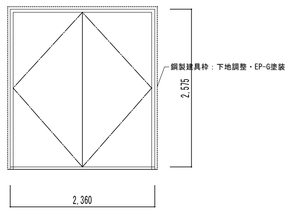
株式会社 宮下設計事務所　一級建築士事務所
埼玉県知事登録(1)409　管理建築士 宮下光秀 一級建築士大臣登録第81291号
さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号
TEL048(824)3286 FAX048(824)3658
URL http://www.archi-miya.co.jp/

設計　担当

10 25 12 16 1525-05 36-建具表-2-1(SD)　令和　年　月　日

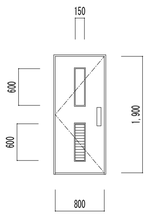
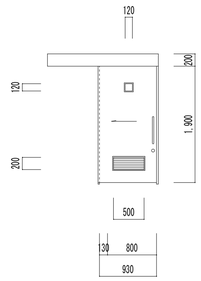
個数・箇所	SD1 × 2	SD2 × 1	SD3 × 1	SD4 × 1
	部位：屋内運動場	屋内運動場	ホール	ホール
姿図				
	【改修後】	【改修後】	＜既　存＞	【改修後】
材質・形式	材質：外部軽量鋼製建具 / 仕上：工場塗装 / 形式：引分けフラッシュ戸 / 軽量鋼製建具新設	材質：外部軽量鋼製建具 / 仕上：工場塗装 / 形式：引分けフラッシュ戸 / 軽量鋼製建具新設	材質：スチール(持出しカバー工法) / 仕上：ＥＰ－Ｇ塗装 / 形式：両開きフラッシュ扉 / 持出カバー工法改修	材質：－ / 仕上：－ / 形式：－ / 既存面下地調整・EP-G塗装
部材寸法	見込：38 / 方立：－ / 無目：－ / 建具金物新設	見込：38 / 方立：－ / 無目：－ / 建具金物新設	見込：145 / 方立：－ / 無目：－ / 建具金物新設	見込：－ / 方立：－ / 無目：－
ガラス	種類：－ / 板厚：－	種類：－ / 板厚：－	種類：－ / 板厚：－ / 既存面下地調整・EP-G塗装	種類：－ / 板厚：－
金物	・ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、上吊車、ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、堀込引手、上下錠、振止め、脱輪防止装置、戸先ｺﾞﾑ、戸当、SUS溶摺25×260d、内額縁25×260d	・ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、上吊車、ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、堀込引手、上下錠、振止め、脱輪防止装置、戸先ｺﾞﾑ、戸当、SUS溶摺25×480d、内額縁25×480d	・SUS丁番、SUS溶摺(平)、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ(Ｓ無)、引手ﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｻﾑﾀﾝ錠、ﾌﾗﾝｽ落とし、閉鎖順位調整器	・－
分類	防火：－ / 遮音：－ / 断熱：－	防火：－ / 遮音：－ / 断熱：－	防火：特定防火設備(常時閉鎖) / 遮音：－ / 断熱：－	防火：－ / 遮音：－ / 断熱：－
備考	備考：	備考：	備考：	備考：

個数・箇所	SD5 × 1	SW1 × 5	SW2 × 2	SG1 × 2
	部位：柔道場	屋内運動場	柔道場	屋内運動場、ステージ
姿図				
	【改修後】	【改修後】	【改修後】	【改修後】
材質・形式	材質：スチール(カバー工法) / 仕上：ＥＰ－Ｇ塗装 / 形式：親子開きフラッシュ扉 / カバー工法改修	材質：スチール / 仕上：ＯＰ塗装 / 形式：引違いフラッシュ戸 / 戸車新設(ﾍﾞｱﾘﾝｸﾞSUS丸形戸車)	材質：スチール / 仕上：ＯＰ塗装 / 形式：引違いフラッシュ戸 / 戸車新設(ﾍﾞｱﾘﾝｸﾞSUS丸形戸車)	材質：スチール / 仕上：ＯＰ塗装 / 形式：固定ガラリ / 既存面下地調整・DP塗装
部材寸法	見込：100 / 方立：－ / 無目：－ / 建具金物新設	見込：86 / 方立：－ / 無目：－ / 既存面下地調整・DP塗装	見込：86 / 方立：－ / 無目：－ / 既存面下地調整・DP塗装	見込：－ / 方立：－ / 無目：－ / 建具周囲シール新設
ガラス	種類：－ / 板厚：－ / 既存面下地調整・EP-G塗装	種類：－ / 板厚：－ / 建具周囲シール新設	種類：－ / 板厚：－ / 建具周囲シール新設	種類：－ / 板厚：－
金物	・SUS丁番、ドアチェック(Ｓ無)、フランス落し、ノブ、シリンダサムターン錠	・戸車、クレセント、アングル、水切、彫込引手	・戸車、クレセント、アングル、水切、彫込引手	・
分類	防火：特定防火設備(常時閉鎖) / 遮音：－ / 断熱：－	防火：－ / 遮音：－ / 断熱：－	防火：－ / 遮音：－ / 断熱：－	防火：－ / 遮音：－ / 断熱：－
備考	備考：	備考：	備考：	備考：

個数・箇所	SD10 × 1
	部位：ホール
姿図	
材質・形式	材質：スチール(カバー工法) / 仕上：ＥＰ－Ｇ塗装 / 形式：親子開きフラッシュ扉 / カバー工法改修
部材寸法	見込：100 / 方立：－ / 無目：－ / 建具金物新設
ガラス	種類：－ / 板厚：－ / 既存面下地調整・EP-G塗装
金物	・SUS丁番、ドアクローザ、ケースハンドル、ケースハンドル錠、順位調整器、戸当たり(傷り止め付)
分類	防火：－ / 遮音：－ / 断熱：－
備考	備考：

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	建具表－２(スチール)【改修後】	縮尺	A1：1/50 A3：1/100
図面番号	A ― 37		
10:25 12 16 1525.25 37-建具表-2-2(SD)	令和　年　月　日		

個数・箇所 符号	LSD 1 × 2	LSD 2 × 1		
部位	・女子便所、男子便所	・多目的便所		
姿 図				
材質・形式	材質 ・軽量スチール / 仕上 ・工場塗装焼付 / 形式 ・片開きフラッシュ扉(額入り)	材質 ・軽量スチール / 仕上 ・工場塗装焼付 / 形式 ・片引きハンガー戸(外付)		
部材寸法	見込 ・80 / 方立 ・— / 無目 ・—	見込 ・210 / 方立 ・— / 無目 ・—		
ガ ラ ス	種類 ・学校強化型ガラス / 板厚 ・4.0	種類 ・学校強化型ガラス / 板厚 ・4.0		
金 物	・SUS丁番、SUS押板、SUSハンドル、ドアチェック(5有)、SUS容摺、アルミガラリ(33%)、戸当り	・アルミ吊レール、吊戸車、自閉装置、戸当、戸先ゴム、シリンダサムタン表示錠、SUSハンドル、アルミ切窓、アルミガラリ(22%)		
分 類	防火 ・— / 遮音 ・— / 断熱 ・—	防火 ・— / 遮音 ・— / 断熱 ・—		
備 考	備考 ・既存撤去部新設建具	備考 ・新設建具		
個数・箇所 符号				
部位				
姿 図				
材質・形式				
部材寸法				
ガ ラ ス				
金 物				
分 類				
備 考				
個数・箇所 符号				
部位				
姿 図				
材質・形式				
部材寸法				
ガ ラ ス				
金 物				
分 類				
備 考				

特記事項

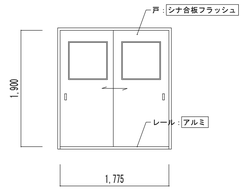
工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	建具表－３(軽量鋼製建具)	縮尺	A1：1/50 A3：1/100
図面番号	A — 38		
ID:25 12 16 1525:44 38-建具表-3(LSD)	令和 年 月 日		

建具表－５（木建）＜既　存＞

ND 1 × 1

個数・箇所　部位：柔道場

姿図



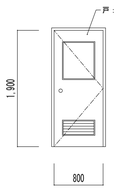
＜既　存＞

材質・形式	材質：シナ合板	仕上：ＯＰ塗装	形式：引違いフラッシュ戸（額入り）	戸撤去		
部材寸法	見込：40	方立：―	無目：―	敷居レール撤去		
ガラス	種類：―	板厚：―				
金物	・アルミレール、戸車、シリンダー引戸錠、彫込引手					
分類	防火：―	遮音：―	断熱：―			
備考	備考：					

ND 2 × 2

個数・箇所　部位：更衣室－１、更衣室－２

姿図



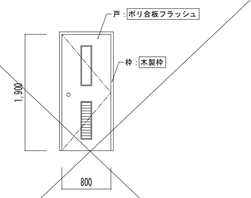
＜既　存＞

材質・形式	材質：シナ合板	仕上：ＯＰ塗装	形式：片開きフラッシュ戸（額入り）	扉撤去		
部材寸法	見込：36	方立：―	無目：―	金物一式撤去		
ガラス	種類：―	板厚：―				
金物	・ピボットヒンジ、ドアチェック、ノブ、シリンダーモノロック、木製ガラリ					
分類	防火：―	遮音：―	断熱：―			
備考	備考：					

ND 3 × 2

個数・箇所　部位：男子便所、女子便所

姿図



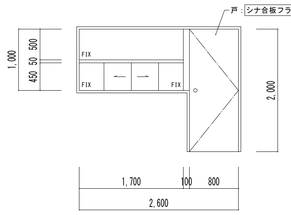
＜既　存＞

材質・形式	材質：ポリ合板	仕上：ＯＰ塗装	形式：片開きフラッシュ戸（額入り）	木製建具枠撤去		
部材寸法	見込：36	方立：―	無目：―	扉撤去・金物撤去		
ガラス	種類：―	板厚：―				
金物	・丁番、ドアチェック、押板、ドアハンドル、木製ガラリ					
分類	防火：―	遮音：―	断熱：―			
備考	備考：					

ND 4 × 1

個数・箇所　部位：事務室

姿図



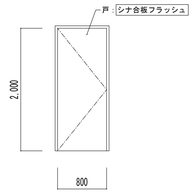
＜既　存＞

材質・形式	材質：シナ合板	仕上：ＯＰ塗装	形式：片開きフラッシュ戸 カウンターガラス窓	扉撤去		
部材寸法	見込：40	方立：100	無目：70	開き金物一式撤去		
ガラス	種類：透明フロート板ガラス 型ガラス	板厚：3.0				
金物	・丁番、ドアチェック、ノブ、シリンダーモノロック					
分類	防火：―	遮音：―	断熱：―			
備考	備考：					

ND 5 × 1

個数・箇所　部位：放送室

姿図



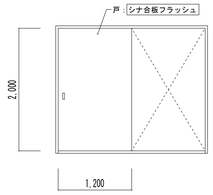
＜既　存＞

材質・形式	材質：シナ合板（片面有孔）	仕上：ＯＰ塗装	形式：片開きフラッシュ戸（岩綿充填）	扉撤去		
部材寸法	見込：40	方立：―	無目：―	金物一式撤去		
ガラス	種類：―	板厚：―				
金物	・ピボットヒンジ、ノブ、シリンダーモノロック					
分類	防火：―	遮音：―	断熱：―			
備考	備考：					

ND 6 × 1

個数・箇所　部位：控室－１

姿図



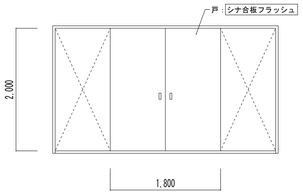
＜既　存＞

材質・形式	材質：シナ合板（片面有孔）	仕上：ＯＰ塗装	形式：片引きフラッシュ戸	戸撤去		
部材寸法	見込：40	方立：―	無目：―			
ガラス	種類：―	板厚：―				
金物	・戸車、彫込引手					
分類	防火：―	遮音：―	断熱：―			
備考	備考：					

ND 7 × 1

個数・箇所　部位：控室－１

姿図



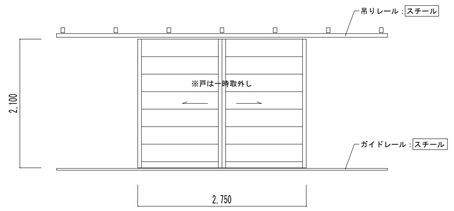
＜既　存＞

材質・形式	材質：シナ合板（片面有孔）	仕上：ＯＰ塗装	形式：引分けフラッシュ戸	戸撤去		
部材寸法	見込：40	方立：―	無目：―			
ガラス	種類：―	板厚：―				
金物	・戸車、彫込引手					
分類	防火：―	遮音：―	断熱：―			
備考	備考：					

ND 8 × 2

個数・箇所　部位：玄関ホール、器具庫

姿図



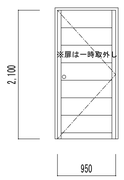
＜既　存＞

材質・形式	材質：メラミン化粧合板	仕上：ＯＳ塗装(大手)	形式：引分けフラッシュ戸	戸一時取外し		
部材寸法	見込：45	方立：―	無目：―	吊りレール撤去・吊り戸車撤去		
ガラス	種類：―	板厚：―		ガイドレール撤去・ガイド戸車撤去		
金物	・ハンガーレール、ハンガー戸車、ガイドレール、ガイド戸車、中央堰止、彫込引手					
分類	防火：―	遮音：―	断熱：―			
備考	備考：					

ND 9 × 2

個数・箇所　部位：控室－１、控室－２

姿図



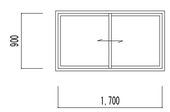
＜既　存＞

材質・形式	材質：メラミン化粧合板	仕上：ＯＳ塗装(大手)	形式：片開きフラッシュ戸	扉一時取外し		
部材寸法	見込：40	方立：―	無目：―	金物一式撤去		
ガラス	種類：―	板厚：―				
金物	・丁番、ドアチェック、ノブ、シリンダーモノロック、戸当					
分類	防火：―	遮音：―	断熱：―			
備考	備考：					

MD 1 × 1

個数・箇所　部位：器具庫

姿図



＜既　存＞

材質・形式	材質：鋼	仕上：ＯＰ塗装	形式：引違い窓	―		
部材寸法	見込：30	方立：―	無目：―			
ガラス	種類：透明フロート板ガラス	板厚：3.0				
金物	・レール、戸車、彫込引手					
分類	防火：―	遮音：―	断熱：―			
備考	備考：					

◆ 凡 例

- 撤去する下地材・仕上材を示す。
- ー部撤去する下地材・仕上材を示す。
- ー部撤去の場合の範囲を示す。

◆特記事項 ： 改修範囲は全面とする。

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	建具表－５（木建）＜既　存＞	縮尺	A1：1/50 A3：1/100
図面番号	A ― 40		
ID:25 12 16 1526:02 40-建具表-5-1(MD)	令和　年　月　日		

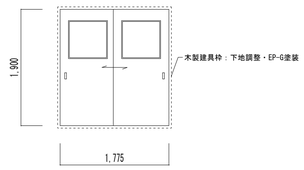
建具表－５（木建）【改修後】

個数・箇所

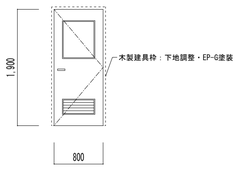
符号	部位
WD 1 × 1	柔道場
WD 2 × 2	更衣室－１、更衣室－２
WD 4 × 1	事務室
WD 5 × 1	放送室
WD 6 × 1	控室－１
WD 7 × 1	控室－１
WD 8 × 2	玄関ホール、器具庫
WD 9 × 2	控室－１、控室－２
WW 1 × 1	器具庫

姿図

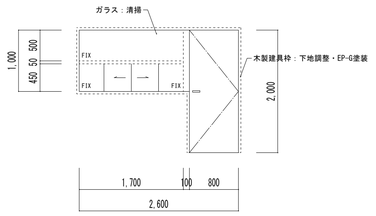
WD 1



WD 2



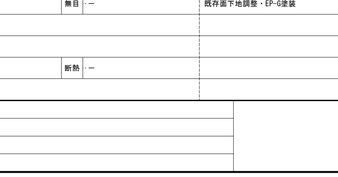
WD 4



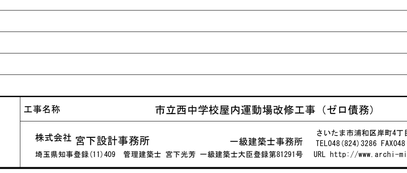
WD 5



WD 6



WD 7



WD 8



WD 9

WW 1

材質・形式／部材寸法／ガラス／金物／分類／備考

	材質	仕上	形式	
WD 1 【改修後】	材質：メラミン化粧合板	仕上：小口エンドロール	形式：引き違いフラッシュ戸(額入)	戸新設
	見込：40	方立：―	無目：―	数居レール新設
	種類：学校強化ガラス	板厚：4.0		建具金物新設
	SUS敷居レール、樹脂戸車、SUS彫込引手、シリンダー引戸錠、戸当り			既存面下地調整・EP-G塗装
	防火：―	遮音：―	断熱：―	ガラス清掃
	備考：既存枠利用			既存木製建具枠補修
WD 2 【改修後】	材質：メラミン化粧合板	仕上：小口エンドロール	形式：片開きフラッシュ扉(額入)	扉新設
	見込：36	方立：―	無目：―	建具金物新設
	種類：学校強化型ガラス	板厚：4.0		既存面下地調整・EP-G塗装
	SUS丁番、ドアチェック(S付)、シリンダーサムタン錠、レバーハンドル、アルミガラリ			ガラス清掃
	防火：―	遮音：―	断熱：―	既存木製建具枠補修
	備考：既存枠利用（錠前金物撤去跡補修新設加工共）			
WD 4 【改修後】	材質：メラミン化粧合板	仕上：小口エンドロール	形式：片開きフラッシュ扉	扉新設
	見込：40	方立：―	無目：―	建具金物新設
	種類：―	板厚：―		ガラス清掃
	SUS丁番、ドアチェック(S付)、シリンダーサムタン錠、レバーハンドル			既存面下地調整・EP-G塗装
	防火：―	遮音：―	断熱：―	既存木製建具枠補修
	備考：既存枠利用（錠前金物撤去跡補修新設加工共）			
WD 5 【改修後】	材質：シナ合板(片面有孔)	仕上：ＯＳ塗装	形式：片開きフラッシュ扉(GW充填)	扉新設
	見込：40	方立：―	無目：―	建具金物新設
	種類：―	板厚：―		既存面下地調整・OS塗装
	SUS丁番、ドアチェック(S付)、シリンダーサムタン錠、レバーハンドル			既存木製建具枠補修
	防火：―	遮音：―	断熱：―	
	備考：既存枠利用（錠前金物撤去跡補修新設加工共）			
WD 6 【改修後】	材質：シナ合板	仕上：ＯＳ塗装／ＥＰ－Ｇ塗装	形式：片引きフラッシュ戸	戸新設
	見込：40	方立：―	無目：―	数居レール新設
	種類：―	板厚：―		建具金物新設
	SUS敷居レール、樹脂戸車、SUS彫込引手、戸当り			既存面下地調整・OS塗装
	防火：―	遮音：―	断熱：―	既存木製建具枠補修
	備考：既存枠利用			
WD 7 【改修後】	材質：シナ合板	仕上：ＯＳ塗装／ＥＰ－Ｇ塗装	形式：引分けフラッシュ戸	戸新設
	見込：40	方立：―	無目：―	数居レール新設
	種類：―	板厚：―		建具金物新設
	SUS敷居レール、樹脂戸車、SUS彫込引手、戸当り			既存面下地調整・OS塗装
	防火：―	遮音：―	断熱：―	既存木製建具枠補修
	備考：既存枠利用			
WD 8 【改修後】	材質：―	仕上：―	形式：―	吊りレール新設・吊り戸車新設
	見込：―	方立：―	無目：―	ガイドレール新設・ガイド戸車新設
	種類：―	板厚：―		建具金物新設
	ステールトラックレール(取付金物共)、ハンガー戸車(ベアリング複車)、SUSサイドレール、SUSサイドローラー、戸当、セキ金			既存面下地調整・UC塗装
	防火：―	遮音：―	断熱：―	戸再設置
	備考：既存建具利用（金物撤去跡補修新設加工共）			
WD 9 【改修後】	材質：―	仕上：―	形式：―	建具金物新設
	見込：―	方立：―	無目：―	木製戸下地調整・UC塗装
	種類：―	板厚：―		既存面下地調整・UC塗装
	SUS丁番、シリンダーモノロック、ドアチェック(S無)、戸当			扉再設置
	防火：―	遮音：―	断熱：―	既存木製建具枠補修
	備考：既存建具利用（金物撤去跡補修新設加工共）			
WW 1 【改修後】	材質：―	仕上：―	形式：―	ガラス清掃
	見込：―	方立：―	無目：―	既存面下地調整・EP-G塗装
	種類：―	板厚：―		
	―			
	防火：―	遮音：―	断熱：―	
	備考：―			

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658	設計	担当
埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	URL http://www.archi-miya.co.jp/		
図面名称	建具表－５（木建）【改修後】	縮尺	A1：1/50 A3：1/100
ID:25 12 16 1526:32 41-建具表-5-2.DWG	令和 年 月 日	図面番号	A ― 41

符号	器具名	仕　様	数量	改修内容	部位	備　考	
①	バスケットゴール	電動吊上げ式	１台	フレーム　上部固定部（やぐら）	増し締め、調整		塗装改修：鉄部下地調整RB種・EP-G塗装（摺動面を除く）
				下部可動部（前下がり、後ろ下がり）	増し締め、調整		
				バスケット装置　電動昇降モーター	―	既存のまま	
				第一滑車　φ100	交換（撤去／新設）		
				ワイヤー　６ｍｍ	交換（撤去／新設）		
				緊急停止装置	新設		
				ゴール板　バスケットボード　一般用/木製	交換（撤去／新設）		
				バスケットゴールリング　リングネット付	交換（撤去／新設）		
				吊上式バスケット装置用落下防止ワイヤー　９mmワイヤー/シャックル止	交換（撤去／新設）		
②	バスケットゴール	手動吊上げ式	１台	フレーム　上部固定部（やぐら）	増し締め、調整		塗装改修：鉄部下地調整RB種・EP-G塗装（摺動面を除く）
				下部可動部（前下がり、後ろ下がり）	交換（撤去／新設）		
				バスケット装置　電動昇降モーター	新設	既存手動装置一式　撤去／処分	
				第一滑車　φ100	交換（撤去／新設）		
				ワイヤー　６ｍｍ	交換（撤去／新設）		
				緊急停止装置	新設		
				ゴール板　バスケットボード　一般用/木製	交換（撤去／新設）		
				バスケットゴールリング　リングネット付	交換（撤去／新設）		
				吊上式バスケット装置用落下防止ワイヤー　９mmワイヤー/シャックル止	交換（撤去／新設）		
③	バスケットゴール	壁固定	４台	フレーム　固定フレーム	増し締め		塗装改修：鉄部下地調整RB種・EP-G塗装（摺動面を除く）
				ゴール板　バスケットボード　一般用/木製	交換（撤去処分／新設）		
				バスケットゴールリング　リングネット付	交換（撤去処分／新設）		
				落下防止ワイヤー　９mmワイヤー/シャックル・クリップ止	交換（撤去処分／新設）		
④	防球ネット	片引きロープ操作　w22.5m×ｈ6.5m	２張	支持金物	増し締め、調整		
				ネット・ワイヤ・ロープ・滑車	交換（撤去／新設）		
⑤	防球ネット	片引き　w30.0m×ｈ3.5m	２張	支持金物	増し締め、調整		
				ネット・ワイヤ・吊り金具	交換（撤去／新設）		
⑥	防球ネット	片引き　w22.5m×ｈ3.5m	１張	支持金物	増し締め、調整		
				ネット・ワイヤ・吊り金具	交換（撤去／新設）		
⑦	椅子収納台車	椅子収納台車	９台	台車　フレーム	交換（撤去／新設）		
				前板	交換（撤去／新設）		
⑧	姿見鏡	姿見鏡	１台	両開き	交換（撤去）		
⑨	出入口防球ネット	片引き　w3.0m×ｈ2.5m	３張	支持金物	新設		
				ネット・ワイヤ・吊り金具	新設		
Ⓨ	支柱用床金具	亜鉛合金	３組	バレーボール　埋め込み管　76.3mm用　蓋収納式	交換（撤去／新設）	埋込用コンクリート撤去／新設	既存ＲＣ造基礎枠再利用（300*300*300）
				床金物　76.3mm用	交換（撤去／新設）	蓋・フロアプレート	アルミ支柱３組共、ネット３組共
			１組	高鉄棒　床金物　アンカー金具×4　／　丸座×2	撤去		
			１組	低鉄棒　床金物　×5	撤去		
			１組	はんとうロープ　床金物　×1	撤去		
Ⓙ	柔道用タタミ	ｔ62　6.74m×8.84m	１面	抗菌樹脂レザー　カバー式　（10kg/枚程度）	交換（撤去／新設）	40枚程度	
Ⓛ	コートライン		３面	バレーボール	新設	体育用床シート面	
			１面	バスケットボール（大）	新設	体育用床シート面	
			２面	バスケットボール（小）	新設	体育用床シート面	
			４面	バトミントン	新設	体育用床シート面	
			40m	反復横跳び用	新設	体育用床シート面	

特記事項　※各種取付位置については協議の上、決定すること。

工事名称　市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）　設計図

株式会社 宮下設計事務所　一級建築士事務所
埼玉県知事登録(11)409　管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号
さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号
TEL048(824)3286 FAX048(824)3658
URL http://www.archi-miya.co.jp/

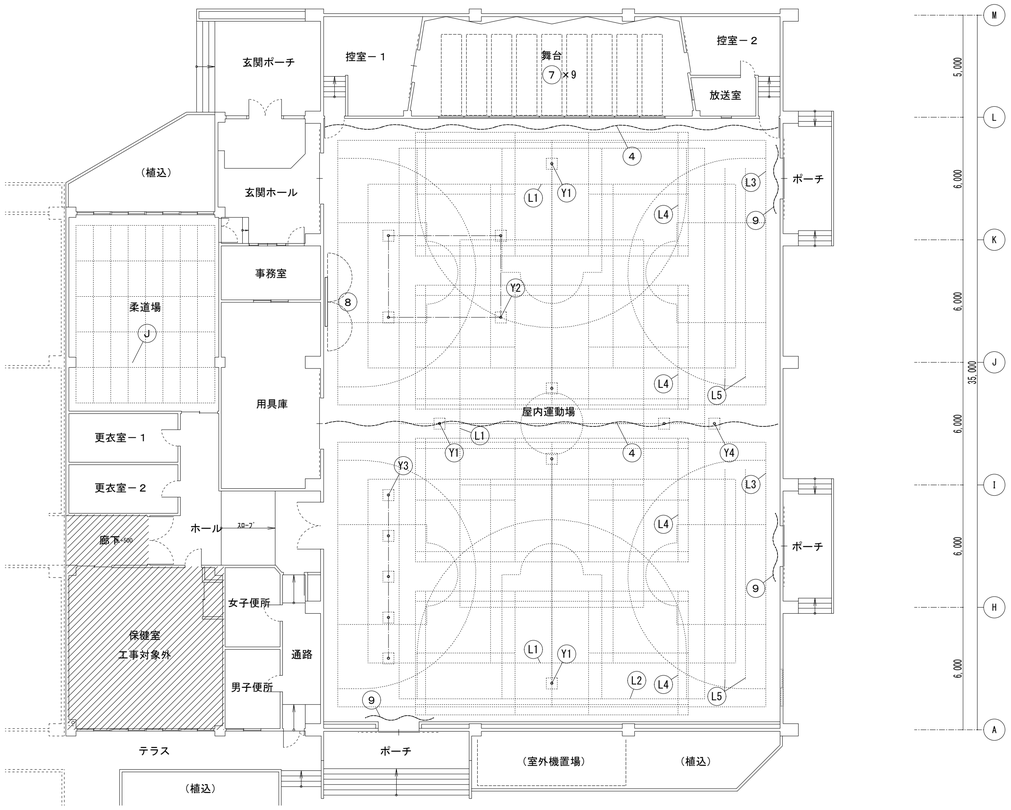
設計　担当

図面名称　体育器具　リスト

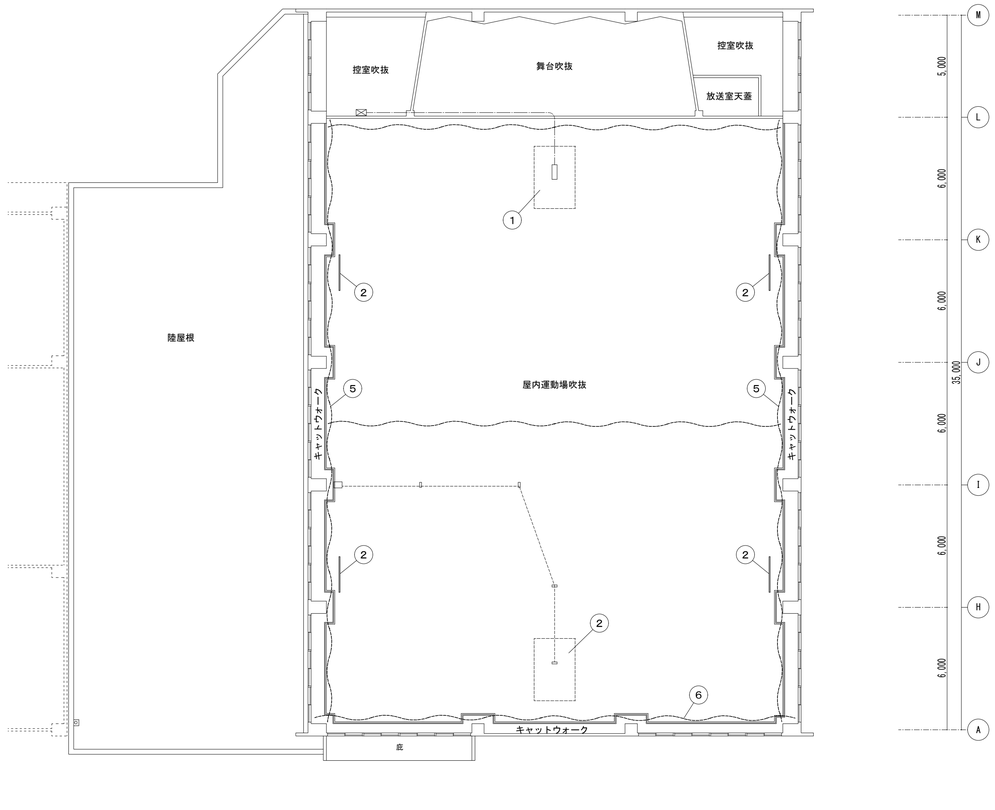
縮尺　A1：1/100　A3：1/200

図面番号　Ａ ― ４２

ID:25 12 16 1526:53 42-体育器具-0　令和　年　月　日



キープラン１階



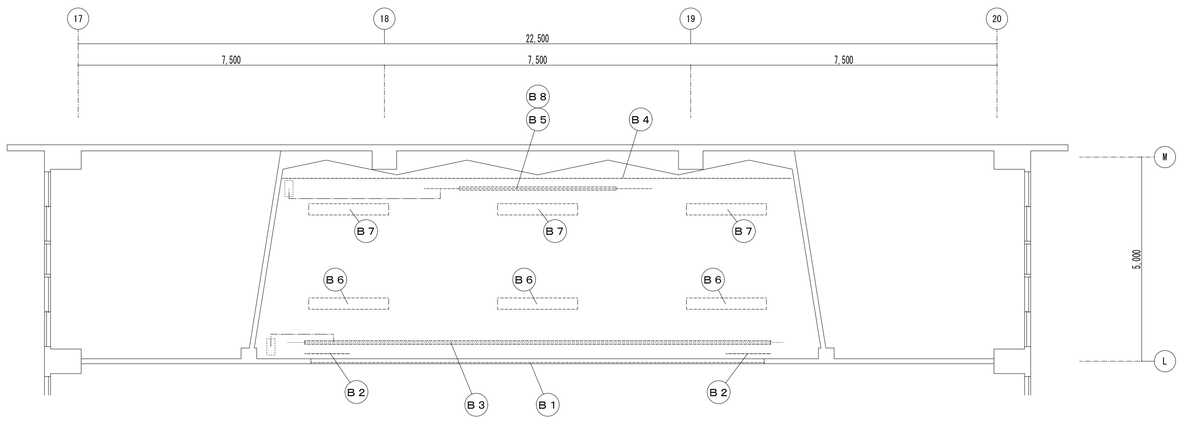
キープラン２階

北

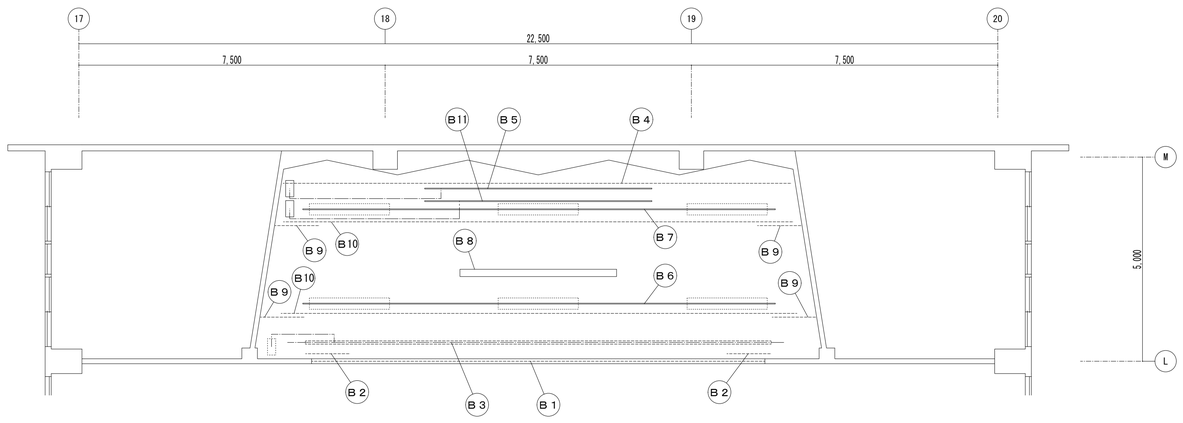
特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	体育器具 キープラン	縮尺	A1：1/150 A3：1/300
ID:25 12 16 1527-12 43-体育器具-1	令和 年 月 日	図面番号	A — 43

符号	＜既　存＞				既　存 ➡ 改修後					備　考
	装置名	数量	仕　様	形式	構成部材	舞台幕	数量	仕　様	吊物設備	構成部材	
Ｂ１	水引幕	１張	起毛織物	釘打ち固定	釘打ち	水引幕　W11,500 H900	１列	難燃起毛　ヒダ無し 裏地　フレンジ90mm 校章アップリケφ500	釘打ち固定吊装置　L11,500	釘打ち	
					幕					幕・フレンジ３寸	防炎・校章刺繍入り
Ｂ２	源氏幕	２張	起毛織物	釘打ち固定	釘打ち	源氏幕　W800 H4,100 ×2	１列	難燃起毛　ヒダ無し 裏地　フレンジ150mm	釘打ち固定吊装置　L800×2	釘打ち	
					幕					幕・フレンジ５寸	防炎
Ｂ３	引割り緞帳	１張	起毛織物	ウィンチ式手動開閉	ワイヤ・固定吊りバトン	引割り緞帳　W6,500 H4,200 ×2	１列	難燃起毛　２倍ヒダ 裏地　フレンジ150mm	固定吊手動開閉装置 レール　L6,500×2 ロープ引き	操作ロープ	
					手動ウィンチ・ワイヤ					アルミレール	
					アルミレール					幕・フレンジ５寸	防炎
					幕						
Ｂ４	バック幕	１張	起毛織物	ロープ引き手動開閉	操作ロープ	バック幕　W6,300 H4,500 ×2	１列	難燃起毛　2倍ヒダ	固定吊手動開閉装置 レール　L6,300×2 ロープ引き	操作ロープ	
					アルミレール					アルミレール	
					幕					幕	防炎
Ｂ５	吊りバトン	１張		ウィンチ式手動昇降	手動ウィンチ・ワイヤ	第１吊物用バトン　L7,000	１列		手動昇降装置　L7,000 100kg用ウィンチ仕様	手動ウィンチ・ワイヤ	
					吊りバトン					吊りバトン	
					（スクリーン）						
Ｂ６	ボーダーライト	３台		チェーン固定	固定用チェーン	第１照明用吊りバトン　L12,000	１列		固定吊装置　L12,000	吊りバトン	器具撤去／ＬＥＤ器具新設は電気設備工事
					器具（電球）						
Ｂ７	アッパーホリゾントライト	３台		チェーン固定	固定用チェーン	第２照明用吊りバトン　L11,000	１列		固定吊装置　L11,000	吊りバトン	器具撤去／ＬＥＤ器具新設は電気設備工事
					器具（電球）						
Ｂ８	スクリーン	１張		固定	（吊りバトン）	スクリーン	１台	ホワイト 200インチ 16：9	手動昇降装置 （上部スプリング巻取式）	スクリーン	
					スクリーン					落下防止ワイヤ	
Ｂ９						第１袖幕　W1,500 H4,200 ×2 第２袖幕　w1,500 H4,200 ×2	１列 １列	起毛織物　2倍ヒダ	固定吊装置　L1,500 ×2 固定吊装置　L1,500 ×2	ワイヤ・固定吊りバトン	
										幕	防炎
Ｂ10						第１かすみ幕　W12,000 H800 第２かすみ幕　W11,000 H800	１列 １列	起毛織物　2倍ヒダ	固定吊装置　L12,000 固定吊装置　L11,000	ワイヤ・固定吊りバトン	
										幕	防炎
Ｂ11						第２吊物用バトン　L7,000	１列		手動昇降装置　L7,000 100kg用ウィンチ仕様	手動ウィンチ・ワイヤ	
										吊りバトン	
Ｂ12											



＜既存＞キープラン



【改修後】キープラン

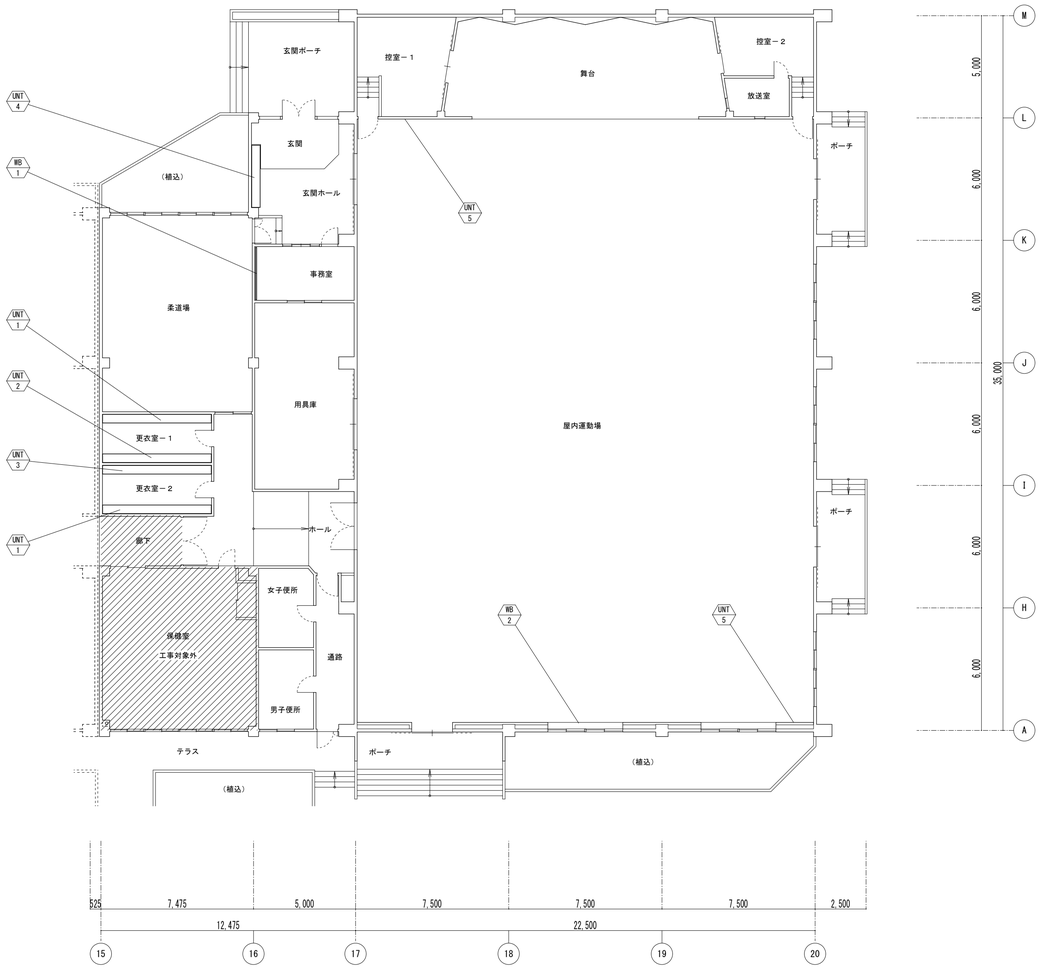
◆ 凡 例

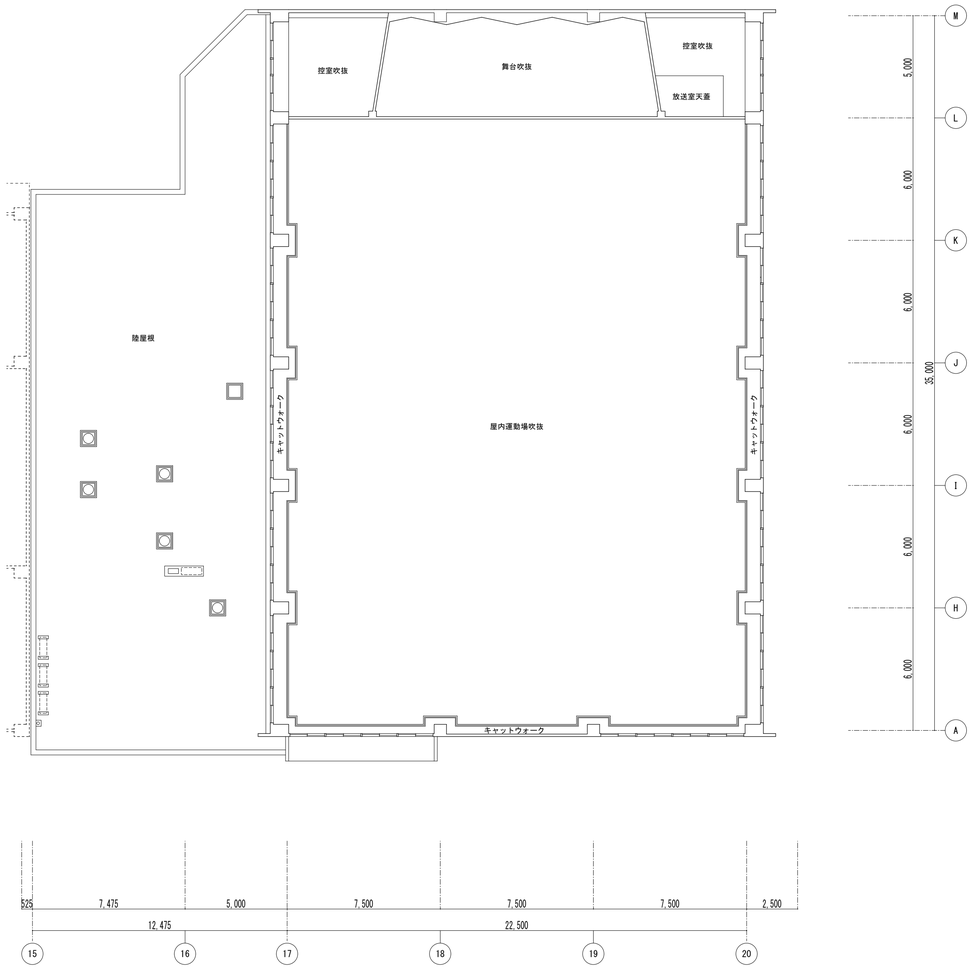
- 撤去する装置を示す。
- 脱着する装置を示す。

既　存 ➡ 改修後

特記事項

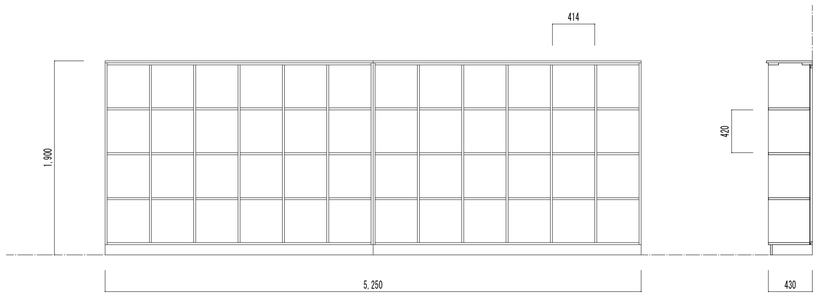
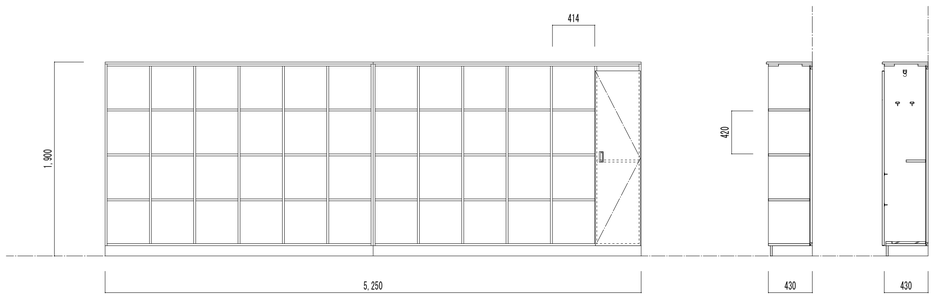
工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）		設計図
株式会社 宮下設計事務所　一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409　管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	舞台装置　リスト・キープラン	縮尺	A1：1/75 A3：1/150
ID:25 12 16 1527.37 44-舞台装置	令和　年　月　日	図面番号	A — 44

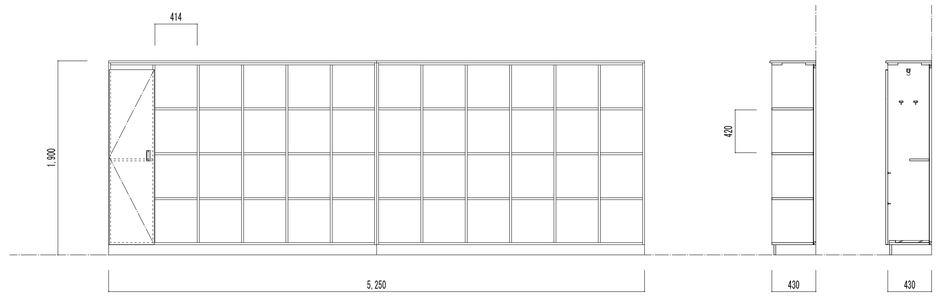
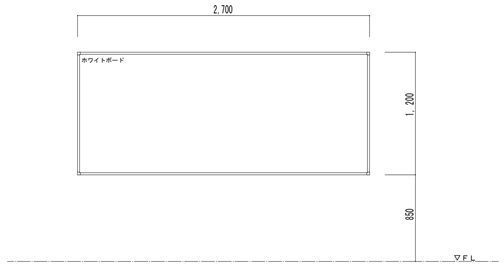


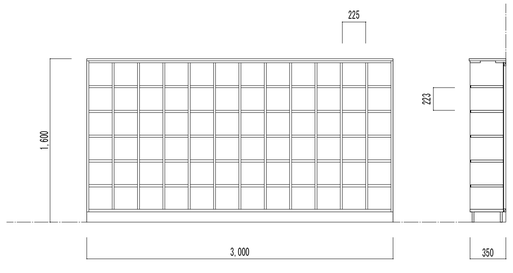
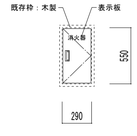
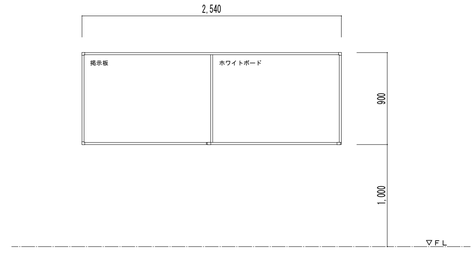


特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	ユニット キープラン	縮尺	A1：1/150 A3：1/300
ID:25 12 16 1528:07 45-家具-0	令和 年 月 日	図面番号	A — 45

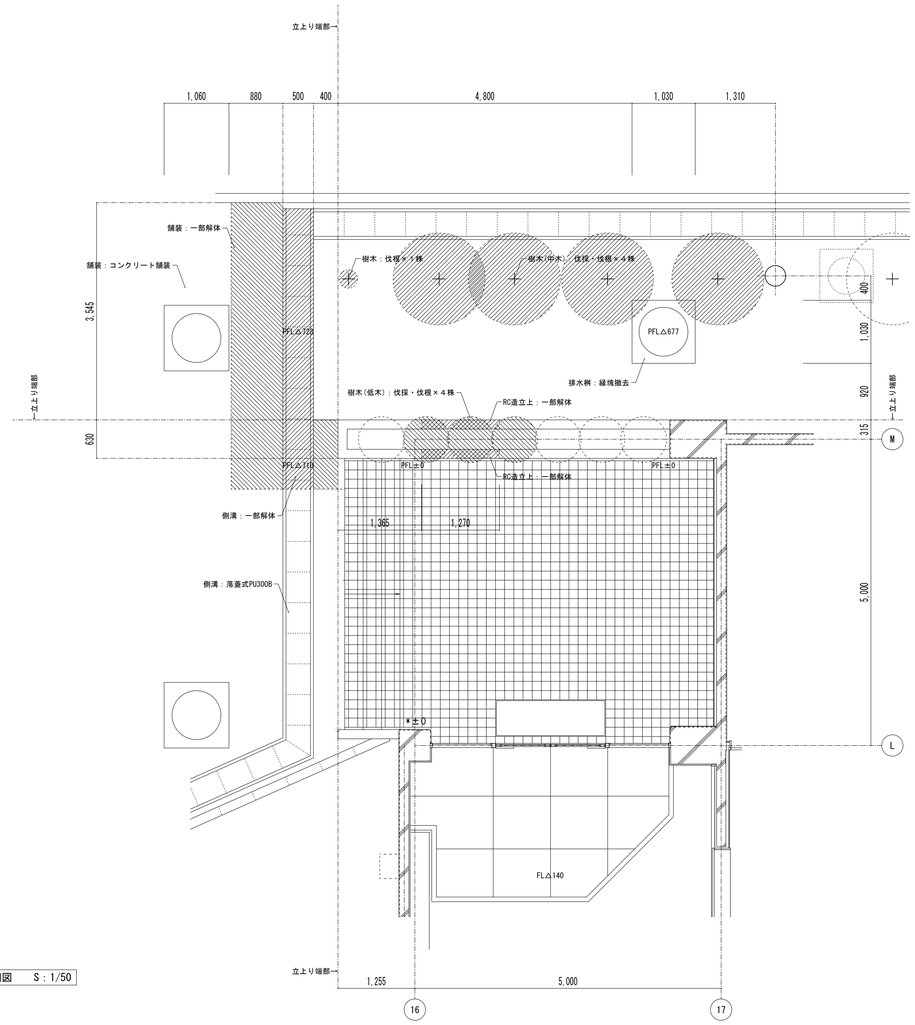
個数・箇所	符号	UNT 1 × 2
	部位	更衣室－１、更衣室－２
姿　図		
名　称		更衣ロッカー（48人）
材　質		本体・巾木・棚：両面メラミン化粧パーチクルボードｔ20（VOC低減・抗菌機能付・表面硬度９Ｈ）
		背板：樹脂化粧合板ｔ4.0　天板：メラミン化粧パーチクルボードｔ20先端ｒ
付属機器		固定金具、調整金具
備　考		小口：樹脂小口材ｒ加工
個数・箇所	符号	UNT 3 × 1
	部位	更衣室－２
姿　図		
名　称		更衣ロッカー（44人）・掃除用具入れ
材　質		本体・巾木・棚：両面メラミン化粧パーチクルボードｔ20（VOC低減・抗菌機能付・表面硬度９Ｈ）
		背板：樹脂化粧合板ｔ4.0　天板：メラミン化粧パーチクルボードｔ20先端ｒ
付属機器		樹脂引手、スライド丁番、SUSパイプφ25、Ｓカン、SUS水受け皿、SUSフック、SUS雑巾掛け、固定金具、調整金具
備　考		小口：樹脂小口材ｒ加工

個数・箇所	符号	UNT 2 × 1
	部位	更衣室－１
姿　図		
名　称		更衣ロッカー（44人）・掃除用具入れ
材　質		本体・巾木・棚：両面メラミン化粧パーチクルボードｔ20（VOC低減・抗菌機能付・表面硬度９Ｈ）
		背板：樹脂化粧合板ｔ4.0　天板：メラミン化粧パーチクルボードｔ20先端ｒ
付属機器		樹脂引手、スライド丁番、SUSパイプφ25、Ｓカン、SUS水受け皿、SUSフック、SUS雑巾掛け、固定金具、調整金具
備　考		小口：樹脂小口材ｒ加工
個数・箇所	符号	WB 2 × 3
	部位	屋内運動場
姿　図		
名　称		ホワイトボード
材　質		ホーロー白板、アルミ四方枠、アルミマーカー受、樹脂キャップ
付属機器		取付金具（@900・上下共）
備　考		

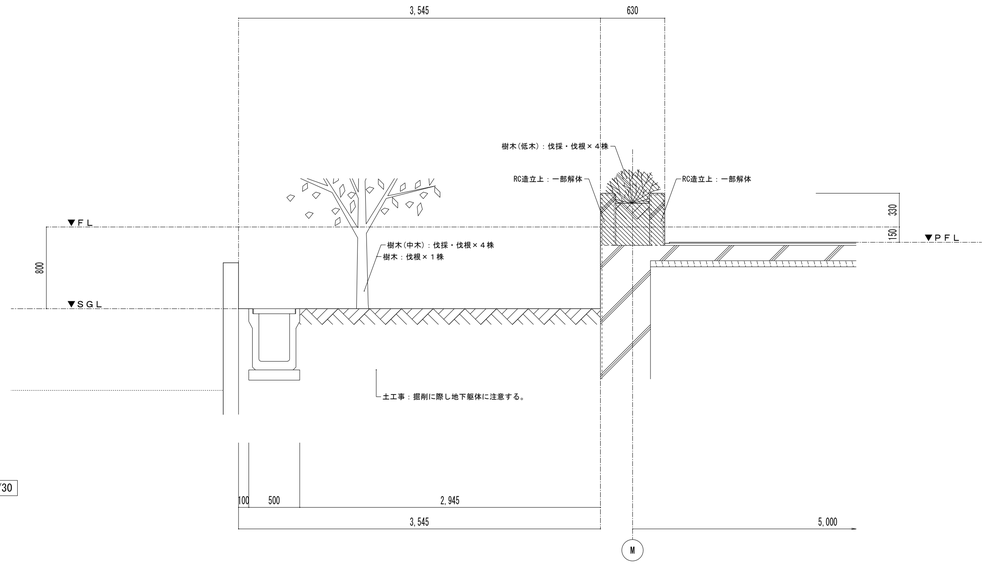
個数・箇所	符号	UNT 4 × 1	UNT 5 × 2	WB 1 × 1
	部位	玄関	屋内運動場	事務室
姿　図 姿　図				
名　称		下足入れ（72人）	消火器ボックス扉	ホワイトボード・掲示板
材　質		本体・巾木・棚：両面メラミン化粧パーチクルボードｔ20（VOC低減・抗菌機能付・表面硬度９Ｈ）	本体：両面メラミン化粧パーチクルボードｔ20（VOC低減・抗菌機能付・表面硬度９Ｈ）	ホーロー白板、ビニールクロス張り合板ｔ5.5、アルミ四方枠、アルミマーカー受、樹脂キャップ
		背板：樹脂化粧合板ｔ4.0　天板：メラミン化粧パーチクルボードｔ20先端ｒ	樹脂引手、スライド丁番（既存枠現場加工）、キャッチ、表示板	
付属機器		固定金具、調整金具		取付金具（@900・上下共）
備　考		小口：樹脂小口材ｒ加工	小口：樹脂小口材ｒ加工	

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）		設計図	
株式会社 宮下設計事務所 埼玉県知事登録(11)409　管理建築士 宮下光芳	一級建築士事務所	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 一級建築士大臣登録第81291号　URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	ユニット　詳細図		縮尺	A1：1/30 A3：1/60
図面番号	A — 46			
ID:25 12.16 1528:28 46-家具-1	令和　年　月　日			

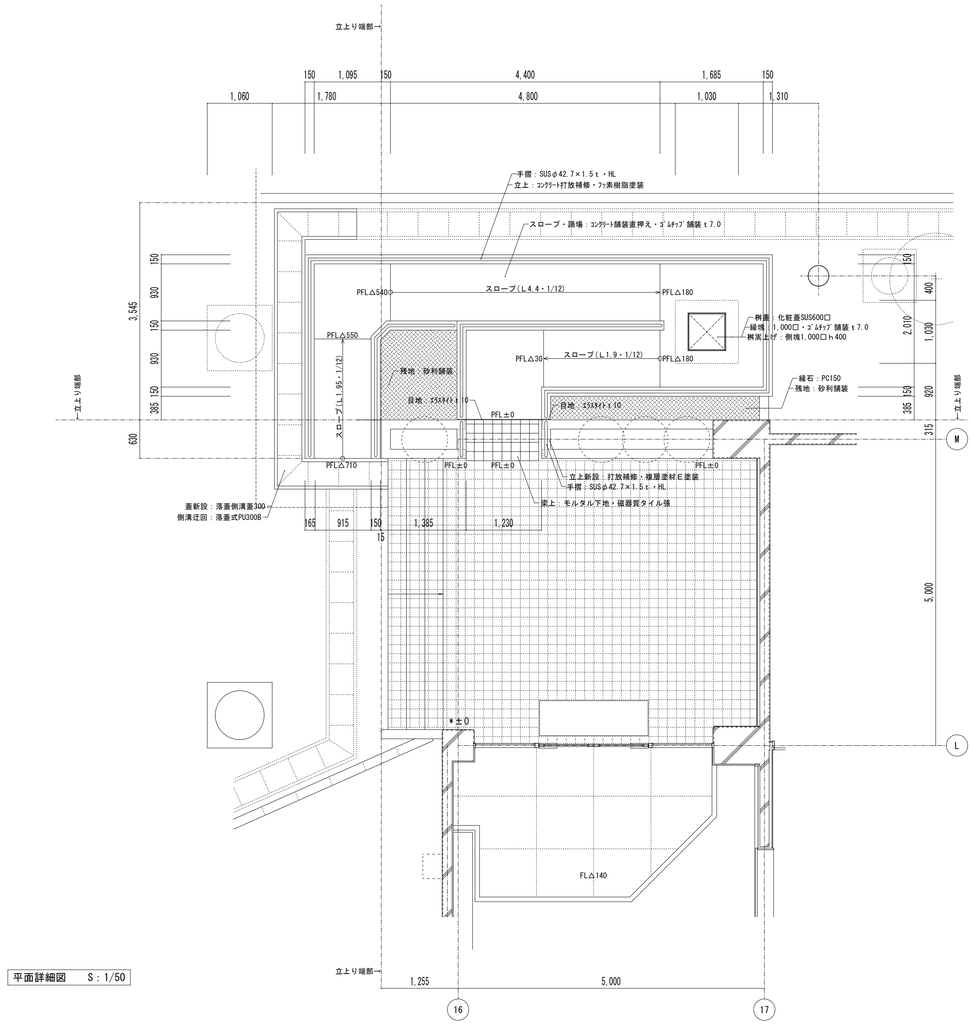


平面詳細図　S：1/50

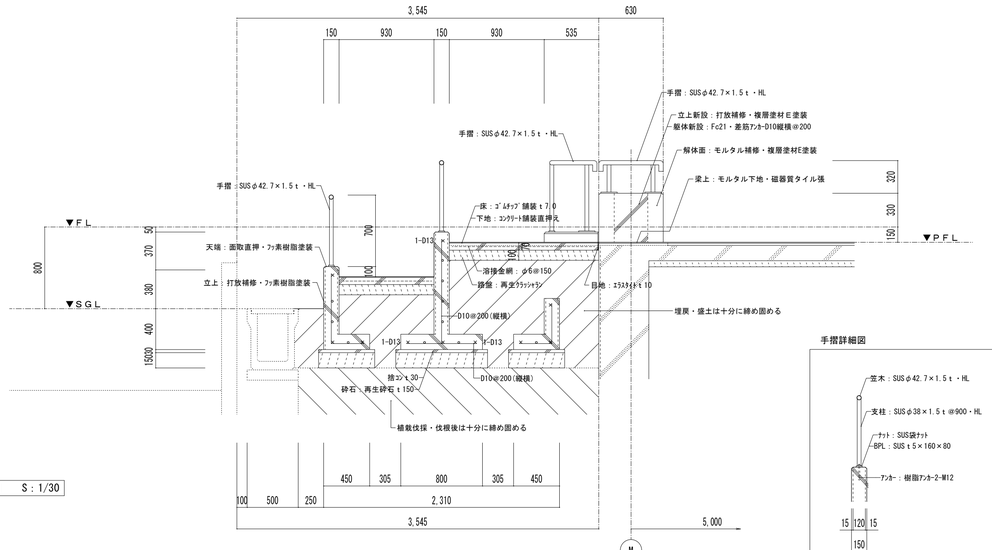


断面詳細図　S：1/30

＜既存＞ ➡ 【改修後】

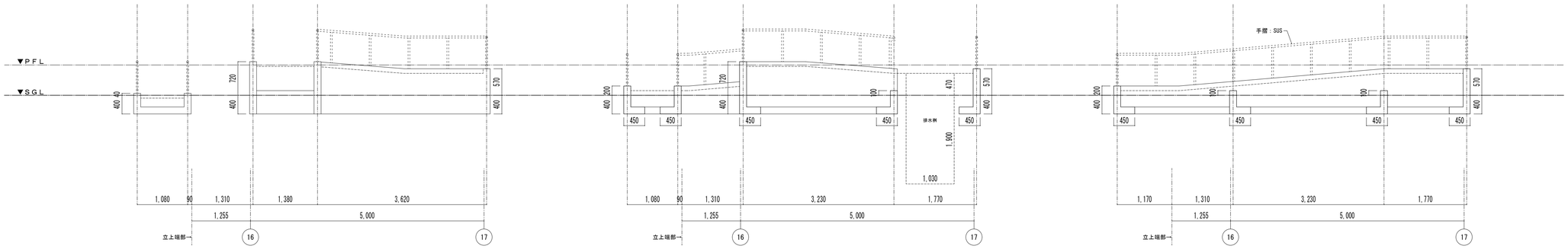


平面詳細図　S：1/50

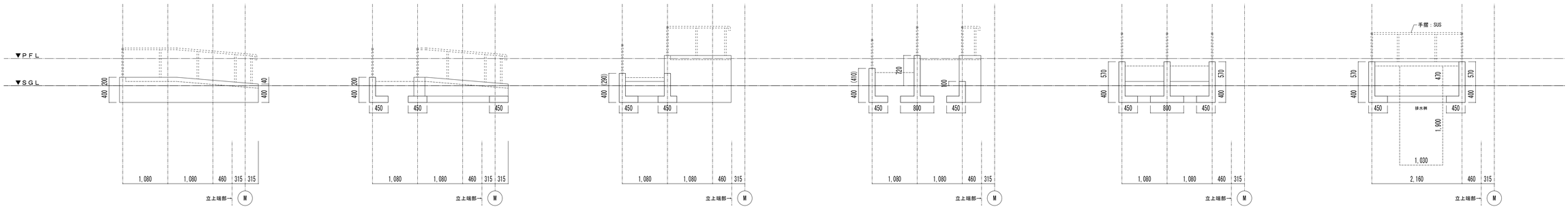


断面詳細図　S：1/30

特記事項						
	工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）		設計図	図面名称	縮尺 / 図面番号
	株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光男 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当	外構スロープ　平面断面詳細図 10:25 12 16 1528:49 47-外構(スロープ-1)-5 令和　年　月　日	A1：1/30・50 A3：1/60・100 A — 47

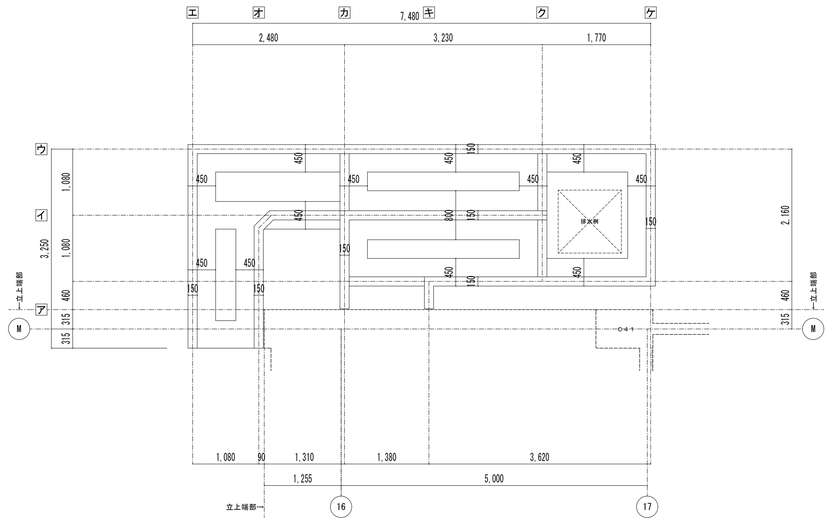


ア　イ　ウ



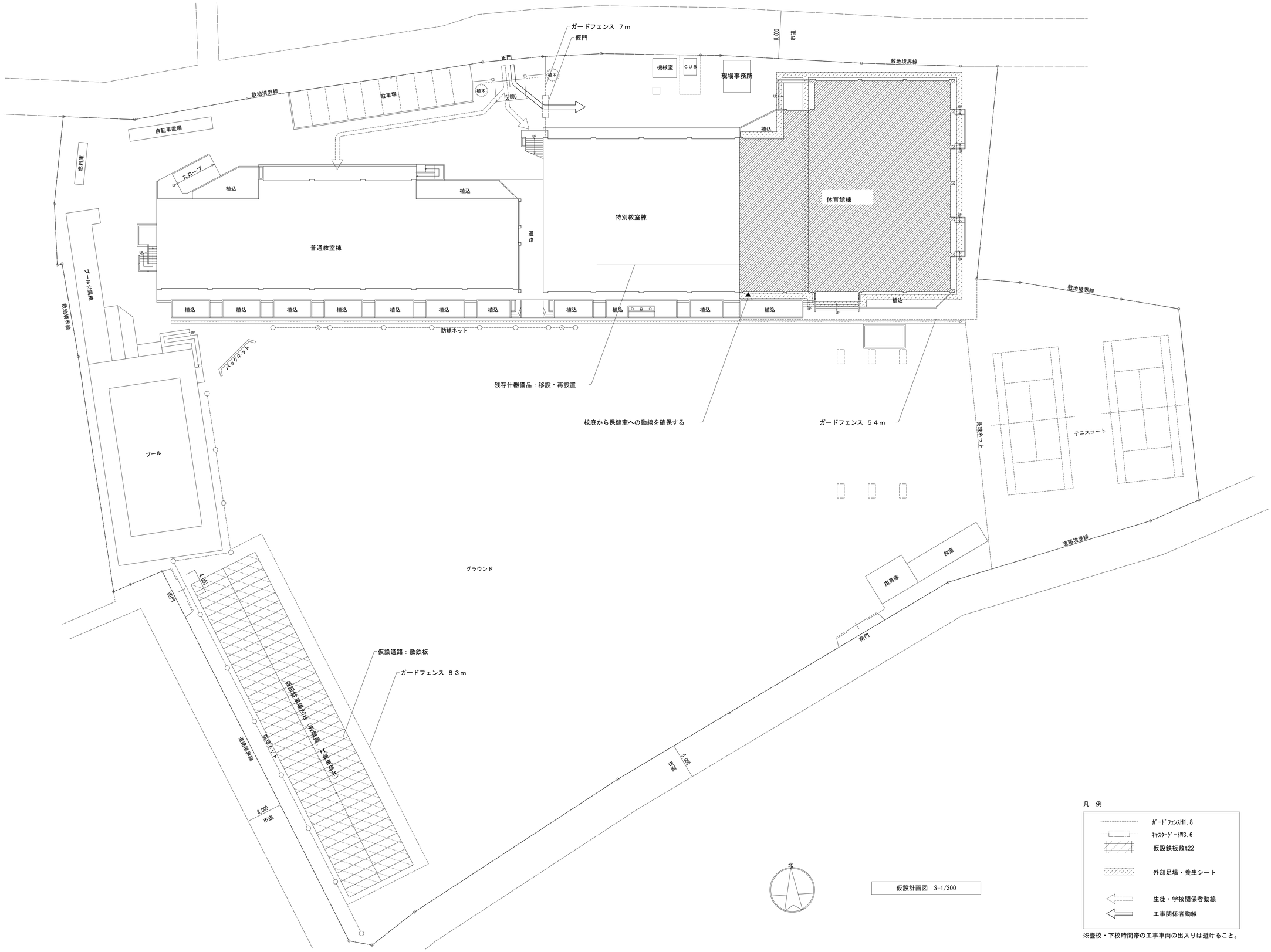
エ　オ　カ　キ　ク　ケ

軸組図



基礎伏図

特記事項	工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称 外構　スロープ伏図・軸組図
	株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1)409　管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 / 担当	縮尺 A1：1/50 A3：1/100
			10:25 12 16 1529:09 48-外構(スロープ)-5　令和　年　月　日	図面番号 A — 48



凡 例

- ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽH1.8
- ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄW3.6
- 仮設鉄板敷t22
- 外部足場・養生シート
- 生徒・学校関係者動線
- 工事関係者動線

※登校・下校時間帯の工事車両の出入りは避けること。

特記事項					
	工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称	縮尺
	株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 担当	仮設計画図＜参考図＞	A1：1/300 A3：1/600
				ID:25 12 16 1529:35 49-仮設計画図 令和 年 月 日	図面番号 A — 49

電気設備工事特記仕様書

1　工事概要

1.1　工 事 名　市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）
1.2　工事場所　富士見市西みずほ台３丁目地内
1.3　工　期　契　約　日 から 令和 9年 1月29日 まで
現場施工期間　令和 8年 7月 1日 から 令和 8年11月30日 まで
現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。
1.4　工事科目（〇印の付いたものを適用する）

⊙ 電灯設備	・ テレビ共同受信設備
・ 動力設備	・ テレビ電波障害防除設備
・ 電熱設備	・ 監視カメラ設備
・ 雷保護設備	・ 駐車場管制設備
・ 受変電設備	・ 防犯、入退室管理設備
・ 電力貯蔵設備	⊙ 自動火災報知設備
・ 発電設備	・ 自動閉鎖設備
・ 構内情報通信網設備	・ ガス漏れ火災警報設備
・ 構内交換設備	・ 電話配管設備
・ 情報表示設備	・ 中央監視制御設備
⊙ 映像、音響設備	・ 医療関係設備
⊙ 拡声設備（非常放送設備）	・ 昇降機設備
・ 誘導支援、呼出し設備	

1.5　指定部分　⊙ 無　・有（　工期：令和　年　月　日）
1.6　主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）
1　専任期間の始期
請負契約締結の日から、(⊙現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間　・令和　年　月　日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
2　専任期間の終期
工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
3　専任期間の中断
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、
工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
1.7　建物概要
屋内運動場　S造　地上２階建

1.8　工事概要
照明器具のＬＥＤ化
放送設備機器の更新
自動火災報知設備機器の更新
1.9　同時期発注の関連工事　・　建築工事　・　機械設備工事

2　工事仕様

2.1　共通仕様
（1）この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。
なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
（3）法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
2.2　特記仕様（特記事項の選択項目は、〇印のついたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。⊙ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。）

項　目	特　記　事　項
① 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に基づく特定調達品目該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
② 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
③ 工事用電力・水	本工事に必要な電力及び水などは、使用出来るものとし、その仮設にかかる費用は、受注者の負担とする
④ 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることが　※できる。　・できない
⑤ 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
⑥ 監督員事務所	本工事で　・設ける（規模　　）　※設けない
⑦ 保　険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後１４日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
⑧ 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
⑨ 完成図書の電子納品	完成図書の電子納品ガイドライン　※　適用する　・適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、Ａ３二つ折り製本４部とする。
⑩ 発生材処理	引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 （構外搬出処理費は、※本工事　・別途） （1）引渡しを要するもの　（　　） （2）貴取処分をするもの　（鋼屑・鉄屑　　） （3）再生資源化を図るもの（蛍光管　　） 蛍光管等は再資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 （4）特別管理産業廃棄物　（　　） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

⑪ 金属電線管の塗装	露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。 また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。
⑫ 鍵	盤等の鍵は、既存盤及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。
１３ 地中電線路	（１）管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。 敷き均し土：良質土 管種別：硬質ビニル電線管（VE）／耐衝撃性塩化ビニル管（HIVE）／波付硬質合成樹脂管（FEP）／ポリエチレン被覆鋼管（PLP） （２）地中電線路には、ケーブル埋設標及び標識シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の標識シートは図面特記による。 （３）地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面（舗装する部分では路盤材下面）から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。
⑭ 回路の種別行先の表示	ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。
⑮ 電線の接続	湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。 上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。
１６ 電線管の接続	屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。
⑰ 接地工事	漏電遮断器で保護されている電路と保護されていない電路のＤ種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色、緑／黄又は緑／色帯で区別する。
１８ 建設発生土の処理	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。
１９ 再生砂・再生砕石 再生アスコン使用	再生砂などは原則使用しない。ただし、監督員の了解を得た場合に限り、表層以外に　・使用できる。　※使用できない。 再生砂使用に先立ち、１購入あたり１検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。
２０ 耐震施工	設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針　2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）を参考とする。 なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 （１）設計用水平地震力 機器の重量［kgf］に、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	・特定の施設		・一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機　器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水　槽　類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機　器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水　槽　類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機　器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水　槽　類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

【備　考】（※1）：水槽類には、オイルタンク等を含む。
重要機器
・配電盤　・発電装置（防災用）・直流電源装置　・交流無停電電源装置
・交換機　・火災報知器受信機　・中央監視装置　・太陽光発電装置
上層階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層２階、10～12階建の場合は上層３階、13階建以上の場合は上層４階とする。
（２）設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。

２１ あと施工アンカー	機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。 重量１００ｋｇを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。 施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 （原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。） あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に１か所引張試験を実施すること。
２２ はつり及びあと施工アンカー打設	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてＸ線撮影調査を実施すること。 電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。
２３ 改修部分の足場	本工事で単独に必要となる足場は、下記により設ける。 （１）内部足場　※ 脚立足場 （２）外部足場　※ Ａ種(枠組足場)・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 ・Ｅ種 ・Ｆ種 ※足場を設ける場合は、「「手すり先行工法等に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。
２４ 墜落制止用器具（フルハーネス型）	※使用を要する　墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン（平成30年6月22日付け基発0622第2号）による ・使用を要しない

２５ アスベスト事前調査結果の報告	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建材調査者により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。
２６ その他	（１）施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。 （２）本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。 （３）本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。 （４）本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。 （５）特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 （６）改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。 （７）受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。 （８）本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。 （９）特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。 (10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。 以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

2.3　工事別一般事項（特記事項選択項目は、〇印のついたものを適用する）

項　目	特　記　事　項
① 電灯設備	（１）配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は連用形とする。なお、２口コンセントは複式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。 ただし、県営住宅における住戸内のフラッシュプレートついては、樹脂プレートを使用することができる。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 （２）照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。 （３）照度測定 電灯設備工事に際し、新営工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 （４）分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 （５）継枠 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが１０mm程度以上離れる場合は継枠を使用する。ただし、ボード張りで、ボード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、継枠を必要としない。 （６）位置ボックスの省略 ケーブルころがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略しても良い。
２ 動力設備	（１）動力制御盤及び開閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は１負荷につきＵ・Ｖ・Ｗ・Ｅの４Ｐを原則とする。 （２）電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
３ 雷保護設備	受雷部突針はＬＲ１とする。
４ 受変電設備	高圧引込　引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 高圧ケーブル端末部はシースずれ防止対策を施す。 （端末処理　・耐塩用　・一般用　） 受電電圧　交流３相３線式　６.６kV　５０Hz 柱上用高圧気中負荷開閉器(PAS)　定格電圧　７．２kV　定格電流　A 主遮断装置　定格電圧　kV　定格遮断電流　kA 変圧器設備容量　動力用　kVA×　台 電灯用　kVA×　台 高圧進相コンデンサ　kVar×　台 直列リアクトル　・６%　・１３%　kVar×　台
５ 構内情報通信網設備	ネットワーク機器を盤内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
６ 電力貯蔵設備	・直流電源装置　・交流無停電電源装置 ・（概要）
７ 発電設備	・ ディーゼル発電装置　・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置　・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置　・ 熱併給(ｺｰｼﾞｪﾈﾚｰｼｮﾝ)発電装置 ・ 太陽光発電装置　・ 風力発電装置 ・ （概要）

項　目	特　記　事　項
８ 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
⑨ 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備（非常放送設備）	（１）所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 （２）総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 （３）ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
１０ 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）による。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

2.4　取付高さ
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名　称	測　点	取付高さ（mm）	
		一　般	県営住宅
スイッチ（一般）	床上～中心	1,300	1,200
〃　（身体障害者用）	〃	1,100	1,000
〃　（人感センサー切換用）	〃	2,000	2,000
ｺﾝｾﾝﾄ、電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ、直列ﾕﾆｯﾄ（一般）	〃	300	400
〃　（和室）	〃	150	200
〃　（台上）	台上～中心	150	500
防水型コンセント	床上～中心	500	500
分電盤、制御盤、開閉器箱	〃	（上端1,900以下）1,500	（上端1,900以下）1,500
呼出ボタン（身体障害者用）	〃	900	900
復帰ボタン（　〃　）	〃	1,800	1,800
廊下表示灯（　〃　）	〃	2,000	2,000
端子盤	〃	（上端1,900以下）1,500	2,000

3　その他

3.1　他工事との取合区分
発注図又は工事区分表による。
3.2　図面上の縮尺
図面上の縮尺は、ＪＩＳ　Ａ１版とした縮尺とする。
3.3　疑義
本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

第１条　この特記仕様書は、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。
第２条　受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
・種類及び処理量　汚泥（油分を含む汚泥）　．　m3
・中間処理施設　市　地内、（株）
・処理方法　・中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却又は溶融含まず）
・中間処理後、最終処分場又は再資源化（処理に焼却又は溶融を含む）
２　受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。
第３条　受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
２　受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
３　受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
４　受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。
第４条　受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
２　受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。
第５条　濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。
２　受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。
３　この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

昇降機の適切な維持管理に係る特記仕様書

第１条　この特記仕様書は、昇降機設備工事（新設、増設又は更新）において、昇降機を常時適法な状態に維持できるよう必要な事項を定める。なお、この特記仕様書に記載されていない事項は、「昇降機の適切な維持管理に関する指針」（平成28年２月19日付け国土交通省住宅局建築指導課）による。
第２条　この特記仕様書における用語の定義は、次の各号による。
２　昇降機とは、本工事で施工した昇降機設備をいう。
３　発注者とは、本工事の発注者をいう。
４　受注者とは、本工事の受注者をいう。
５　製造者とは、昇降機の製造者をいう。
６　管理者とは、昇降機の引渡しを受け、施設管理を行う者をいう。
７　保守点検受注者とは、管理者からの委託により、保守・点検業務を受注した者をいう。
第３条　製造者または受注者は、次の各号に掲げる責任を果たすよう努めなければならない。
２　製造者は、製造した昇降機の部品等を、昇降機の引渡しから起算して耐用年数を勘案して適切な期間供給すること。
３　製造者は、適切な維持管理を行うことができるよう、管理者に対して維持管理に必要な情報又は機材を提供又は公開するとともに、問い合わせ等に対応する体制を整備すること。
４　製造者は、保守点検受注者からの依頼に対し協力すること。
５　受注者は、製造者に対し、前各号の規定を遵守するよう要請すること。
第４条　この特記仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者が協議して定める。

工事範囲の主な既設機器メーカー

機器名称	既設機器メーカー名

官公庁等打ち合わせ機関
建築：
昇降機：
施設管理者：
電力会社：
電話会社：
ケーブルテレビ会社：
消防本部：

2024.12

特記事項	工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称	縮尺	図面番号
	株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 一級建築士大臣登録第81291号 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 / 担当	電気設備工事特記仕様書	NS	E — 01
				10:25 12.15 1606:25 E-01 電気設備特記仕様書　令和　年　月　日		

環境配慮（グリーン）改修工事

1　アスベスト処理工事一般共通事項

留意事項

1　本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。

2　アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。

3　この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）（以下「改修標仕」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和３年３月　厚生労働省・環境省）による。

2　アスベスト含有分析調査

分析によるアスベスト含有建材の調査　[9.1.1]

・行う（下表による）

材　料　名	調査方法（１材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析　・定量分析
	※ 定性分析　・定量分析
	※ 定性分析　・定量分析
	※ 定性分析　・定量分析

採取箇所　※　図示

分析対象

※ アスベスト ６ 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）

調査方法・分析方法

※ JIS A 1481　規格群（1481-1,2,3,4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。

分析結果については、監督員に提出すること。

3　アスベスト粉じん濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定　[9.1.1]

・行う（測定名称及び測定点は下表による）

測定箇所　※　図示

適用 レベル1	適用 レベル2	適用 レベル3	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数（各処理作業室ごと）	備考
○	○	・	測定１	処理作業前	処理作業室内	※各２点 ・各３点	
○	○	・	測定２		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
・	・	・	測定３	処理作業中	処理作業室内	各２点	
○	・	・	測定４		セキュリティーゾーン入口	各１点	空気の流れを確認
○	・	・	測定５		負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各１点	除じん装置の性能確認
○	○	・	測定６		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
○	○	・	測定７	処理作業後（隔離シート撤去前）	処理作業室内	各２点（レベル3は１点）	
○	○	・	測定８		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
・	・	・	測定９	処理作業後（シート撤去後１週間以降）	処理作業室内	各２点（レベル3は１点）	
・	・	・	測定１０		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	

アスベスト粉じん濃度測定方法

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006　空気中の繊維状粒子測定方法－第１部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8,9,10	測定 5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
ﾒﾝﾌﾞﾚﾝﾌｨﾙﾀの直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトン－トリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径（幅） 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと直径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）

ア　測定結果
イ　測定時間
ウ　測定位置（測定高さとともに図面上に記載）
エ　サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
オ　マウンティング方法
カ　顕微鏡視野面積、計数視野数
キ　測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向
ク　周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

4　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有吹き付け材の撤去（レベル１）

アスベスト含有吹付け材の除去　[9.1.3]

・行う　除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。

除去物及び汚染物質等

処理方法

※密封処理（二重袋細包）

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。

・セメント固化

処理を行う吹付けアスベストの仕様

材　料　名	厚さ（mm）	処　理　を　行　う　範　囲
		※　図示　　・

5　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有保温材等の撤去（レベル２）

アスベスト含有保温材の除去　[9.1.4]

・行う

作業上の隔離

・行う

・行わない

処理を行う保温材等アスベストの仕様

材　料　名	厚さ（mm）	処　理　を　行　う　範　囲
		※　図示　　・

6　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有成形板類の撤去（レベル３）

1　アスベスト含有成形板の除去　[9.1.5]

・行う

処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材　料　名（製品名）	含有するアスベストの種類	処　理　を　行　う　範　囲
・		※　図示　　・
・		※　図示　　・
		※　図示　　・
		※　図示　　・

2　非石綿部での切断による除去

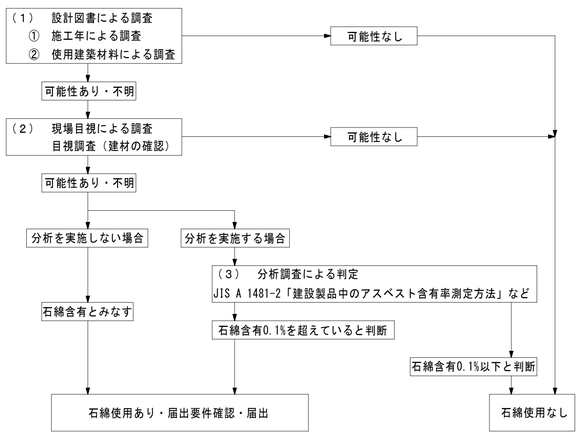
・行う

処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材　料　名	含有するアスベストの種類	処　理　を　行　う　範　囲
・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		**※　図示　　・撤去範囲すべて**
・石綿含有保温材付配管		**※　図示　　・撤去範囲すべて**
・石綿含有配管フランジパッキン		**※　図示　　・撤去範囲すべて**
		※　図示　　・撤去範囲すべて

※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれを考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

＜参考＞石綿使用有無の事前調査フロー



2024.12

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所　一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409　管理建築士 宮下光芳　一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	電気設備工事特記仕様書（２）	縮尺	図面番号
		NS	E — 02

ID:25 12 15 1607:33 E-02 電気設備特記仕様書(2)　令和　年　月　日

工　事　区　分　表

躯　体　関　係

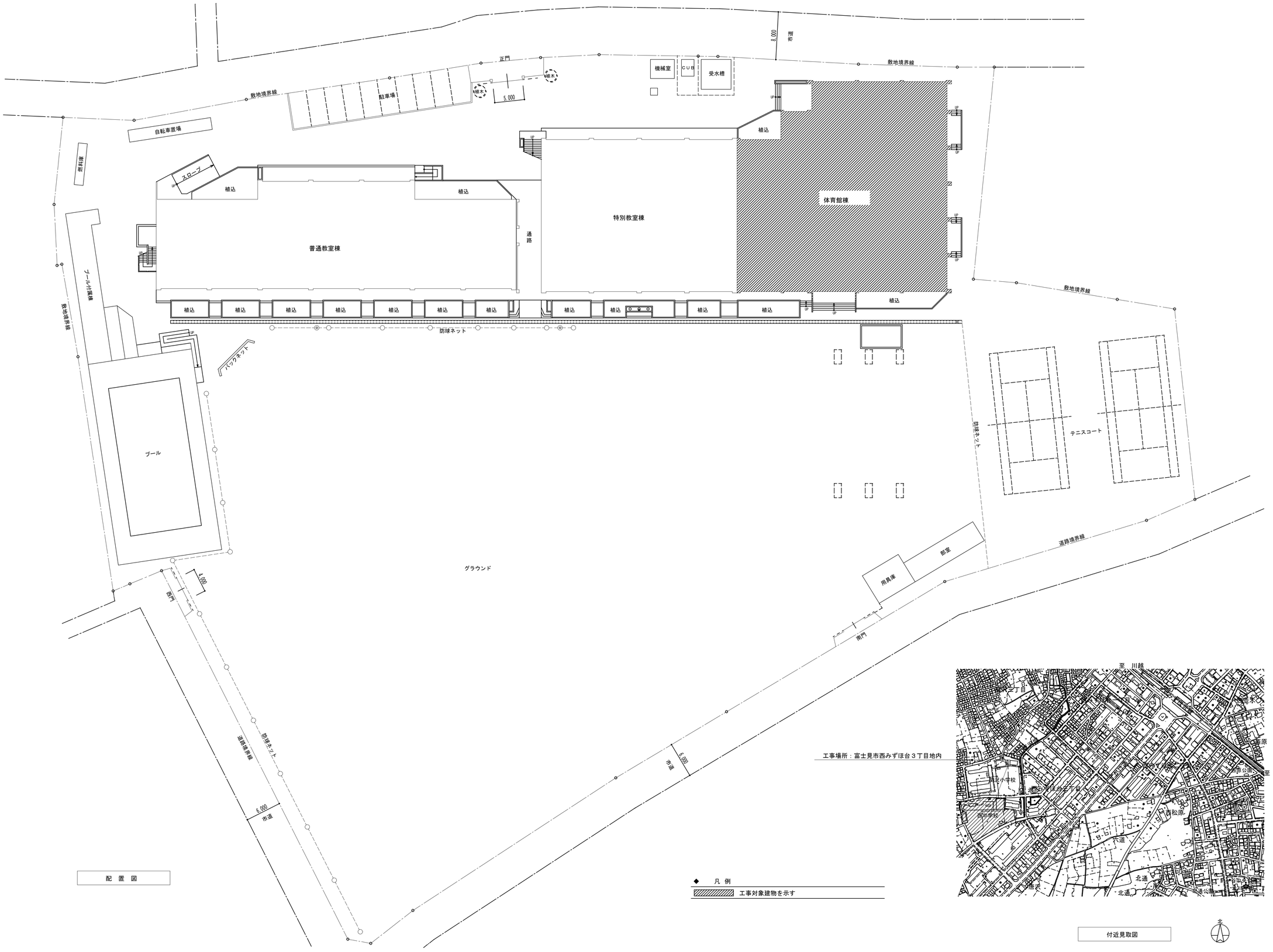
項目		A	E	M			備考
1. ＲＣ造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け						
	補強を要する型枠材及び取付け						
	補強を要しない型枠材及び取付け						
	貫通孔・開口部の墨出し						
	貫通孔・開口部の補強						
	スリーブ・型枠の穴埋め						
2. Ｓ・ＳＲＣ造梁貫通口	Ｓ・ＳＲＣ造貫通鋼管スリーブ・補強						
	使用されたスリーブの穴埋め						
	予備スリーブの穴埋め						
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの						
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）						
	室外・屋上の基礎	○					
	屋上の基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの（配管架台類）						
	機器取付け用アンカー・架台		○	○			
	室内受水タンク用の基礎						
	地下オイルタンク躯体・土工事						
	屋外機の据付架台（防振架台）			○			
4. 昇降機関連	各階エレベーターホールの防火安全間仕切り工事						
	特殊搬出入工事（クレーン）						
	特殊搬出入工事（機械室～階段～屋上）						
	搬出入口の経路の養生工事						
	ストックヤードの養生工事						
	塔内機器設置用仮設ゴンドラ設置工事						
	ピット点検用タラップの設置工事						
	撤去工事						
	各階既設出入口三方枠部躯体はつり出し工事						
	各階出入口三方枠取付後のモルタル埋工事						
	各階出入口三方枠取付後の壁仕上工事						
	各階出入口敷居はつり出し工事						
	各階出入口敷居取付後のモルタル埋工事						
	各階出入口敷居取付後の床仕上工事						
	各階既設インジケータ・ボタン部壁穴						
	ピット内機器はつり出し及び機器取付後のモルタル埋工事						
	ピット内防水仕上工事						
	配線開口部区画処理						
	昇降路内油圧用品類撤去工事						
	作動油抜き取り処理工事						
	昇降路壁補修工事						
	各発生ガラ袋詰め片づけ						
	産業廃棄物処理						
	動力電源用配管配線（油圧機械室ー昇降路）						
	照明電源用配管配線（油圧機械室ー昇降路）						
	アース線の配管配線（油圧機械室ー昇降路）						
	インターホン用配管配線						
	昇降路煙感知器接点支給及び配管配線工事						
	エレベーター１次側電源設備						
	火災管制運転用接点支給及び配管配線工事						
	昇降機の計画通知、完了検査申請						

仕　上　げ　関　係

項目		A	E	M			備考
1. 軽鉄天井・壁下地	下地の補強	○					
	ボードの切り込み		○	○			
	開口部の墨出し		○	○			
2. 既製間仕切り	切り込み及び補強						
	位置ボックス						
3. 吊ボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○			
4. 外壁廻り	ウェザーカバー・ベンドキャップ			○			
	換気扇			○			
5. 湯沸室廻り	流し台・吊戸棚・水切り棚・コンロ台	○					
	フード（標準詳細図のもの）			○			
	流し台の排水トラップ			○			
6. 浴室廻り	ユニットバス・シャワーユニット						
	既製浴槽（蓋を含む）						
	浴室及び便所の床排水金物			○			
7. 便所廻り	洗面カウンター	○					
	鏡（規格寸法のみ）			○			
	ユニット形衛生器具			○			
	身障用手すり	○					
8. 事務室廻り	家具組み込みの洗面器						
9. フリーアクセスフロア	コンセント						
	床パネルの切り込み加工						
10. その他	２重ピット及びトレンチのマンホール蓋						
	機器搬入用フック・ビーム						
	チェンブロック						
	化粧マンホール上蓋の表面仕上げ						
	点検口（天井・床下）	○					
	排煙口等の天井仕上材の取付け						
	自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアチェック，フロアヒンジ						
	消火器ＢＯＸ設置工事	○					
	自動扉・電動シャッターへの電源供給		○				二次側はＡ
	自動扉・電動シャッターから付属のスイッチセンサーへの配管工事		○				二次側はＡ

屋外排水設備・外構

項目		A	E	M			備考
1. 雨水	屋外雨水排水設備（Ｕ字溝）						
	桝及び桝蓋						
	雨水再利用設備						
2. 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備			○			
	桝及び桝蓋			○			
	化粧マンホール上蓋の表面仕上げ			○			
3. 植栽	植栽及び客土						
4. ユニット形浄化槽の躯体	ピット形の躯体及び砂充てん						
	上記以外のユニット形浄化槽本体･配管及び据付等						
	ピット形以外						
5. その他	駐車場ガソリントラップ						
	グリストラップ						
	工事期間中の電気料金（基本+使用料金）	○	○	○			
	工事期間中の水道料金（基本+使用料金）	○	○	○			
	建物外部枠組足場	○					
	建物内部足場	○					
	機械室枠組足場						



特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）		設計図	図面名称	縮尺
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当	平面図	A1：1/300 A3：1/600
				ID:25 12 15 1607:26 E-04 配置図 令和 年 月 日	図面番号 E — 04

撤去・新設　電灯分電盤は撤去・新設とする。

分電盤リスト

凡例　①AC 1Φ200V（電灯回路）　①AC 1Φ100V（電灯回路）　⑧AC 1Φ100V（防災回路）　1AC 1Φ100V（ｺﾝｾﾝﾄ回路）　1AC 1Φ200V（ｺﾝｾﾝﾄ回路）　①AC 1Φ200V（空調換気電源回路）　①AC 1Φ100V（空調換気電源回路）　▲リモコンリレー　⏥天井用T/U付ﾘﾚｰﾕﾆｯﾄ(平面図による)　SPDサージ防護デバイス

盤名称 盤型式 幹線番号 幹線サイズ	電気方式 スケルトン方式 主幹容量 合計負荷容量	分岐回路 回路番号	電圧（V）	ブレーカー MCCB	ELCB	P	AF	AT	負荷種類 電灯	コンセント	換気	他	負荷名	容量 R相～N相	N相～T相	備考
L－1B 屋内鋼板製 自立型 撤去・新設	1φ3W 100/200V 電灯盤															
			100	○		2	50	20				○	誘導灯	○		
			200/100	○		3	50	50				○	LB－1A	○		
	MCCB3P 225AF ／125AT		200/100	○		3	100	75				○	L－1C		○	
		①	200V	○		2	50	20	○				アリーナ	○	○	▲
		②	200V	○		2	50	20	○				アリーナ	○	○	▲
		③	200V	○		2	50	20	○				アリーナ	○	○	▲
		④	200V	○		2	50	20	○				アリーナ	○	○	▲
		⑤	200V	○		2	50	20	○				アリーナ	○	○	▲
		⑥	200V	○		2	50	20	○				アリーナ	○	○	▲
		⑦	200V	○		2	50	20	○				アリーナ	○	○	▲
		⑧	200V	○		2	50	20	○				アリーナ　LED	○	○	▲
		⑨	200V	○		2	50	20	○				アリーナ　予備	○	○	▲
		⑩	200V	○		2	50	20				○	昇降盤電源	○	○	
		①	100V	○		2	50	20	○				屋外出入口	○		
		②	100V	○		2	50	20				○	屋外盤		○	
		1	100V	○		1	50	20		○			西側	○		
		2	100V	○		1	50	20		○			西側前専用		○	
		3	100V	○		1	50	20		○			東側	○		
		4	100V	○		1	50	20		○			西側中央専用		○	
		5	100V	○		1	50	20		○			南側専用		○	
		6	100V	○		1	50	20		○			東側中央専用		○	
		7	100V	○		1	50	20		○			東側前専用		○	
		8	100V	○		1	50	20		○			西側控室		○	
		9	100V	○		1	50	20		○			電灯バスケット		○	
		10	100V	○		1	50	20		○			予備		○	
		11	100V	○		1	50	20		○			予備		○	
		12	100V	○		1	50	20		○			リモコントランス		○	
W: 550 h:1850 d: 175	・リモコントランス２００Ｖ×１組、伝送ユニット×１組 ・ターミナルユニット（４回路）×３、リモコンリレー×９															
LB－1A 屋内鋼板製 埋込型 内部改修	1φ3W 200/100V 電灯盤															
	MCCB3P 150AF ／125AT	①		○		1	50	20	○				便所保健室			
		②			○	1	50	20	○				ホール柔道場			
		③		○		1	50	20	○				事務室・用具室			
		1		○		1	50	20		○			便所・休憩室			
		2		○		1	50	20		○			保健室			
		3		○		1	50	20				○	柔道場・事務室			
		4		○		1	50	20				○	電動バスケットゴール			
W: 560 h: 590		5		○		1	50	20				○	予備			

盤名称 盤型式 幹線番号 幹線サイズ	電気方式 スケルトン方式 主幹容量 合計負荷容量	分岐回路 回路番号	電圧（V）	ブレーカー MCCB	ELCB	P	AF	AT	負荷種類 電灯	コンセント	換気	他	負荷名	容量 R相～N相	N相～T相	備考
L－1C 屋内鋼板製 自立型 撤去・新設	1φ3W 200/100V ステージ電灯盤															
	MCCB3P 100AF ／75AT	①	100V	○		1	50	20	○				舞台蛍光灯(中)(後)	○		▲×2
		②	100V	○		1	50	20	○				舞台蛍光灯(前)		○	▲
		③	100V	○		1	50	20	○				ボーダーライト東・前	○		▲
		④	100V	○		1	50	20	○				ボーダーライト中・前		○	▲
		⑤	100V	○		1	50	20	○				ボーダーライト西・前	○		▲
		⑥	100V	○		1	50	20	○				ボーダーライト東・後		○	▲
		⑦	100V	○		1	50	20	○				ボーダーライト中・後	○		▲
		⑧	100V	○		1	50	20	○				ボーダーライト西・後		○	▲
		9	100V	○		1	50	20		○			ぶどう棚(東)	○		
		10	100V	○		1	50	20		○			ぶどう棚(中)		○	
		11	100V	○		1	50	20		○			ぶどう棚(西)	○		
		12	100V	○		1	50	20	○				フットライト(東)		○	▲×3
		13	100V	○		1	50	20	○				フットライト(中)	○		▲×3
		14	100V	○		1	50	20	○				フットライト(西)		○	▲×3
		15	100V	○		1	50	20		○			舞台(東)フロアコンセント	○		
		16	100V	○		1	50	20		○			舞台(西)フロアコンセント		○	
		17	100V	○		1	50	20	○	○			放送室・控室(東)	○		
		18	100V	○		1	50	20		○			舞台(東)		○	
		19	100V	○		1	50	20		○			舞台(西)	○		
		20	100V	○		1	50	20				○	時計電源		○	
		21	100V	○		1	50	20				○	予備	○		
W: 550 h:1380 d: 300		22	100V	○		1	50	20				○	リモコン電源		○	
	・リモコントランス１００Ｖ×１組、伝送ユニット×１組 ・ターミナルユニット（４回路）×８、リモコンリレー×３０															
電灯分電型 (WC) 屋内鋼板製 壁掛型 既設のまま	1φ3W 200/100V 中性線欠相保護付															
	ELB3P 50AF ／30AT	1	100V	○		2	50	20		○			女子便所			
		2	100V	○		2	50	20		○			男子便所			
		3	100V	○		2	50	20		○			小便器			
		4	100V	○		2	50	20		○			通路			
		5	100V	○		2	50	20		○			冷水器			
W: 450 h: 600 d: 125		6	100V	○		2	50	20				○	予備			

盤名称 盤型式 幹線番号 幹線サイズ	電気方式 スケルトン方式 主幹容量 合計負荷容量	分岐回路 回路番号	電圧（V）	ブレーカー MCCB	ELCB	P	AF	AT	負荷種類 電灯	コンセント	換気	他	負荷名	容量 R相～N相	N相～T相	備考

・ＥＴ（ＥＤ：ＩＥ8ｓｑ、ＥＬＣＢ：8ｓｑ）
・負荷の銘板には電灯、コンセント、換気扇等の種別を記載すること。
・タイマー（点灯区分ａ：日入～日出、ｂ：日入～深夜）

分電盤リスト

凡例　①AC 1Φ200V（電灯回路）　①AC 1Φ100V（電灯回路）　④AC 1Φ100V（防災回路）　1AC 1Φ100V（ｺﾝｾﾝﾄ回路）　1AC 1Φ200V（ｺﾝｾﾝﾄ回路）　①AC 1Φ200V（空調換気電源回路）　①AC 1Φ100V（空調換気電源回路）　▲リモコンリレー　⏥天井用T/U付ﾘﾚｰﾕﾆｯﾄ(平面図による)　SPDサージ防護デバイス

盤名称 盤型式 幹線番号 幹線サイズ	電気方式 スケルトン方式 主幹容量 合計負荷容量	分岐回路 回路番号	電圧（V）	ブレーカー MCCB	ELCB	P	AF	AT	負荷種類 電灯	コンセント	換気	他	負荷名	容量 R相～N相	N相～T相	備考

特記事項

工事名称　市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）　設計図

株式会社宮下設計事務所　一級建築士事務所
埼玉県知事登録(11)409　管理建築士 宮下光芳　一級建築士大臣登録第81291号
さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号
TEL048(824)3286 FAX048(824)3658
URL http://www.archi-miya.co.jp/

設計　担当

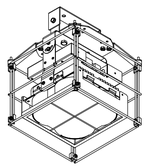
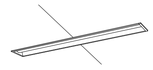
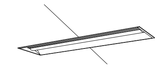
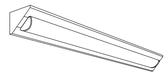
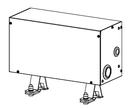
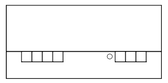
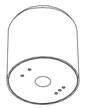
図面名称　改修前後　電灯盤リスト

縮尺　A1：N.S　A3：N.S

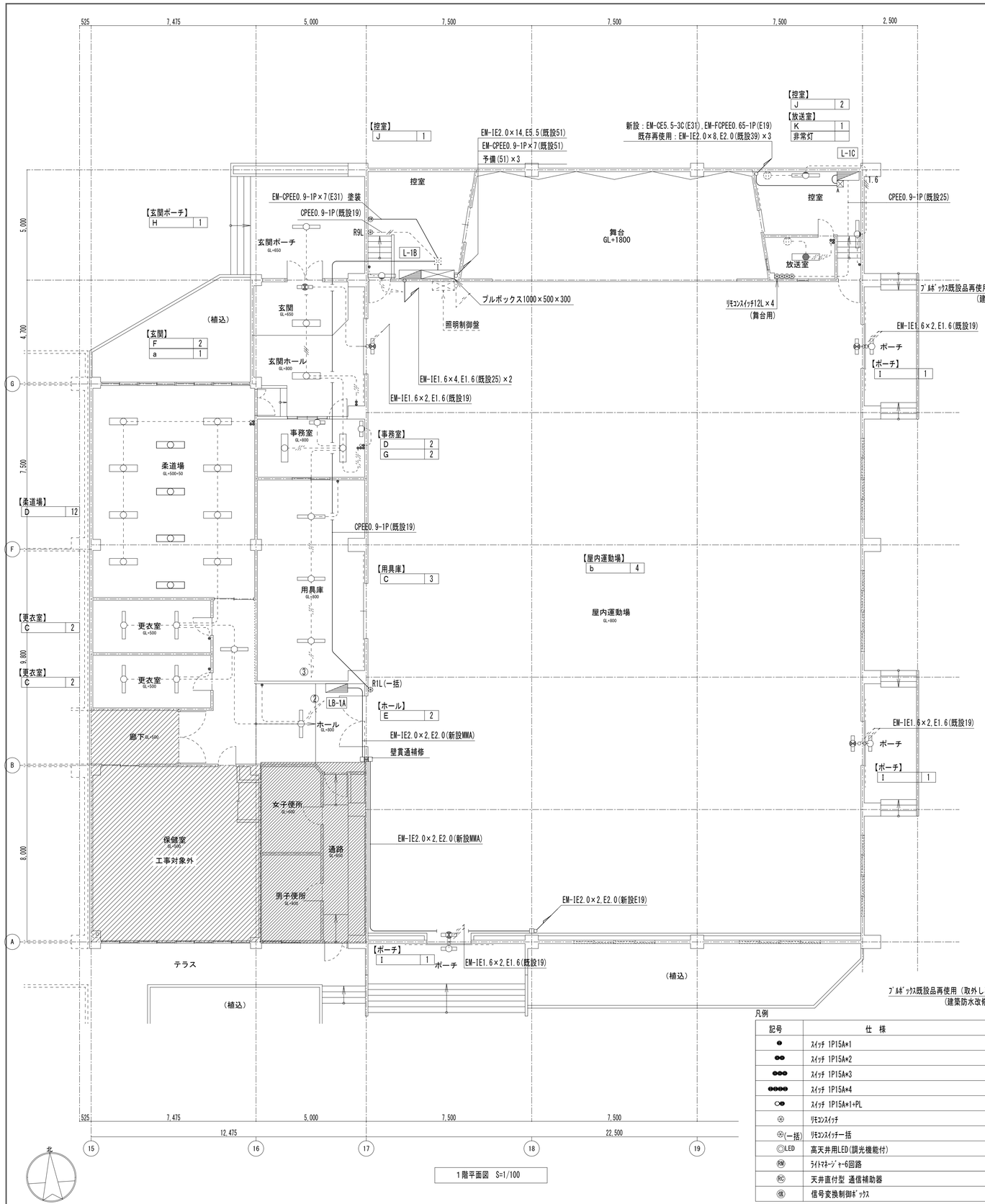
図面番号　E — 05

R5 25 12 15 16:07:21 E-05 改修前後 電灯盤リスト ・　令和　年　月　日

照明器具　姿図

A	高天井器具　21,300lm　113.0W　下面ｶﾞｰﾄﾞ+側面ｶﾞｰﾄﾞ			B	ＬＥＤ露出形(６，５００ｌｍ相当)	C	ＬＥＤ露出形(３，０００ｌｍ相当)	D	ＬＥＤ露出形(６，９００ｌｍ相当)	E	ＬＥＤ埋込形(３，１００ｌｍ相当)	F	ＬＥＤ埋込形(６，５００ｌｍ相当)		
	約５～１００%連続調光　　露出ﾎﾞｯｸｽ用取付金具共				反射笠付		Ｗ１３０		Ｗ２３０		Ｗ１５０		Ｗ３００		
															
ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ ＮＹＭ２０２５３ＲＺ２＋ＮＹＫ００１１６ ＋ＮＹＫ００１１４＋ＮＮＹ２８６０８ 相当品				東芝 ＬＥＫＴ４１５６９３Ｎ-ＬＳ９ 相当品		ＬＳＳ９-４-３０ＬＮ		ＬＳＳ１０-４-６５ＬＮ		ＬＲＳ６-４-３０ＬＮ		ＬＲＳ２０-４-６５ＬＮ			
G	ＬＥＤ露出形(７４０ｌｍ相当)　ブラケット用カバー・乳白	H	ＬＥＤ露出形(２，９００ｌｍ相当)	I	ＬＥＤ露出形(１，４５０ｌｍ相当)	J	ＬＥＤ露出形(３，２００ｌｍ相当)	K	ＬＥＤ露出形(６，５００ｌｍ相当)	L	ＬＥＤダウンライト（８００ｌｍ以上）φ１５０	M	ＬＥＤダウンライト（５００ｌｍ以上）φ１５０		
													ひとセンサ付		
															
東芝　ＬＭＴ-２１８０１Ｍ-ＬＳ９+ＣＯ-２１０５Ｎ 相当品		ＬＢＦ３ＭＰ/ＲＰ-４-２６ＬＮ		ＬＢＦ３ＭＰ/ＲＰ-２-１３ＬＮ		東芝 ＬＥＫＴ４１３３２３ＭＮ-ＬＳ９ 相当品		Ｋ１-ＬＳＳ１０-４-６５ＬＮ		ＬＲＳ１-０８		ＬＤＳ１-ＬＲＳ１-０５ＬＮ			
N	ＬＥＤボーダーライト(６９００ｌｍ相当)	(信)	信号変換制御ボックス			(RM)	ライトマネージャー　６回路	(RC)	天井直付型 通信補助器　取付金具・防球ｶﾞｰﾄﾞ						
															
ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ ＮＮＱ３４０００ＺＬＲ９ 相当品		ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ ＮＫ３９７００Ｋ 相当品				調光回路数：６回路 操作シーン数：４シーン＋ＯＦＦ 適合スイッチボックス：ＪＩＳ　５コ用金属製（カバー付）		ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　ＮＱ２８８６１Ｋ 相当品		ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　ＮＫ２３０８１＋ＮＫ２３０６０＋ＮＫ２３０６２ 相当品					
a	ＬＥＤ避難口誘導灯	b	ＬＥＤ避難口誘導灯												
	Ｂ級ＢＬ形　天井直付形		Ｂ級ＢＬ形　壁直付形												
															
ＳＨ１-ＦＳＦ２０-ＢＬ		ＳＨ１-ＦＢＦ２０-ＢＬ													

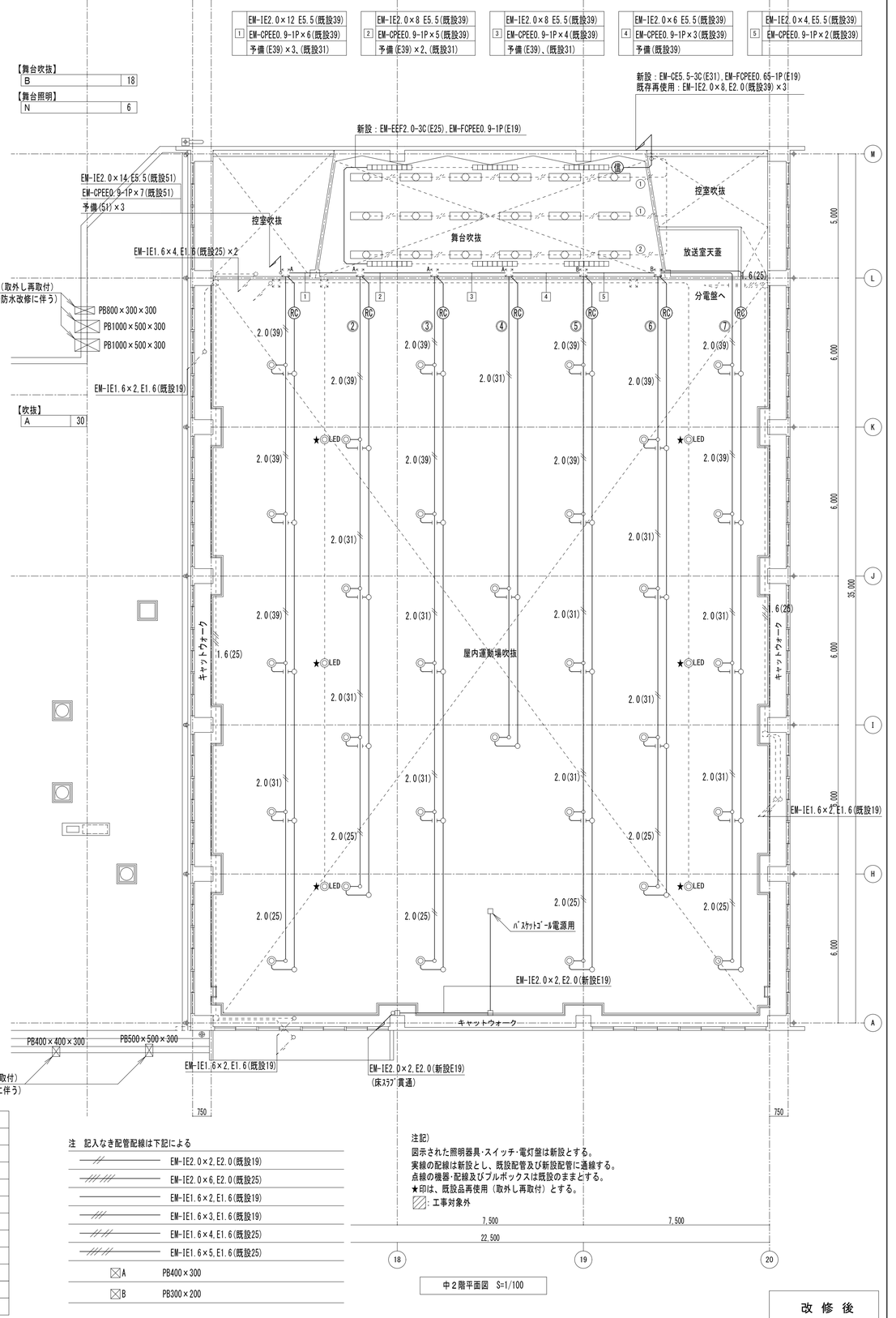
特記事項	工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称	縮尺	図面番号
	株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409　管理建築士 宮下光秀 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計　担当	照明器具姿図	A1：N.S A3：N.S	E — 06
				1D:25 12 15 1607:18 E-06 照明器具姿図 + 令和　年　月　日		



1階平面図 S=1/100

凡例

記号	仕 様
●	ｽｲｯﾁ 1P15A*1
●●	ｽｲｯﾁ 1P15A*2
●●●	ｽｲｯﾁ 1P15A*3
●●●●	ｽｲｯﾁ 1P15A*4
○●	ｽｲｯﾁ 1P15A*1+PL
㊙	ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁ
㊙(一括)	ﾘﾓｺﾝｽｲｯﾁｰ一括
◎LED	高天井用LED(調光機能付)
RM	ﾗｲﾄﾏﾈｰｼﾞｬｰ6回路
RC	天井直付型 通信補助器
信	信号変換制御ﾎﾞｯｸｽ



中2階平面図 S=1/100

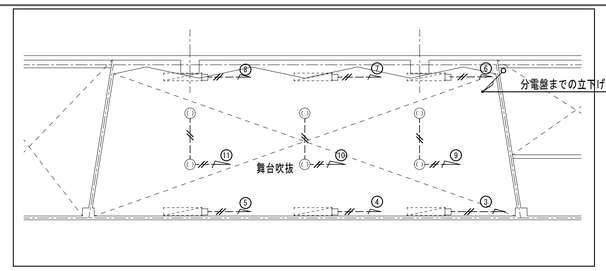
注 記入なき配管配線は下記による

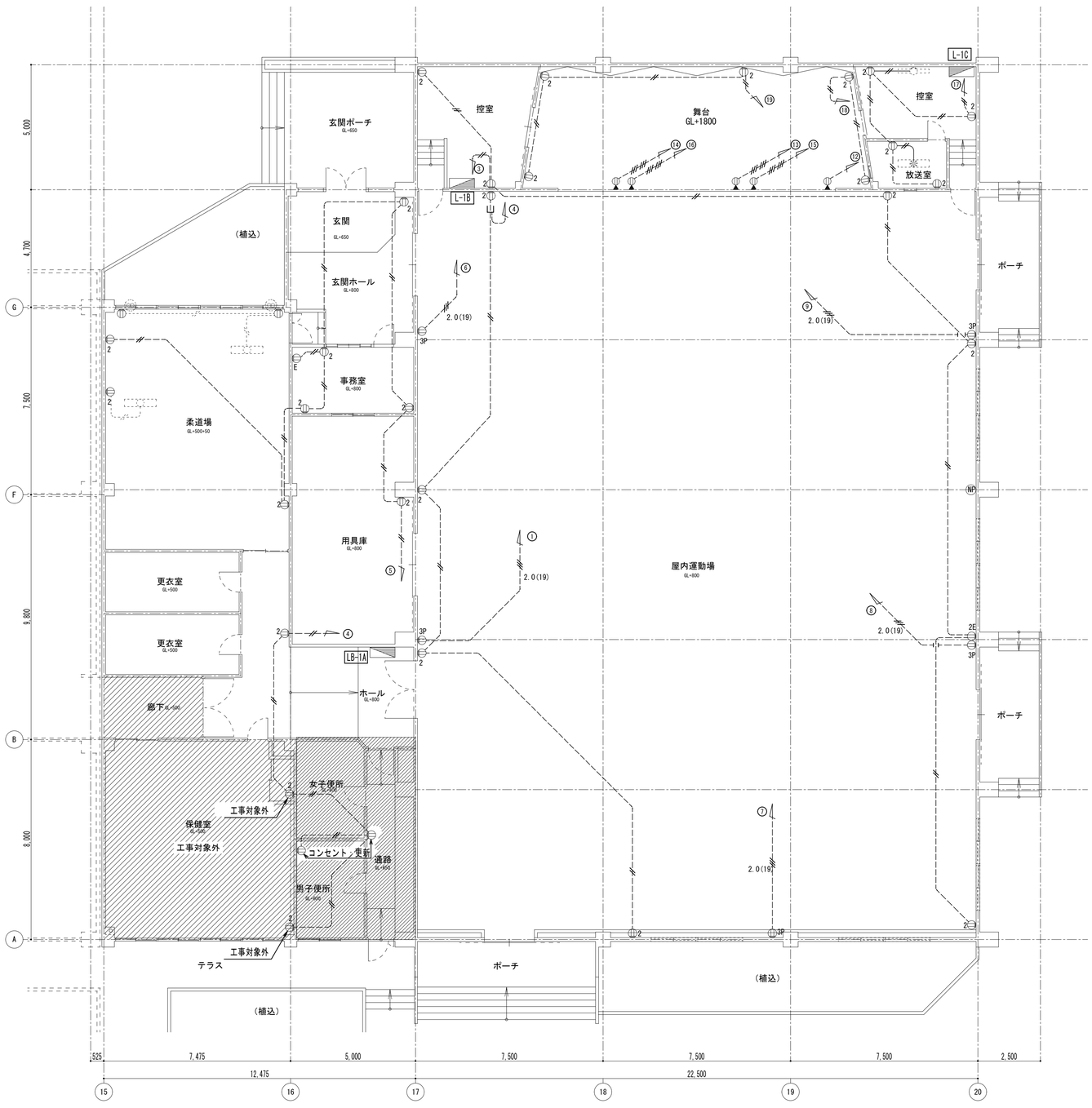
	EM-IE2.0×2,E2.0(既設19)
	EM-IE2.0×6,E2.0(既設25)
	EM-IE1.6×2,E1.6(既設19)
	EM-IE1.6×3,E1.6(既設19)
	EM-IE1.6×4,E1.6(既設25)
	EM-IE1.6×5,E1.6(既設25)
⊠A	PB400×300
⊠B	PB300×200

注記)
図示された照明器具・スイッチ・電灯盤は新設とする。
実線の配線は新設とし、既設配管及び新設配管に通線する。
点線の機器・配線及びプルボックスは既設のままとする。
★印は、既設品再使用（取外し再取付）とする。
▨: 工事対象外

改修後

特記事項		工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務） 設計図	図面名称	縮尺
		株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/ 設計 担当	改修後 電灯設備1階・中2階平面図	A1：1/100 A3：1/200
				10:25 12.15 1607:11 E-07 改修後 電灯設備1階・中2階 平面図 ・ 年 月 日	図面番号 E — 07





1階平面図 S=1/100

凡例

記号	仕様
ⓤ	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A*1
ⓤ2	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A*2
ⓤ	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A*1 抜止
ⓤE	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A*1E
ⓤ2E	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A*2E
ⓤ3P	ｺﾝｾﾝﾄ 3P20*1
ⓤ▲	床ｺﾝｾﾝﾄ2P15A*2
ⓃP	ﾊﾟｽﾙｰﾌﾟﾚｰﾄ

注 記入なき配管配線は下記による

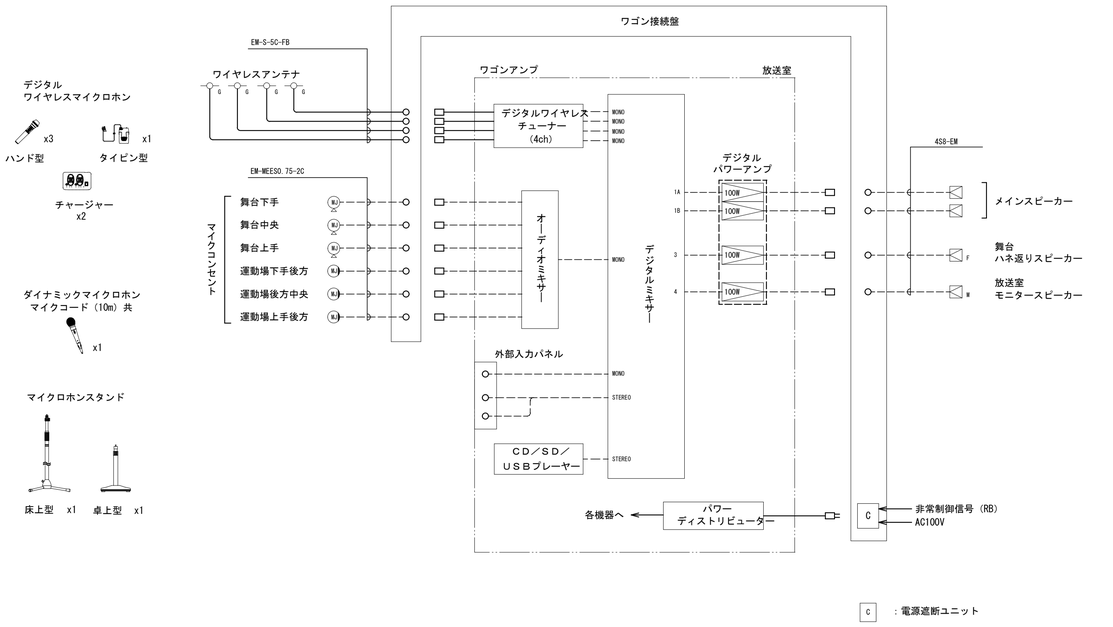
---//----------	EM-IE2.0×2,E2.0(既設19) 床ｺﾛｶﾞｼ
---///----------	EM-IE2.0×3,E2.0(既設19) 床ｺﾛｶﾞｼ
---///////----------	EM-IE2.0×6,E2.0(既設25) 床ｺﾛｶﾞｼ

注記)
図示されたコンセントは新設とする。
配線は既設再使用とする。
点線の機器及びプルボックスは既設のままとする。
▨: 工事対象外

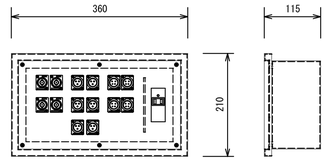
改修後

特記事項	工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称	縮尺	図面番号
	株式会社 宮下設計事務所一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 担当	改修後 コンセント設備平面図 10 25 12 15 1607-08 E-08 改修後 コンセント設備平面図 和 年 月 日	A1：1/100 A3：1/200	E — 08

屋内運動場　音響設備　システム図

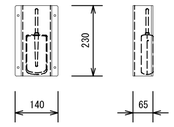


CB　ワゴン接続盤



コネクター	BNC x4	：ワイヤレス用
	XLR-3-32-F77相当 x6	：マイク用
	XLR-4-32-F77相当 x4	：スピーカー用
電源遮断ユニット	コンセント：AC100 V、50/60 Hz	
電力容量	最大800 W	
材　質	鋼板	
仕　上	指定色、焼付塗装	

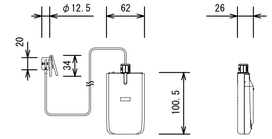
G　ワイヤレスアンテナ（防球ガード付）



受信周波数範囲	806 MHz～810 MHz
ダイポール相対利得	10 dB（ブースターアンプ含む）
防水性	JIS保護等級4級
アッテネーター	3段階切換（広、中、狭）
電　源	DC8 V～15 V（同軸ケーブルに重畳）、10 mA
その他	防球ガード付

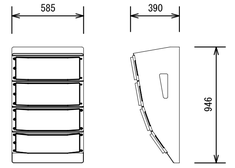
デジタルワイヤレスマイクロホン（タイピン型）

x1



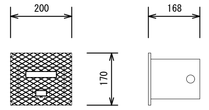
送信周波数	800 MHz帯の30波から1波選択
電波形式	G1E/G1D
マイクロホン形式	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
空中線電力	5 mW/1 mW 切換式
電　源	DC1.5 V（単3乾電池 x1）又は専用充電式電池
セキュリティ機能	あり
同時使用本数	10本（標準モード）、15本（多チャンネルモード）
付属品	ストラップ、マイク部用ネックホルダー

メインスピーカー



形　式	アレイ方式　2ウェイバスレフ型（防球構造）
スピーカーユニット	高音用：4 cmコーン型 x16、低音用：16 cmコーン型 x8
定格入力	250 W（8 Ω）
出力音圧レベル	98 dB/W（1 m）
周波数特性	70 Hz～20 kHz
水平／垂直指向角度	水平：90°（内向き10°に対し、左右対称）
	垂直：35°（下向き10°に対し、上5°/下30°）
質　量	約32.5 kg

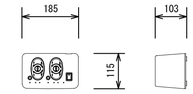
M　マイクコンセント（床）



コネクター	XLR-3-31タイプ x1
鋳物プレート	FC100、t=8 mm
函　体	鋼板　1 mm
質　量	2.7 kg

チャージャー

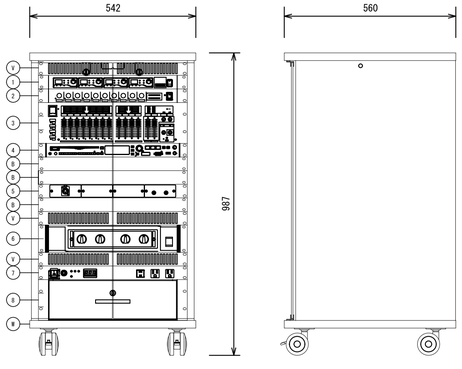
x2



充電方式	デジタルマイク：急速充電（満充電検出式）
	アナログマイク：タイマー式
標準充電時間	デジタルマイク：約2時間
	アナログマイク：約5時間
電　源	DC6 V（専用ACアダプター付）
付属品	専用充電式電池 x2

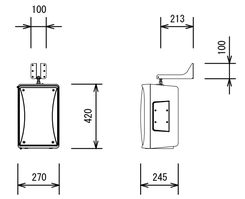
AMP　ワゴンアンプ

1	デジタルワイヤレスチューナー
2	オーディオミキサー
3	デジタルミキサー
4	ＣＤ／ＳＤ／ＵＳＢプレーヤー
5	外部入力パネル
6	デジタルパワーアンプ
7	パワーディストリビューター
8	EIA引き出し
B	ブランクパネル
V	ベンチレートパネル
W	ワゴン



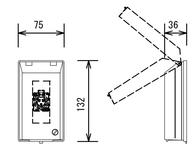
デジタルワイヤレスチューナー	
受信方式	ダイバシティ・ダブルスーパーヘテロダイン
受信周波数	800 MHz帯の30波から4波を受信
入　力	アンテナ（α・β各2）、混合
出　力	チューナー x4、混合
機　能	セキュリティ、チャンネルサーチ
オーディオミキサー	
入力回路	マイク/ライン（モノラル） 6回路、
	ライン（ステレオ） 4系統、サブ（ステレオ）
出力回路	メイン（ステレオ）、サブ（ステレオ） 2系統
周波数特性	20 Hz～20 kHz ±2dB
デジタルミキサー	
入　力	モノラル x8（ファンタム電源 +48V供給可能）
	ステレオ x4、コントローラー x1
出　力	ステレオ x2、モノラル x2、録音 x1
デジタルオーディオ入出力	USB Type-C x1、入力：2ch、出力：2ch
周波数特性	20 Hz～20 kHz
付加機能	マトリクス、ハウリングサプレッサー（6素子）、
	入出力イコライザー、ディレイ、コンプレッサー
パターンメモリー	16（内4パターンは前面スイッチで選択可能）
ＣＤ／ＳＤ／ＵＳＢプレーヤー	
対応メディア	CD、CD-R/RW、USB、SD、SDHC
再生ファイル形式	CD-DA/MP3/WMA/WAV/AAC
Bluetooth	対応A2DPコーデック：SBC、AAC、aptX
FM/AMチューナー	FM：76～108 MHz、AM：522～1,629 kHz
外部入力	ステレオミニジャック（前面）
外部入力パネル	
コネクタ	RCAx2、XLR-3-31-F77相当x1
デジタルパワーアンプ	
定格出力	100 W x4（8 Ω）、150 W x4（4 Ω）
2チャンネル出力	300 W x2（8 Ω）
周波数特性	20 Hz～20 kHz（8 Ω、1W出力時）
S/N	100 dB以上
パワーディストリビューター	
AC100 V入力	15 Aサーキットブレーカー x1
EIA引き出し	
収納合計質量	5 kg以下
ワゴン	キャスター、鍵付強化ガラス扉（270°開閉可）
材　質	木製（EIAマウントタイプ）

F　ハネ返りスピーカー



スピーカーユニット	高音用：定指向性ホーン型
	低音用：20 cmコーン型
定格／最大入力	130W（RMS）／260W（連続プログラム）
出力音圧レベル	93 dB/W（1m）
周波数特性	65 Hz～20 kHz
指向角度	水平：70°、垂直：70°
その他	壁面取付金具付

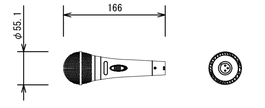
M　マイクコンセント（蓋付）



コネクター	XLR-3-31-F77相当 x1
適合ボックス	JIS1ケ用スイッチボックス
カバー	金属カバー

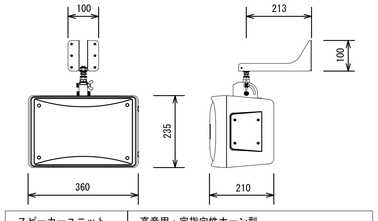
ダイナミックマイクロホン

x1



形　式	ダイナミック型
指 向 性	カーディオイド
周波数特性	70 Hz～15 kHz
出力インピーダンス	600 Ω平衡
感　度	-53.5 dBV/Pa（2.10mV）
質　量	300 g
付属コード	4.6 m（XLR3-11C/複式フォンプラグ）
延長コード	10 m（XLR3-11C/XLR3-12C）共

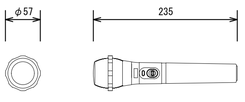
W　モニタースピーカー



スピーカーユニット	高音用：定指向性ホーン型
	低音用：16 cmコーン型
定格／最大入力	90 W（RMS）／180 W（連続プログラム）
出力音圧レベル	90 dB/W（1m）
周波数特性	65 Hz～20 kHz
指向角度	水平：70°、垂直：70°
その他	壁掛金具付

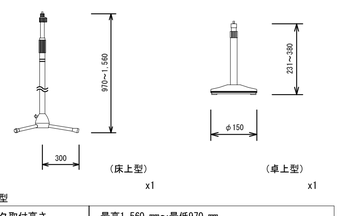
デジタルワイヤレスマイクロホン（ハンド型）

x3



送信周波数	800 MHz帯の30波から1波選択
電波形式	G1E/G1D
マイクロホン形式	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
空中線電力	5 mW/1 mW 切換式
電　源	DC1.5 V（単3乾電池 x1）又は専用充電式電池
セキュリティ機能	あり
同時使用本数	10本（標準モード）、15本（多チャンネルモード）

マイクロホンスタンド



（床上型）　x1　　（卓上型）　x1

床上型

マイク取付高さ	最高1,560 mm～最低970 mm
ロック方式	スリーブ・ロック方式
質　量	約2.6 kg

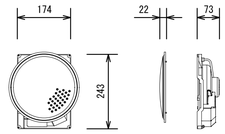
卓上型

マイク取付高さ	最高380 mm～最低231 mm
ロック方式	スリーブ・ロック方式
質　量	約1.1 kg

24045733-B011A

特記事項		工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称
		株式会社 宮下設計事務所　一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409　管理建築士 宮下光芳　一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 / 担当	放送設備　機器姿図-1
					縮尺 A1：N.S / A3：N.S
					図面番号 E — 09
					ID:25 12 15 1607:06 E-09 放送設備 機器姿図-1　令和　年　月　日

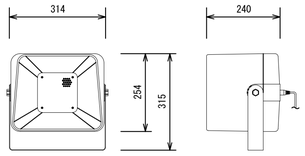
天井埋込型スピーカー（ATT無）



L級

スピーカーユニット	16 cmコーン型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	93 dB/W（1 m）
周波数特性	80 Hz～14 kHz
入力インピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
本体仕上	黒色モールド成型
パネル	アルミパンチング

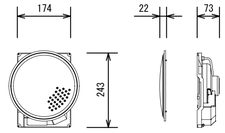
ソフトホーンスピーカー（15W）



L級

スピーカーユニット	12 cm防滴型
定格入力	15 W/10 W/3 W
出力音圧レベル	99 dB/W（1 m）
周波数特性	150 Hz～15 kHz
入力インピーダンス	670 Ω/1 kΩ/3.3 kΩ
防水保護等級	IPX4準拠（JIS C 0920-2003）
使用温度範囲	-30 ℃～+60 ℃

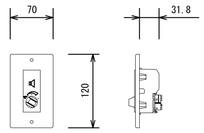
天井埋込型スピーカー（ATT付）



L級

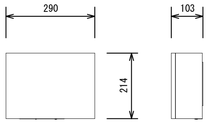
スピーカーユニット	16 cmコーン型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	93 dB/W（1 m）
周波数特性	80 Hz～14 kHz
入力インピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
本体仕上	黒色モールド成型
パネル	アルミパンチング
アッテネータ	4段階（大/中/小/切）

アッテネータ



入力容量	6 W（0.5 W~6 W適合）
入力インピーダンス	20 kΩ～1.7 kΩ
音量調節	5段階（OFF、-18、-12、-6、0 dB）

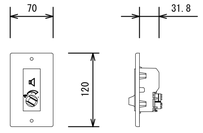
壁掛型スピーカー



L級

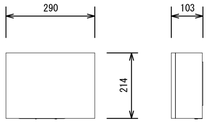
スピーカーユニット	16 cmコーン型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	92 dB/W（1 m）
周波数特性	120 Hz～13 kHz
入力インピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
キャビネット	木製

アッテネータ（30W）



入力容量	30 W（0.5 W ～ 30 W適合）
入力インピーダンス	20 kΩ ～ 330 Ω
音量調節	5段階（OFF、-18、-12、-6、0 dB）

壁掛型スピーカー（ATT付）



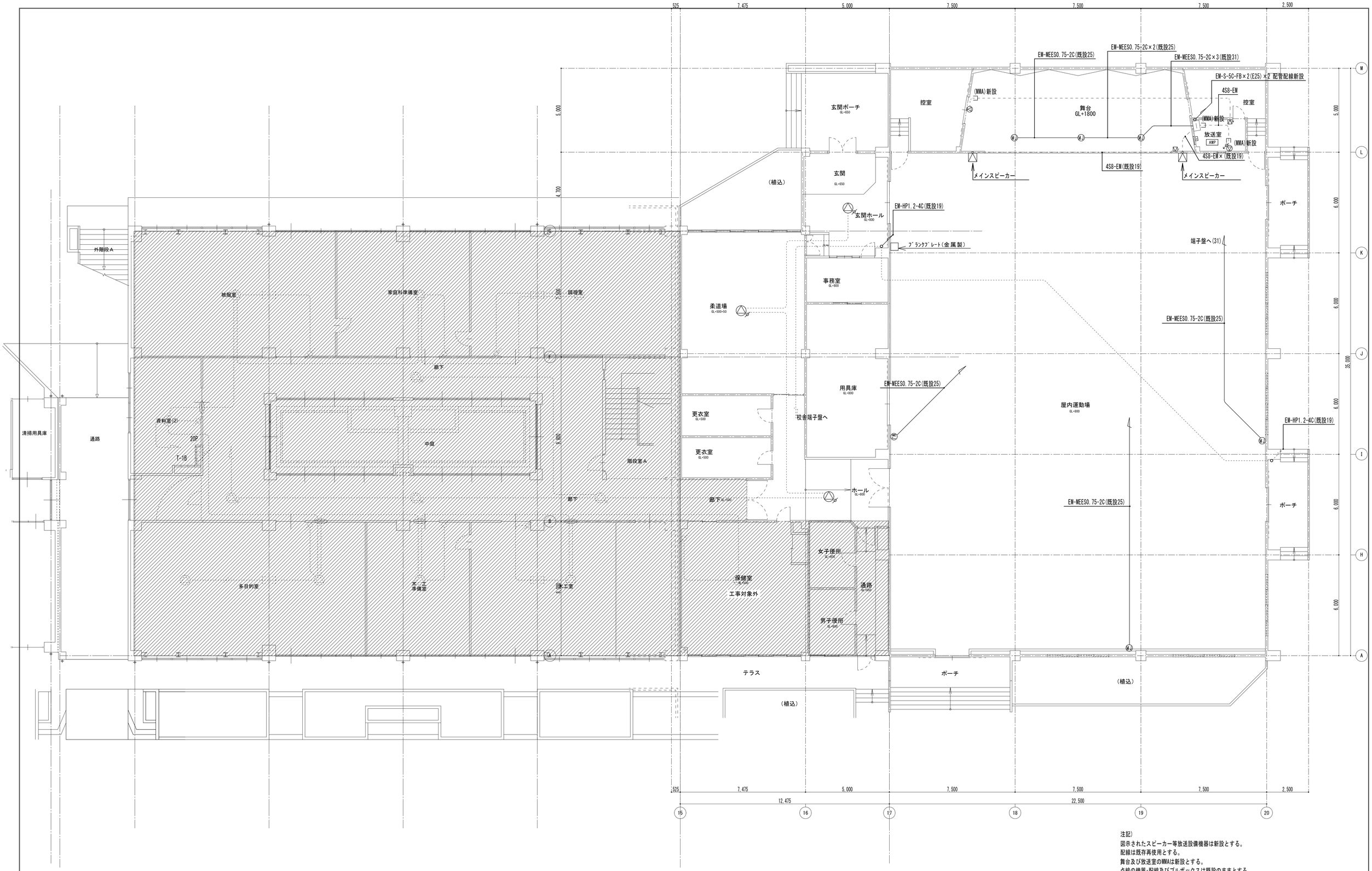
L級

スピーカーユニット	16 cmコーン型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	92 dB/W（1 m）
周波数特性	120 Hz～13 kHz
入力インピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
アッテネータ	4段階（大/中/小/切）
キャビネット	木製

24045733-B001A

特記事項

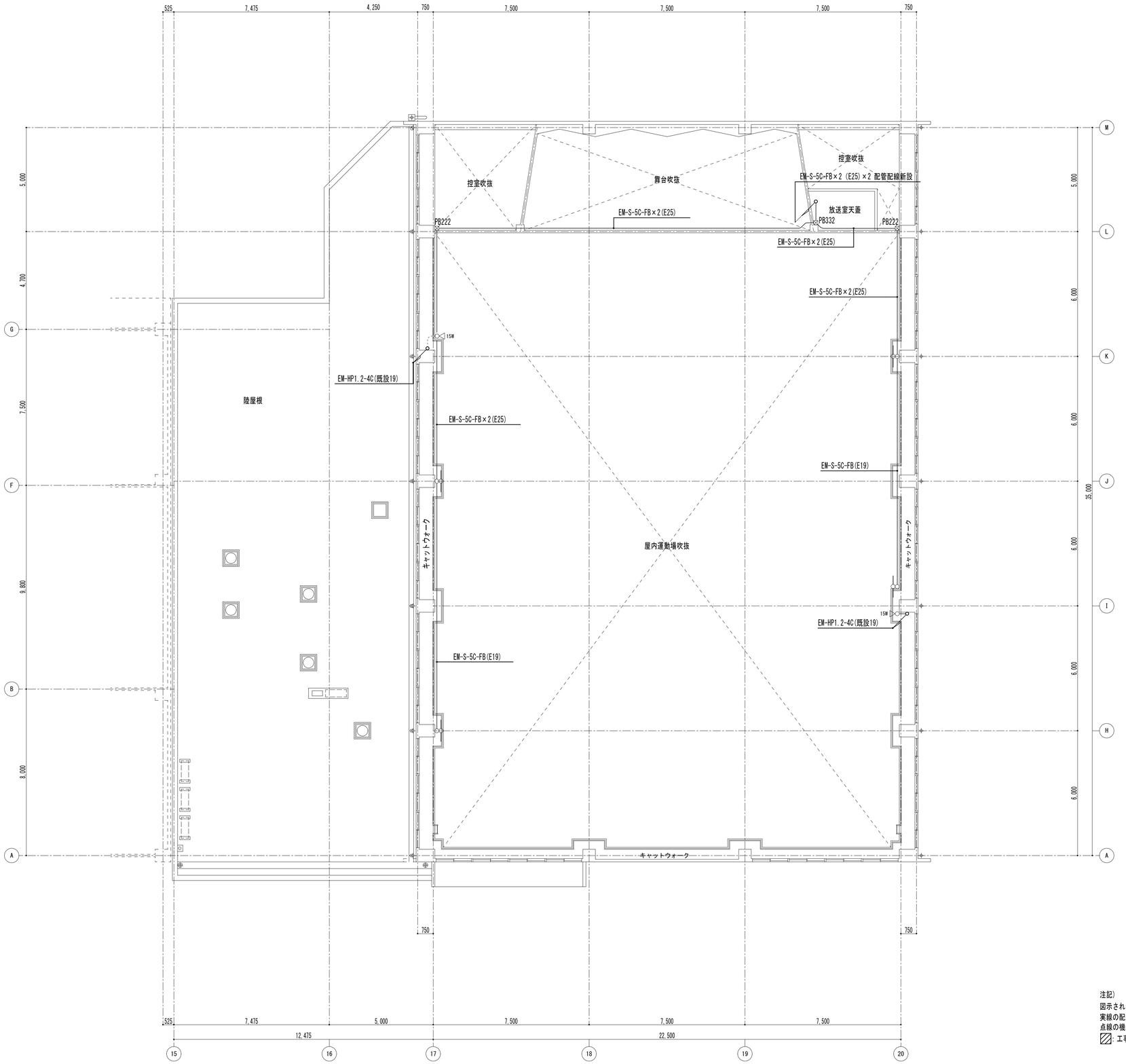
工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	放送設備 機器姿図-2	縮尺	A1：N.S A3：N.S
ID:25 12 15 1607:03 E-10 放送設備 機器姿図-2	令和 年 月 日	図面番号	E — 10



注記)
図示されたスピーカー等放送設備機器は新設とする。
配線は既存再使用とする。
舞台及び放送室のMMAは新設とする。
点線の機器・配線及びプルボックスは既設のままとする。
▨: 工事対象外

改修後

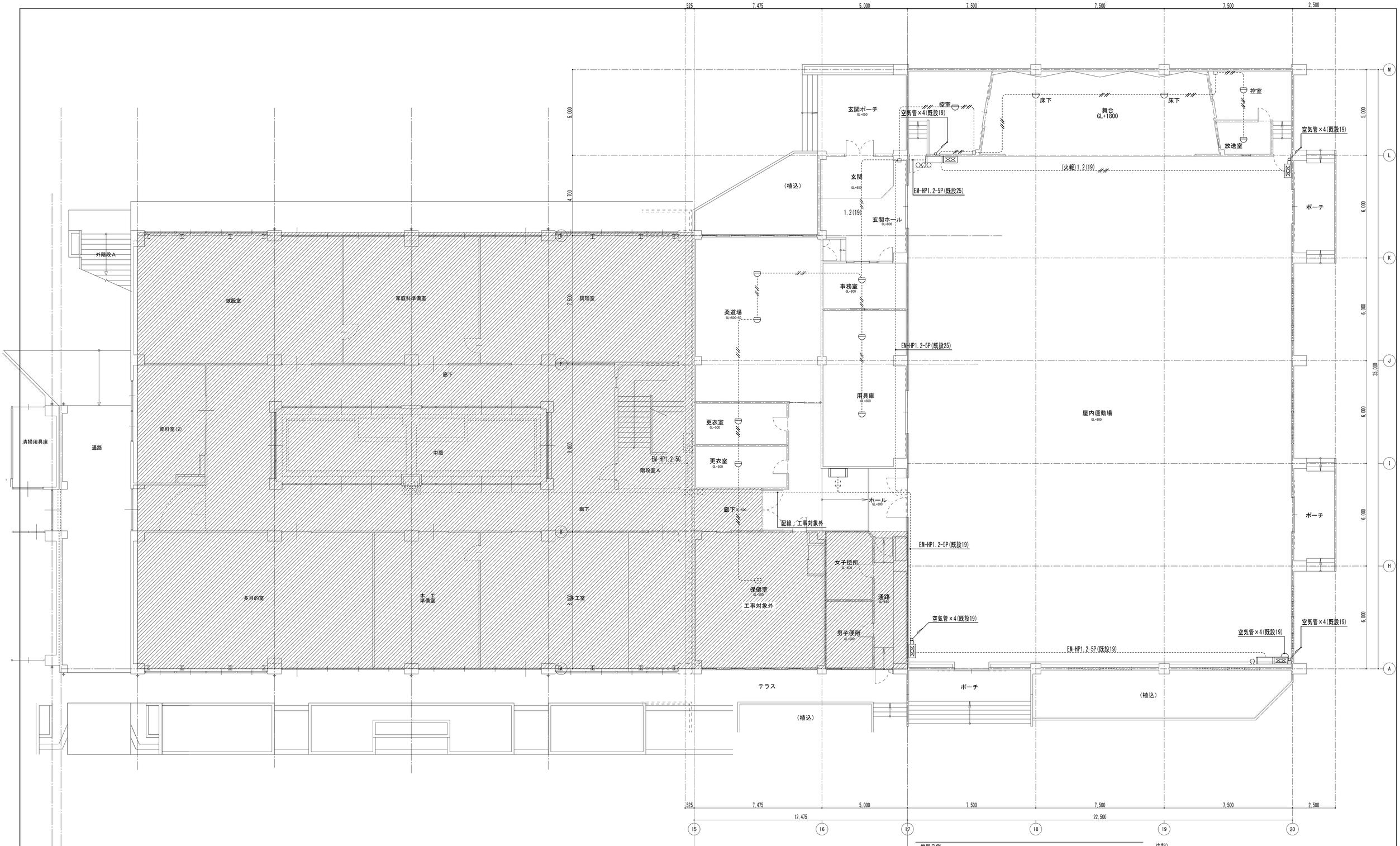
特記事項	工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称	縮尺	図面番号
	株式会社宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号 さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 担当		改修後 放送設備1階平面図 ID:24 09 20 1554:50 E-00 旨電・自火報設備平面図 令和 年 月 日	A1:1/100 A3:1/200	E — 11



注記)
図示されたスピーカー等放送設備機器は新設とする。
実線の配線及び配管は新設とする。
点線の機器・配線及びプルボックスは既設のままとする。
▨ : 工事対象外

改 修 後

特記事項	工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称	縮尺	図面番号
	株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号 さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当	改修後 放送設備中2階平面図 ID:25 12 15 1606:56 E-12 改修後 放送設備中2階平面図和 年 月 日	A1：1/100 A3：1/200	E — 10



機器凡例

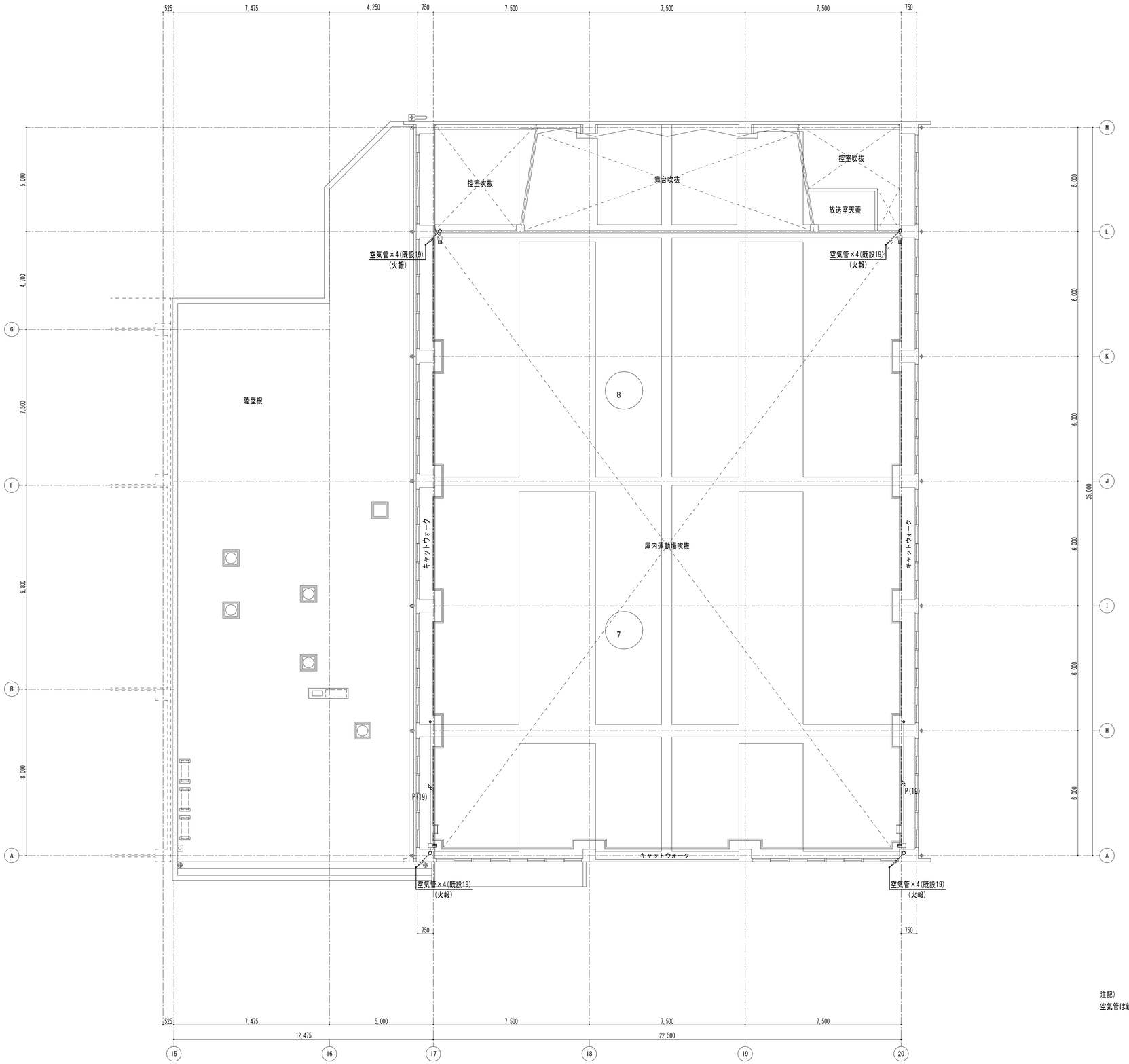
	消火栓ﾎﾞｯｸｽ(機械設備工事):電飾新設
	:表示灯ｶﾞｰﾄﾞ共新設
	:発信器(P-1)ｶﾞｰﾄﾞ共新設
	既設、感知器収納ﾎﾞｯｸｽ利用:差動分布型感知器2種×2:新設
	ｽﾎﾟｯﾄ感知器差動式2種:新設
床下	ｽﾎﾟｯﾄ感知器差動式2種(床下設置):新設
Ω	終端抵抗器:新設
	空気管、ﾒｯｾﾝｼﾞｬｰﾜｲﾔｰ付:新設

注記)
図示された感知器及び空気管は新設とする。
配線は既存再使用とする。
点線の機器及びプルボックスは既設のままとする。
▨:工事対象外

改修後

特記事項	工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称	縮尺
	株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 / 担当	改修後 自火報設備1階平面図 10-24 09 20 1554-50 E-00 弱電・自火報設備平面図 令和 年 月 日	A1：1/100 A3：1/200

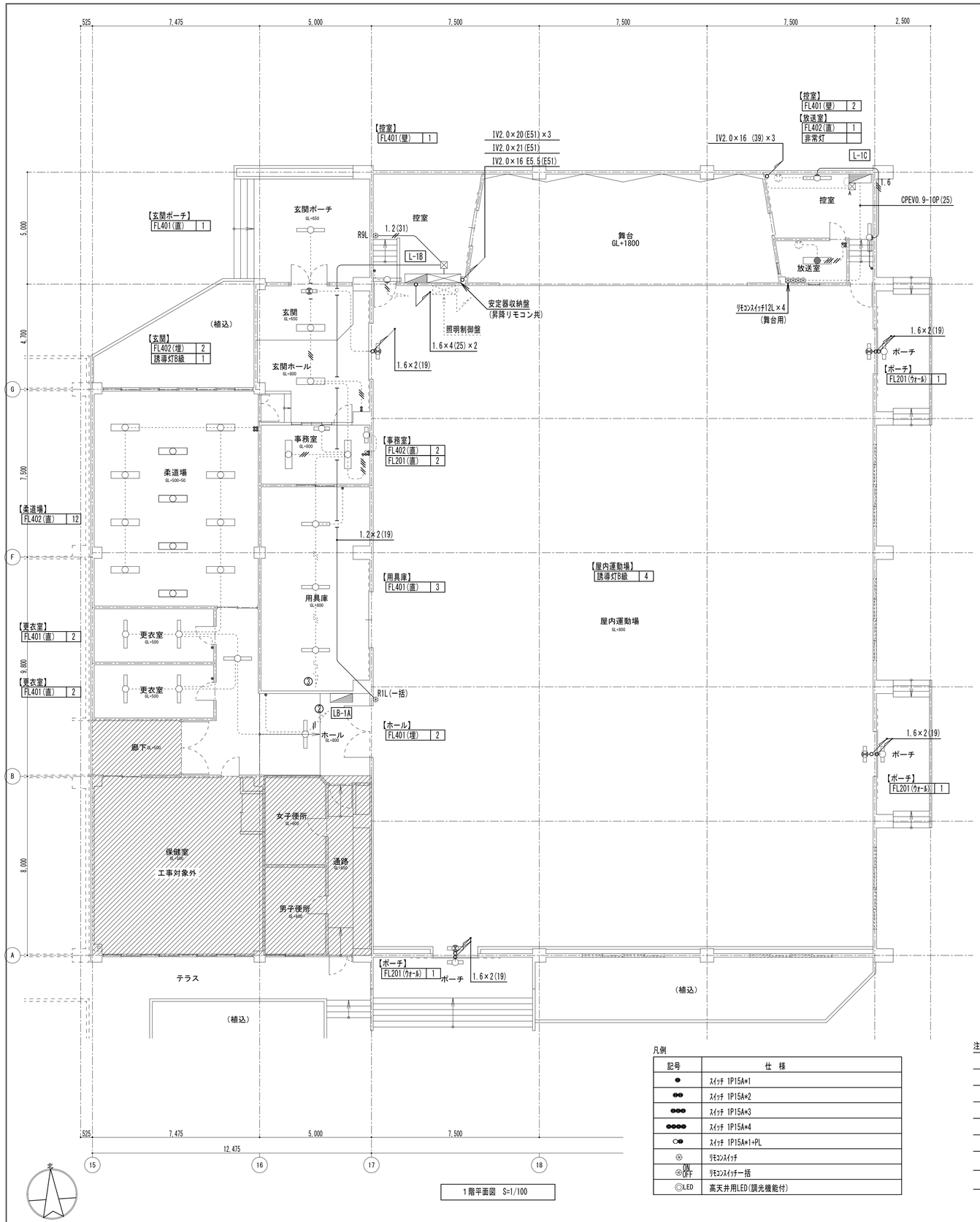
図面番号 E — 13



注記)
空気管は新設とする。

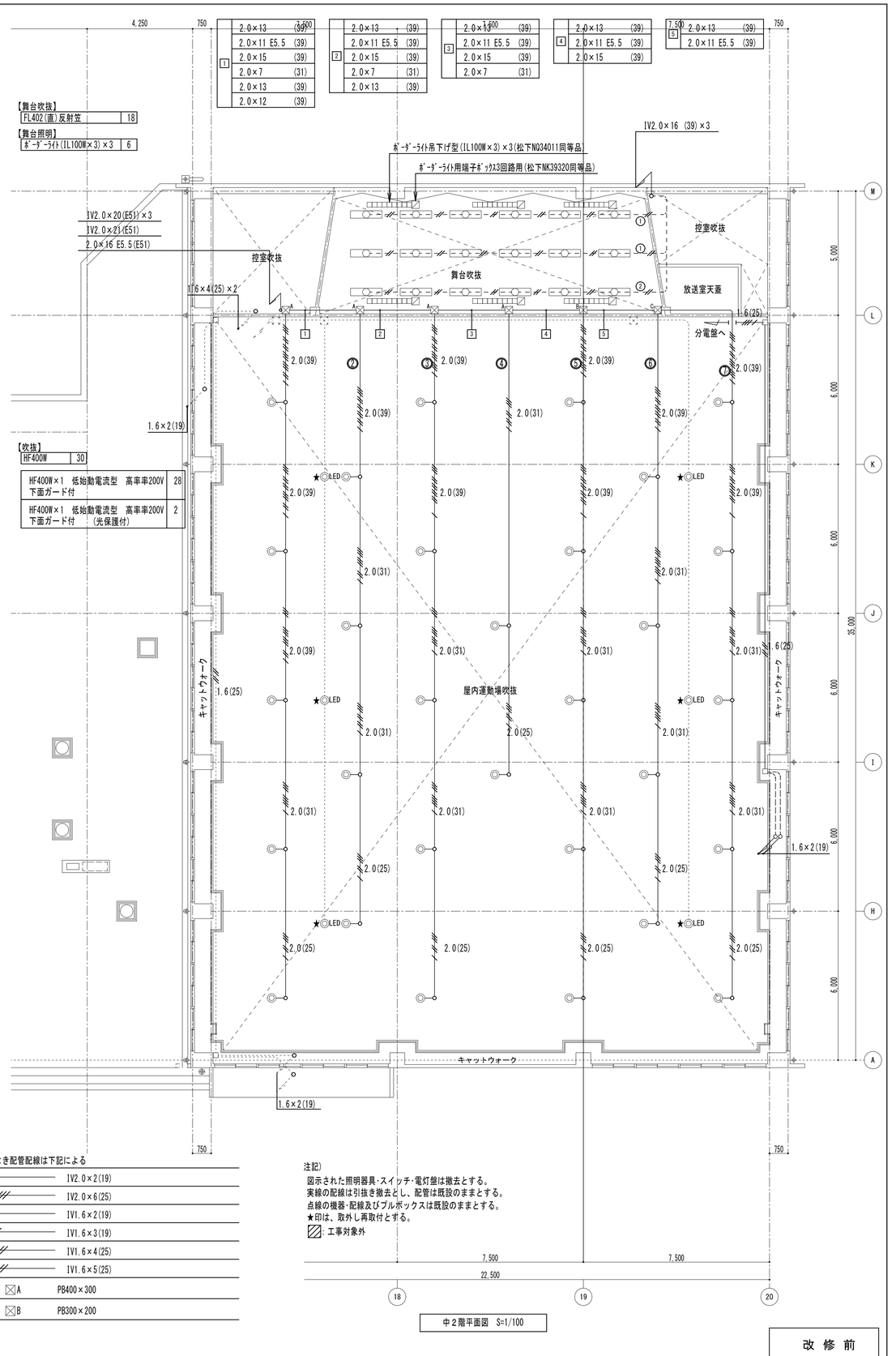
改修後

特記事項					
	工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称	縮尺
	株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 / 担当	改修後 自火報設備中2階平面図	A1：1/100 A3：1/200
				ID:25 12 15 1606:48 E-14 改修後 自火報設備中2階平面図.dwg	図面番号 E — 14



1階平面図 S=1/100

凡例	
記号	仕様
●	スイッチ 1P15A×1
●●	スイッチ 1P15A×2
●●●	スイッチ 1P15A×3
●●●●	スイッチ 1P15A×4
○●	スイッチ 1P15A×1+PL
㊎	リモコンスイッチ
㊎ ON OFF	リモコンスイッチ一括
◎LED	高天井用LED(調光機能付)



注 記入なき配管配線は下記による	
	IV2.0×2(19)
	IV2.0×6(25)
	IV1.6×2(19)
	IV1.6×3(19)
	IV1.6×4(25)
	IV1.6×5(25)
A	PB400×300
B	PB300×200

注記)
図示された照明器具・スイッチ・電灯盤は撤去とする。
実線の配線は引抜き撤去とし、配管は既設のままとする。
点線の機器・配線及びプルボックスは既設のままとする。
★印は、取外し再取付とする。
▨: 工事対象外

中2階平面図 S=1/100

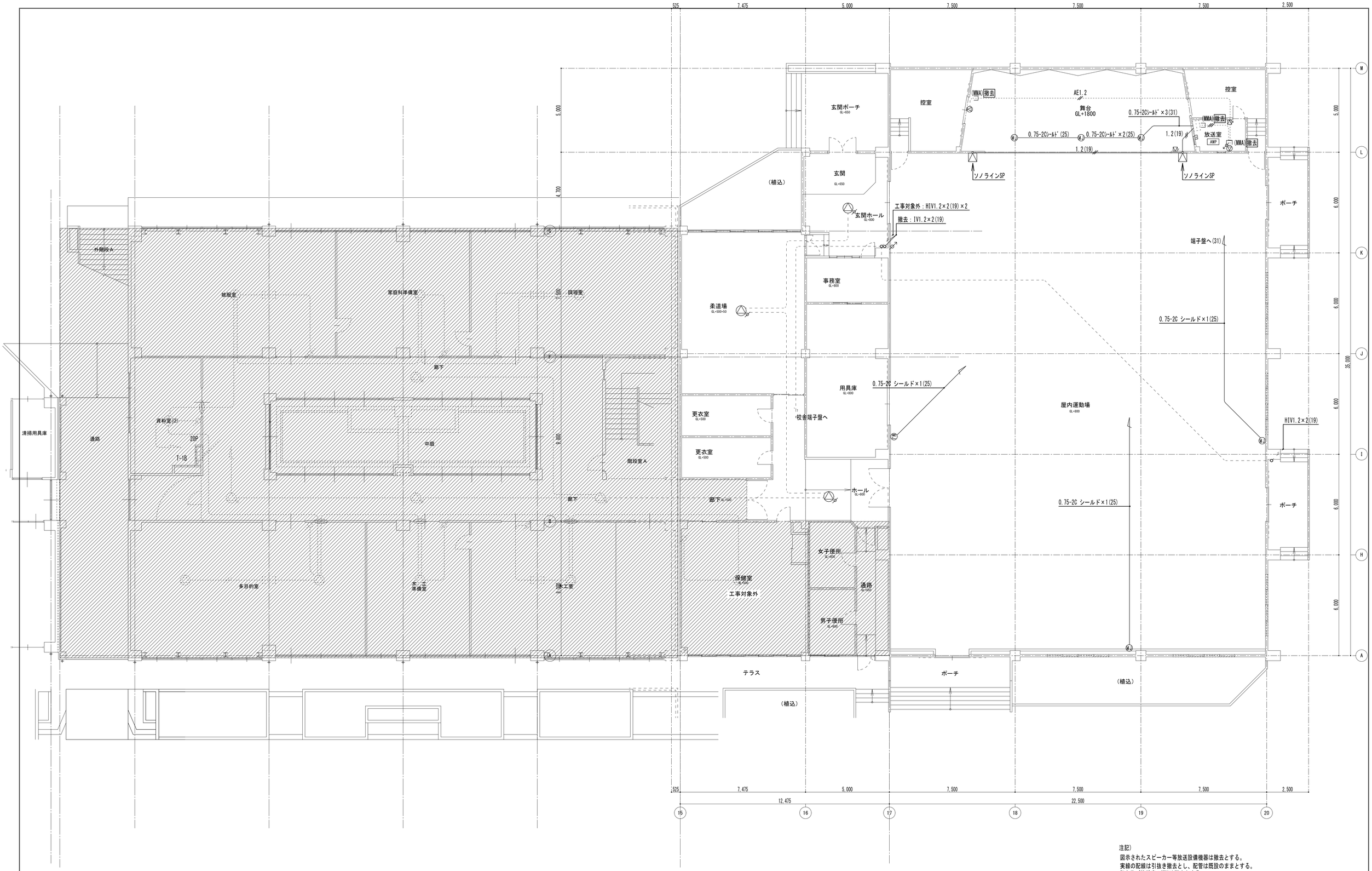
改修前

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号			

図面名称	縮尺	図面番号
改修前 電灯設備平面図	A1：1/100 A3：1/200	E — 15

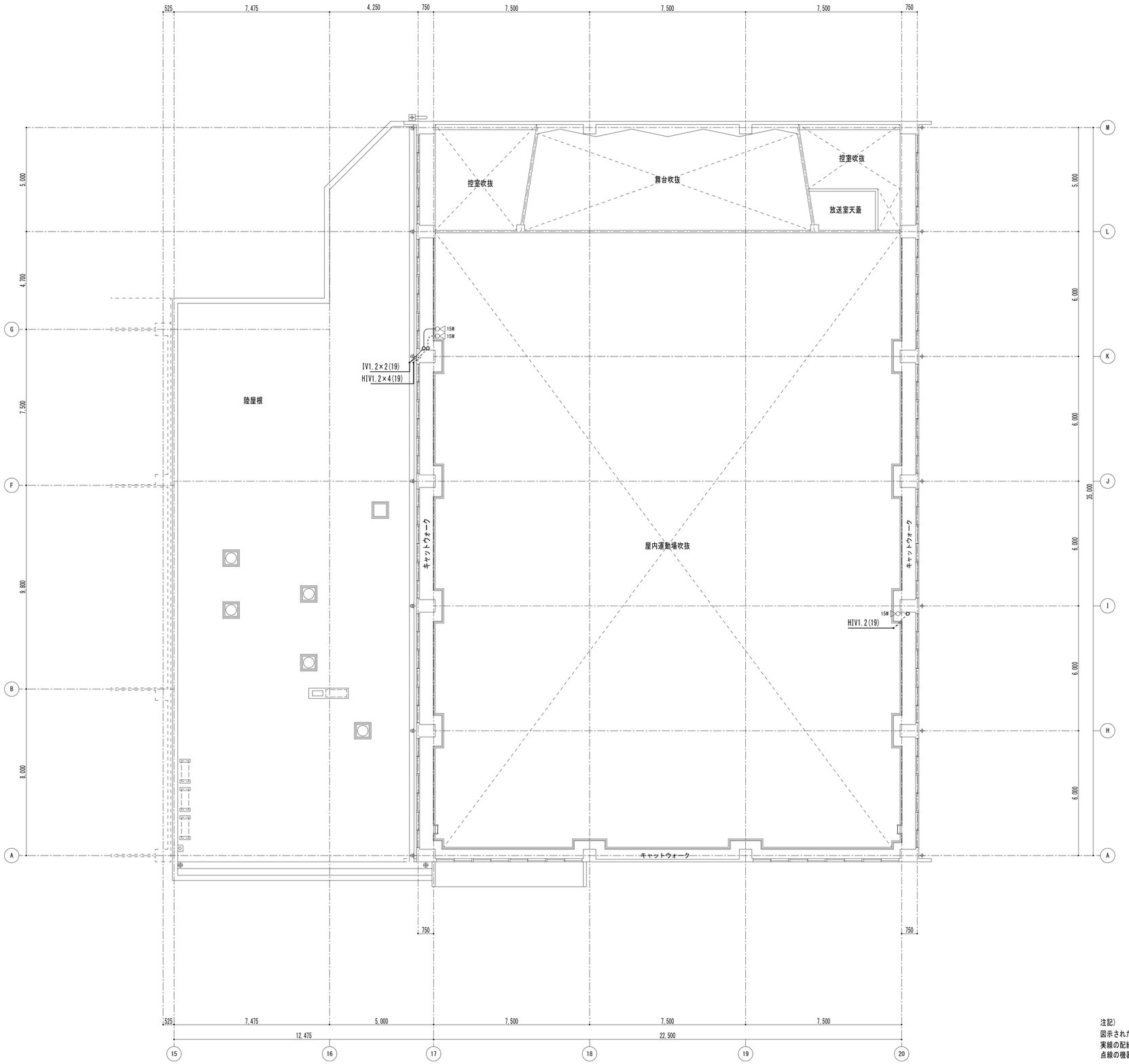
ID:25 12 15 1606:46 E-15 改修前 電灯設備平面図 令和 年 月 日



注記)
図示されたスピーカー等放送設備機器は撤去とする。
実線の配線は引抜き撤去とし、配管は既設のままとする。
舞台及び放送室のMMAは撤去とする。
点線の機器・配線及びプルボックスは既設のままとする。
▨：工事対象外

改修前

特記事項	工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称	縮尺	図面番号
	株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号 さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 担当		改修前 放送設備1階平面図 ID:24 09 20 1554:50 E-00 旧電・自火報設備平面図 令和 年 月 日	A1：1/100 A3：1/200	E — 17



注記)
図示されたスピーカー等放送設備機器は撤去とする。
実線の配線は引抜き撤去とし、配管は既設のままとする。
点線の機器・配線及びプルボックスは既設のままとする。

改 修 前

特記事項	工事名称 市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務） 設計図	図面名称	縮尺	図面番号
	株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号 さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 担当	改修前 放送設備中2階平面図	A1：1/100 A3：1/200	E — 18
			ID:25 12 15 1606:37 E-18 改修前 放送設備中2階平面図和 年 月 日		

525 7,475 5,000 7,500 7,500 7,500 2,500

35,000

5,000 4,700 4,800 2,200 5,000 9,000 9,000 9,000 9,000

W L K J I H A

15 16 17 18 19 20

12,475 22,500

外階段A
被服室
家庭科準備室
調理室
廊下
資料室(2)
清掃用具庫
通路
中庭
EM-HP1.2-5P
階段室A
EM-HP1.2-10P(天井内ｺﾛﾅﾞｼ)
廊下
多目的室
木工準備室
木工室
工事対象外
テラス
(植込)
玄関ポーチ GL+150
控室
空気管×4(19)
床下
舞台 GL+1800
床下
控室
放送室
空気管×4(19)
(火報)1.2(19)
玄関 GL+150
(植込)
HIV1.2×10(25)
1.2(19)
玄関ホール GL+150
ポーチ
事務室 GL+300
柔道場 GL+300※1
HIV1.2×10(25)
用具庫 GL+300
屋内運動場 GL+150
更衣室 GL+150
更衣室 GL+150
廊下 GL+150
ホール GL+300
EM-HP1.2-5P(天井内ｺﾛﾅﾞｼ)
ポーチ
HIV1.2×8(19)
女子便所 GL+450
保健室 GL+150
通路 GL+150
男子便所 GL+150
空気管×4(19)
空気管×4(19)
空気管×4(19)
HIV1.2×8(19)
ポーチ
(植込)
(植込)

北

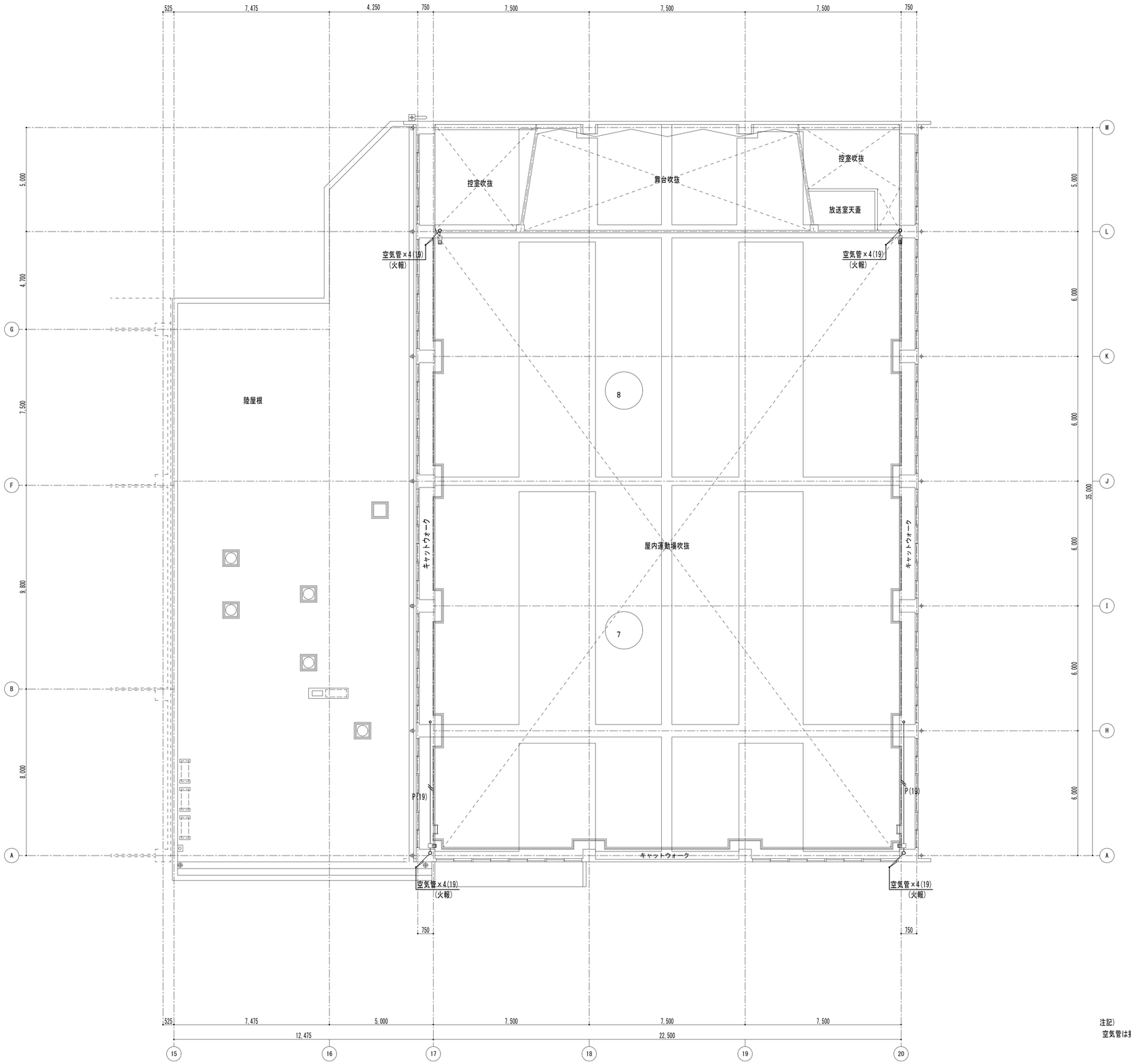
機器凡例

	消火栓ﾎﾞｯｸｽ(機械設備工事):電飾撤去
	:表示灯ｶﾞｰﾄﾞ共撤去
	:発信器(P-1)ｶﾞｰﾄﾞ共撤去
	既設、感知器収納ﾎﾞｯｸｽ利用:差動分布型感知器2種×2:撤去
	ｽﾎﾟｯﾄ感知器差動式2種:撤去
床下	ｽﾎﾟｯﾄ感知器差動式2種(床下設置):撤去
Ω	終端抵抗器:撤去
	空気管,ﾒｯｾﾝｼﾞｬﾜｲﾔｰ付:撤去

注記)
図示された感知器及び空気管は撤去とする。
実線の配線は引抜き撤去とし、配管は既設のままとする。
点線の機器・配線及びプルボックスは既設のままとする。
: 工事対象外

改 修 前

特記事項	工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称	縮尺
	株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 担当	改修前 自火報設備1階平面図	A1:1/100 A3:1/200
	埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号			ID:24 09 20 1554:50 E-00 弱電・自火報設備平面図 令和 年 月 日	図面番号 E — 19



注記)
空気管は撤去とする。

改 修 前

特記事項					
	工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称	縮尺
	株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 / 担当	改修前 自火報設備中2階平面図	A1：1/100 A3：1/200
				ID:25 12 15 1606:30 E-20 改修前 自火報設備中2階平面図 - 年 月 日	図面番号 E — 20

機械設備工事特記仕様書

1　工事名称　市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）
2　工事場所　富士見市西みずほ台３丁目地内
契　　約　　日　　から　　令和　９年　１月２９日
令和　８年　７月　１日　　から　　令和　８年１１月３０日
現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。

	建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	消防法施行令別表第一	備考
①	屋内運動場	Ｓ造	地上２階建			
②						
③						
④						
⑤						

建物別及び屋外 ＼ 工事種別	工事種別 ①	②	③	④	⑤	屋外
○ 空気調和設備						
● 換気設備	一式					
○ 排煙設備						
○ 自動制御設備						
● 衛生器具設備	一式					
● 給水設備	一式					
○ 排水設備						
○ 給湯設備						
● 消火設備	一式					
○ 厨房機器設備						
○ ガス設備						
● 撤去	一式					

1　専任期間の始期
請負契約締結の日から、⊙現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間　・令和　年　月　日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
2　専任期間の終期
工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
3　専任期間の中断
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、
工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

8　工事範囲　　図示のとおり

9　機械設備工事概要
・換気設備の更新
・給水設備の更新
・衛生器具設備の更新
・消火設備の更新

10　同時期発注の関連工事
・建築工事　　・電気設備工事

Ⅱ　工事仕様

1　共通仕様
（1）この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。
なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
（3）法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

2　特記仕様
（1）章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
（2）特記事項のうち選択する事項は、⊙印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。
⊙印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章	項目	特記事項
●一般共通事項特記事項	① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。 使用機材等については、ｱｽﾍﾞｽﾄ含有の有無を確認し、ｱｽﾍﾞｽﾄを含む機材は、使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
	② 電気保安技術者	・置く　※置かない
	③ 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
	4　技能士の適用	・配管施工（配管工事）　・建築板金施工（風道制作及び取付け） ・熱絶縁施工（保温工事）・冷凍空気調和機器施工（冷凍空調機器の据付）
	⑤ 機材の検査及び試験、施工の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。 ※飲用に供する設備機器の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所（事前に監督員の承諾を得る）に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。 ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化物イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および⑫残留塩素の12項目とする。 ※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状態に入った後速やかに（概ね３ヶ月以内）流入水・処理水の水質試験を行う。 試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。 ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。
	⑥ 監督員事務所	本工事で　・設ける（規模　　）　※設けない
	⑦ 官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。
	⑧ 工事用電力・水等	本工事に必要な電力及び水などは、使用出来るものとし、その仮設にかかる費用は、受注者の負担とする。
	⑨ 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることが　※できる　・できない
	⑩ 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。　・本工事とする。
	11　建設発生土の処理	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。
	12　埋め戻し土・盛土	※根切土の中の良質土（但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類）　・山砂の類
	13　再生砂、再生砕石、再生アスコン使用	再生砂などは原則使用しない。ただし、監督員の了解を得た場合に限り、表層以外に・使用できる。　※使用できない。 再生砂の使用に先立ち、１購入あたり１検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。
	⑭ 発生材の処理等	※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。 （構外搬出処理費は　※本工事　・別途） （1）引渡しを要するもの（　　） （2）買取処分をするもの（　　） （3）再生資源化を図るもの（・硬質塩化ビニル管　・　　） （4）特別管理産業廃棄物（　　） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。
	⑮ 容量等の表示	（1）機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。 （2）電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
	16　配管	（1）地中埋設配管（排水管を除く） 1）地中埋設標（コンクリート製）　※要（図示の箇所）　・不要 2）地中埋設鉄（キャッツアイ）　※要（舗装部の分岐、曲部）・不要 3）埋設表示テープ（２倍折込み）　※要　・不要
	⑰ 耐震施工	設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針　2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）を参考とする。 ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用水平震度K_H及び設計用鉛直震度K_V（K_H／２）を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。 設計用水平震度

設置場所	耐震安全性の分類 ・特定の施設 重要機器	・特定の施設 一般機器	・一般の施設 重要機器	・一般の施設 一般機器
上層階屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0
	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)
	〈2.0〉	〈1.5〉	〈1.5〉	1.0
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)
	〈1.5〉	〈1.0〉	〈1.0〉	〈0.6〉
1階及び地下階	1.0	0.6	0.6	0.4
	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)
	〈1.5〉	〈1.0〉	〈1.0〉	〈0.6〉

（注）（　）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
〈　〉内の数値は水槽類に適用する。
※上層階とは２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、
10～12階建の場合は上層３階、13階建以上の場合は上層４階）
中間階とは地下階，１階を除く各階で上層階に該当しないもの（平屋建の場合は無し）
重要機器は次のものを示す。
給水装置　排水装置　換気機器　空調機器　熱源機器
防災設備　監視制御設備　危険物貯蔵装置
火を使用する設備　避難経路上に設置する機器

17-1 あと施工アンカー		機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。 重量１００ｋｇを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。 施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 （原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。） あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に１か所引張試験を実施すること。
●一般共通事項特記事項（続き）	⑱ 防露保温工事	標準仕様書第２編によるほか下記による。 空気調和設備工事の保温の種別

区分	施工箇所	保温種別
ドレン管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・Ⅶ
	機械室、書庫、倉庫	b ・(ハ)・Ⅶ
	天井内、ＰＳ内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅶ
	浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	e3・(ハ)・Ⅶ
蒸気管	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅱ
	機械室、書庫、倉庫	B ・(イ)・Ⅱ
	天井内、ＰＳ内及び空隙壁中	C2・(イ)・Ⅱ
	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	D ・(イ)・Ⅱ
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	E3・(イ)・Ⅱ
冷水・冷温水管（膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ハ)・Ⅲ
	機械室、書庫、倉庫	B ・(ハ)・Ⅲ
	天井内、ＰＳ内及び空隙壁中	C1・(ロ)・Ⅲ
	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	D ・(ハ)・Ⅲ
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房内の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	E3・(ハ)・Ⅲ
温水管（膨張管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ロ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	B ・(ロ)・Ⅰ
	天井内、ＰＳ内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅰ
	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	D ・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	E3・(ロ)・Ⅰ

（注）1．冷媒管は、断熱材被覆銅管を使用し、外装は下記による。
屋内露出部　※保温化粧カバー（※樹脂製　・亜鉛メッキ鋼板製　・ＳＵＳ製）
屋外露出部　※溶融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング　・ＳＵＳラッキング
・保温化粧カバー（※樹脂製　・亜鉛メッキ鋼板製　・ＳＵＳ製）
2．施工種別Ｂの材料及び施工順序４、５に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。
3．機器類の保温材の種別は、(※グラスウール保温材　・ロックウール保温材)とする。

ダクトの保温の種別

区分	施工箇所	保温種別
長方形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	J1・(ロ)・ⅩⅠ
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	Ⅰ・(ロ)・ⅩⅠ
	屋内隠ぺい、ＤＳ内	Ⅰ・(ロ)・ⅩⅠ
	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	K3・(ロ)・ⅩⅠ
円形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	O1・(ロ)・ⅩⅠ
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	N ・(ロ)・ⅩⅠ
	屋内隠ぺい、ＤＳ内	N ・(ロ)・ⅩⅠ
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	P3・(ロ)・ⅩⅠ
消音内貼り	サプライチャンバー	M ・(ロ)・Ⅸ
	消音チャンバー・消音エルボ	L ・(ロ)・Ⅷ

（注）1．厨房ダクトの保温材は、管轄消防の規則を確認の上、選定すること。

給排水衛生設備工事の保温の種別

区分	施工箇所	保温種別
給水管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・Ⅶ
	機械室、書庫、倉庫	b ・(ハ)・Ⅶ
	天井内	c2・(ロ)・Ⅶ
	ＰＳ内及び空隙壁中	—
	県営住宅ＰＳ内	c2・(ハ)・Ⅶ
	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	—
	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	e3・(ハ)・Ⅶ
排水及び通気管	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・(ロ)・Ⅶ
	ＰＳ内及び空隙壁中	—
	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	—
給湯管（膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ロ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b ・(ロ)・Ⅰ
	天井内	c2・(ロ)・Ⅰ
	ＰＳ内及び空隙壁中	d ・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出及び浴室、厨房内の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	e3・(ロ)・Ⅰ

（注）1．消火、排水及び通気管のうち見えかかり部は塗装を施す。
2．排水管の管種が耐火二層管、耐火ＶＰの場合は、保温を要しない。
3．施工種別ｂの材料及び施工順序３、４に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。
4．機器類の保温材の種別は、（※グラスウール　・ロックウール）とする。
5．消火管屋外露出部保温仕様は、e3・(ハ)・Ⅶとする。
6．便所内露出ＳＵＳ管及び流し内露出ＳＵＳ管は保温を要しない。
7．空調設備を要する便所（特別支援学校等）以外の便所で高密度ポリエチレン管を採用する場合は、施工箇所によらず保温を要しない。
※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放散量による区分は、
原則としてＦ☆☆☆☆とする。

19 防凍保温	※屋外露出給水管（呼び径20以下のみ）は、保温厚40mmの防凍保温を行うこと。 ・図示の屋外露出部（給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。）は下記仕様により防凍保温を行う。 ※保温仕様は保温厚さを40mmとする。 ・保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。
20 塗装	露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。 また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。
21 電線	特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。

章	項目	特記事項
●一般共通事項特記事項（続き）	22 はつり及びあと施工アンカー打設	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてＸ線撮影調査を実施すること。 電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。
	23 管の埋設深さ	（1）公道上は、道路管理者の指定する深さとする。 （2）構内車両通路では、路盤材下面から管の上端まで６００ｍｍとする。 （3）その他の場所では、地表面（舗装する部分では路盤材下面）から管の上端まで３００ｍｍとする。
	24 既設管分岐・接続	既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。 やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。
	25 絶縁継手の設置・種別	※コンクリートの建築物に出入りする箇所の付近の露出部配管 ※鋼管と銅管及びこれに類する部分　※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 ※５０Ａ以下は絶縁ユニオンとし、それ以上は絶縁フランジ　・全て絶縁フランジ
	26 他工事との取合区分	スリーブ、箱入れその他工事との取合いは、工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさなどを明示し、監督員と打合わせる。
	27 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。
	28 保険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後１４日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写しを監督員に提出する。
	29 配管識別	配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。
	30 墜落制止用器具（フルハーネス型）	※使用を要する　墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン（平成30年6月22日付け基発0622第2号）による ・使用を要しない
	31 誘導電動機	三相誘導電動機はＪＩＳ Ｃ ４２１３（ＩＥ３）トップランナーモーターとする。
	32 完成図書の電子納品	完成図書の電子納品運用ガイドライン　※適用する　・適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。 を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、Ａ３二つ折り製本４部とする。
	33 その他	工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
●改修一般共通事項（付加事項）	① 共通事項	改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。
	② 改修部分の足場	本工事で単独に必要となる足場は、下記により設ける。 （1）内部足場　※　脚立足場　・枠組足場　・ （2）外部足場　※Ａ種(枠組足場)　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種　・Ｆ種 ※足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、「動きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。
	③ 既存部分養生・既存家具等養生	（1）関係受注業者と共用部分 ※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。（種別は（２）による。） （2）本工事で単独で必要となる養生は、下記による。 ※ビニールシート　・合板　・
	④ 備品等の移動	・別途工事　・本工事　※接続配管等の取外し、接続は本工事
	5 仮設間仕切り	（1）関係請負業者と共用部分 ※別契約の関係受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。（種別は（２）による。） （2）本工事で単独で必要となる仮設間仕切りは、下記による。 ・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種
	⑥ 撤去後機材の扱い	（1）改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図示区分による。 （2）撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有すものは、現場発生品として監督員に報告する。 それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、マニフェストを監督員に提出する。
	⑦ 支持金物の再使用	（1）インサート金物　・インサートの径毎に引張試験を行った場合は、再使用できる　※新品 （2）形鋼支持金物等　・再使用できる　※新品
	⑧ あと施工アンカーの種別	金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
	9 フロン回収	冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理する。 ※破壊プラント搬入　・フロン再生後引き渡し　・未再生引き渡し 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づき処理すること。
	⑩ 総合調整	・全体再調整　※改修部及び影響部のみ調整
	11 既設基礎類の解体はつり	建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。 現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを選定すること。 粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源を覆うなど環境対策に配慮すること。
	⑫ アスベスト事前調査結果の報告	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建材調査者により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告すること。
	⑬ その他	（1）図面上の縮尺は、ＪＩＳ　Ａ1版とした縮尺とする。 （2）受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。

2024.12

特記事項	工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称	縮尺	図面番号
	株式会社 宮下設計事務所　一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409　管理建築士 宮下光秀　一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計　担当	機械設備工事特記仕様書（１）	A1：N.S A3：N.S	Ｍ — ０１
				ID:25 12.15 1610:15 №01機械設備特記仕様書(R6.12.1)令和　年　月　日		

（３）特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。

（４）ＦＦ式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について
ＦＦ式温風暖房機の一時取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（（一財）日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。

○空気調和設備

1 設計温度

	外気 温度(DB)	外気 湿度(RH)	屋内 一般系統 温度(DB)	屋内 一般系統 湿度(RH)	屋内 温度(DB)	屋内 湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏期	37.1℃	47.1%	28 ℃	%	℃	%	℃	%
冬期	0.5℃	49.4%	20 ℃	%	℃	%	℃	%

※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。

2 総合試運転調整

※本工事 ・別途
風量調整 ※する ・しない
水量調整 ・する ※しない
騒音の測定 ・する ※しない

室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない
初期運転状態の記録 ※する ・しない
工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ・しない

3 煙道

（１）鉄板厚 （※３．２mm ・４．５mm ）
（２）ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない
（３）ばいじん量測定口 ※設ける（測定口は８０Φとする）・設けない

4 煙突

※別途 ・本工事

5 長方形ダクト

※低圧ダクト（亜鉛鉄板製）
長辺の長さ１５００mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法
・アングルフランジ工法
それ以外の部分 ※アングルフランジ工法
・高圧１ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧２ダクト（亜鉛鉄板製）
・ステンレス製ダクト（・Ａ区分 ※Ｂ区分）・塩ビ製ダクト（・Ａ区分 ※Ｂ区分）

6 円形ダクト

※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（ＶＵ）
・換気用耐火二層管（大臣認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・保温無）
(注)１ 使用区分は図示による。

7 風量測定口

取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。
送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンバーの分岐ダクト

8 チャンバー

（１）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
（２）ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバ及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。
・３００×３００ ・３００×５００ ※４００×６００ ・５５０×７５０
（３）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。

9 吹出口及び吸込口ボックス

※亜鉛鉄板製 ・グラスウール製

10 ダンパー

（１）防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）定格入力ＤＣ24Ｖ．0.7Ａ以下
（２）ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）

11 配管材料

（１）冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白）・
（２）冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白）・
（３）ブライン管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・
（４）冷媒管 ※断熱材被覆銅管
（保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上）
（５）ドレン管（屋外） ※硬質塩化ビニル管ＶＰ（カラー） ・配管用炭素鋼鋼管（白）
ドレン管（屋内） ※保温機能付空調用ドレン管（ｴｽﾛﾝACﾄﾞﾚﾝﾊﾟｲﾌﾟ相当品）
・耐火二層管ＶＰ（ＦＤＰＳ－１）
・配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管ＶＰ
（消防協議事項： ）
ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧１mを超える配管には使用しない。
（６）油管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・
（７）蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・
還管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40 ・ステンレス鋼管
（８）膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管
※配管用炭素鋼鋼管（白） ・
（注）樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。

12 弁類

規格はＪＩＳ又はＪＶとし、指定なきものは５Ｋ、それ以外は図示及び共通仕様書による。
また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。

13 温度計

取付部は下記による。
※熱源機器の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共) ※空気調和機の冷温水管(出入口共)
※ダクト接続形空気調和機のサプライチャンバー、レタンダクト、
外気取入ダクト及びレタンチャンバー
※冷温水ヘッダー（往）及び各還り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・

14 圧力計

取付部は下記による。
※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共）
※空気調和機の冷温水管（出入口共）
※冷温水ヘッダー（往）及び各還り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・

15 瞬間流量計

瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※１個 ・ 個）付属とする。
・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・着脱形）を設ける。
・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・着脱形）を設ける。

16 油面制御装置

※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形 ・着脱形）を設ける。
制御盤には（※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御
・返油ポンプ制御 ）の端子を設ける。
なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。

※直交流式 ・向流型

17 冷却塔

※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・
補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。

18 空気熱源ヒートポンプ空調機

標準仕様書によるほか下記による。
（１）圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御
（２）冷媒 ＨＦＣ（Ｒ４１０Ａ、Ｒ３２又はＲ４０７Ｃ）
（注１）Ｒ４１０Ａを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。
（注２）Ｒ３２を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。
（３）埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。

●換気設備

1 長方形ダクト

※低圧ダクト（亜鉛鉄板製）
長辺の長さ１５００mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法
・アングルフランジ工法
それ以外の部分 ※アングルフランジ工法
・高圧１ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧２ダクト（亜鉛鉄板製）
・ステンレス製ダクト（・Ａ区分 ※Ｂ区分）・塩ビ製ダクト（・Ａ区分 ※Ｂ区分）

② 円形ダクト

※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（ＶＵ）
・耐火二層換気管 ※フレキシブルダクト（・保温付 ・保温無）
(注)１ 使用区分は図示による。

3 風量測定口

取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。
送風機吐出ダクト又は吸込ダクト，外気取入ダクト

4 チャンバー

（１）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
（２）消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。
・３００×３００ ・３００×５００ ※４００×６００ ・５５０×７５０
（３）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。

5 ダンパー

（１）防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）定格入力ＤＣ24Ｖ．0.7Ａ以下
（２）ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）

6 多湿箇所の排気ダクト

（１）排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（ＶＵ）（防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管）を使用できる。
※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） ・
（２）水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける

⑦ 保温

下記のダクトの保温を行う。
※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト
仕様はＮ・（ロ）・ＸＩとする。
保温施工範囲は、給気用ＯＡダクトは全て、また、排気用ＥＡダクトは外壁より１ｍの部分とする。
※（※厨房 ・湯沸室 ・ ）用の隠蔽ぺい部ダクト（仕様はｈ・（イ）・Ⅸとし範囲は図示による）

⑧ 試運転調整

風量調整 ※する ・しない
風量測定 ※する ・しない
騒音の測定 ・する ※しない

○排煙設備

1 ダクト

※亜鉛鉄板 ・

2 排煙口の形式

※天井取付（・スリット形 ※スイング形）
・壁取付 （・スリット形 ・スイング形）

3 排煙口手動開放装置

開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式（遠隔操作 ・不要 ・要）

4 排煙風量測定

建築設備定期検査業務基準書（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。

○自動制御

1 中央監視制御装置

・有り ※無し

2 構成・機能

図示による

3 電気計装用機材

使用する電線及びケーブルは、原則としてＥＭ電線またはＥＭケーブルとする。
屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。

天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。

●衛生器具設備

1 小便器用節水装置

JIS B 2061（自動水栓）による電気開閉式とし、小便器（※一体形・分離形）とする。

② バリアフリー対応

・小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形
手すり（・本工事 ※別途工事）
・洗面器 ※自動水栓（・全部 ※一部 ・レバー式水栓（一部）
・シャワー ※サーモスタット式 ・ミキシング式
※スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド
・鏡 ※６００×８００（附食鏡） ・傾斜鏡（・照明無 ・照明付）

3 衛生器具付属水栓

（１）器具付属止水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式
（２）水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。

4 自動水栓類の電源

※ＡＣ１００Ｖ ・乾電池等 ・自己発電

5 暖房便座

（１）JIS A 4422（温水洗浄便座）とする。
（２）機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・温風乾燥 ・トイレ室内暖房
（３）温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・貯湯式
（４）使用流体は、飲料用水道水とする。
（５）リモコン ・ＡＣ１００Ｖ ・乾電池等 ※自己発電

6 大便器洗浄弁・洗浄用タンク

器具表又は下記の場合を除き、※節水Ⅰ型・節水Ⅱ型とする。
・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式（※センサー式・タッチスイッチ式）
・上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。

7 掃除流し

※共栓なしとする。 ・共栓付とする。

8 排水器具用ゴム継手

※使用できる ・使用できない

9 標記板

大便器、小便器の洗浄水用に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。

10 水せっけん入れ

せっけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗い器に設ける。

11 擬音装置

トイレブースに設置する。

⑫ その他

衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。

●給水設備

① 配管材料

配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。

	施工箇所	管種別
上水配管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※ＳＵＳ ・ポリブテン管
	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管）	※ＳＵＳ ・ＨＩＶＰ ・ポリブテン管
	保温をしない屋外露出部	※ＳＵＳ
	地中埋設部（水道直結部分）	・ＨＩＶＰ ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管（ＰＥ） ・
	地中埋設部（一般部分）	※ＨＩＶＰ ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（ＰＥ） ・
	県営住宅 住戸内	※ポリブテン管 ・架橋ポリエチレン管
	便所天井内、ＰＳ内（注５）	※高密度ポリエチレン管（３２Ａ以上）
	便所天井内	※ポリブテン管（１０mm保温付）
	便所空隙壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管
	その他の部分	※ＳＵＳ ・ＨＩＶＰ ・ポリブテン管
中水配管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※ＳＵＳ ・ＨＩＶＰ ・ポリブテン管
	湿潤シンダー内配管	※ＳＵＳ ・ＨＩＶＰ ・ポリブテン管
	保温をしない屋外露出部	※ＳＵＳ
	地中埋設部（一般部分）	※ＨＩＶＰ ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（ＰＥ） ・
	便所天井内、ＰＳ内（注５）	※高密度ポリエチレン管（３２Ａ以上）
	便所天井内	※ポリブテン管（１０mm保温付）
	便所空隙壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管
	その他の部分	※ＳＵＳ ・ＨＩＶＰ ・ポリブテン管

(注)１．ＳＵＳとは、JIS G 3448 またはJWWA G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部（・圧縮 ・ﾀﾞﾌﾞﾚｽ ※拡管）便所・廊下流し廻り露出配管（※拡管）とする。
２．ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。
３．飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。
４．建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用桝を設ける。
５．口径２５Ａにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。
６．高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂（ＰＥ１００）を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。
７．地中埋設部（水道直結部分）は水道事業者の指示による。
８．樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。
９．住戸内は、さや管ヘッダー配管システムとする。

2 一体形タンク

一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。

③ 水栓

※給湯用水栓を除き大きさの呼び１３の水栓は、節水コマとする。
・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。

4 量水器

※親メーター（※貸与品 ・ ） ・子メーター（※買い取り・ ）

5 量水器桝

※水道事業者指定品 ・標準図ＭＣ形

⑥ 弁類

規格はＪＩＳ又はＪＶとし、水道直結部分は１０Ｋとし、指定なきものは５Ｋ、それ以外は図示及び標準仕様書による。

7 水栓柱

・防寒コンクリート水栓柱（１２００Ｌ） ※不凍給水栓

8 建物導入部配管

図示部分について下記のとおり施工する。
※埋設用フレキシブルジョイント２本をＬ字状に設ける。
・標準図施工４（ ・（ａ） ・（ｂ） ・（ｃ））

9 検針方法

水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。

１０ 水道利用加入金

水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事に含む。

１１ 本管取出し

水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。

○排水設備

1 配管材料

配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。

	施工箇所	管種別
雑排水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ ・ＶＰ
	厨房等の温排水	※ＳＧＰ（白）・
	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管ＶＰ(FDPS-1)又は耐火ＶＰ ・ＳＧＰ（白）
	その他の部分	※ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ ・ＶＰ ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
汚水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ ・ＶＰ
	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管ＶＰ(FDPS-1)又は耐火ＶＰ ・排水用ﾉﾝﾀｰﾙﾏｽﾎﾞﾝ塗装鋼管
	その他の部分	※ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ ・ＶＰ ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
共通	地中埋設部	※ＲＳ－ＶＵ又はリサイクルＶＵ ・ＶＵ ※ＲＥＰ－ＶＵ(軽荷重の場合) ・ＲＦ－ＶＰ又はリサイクルＶＰ ・ＶＰ
通気配管	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管ＶＰ(FDPS-1)又は耐火ＶＰ ・ＳＧＰ（白）
	その他の部分	※リサイクルＶＰ又はＲＦ－ＶＰ ・ＶＰ ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管

（注）１．リサイクルＶＰ、リサイクルＶＵはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第２編２．１．２．６による。
２．雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。
３．原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はＹ４５度で行う。
４．樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。

○給湯設備

1 配管材料

・露出部 Ｍ銅管 その他 保温付被覆銅管（Ｍ銅管）
・一般配管用ステンレス鋼管
・ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）

2 絶縁フランジ

取付部は下記による。
※銅管と銅管及びこれに類する部分
※銅管とステンレス管及びこれに類する部分

3 弁類

（１）規格はＪＩＳ又はＪＶとし、指定なきものは５Ｋ、それ以外は図示による。
（２）ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。

4 ガス瞬間湯沸器

※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型

5 電気給湯器

飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。

●消火設備

① 配管材料

屋内消火栓用 一般配管※ＳＧＰ（白） ・ＳＴＰＧ370（白）Sch40
地中埋設・ＳＧＰ－ＶＳ ・ＨＩＶＰ
※高密度ポリエチレン管（消火用）
消火用 一般配管※ＳＧＰ（白） ・ＳＴＰＧ370（白）Sch40
地中埋設・ＳＧＰ－ＶＳ ・ＨＩＶＰ
※高密度ポリエチレン管（消火用）
不活性ガス消火用 ※ＳＴＰＧ370（白）Sch40 ・ＳＴＰＧ370（白）Sch80

2 建物導入部配管

図示部分について下記のとおり施工する。
※埋設用フレキシブルジョイント２本をＬ字状に設ける。
・標準図施工４（ ・（ａ） ・（ｂ） ・（ｃ））

○ガス設備

1 配管材料

・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はＰＥ管を原則とする。
・液化石油ガス 一般配管 ※ 合成樹脂被覆銅管 ・ＳＧＰ（白）
地中埋設 ※ ガス用ＰＥ管 ・

2 漏洩検知装置

漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。

3 液化石油ガスの供給権

ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。

○厨房設備

1 厨房機器の固定

原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。

2 シンク用水栓

※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓

3 安全装置の機能の適用

標準仕様書第5編１・６・１の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。

2 洗面器等の排水管

洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップする。

3 満水試験継手

３階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。
・掃除口付きソケット ※満水試験用掃除口ソケット

4 桝の適用

別紙桝表による。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

第１条 この特記仕様書は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。

第２条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
・種類及び処理量 汚泥（油分を含む汚泥） ． m3
・中間処理施設 市 地内、（株）
・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却又は溶融含まず）
・中間処理後、最終処分場又は再資源化（処理に焼却又は溶融を含む）
２ 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

第３条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
２ 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
３ 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
４ 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。

第４条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
２ 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。

第５条 濁水処理については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。
２ 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。
３ この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

2024.12

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	図面名称	機械設備工事特記仕様書（２）
株式会社宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計 担当	縮尺	A1：N.S A3：N.S
			図面番号	M — 02

ID:25 12 15 16:10:47 №02機械設備特記仕様書(R6.12.1)令和 年 月 日

環境配慮（グリーン）改修工事

1　アスベスト処理工事一般共通事項

留意事項

1　本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。

2　アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。

3　この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）（以下「改修標仕」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和３年３月　厚生労働省・環境省）による。

2　アスベスト含有分析調査

分析によるアスベスト含有建材の調査　[9.1.1]

・行う（下表による）

材　料　名	調査方法（１材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析　・定量分析
	※ 定性分析　・定量分析
	※ 定性分析　・定量分析
	※ 定性分析　・定量分析

採取箇所　※　図示

分析対象

※ アスベスト ６ 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）

調査方法・分析方法

※ JIS A 1481　規格群（1481-1,2,3,4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。

分析結果については、監督員に提出すること。

3　アスベスト粉じん濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定　[9.1.1]

・行う（測定名称及び測定点は下表による）

測定箇所　※ 図示

適用 レベル1	適用 レベル2	適用 レベル3	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数（各処理作業室ごと）	備考
○	○	・	測定１	処理作業前	処理作業室内	※各２点 ・各３点	
○	○	・	測定２		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
・	・	・	測定３	処理作業中	処理作業室内	各２点	
○	・	・	測定４		セキュリティーゾーン入口	各１点	空気の流れを確認
○	・	・	測定５		負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各１点	除じん装置の性能確認
○	○	・	測定６		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
○	○	・	測定７	処理作業後（隔離シート撤去前）	処理作業室内	各２点（レベル3は１点）	
○	○	・	測定８		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
・	・	・	測定９	処理作業後（シート撤去後１週間以降）	処理作業室内	各２点（レベル3は１点）	
・	・	・	測定１０		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	

アスベスト粉じん濃度測定方法

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006　空気中の繊維状粒子測定方法－第１部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8,9,10	測定 5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
ﾒﾝﾌﾞﾚﾝﾌｨﾙﾀの直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトンートリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径（幅） 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと直径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）

ア　測定結果
イ　測定時間
ウ　測定位置（測定高さとともに図面上に記載）
エ　サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
オ　マウンティング方法
カ　顕微鏡視野面積、計数視野数
キ　測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向
ク　周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

4　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有吹き付材の撤去（レベル１）

アスベスト含有吹付け材の除去　[9.1.3]

・行う　除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。

除去物及び汚染物質等

処理方法

※密封処理（二重袋梱包）

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。

・セメント固化

処理を行う吹付けアスベストの仕様

材　料　名	厚さ（mm）	処　理　を　行　う　範　囲
		※　図示　　・

5　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有保温材等の撤去（レベル２）

アスベスト含有保温材の除去　[9.1.4]

・行う

作業上の隔離

・行う

・行わない

処理を行う保温材等アスベストの仕様

材　料　名	厚さ（mm）	処　理　を　行　う　範　囲
		※　図示　　・

6　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有成形板類の撤去（レベル３）

1　アスベスト含有成形板の除去　[9.1.5]

・行う

処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材　料　名（製品名）	含有するアスベストの種類	処　理　を　行　う　範　囲
・		※　図示　　・
・		※　図示　　・
		※　図示　　・
		※　図示　　・

2　非石綿部での切断による除去

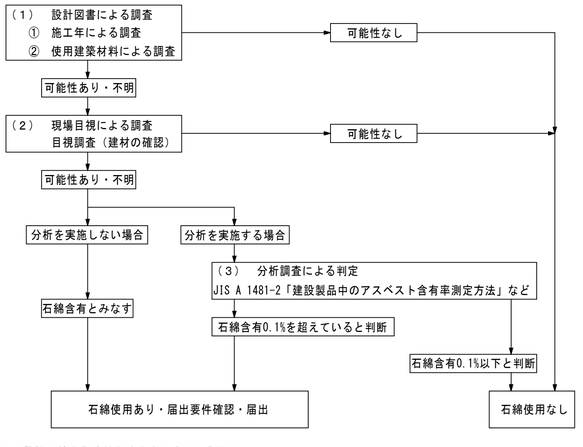
・行う

処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材　料　名	含有するアスベストの種類	処　理　を　行　う　範　囲
・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※　図示　　○撤去範囲すべて
・石綿含有保温材付配管		※　図示　　○撤去範囲すべて
・石綿含有配管フランジパッキン		※　図示　　○撤去範囲すべて
		※　図示　　・撤去範囲すべて

※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれを考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

＜参考＞石綿使用有無の事前調査フロー

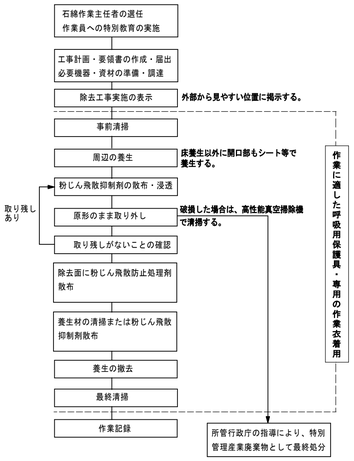


＜参考＞非飛散性石綿含有建材を除去する時の作業フロー

1　成形された配管保温材等を原形のまま取り外しによる除去（レベル２）

成形された配管保温材等を原形のまま取り外す場合には、石綿飛散の程度が比較的低いことから、隔離養生（負圧不要）、散水等による湿潤化による石綿の飛散防止措置を行い、次の手順で除去する。なお、劣化し石綿飛散のおそれがある場合には、石綿含有吹付け材等の切断等による除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない飛散性石綿含有建材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講ずるとともに、関係機関に通報する。

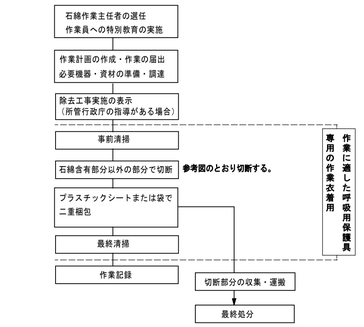
＜作業フローチャート＞



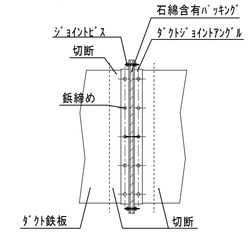
2　非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】（レベル３）

建築物のダクトには、接合部に石綿含有物が使用されていることが多い。この場合、直接石綿含有物に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。

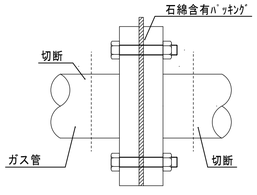
＜作業フローチャート＞



参考図１　設備機器ダクト接合部の除去方法



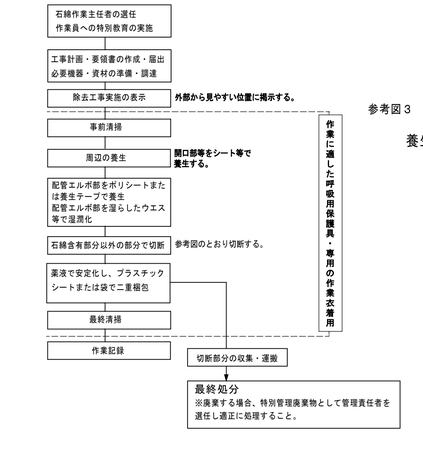
参考図２　配管フランジパッキンの除去方法



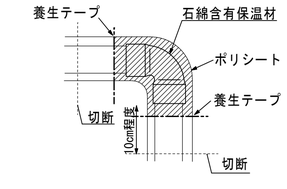
3　非石綿部での切断による除去【配管保温材】（レベル２）

直接石綿含有保温材に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。

＜作業フローチャート＞



参考図３　石綿含有保温材付配管の除去方法



2024.12

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図		図面名称	縮尺	図面番号
株式会社 宮下設計事務所　一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409　管理建築士 宮下光芳	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 一級建築士大臣登録第81291号　URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当	機械設備工事特記仕様書（３）	A1：N.S A3：N.S	M — 03
				ID:25 12.15 1609:00 M03機械設備特記仕様書(R6.12.1)令和　年　月　日		

工　事　区　分　表

躯　体　関　係

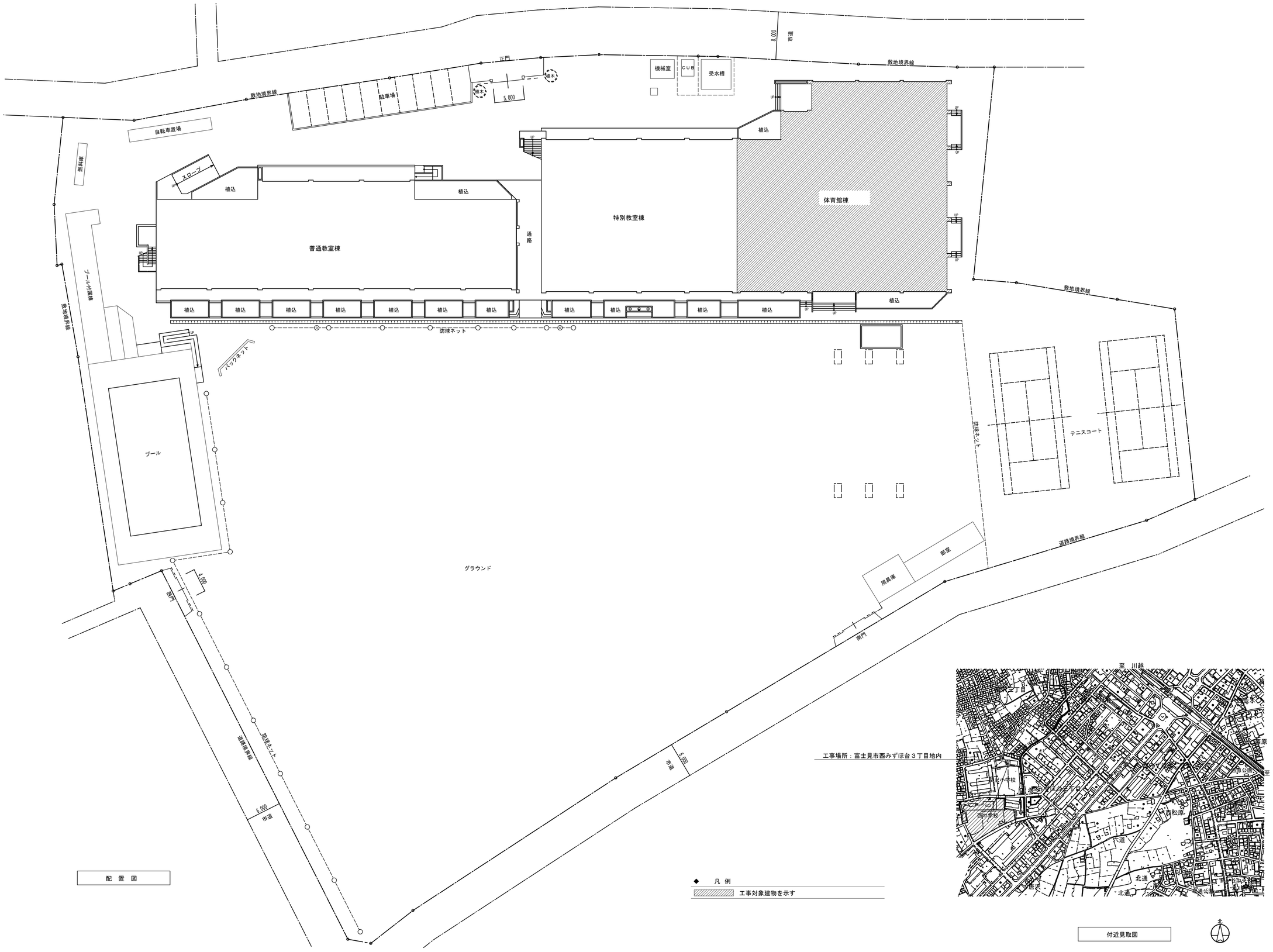
項目		A	E	M			備考
1. ＲＣ造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け						
	補強を要する型枠材及び取付け						
	補強を要しない型枠材及び取付け						
	貫通孔・開口部の墨出し						
	貫通孔・開口部の補強						
	スリーブ・型枠の穴埋め						
2. Ｓ・ＳＲＣ造梁貫通口	Ｓ・ＳＲＣ造貫通鋼管スリーブ・補強						
	使用されたスリーブの穴埋め						
	予備スリーブの穴埋め						
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの						
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）						
	室外・屋上の基礎	○					
	屋上の基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの（配管架台類）						
	機器取付け用アンカー・架台		○	○			
	室内受水タンク用の基礎						
	地下オイルタンク躯体・土工事						
	屋外機の据付架台（防振架台）			○			
4. 昇降機関連	各階エレベーターホールの防火安全間仕切り工事						
	特殊搬出入工事（クレーン）						
	特殊搬出入工事（機械室～階段～屋上）						
	搬出入口の経路の養生工事						
	ストックヤードの養生工事						
	塔内機器設置用仮設ゴンドラ設置工事						
	ピット点検用タラップの設置工事						
	搬去工事						
	各階既設出入口三方枠部躯体はつり出し工事						
	各階出入口三方枠取付後のモルタル埋工事						
	各階出入口三方枠取付後の壁仕上工事						
	各階出入口敷居はつり出し工事						
	各階出入口敷居取付後のモルタル埋工事						
	各階出入口敷居取付後の床仕上工事						
	各階既設インジケータ・ボタン部壁穴						
	ピット内機器はつり出し及び機器取付後のモルタル埋工事						
	ピット内防水仕上工事						
	配線開口部区画処理						
	昇降路内油圧用品類搬去工事						
	作動油抜き取り処理工事						
	昇降路壁補修工事						
	各発生ガラ袋詰め片づけ						
	産業廃棄物処理						
	動力電源用配管配線（油圧機械室→昇降路）						
	照明電源用配管配線（油圧機械室→昇降路）						
	アース線の配管配線（油圧機械室→昇降路）						
	インターホン用配管配線						
	昇降路煙感知器接点支給及び配管配線工事						
	エレベーター１次側電源設備						
	火災管制運転用接点支給及び配管配線工事						
	昇降機の計画通知、完了検査申請						

仕　上　げ　関　係

項目		A	E	M			備考
1. 軽鉄天井・壁下地	下地の補強	○					
	ボードの切り込み		○	○			
	開口部の墨出し		○	○			
2. 既製間仕切り	切り込み及び補強						
	位置ボックス						
3. 吊ボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○			
4. 外壁廻り	ウェザーカバー・ベンドキャップ			○			
	換気扇			○			
5. 湯沸室廻り	流し台・吊戸棚・水切り棚・コンロ台	○					
	フード（標準詳細図のもの）			○			
	流し台の排水トラップ			○			
6. 浴室廻り	ユニットバス・シャワーユニット						
	既製浴槽（蓋を含む）						
	浴室及び便所の床排水金物			○			
7. 便所廻り	洗面カウンター	○					
	鏡（規格寸法のみ）			○			
	ユニット形衛生器具			○			
	身障用手すり	○					
8. 事務室廻り	家具組み込みの洗面器						
9. フリーアクセスフロア	コンセント						
	床パネルの切り込み加工						
10. その他	２重ピット及びトレンチのマンホール蓋						
	機器搬入用フック・ビーム						
	チェンブロック						
	化粧マンホール上蓋の表面仕上げ						
	点検口（天井・床下）	○					
	排煙口等の天井仕上材の取付け						
	自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアチェック，フロアヒンジ						
	消火器ＢＯＸ設置工事	○					
	自動扉・電動シャッターへの電源供給		○				二次側はＡ
	自動扉・電動シャッターから付属のスイッチセンサーへの配管工事		○				二次側はＡ

屋外排水設備・外構

項目		A	E	M			備考
1. 雨水	屋外雨水排水設備（Ｕ字溝）						
	桝及び桝蓋						
	雨水再利用設備						
2. 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備			○			
	桝及び桝蓋			○			
	化粧マンホール上蓋の表面仕上げ			○			
3. 植栽	植栽及び客土						
4. ユニット形浄化槽の躯体	ピット形の躯体及び砂充てん						
	上記以外のユニット形浄化槽本体･配管及び据付等						
	ピット形以外						
5. その他	駐車場ガソリントラップ						
	グリストラップ						
	工事期間中の電気料金（基本+使用料金）	○	○	○			
	工事期間中の水道料金（基本+使用料金）	○	○	○			
	建物外部枠組足場	○					
	建物内部足場	○					
	機械室枠組足場						


敷地境界線
自転車置場
駐車場
正門
5,000
植水
植水
機械室
CUB
受水槽
8,000
用水
敷地境界線
植込
スロープ
植込
植込
普通教室棟
通路
特別教室棟
体育館棟
植込
植込
植込
植込
植込
植込
植込
植込
植込
植込
植込
植込
防球ネット
敷地境界線
プール付属棟
バックネット
プール
4,000
用水
グラウンド
敷地境界線
防球ネット
テニスコート
敷地境界線
道路境界線
用具庫
部屋
南門
6,000
市道
既設水之上
道路境界線
6,000
市道
北
配 置 図
◆ 凡 例
工事対象建物を示す
工事場所：富士見市西みずほ台３丁目地内
至 川越
至 和光
鶴瀬駅
鶴瀬西一丁目
鶴瀬西二丁目
鶴瀬西三丁目
鶴瀬西四丁目
鶴瀬西五丁目
鶴瀬西六丁目
鶴瀬西七丁目
鶴瀬西八丁目
鶴瀬東一丁目
鶴瀬東二丁目
鶴瀬東三丁目
鶴瀬東四丁目
鶴瀬東五丁目
鶴瀬東六丁目
鶴瀬東七丁目
鶴瀬東八丁目
鶴瀬東九丁目
鶴瀬東十丁目
鶴瀬東十一丁目
鶴瀬東十二丁目
鶴瀬東十三丁目
鶴瀬東十四丁目
鶴瀬東十五丁目
鶴瀬東十六丁目
鶴瀬東十七丁目
鶴瀬東十八丁目
鶴瀬東十九丁目
鶴瀬東二十丁目
鶴瀬東二十一丁目
鶴瀬東二十二丁目
鶴瀬東二十三丁目
鶴瀬東二十四丁目
鶴瀬東二十五丁目
鶴瀬東二十六丁目
鶴瀬東二十七丁目
鶴瀬東二十八丁目
鶴瀬東二十九丁目
鶴瀬東三十丁目
鶴瀬東三十一丁目
鶴瀬東三十二丁目
鶴瀬東三十三丁目
鶴瀬東三十四丁目
鶴瀬東三十五丁目
鶴瀬東三十六丁目
鶴瀬東三十七丁目
鶴瀬東三十八丁目
鶴瀬東三十九丁目
鶴瀬東四十丁目
鶴瀬東四十一丁目
鶴瀬東四十二丁目
鶴瀬東四十三丁目
鶴瀬東四十四丁目
鶴瀬東四十五丁目
鶴瀬東四十六丁目
鶴瀬東四十七丁目
鶴瀬東四十八丁目
鶴瀬東四十九丁目
鶴瀬東五十丁目
鶴瀬東五十一丁目
鶴瀬東五十二丁目
鶴瀬東五十三丁目
鶴瀬東五十四丁目
鶴瀬東五十五丁目
鶴瀬東五十六丁目
鶴瀬東五十七丁目
鶴瀬東五十八丁目
鶴瀬東五十九丁目
鶴瀬東六十丁目
鶴瀬東六十一丁目
鶴瀬東六十二丁目
鶴瀬東六十三丁目
鶴瀬東六十四丁目
鶴瀬東六十五丁目
鶴瀬東六十六丁目
鶴瀬東六十七丁目
鶴瀬東六十八丁目
鶴瀬東六十九丁目
鶴瀬東七十丁目
鶴瀬東七十一丁目
鶴瀬東七十二丁目
鶴瀬東七十三丁目
鶴瀬東七十四丁目
鶴瀬東七十五丁目
鶴瀬東七十六丁目
鶴瀬東七十七丁目
鶴瀬東七十八丁目
鶴瀬東七十九丁目
鶴瀬東八十丁目
鶴瀬東八十一丁目
鶴瀬東八十二丁目
鶴瀬東八十三丁目
鶴瀬東八十四丁目
鶴瀬東八十五丁目
鶴瀬東八十六丁目
鶴瀬東八十七丁目
鶴瀬東八十八丁目
鶴瀬東八十九丁目
鶴瀬東九十丁目
鶴瀬東九十一丁目
鶴瀬東九十二丁目
鶴瀬東九十三丁目
鶴瀬東九十四丁目
鶴瀬東九十五丁目
鶴瀬東九十六丁目
鶴瀬東九十七丁目
鶴瀬東九十八丁目
鶴瀬東九十九丁目
鶴瀬東百丁目
鶴瀬東百一丁目
鶴瀬東百二丁目
鶴瀬東百三丁目
鶴瀬東百四丁目
鶴瀬東百五丁目
鶴瀬東百六丁目
鶴瀬東百七丁目
鶴瀬東百八丁目
鶴瀬東百九丁目
鶴瀬東百十丁目
鶴瀬東百十一丁目
鶴瀬東百十二丁目
鶴瀬東百十三丁目
鶴瀬東百十四丁目
鶴瀬東百十五丁目
鶴瀬東百十六丁目
鶴瀬東百十七丁目
鶴瀬東百十八丁目
鶴瀬東百十九丁目
鶴瀬東百二十丁目
鶴瀬東百二十一丁目
鶴瀬東百二十二丁目
鶴瀬東百二十三丁目
鶴瀬東百二十四丁目
鶴瀬東百二十五丁目
鶴瀬東百二十六丁目
鶴瀬東百二十七丁目
鶴瀬東百二十八丁目
鶴瀬東百二十九丁目
鶴瀬東百三十丁目
鶴瀬東百三十一丁目
鶴瀬東百三十二丁目
鶴瀬東百三十三丁目
鶴瀬東百三十四丁目
鶴瀬東百三十五丁目
鶴瀬東百三十六丁目
鶴瀬東百三十七丁目
鶴瀬東百三十八丁目
鶴瀬東百三十九丁目
鶴瀬東百四十丁目
鶴瀬東百四十一丁目
鶴瀬東百四十二丁目
鶴瀬東百四十三丁目
鶴瀬東百四十四丁目
鶴瀬東百四十五丁目
鶴瀬東百四十六丁目
鶴瀬東百四十七丁目
鶴瀬東百四十八丁目
鶴瀬東百四十九丁目
鶴瀬東百五十丁目
鶴瀬東百五十一丁目
鶴瀬東百五十二丁目
鶴瀬東百五十三丁目
鶴瀬東百五十四丁目
鶴瀬東百五十五丁目
鶴瀬東百五十六丁目
鶴瀬東百五十七丁目
鶴瀬東百五十八丁目
鶴瀬東百五十九丁目
鶴瀬東百六十丁目
鶴瀬東百六十一丁目
鶴瀬東百六十二丁目
鶴瀬東百六十三丁目
鶴瀬東百六十四丁目
鶴瀬東百六十五丁目
鶴瀬東百六十六丁目
鶴瀬東百六十七丁目
鶴瀬東百六十八丁目
鶴瀬東百六十九丁目
鶴瀬東百七十丁目
鶴瀬東百七十一丁目
鶴瀬東百七十二丁目
鶴瀬東百七十三丁目
鶴瀬東百七十四丁目
鶴瀬東百七十五丁目
鶴瀬東百七十六丁目
鶴瀬東百七十七丁目
鶴瀬東百七十八丁目
鶴瀬東百七十九丁目
鶴瀬東百八十丁目
鶴瀬東百八十一丁目
鶴瀬東百八十二丁目
鶴瀬東百八十三丁目
鶴瀬東百八十四丁目
鶴瀬東百八十五丁目
鶴瀬東百八十六丁目
鶴瀬東百八十七丁目
鶴瀬東百八十八丁目
鶴瀬東百八十九丁目
鶴瀬東百九十丁目
鶴瀬東百九十一丁目
鶴瀬東百九十二丁目
鶴瀬東百九十三丁目
鶴瀬東百九十四丁目
鶴瀬東百九十五丁目
鶴瀬東百九十六丁目
鶴瀬東百九十七丁目
鶴瀬東百九十八丁目
鶴瀬東百九十九丁目
鶴瀬東二百丁目
鶴瀬東二百一丁目
鶴瀬東二百二丁目
鶴瀬東二百三丁目
鶴瀬東二百四丁目
鶴瀬東二百五丁目
鶴瀬東二百六丁目
鶴瀬東二百七丁目
鶴瀬東二百八丁目
鶴瀬東二百九丁目
鶴瀬東二百十丁目
鶴瀬東二百十一丁目
鶴瀬東二百十二丁目
鶴瀬東二百十三丁目
鶴瀬東二百十四丁目
鶴瀬東二百十五丁目
鶴瀬東二百十六丁目
鶴瀬東二百十七丁目
鶴瀬東二百十八丁目
鶴瀬東二百十九丁目
鶴瀬東二百二十丁目
鶴瀬東二百二十一丁目
鶴瀬東二百二十二丁目
鶴瀬東二百二十三丁目
鶴瀬東二百二十四丁目
鶴瀬東二百二十五丁目
鶴瀬東二百二十六丁目
鶴瀬東二百二十七丁目
鶴瀬東二百二十八丁目
鶴瀬東二百二十九丁目
鶴瀬東二百三十丁目
鶴瀬東二百三十一丁目
鶴瀬東二百三十二丁目
鶴瀬東二百三十三丁目
鶴瀬東二百三十四丁目
鶴瀬東二百三十五丁目
鶴瀬東二百三十六丁目
鶴瀬東二百三十七丁目
鶴瀬東二百三十八丁目
鶴瀬東二百三十九丁目
鶴瀬東二百四十丁目
鶴瀬東二百四十一丁目
鶴瀬東二百四十二丁目
鶴瀬東二百四十三丁目
鶴瀬東二百四十四丁目
鶴瀬東二百四十五丁目
鶴瀬東二百四十六丁目
鶴瀬東二百四十七丁目
鶴瀬東二百四十八丁目
鶴瀬東二百四十九丁目
鶴瀬東二百五十丁目
鶴瀬東二百五十一丁目
鶴瀬東二百五十二丁目
鶴瀬東二百五十三丁目
鶴瀬東二百五十四丁目
鶴瀬東二百五十五丁目
鶴瀬東二百五十六丁目
鶴瀬東二百五十七丁目
鶴瀬東二百五十八丁目
鶴瀬東二百五十九丁目
鶴瀬東二百六十丁目
鶴瀬東二百六十一丁目
鶴瀬東二百六十二丁目
鶴瀬東二百六十三丁目
鶴瀬東二百六十四丁目
鶴瀬東二百六十五丁目
鶴瀬東二百六十六丁目
鶴瀬東二百六十七丁目
鶴瀬東二百六十八丁目
鶴瀬東二百六十九丁目
鶴瀬東二百七十丁目
鶴瀬東二百七十一丁目
鶴瀬東二百七十二丁目
鶴瀬東二百七十三丁目
鶴瀬東二百七十四丁目
鶴瀬東二百七十五丁目
鶴瀬東二百七十六丁目
鶴瀬東二百七十七丁目
鶴瀬東二百七十八丁目
鶴瀬東二百七十九丁目
鶴瀬東二百八十丁目
鶴瀬東二百八十一丁目
鶴瀬東二百八十二丁目
鶴瀬東二百八十三丁目
鶴瀬東二百八十四丁目
鶴瀬東二百八十五丁目
鶴瀬東二百八十六丁目
鶴瀬東二百八十七丁目
鶴瀬東二百八十八丁目
鶴瀬東二百八十九丁目
鶴瀬東二百九十丁目
鶴瀬東二百九十一丁目
鶴瀬東二百九十二丁目
鶴瀬東二百九十三丁目
鶴瀬東二百九十四丁目
鶴瀬東二百九十五丁目
鶴瀬東二百九十六丁目
鶴瀬東二百九十七丁目
鶴瀬東二百九十八丁目
鶴瀬東二百九十九丁目
鶴瀬東三百丁目
鶴瀬東三百一丁目
鶴瀬東三百二丁目
鶴瀬東三百三丁目
鶴瀬東三百四丁目
鶴瀬東三百五丁目
鶴瀬東三百六丁目
鶴瀬東三百七丁目
鶴瀬東三百八丁目
鶴瀬東三百九丁目
鶴瀬東三百十丁目
鶴瀬東三百十一丁目
鶴瀬東三百十二丁目
鶴瀬東三百十三丁目
鶴瀬東三百十四丁目
鶴瀬東三百十五丁目
鶴瀬東三百十六丁目
鶴瀬東三百十七丁目
鶴瀬東三百十八丁目
鶴瀬東三百十九丁目
鶴瀬東三百二十丁目
鶴瀬東三百二十一丁目
鶴瀬東三百二十二丁目
鶴瀬東三百二十三丁目
鶴瀬東三百二十四丁目
鶴瀬東三百二十五丁目
鶴瀬東三百二十六丁目
鶴瀬東三百二十七丁目
鶴瀬東三百二十八丁目
鶴瀬東三百二十九丁目
鶴瀬東三百三十丁目
鶴瀬東三百三十一丁目
鶴瀬東三百三十二丁目
鶴瀬東三百三十三丁目
鶴瀬東三百三十四丁目
鶴瀬東三百三十五丁目
鶴瀬東三百三十六丁目
鶴瀬東三百三十七丁目
鶴瀬東三百三十八丁目
鶴瀬東三百三十九丁目
鶴瀬東三百四十丁目
鶴瀬東三百四十一丁目
鶴瀬東三百四十二丁目
鶴瀬東三百四十三丁目
鶴瀬東三百四十四丁目
鶴瀬東三百四十五丁目
鶴瀬東三百四十六丁目
鶴瀬東三百四十七丁目
鶴瀬東三百四十八丁目
鶴瀬東三百四十九丁目
鶴瀬東三百五十丁目
鶴瀬東三百五十一丁目
鶴瀬東三百五十二丁目
鶴瀬東三百五十三丁目
鶴瀬東三百五十四丁目
鶴瀬東三百五十五丁目
鶴瀬東三百五十六丁目
鶴瀬東三百五十七丁目
鶴瀬東三百五十八丁目
鶴瀬東三百五十九丁目
鶴瀬東三百六十丁目
鶴瀬東三百六十一丁目
鶴瀬東三百六十二丁目
鶴瀬東三百六十三丁目
鶴瀬東三百六十四丁目
鶴瀬東三百六十五丁目
鶴瀬東三百六十六丁目
鶴瀬東三百六十七丁目
鶴瀬東三百六十八丁目
鶴瀬東三百六十九丁目
鶴瀬東三百七十丁目
鶴瀬東三百七十一丁目
鶴瀬東三百七十二丁目
鶴瀬東三百七十三丁目
鶴瀬東三百七十四丁目
鶴瀬東三百七十五丁目
鶴瀬東三百七十六丁目
鶴瀬東三百七十七丁目
鶴瀬東三百七十八丁目
鶴瀬東三百七十九丁目
鶴瀬東三百八十丁目
鶴瀬東三百八十一丁目
鶴瀬東三百八十二丁目
鶴瀬東三百八十三丁目
鶴瀬東三百八十四丁目
鶴瀬東三百八十五丁目
鶴瀬東三百八十六丁目
鶴瀬東三百八十七丁目
鶴瀬東三百八十八丁目
鶴瀬東三百八十九丁目
鶴瀬東三百九十丁目
鶴瀬東三百九十一丁目
鶴瀬東三百九十二丁目
鶴瀬東三百九十三丁目
鶴瀬東三百九十四丁目
鶴瀬東三百九十五丁目
鶴瀬東三百九十六丁目
鶴瀬東三百九十七丁目
鶴瀬東三百九十八丁目
鶴瀬東三百九十九丁目
鶴瀬東四百丁目
鶴瀬東四百一丁目
鶴瀬東四百二丁目
鶴瀬東四百三丁目
鶴瀬東四百四丁目
鶴瀬東四百五丁目
鶴瀬東四百六丁目
鶴瀬東四百七丁目
鶴瀬東四百八丁目
鶴瀬東四百九丁目
鶴瀬東四百十丁目
鶴瀬東四百十一丁目
鶴瀬東四百十二丁目
鶴瀬東四百十三丁目
鶴瀬東四百十四丁目
鶴瀬東四百十五丁目
鶴瀬東四百十六丁目
鶴瀬東四百十七丁目
鶴瀬東四百十八丁目
鶴瀬東四百十九丁目
鶴瀬東四百二十丁目
鶴瀬東四百二十一丁目
鶴瀬東四百二十二丁目
鶴瀬東四百二十三丁目
鶴瀬東四百二十四丁目
鶴瀬東四百二十五丁目
鶴瀬東四百二十六丁目
鶴瀬東四百二十七丁目
鶴瀬東四百二十八丁目
鶴瀬東四百二十九丁目
鶴瀬東四百三十丁目
鶴瀬東四百三十一丁目
鶴瀬東四百三十二丁目
鶴瀬東四百三十三丁目
鶴瀬東四百三十四丁目
鶴瀬東四百三十五丁目
鶴瀬東四百三十六丁目
鶴瀬東四百三十七丁目
鶴瀬東四百三十八丁目
鶴瀬東四百三十九丁目
鶴瀬東四百四十丁目
鶴瀬東四百四十一丁目
鶴瀬東四百四十二丁目
鶴瀬東四百四十三丁目
鶴瀬東四百四十四丁目
鶴瀬東四百四十五丁目
鶴瀬東四百四十六丁目
鶴瀬東四百四十七丁目
鶴瀬東四百四十八丁目
鶴瀬東四百四十九丁目
鶴瀬東四百五十丁目
鶴瀬東四百五十一丁目
鶴瀬東四百五十二丁目
鶴瀬東四百五十三丁目
鶴瀬東四百五十四丁目
鶴瀬東四百五十五丁目
鶴瀬東四百五十六丁目
鶴瀬東四百五十七丁目
鶴瀬東四百五十八丁目
鶴瀬東四百五十九丁目
鶴瀬東四百六十丁目
鶴瀬東四百六十一丁目
鶴瀬東四百六十二丁目
鶴瀬東四百六十三丁目
鶴瀬東四百六十四丁目
鶴瀬東四百六十五丁目
鶴瀬東四百六十六丁目
鶴瀬東四百六十七丁目
鶴瀬東四百六十八丁目
鶴瀬東四百六十九丁目
鶴瀬東四百七十丁目
鶴瀬東四百七十一丁目
鶴瀬東四百七十二丁目
鶴瀬東四百七十三丁目
鶴瀬東四百七十四丁目
鶴瀬東四百七十五丁目
鶴瀬東四百七十六丁目
鶴瀬東四百七十七丁目
鶴瀬東四百七十八丁目
鶴瀬東四百七十九丁目
鶴瀬東四百八十丁目
鶴瀬東四百八十一丁目
鶴瀬東四百八十二丁目
鶴瀬東四百八十三丁目
鶴瀬東四百八十四丁目
鶴瀬東四百八十五丁目
鶴瀬東四百八十六丁目
鶴瀬東四百八十七丁目
鶴瀬東四百八十八丁目
鶴瀬東四百八十九丁目
鶴瀬東四百九十丁目
鶴瀬東四百九十一丁目
鶴瀬東四百九十二丁目
鶴瀬東四百九十三丁目
鶴瀬東四百九十四丁目
鶴瀬東四百九十五丁目
鶴瀬東四百九十六丁目
鶴瀬東四百九十七丁目
鶴瀬東四百九十八丁目
鶴瀬東四百九十九丁目
鶴瀬東五百丁目
鶴瀬東五百一丁目
鶴瀬東五百二丁目
鶴瀬東五百三丁目
鶴瀬東五百四丁目
鶴瀬東五百五丁目
鶴瀬東五百六丁目
鶴瀬東五百七丁目
鶴瀬東五百八丁目
鶴瀬東五百九丁目
鶴瀬東五百十丁目
鶴瀬東五百十一丁目
鶴瀬東五百十二丁目
鶴瀬東五百十三丁目
鶴瀬東五百十四丁目
鶴瀬東五百十五丁目
鶴瀬東五百十六丁目
鶴瀬東五百十七丁目
鶴瀬東五百十八丁目
鶴瀬東五百十九丁目
鶴瀬東五百二十丁目
鶴瀬東五百二十一丁目
鶴瀬東五百二十二丁目
鶴瀬東五百二十三丁目
鶴瀬東五百二十四丁目
鶴瀬東五百二十五丁目
鶴瀬東五百二十六丁目
鶴瀬東五百二十七丁目
鶴瀬東五百二十八丁目
鶴瀬東五百二十九丁目
鶴瀬東五百三十丁目
鶴瀬東五百三十一丁目
鶴瀬東五百三十二丁目
鶴瀬東五百三十三丁目
鶴瀬東五百三十四丁目
鶴瀬東五百三十五丁目
鶴瀬東五百三十六丁目
鶴瀬東五百三十七丁目
鶴瀬東五百三十八丁目
鶴瀬東五百三十九丁目
鶴瀬東五百四十丁目
鶴瀬東五百四十一丁目
鶴瀬東五百四十二丁目
鶴瀬東五百四十三丁目
鶴瀬東五百四十四丁目
鶴瀬東五百四十五丁目
鶴瀬東五百四十六丁目
鶴瀬東五百四十七丁目
鶴瀬東五百四十八丁目
鶴瀬東五百四十九丁目
鶴瀬東五百五十丁目
鶴瀬東五百五十一丁目
鶴瀬東五百五十二丁目
鶴瀬東五百五十三丁目
鶴瀬東五百五十四丁目
鶴瀬東五百五十五丁目
鶴瀬東五百五十六丁目
鶴瀬東五百五十七丁目
鶴瀬東五百五十八丁目
鶴瀬東五百五十九丁目
鶴瀬東五百六十丁目
鶴瀬東五百六十一丁目
鶴瀬東五百六十二丁目
鶴瀬東五百六十三丁目
鶴瀬東五百六十四丁目
鶴瀬東五百六十五丁目
鶴瀬東五百六十六丁目
鶴瀬東五百六十七丁目
鶴瀬東五百六十八丁目
鶴瀬東五百六十九丁目
鶴瀬東五百七十丁目
鶴瀬東五百七十一丁目
鶴瀬東五百七十二丁目
鶴瀬東五百七十三丁目
鶴瀬東五百七十四丁目
鶴瀬東五百七十五丁目
鶴瀬東五百七十六丁目
鶴瀬東五百七十七丁目
鶴瀬東五百七十八丁目
鶴瀬東五百七十九丁目
鶴瀬東五百八十丁目
鶴瀬東五百八十一丁目
鶴瀬東五百八十二丁目
鶴瀬東五百八十三丁目
鶴瀬東五百八十四丁目
鶴瀬東五百八十五丁目
鶴瀬東五百八十六丁目
鶴瀬東五百八十七丁目
鶴瀬東五百八十八丁目
鶴瀬東五百八十九丁目
鶴瀬東五百九十丁目
鶴瀬東五百九十一丁目
鶴瀬東五百九十二丁目
鶴瀬東五百九十三丁目
鶴瀬東五百九十四丁目
鶴瀬東五百九十五丁目
鶴瀬東五百九十六丁目
鶴瀬東五百九十七丁目
鶴瀬東五百九十八丁目
鶴瀬東五百九十九丁目
鶴瀬東六百丁目
鶴瀬東六百一丁目
鶴瀬東六百二丁目
鶴瀬東六百三丁目
鶴瀬東六百四丁目
鶴瀬東六百五丁目
鶴瀬東六百六丁目
鶴瀬東六百七丁目
鶴瀬東六百八丁目
鶴瀬東六百九丁目
鶴瀬東六百十丁目
鶴瀬東六百十一丁目
鶴瀬東六百十二丁目
鶴瀬東六百十三丁目
鶴瀬東六百十四丁目
鶴瀬東六百十五丁目
鶴瀬東六百十六丁目
鶴瀬東六百十七丁目
鶴瀬東六百十八丁目
鶴瀬東六百十九丁目
鶴瀬東六百二十丁目
鶴瀬東六百二十一丁目
鶴瀬東六百二十二丁目
鶴瀬東六百二十三丁目
鶴瀬東六百二十四丁目
鶴瀬東六百二十五丁目
鶴瀬東六百二十六丁目
鶴瀬東六百二十七丁目
鶴瀬東六百二十八丁目
鶴瀬東六百二十九丁目
鶴瀬東六百三十丁目
鶴瀬東六百三十一丁目
鶴瀬東六百三十二丁目
鶴瀬東六百三十三丁目
鶴瀬東六百三十四丁目
鶴瀬東六百三十五丁目
鶴瀬東六百三十六丁目
鶴瀬東六百三十七丁目
鶴瀬東六百三十八丁目
鶴瀬東六百三十九丁目
鶴瀬東六百四十丁目
鶴瀬東六百四十一丁目
鶴瀬東六百四十二丁目
鶴瀬東六百四十三丁目
鶴瀬東六百四十四丁目
鶴瀬東六百四十五丁目
鶴瀬東六百四十六丁目
鶴瀬東六百四十七丁目
鶴瀬東六百四十八丁目
鶴瀬東六百四十九丁目
鶴瀬東六百五十丁目
鶴瀬東六百五十一丁目
鶴瀬東六百五十二丁目
鶴瀬東六百五十三丁目
鶴瀬東六百五十四丁目
鶴瀬東六百五十五丁目
鶴瀬東六百五十六丁目
鶴瀬東六百五十七丁目
鶴瀬東六百五十八丁目
鶴瀬東六百五十九丁目
鶴瀬東六百六十丁目
鶴瀬東六百六十一丁目
鶴瀬東六百六十二丁目
鶴瀬東六百六十三丁目
鶴瀬東六百六十四丁目
鶴瀬東六百六十五丁目
鶴瀬東六百六十六丁目
鶴瀬東六百六十七丁目
鶴瀬東六百六十八丁目
鶴瀬東六百六十九丁目
鶴瀬東六百七十丁目
鶴瀬東六百七十一丁目
鶴瀬東六百七十二丁目
鶴瀬東六百七十三丁目
鶴瀬東六百七十四丁目
鶴瀬東六百七十五丁目
鶴瀬東六百七十六丁目
鶴瀬東六百七十七丁目
鶴瀬東六百七十八丁目
鶴瀬東六百七十九丁目
鶴瀬東六百八十丁目
鶴瀬東六百八十一丁目
鶴瀬東六百八十二丁目
鶴瀬東六百八十三丁目
鶴瀬東六百八十四丁目
鶴瀬東六百八十五丁目
鶴瀬東六百八十六丁目
鶴瀬東六百八十七丁目
鶴瀬東六百八十八丁目
鶴瀬東六百八十九丁目
鶴瀬東六百九十丁目
鶴瀬東六百九十一丁目
鶴瀬東六百九十二丁目
鶴瀬東六百九十三丁目
鶴瀬東六百九十四丁目
鶴瀬東六百九十五丁目
鶴瀬東六百九十六丁目
鶴瀬東六百九十七丁目
鶴瀬東六百九十八丁目
鶴瀬東六百九十九丁目
鶴瀬東七百丁目
鶴瀬東七百一丁目
鶴瀬東七百二丁目
鶴瀬東七百三丁目
鶴瀬東七百四丁目
鶴瀬東七百五丁目
鶴瀬東七百六丁目
鶴瀬東七百七丁目
鶴瀬東七百八丁目
鶴瀬東七百九丁目
鶴瀬東七百十丁目
鶴瀬東七百十一丁目
鶴瀬東七百十二丁目
鶴瀬東七百十三丁目
鶴瀬東七百十四丁目
鶴瀬東七百十五丁目
鶴瀬東七百十六丁目
鶴瀬東七百十七丁目
鶴瀬東七百十八丁目
鶴瀬東七百十九丁目
鶴瀬東七百二十丁目
鶴瀬東七百二十一丁目
鶴瀬東七百二十二丁目
鶴瀬東七百二十三丁目
鶴瀬東七百二十四丁目
鶴瀬東七百二十五丁目
鶴瀬東七百二十六丁目
鶴瀬東七百二十七丁目
鶴瀬東七百二十八丁目
鶴瀬東七百二十九丁目
鶴瀬東七百三十丁目
鶴瀬東七百三十一丁目
鶴瀬東七百三十二丁目
鶴瀬東七百三十三丁目
鶴瀬東七百三十四丁目
鶴瀬東七百三十五丁目
鶴瀬東七百三十六丁目
鶴瀬東七百三十七丁目
鶴瀬東七百三十八丁目
鶴瀬東七百三十九丁目
鶴瀬東七百四十丁目
鶴瀬東七百四十一丁目
鶴瀬東七百四十二丁目
鶴瀬東七百四十三丁目
鶴瀬東七百四十四丁目
鶴瀬東七百四十五丁目
鶴瀬東七百四十六丁目
鶴瀬東七百四十七丁目
鶴瀬東七百四十八丁目
鶴瀬東七百四十九丁目
鶴瀬東七百五十丁目
鶴瀬東七百五十一丁目
鶴瀬東七百五十二丁目
鶴瀬東七百五十三丁目
鶴瀬東七百五十四丁目
鶴瀬東七百五十五丁目
鶴瀬東七百五十六丁目
鶴瀬東七百五十七丁目
鶴瀬東七百五十八丁目
鶴瀬東七百五十九丁目
鶴瀬東七百六十丁目
鶴瀬東七百六十一丁目
鶴瀬東七百六十二丁目
鶴瀬東七百六十三丁目
鶴瀬東七百六十四丁目
鶴瀬東七百六十五丁目
鶴瀬東七百六十六丁目
鶴瀬東七百六十七丁目
鶴瀬東七百六十八丁目
鶴瀬東七百六十九丁目
鶴瀬東七百七十丁目
鶴瀬東七百七十一丁目
鶴瀬東七百七十二丁目
鶴瀬東七百七十三丁目
鶴瀬東七百七十四丁目
鶴瀬東七百七十五丁目
鶴瀬東七百七十六丁目
鶴瀬東七百七十七丁目
鶴瀬東七百七十八丁目
鶴瀬東七百七十九丁目
鶴瀬東七百八十丁目
鶴瀬東七百八十一丁目
鶴瀬東七百八十二丁目
鶴瀬東七百八十三丁目
鶴瀬東七百八十四丁目
鶴瀬東七百八十五丁目
鶴瀬東七百八十六丁目
鶴瀬東七百八十七丁目
鶴瀬東七百八十八丁目
鶴瀬東七百八十九丁目
鶴瀬東七百九十丁目
鶴瀬東七百九十一丁目
鶴瀬東七百九十二丁目
鶴瀬東七百九十三丁目
鶴瀬東七百九十四丁目
鶴瀬東七百九十五丁目
鶴瀬東七百九十六丁目
鶴瀬東七百九十七丁目
鶴瀬東七百九十八丁目
鶴瀬東七百九十九丁目
鶴瀬東八百丁目
鶴瀬東八百一丁目
鶴瀬東八百二丁目
鶴瀬東八百三丁目
鶴瀬東八百四丁目
鶴瀬東八百五丁目
鶴瀬東八百六丁目
鶴瀬東八百七丁目
鶴瀬東八百八丁目
鶴瀬東八百九丁目
鶴瀬東八百十丁目
鶴瀬東八百十一丁目
鶴瀬東八百十二丁目
鶴瀬東八百十三丁目
鶴瀬東八百十四丁目
鶴瀬東八百十五丁目
鶴瀬東八百十六丁目
鶴瀬東八百十七丁目
鶴瀬東八百十八丁目
鶴瀬東八百十九丁目
鶴瀬東八百二十丁目
鶴瀬東八百二十一丁目
鶴瀬東八百二十二丁目
鶴瀬東八百二十三丁目
鶴瀬東八百二十四丁目
鶴瀬東八百二十五丁目
鶴瀬東八百二十六丁目
鶴瀬東八百二十七丁目
鶴瀬東八百二十八丁目
鶴瀬東八百二十九丁目
鶴瀬東八百三十丁目
鶴瀬東八百三十一丁目
鶴瀬東八百三十二丁目
鶴瀬東八百三十三丁目
鶴瀬東八百三十四丁目
鶴瀬東八百三十五丁目
鶴瀬東八百三十六丁目
鶴瀬東八百三十七丁目
鶴瀬東八百三十八丁目
鶴瀬東八百三十九丁目
鶴瀬東八百四十丁目
鶴瀬東八百四十一丁目
鶴瀬東八百四十二丁目
鶴瀬東八百四十三丁目
鶴瀬東八百四十四丁目
鶴瀬東八百四十五丁目
鶴瀬東八百四十六丁目
鶴瀬東八百四十七丁目
鶴瀬東八百四十八丁目
鶴瀬東八百四十九丁目
鶴瀬東八百五十丁目
鶴瀬東八百五十一丁目
鶴瀬東八百五十二丁目
鶴瀬東八百五十三丁目
鶴瀬東八百五十四丁目
鶴瀬東八百五十五丁目
鶴瀬東八百五十六丁目
鶴瀬東八百五十七丁目
鶴瀬東八百五十八丁目
鶴瀬東八百五十九丁目
鶴瀬東八百六十丁目
鶴瀬東八百六十一丁目
鶴瀬東八百六十二丁目
鶴瀬東八百六十三丁目
鶴瀬東八百六十四丁目
鶴瀬東八百六十五丁目
鶴瀬東八百六十六丁目
鶴瀬東八百六十七丁目
鶴瀬東八百六十八丁目
鶴瀬東八百六十九丁目
鶴瀬東八百七十丁目
鶴瀬東八百七十一丁目
鶴瀬東八百七十二丁目
鶴瀬東八百七十三丁目
鶴瀬東八百七十四丁目
鶴瀬東八百七十五丁目
鶴瀬東八百七十六丁目
鶴瀬東八百七十七丁目
鶴瀬東八百七十八丁目
鶴瀬東八百七十九丁目
鶴瀬東八百八十丁目
鶴瀬東八百八十一丁目
鶴瀬東八百八十二丁目
鶴瀬東八百八十三丁目
鶴瀬東八百八十四丁目
鶴瀬東八百八十五丁目
鶴瀬東八百八十六丁目
鶴瀬東八百八十七丁目
鶴瀬東八百八十八丁目
鶴瀬東八百八十九丁目
鶴瀬東八百九十丁目
鶴瀬東八百九十一丁目
鶴瀬東八百九十二丁目
鶴瀬東八百九十三丁目
鶴瀬東八百九十四丁目
鶴瀬東八百九十五丁目
鶴瀬東八百九十六丁目
鶴瀬東八百九十七丁目
鶴瀬東八百九十八丁目
鶴瀬東八百九十九丁目
鶴瀬東九百丁目
鶴瀬東九百一丁目
鶴瀬東九百二丁目
鶴瀬東九百三丁目
鶴瀬東九百四丁目
鶴瀬東九百五丁目
鶴瀬東九百六丁目
鶴瀬東九百七丁目
鶴瀬東九百八丁目
鶴瀬東九百九丁目
鶴瀬東九百十丁目
鶴瀬東九百十一丁目
鶴瀬東九百十二丁目
鶴瀬東九百十三丁目
鶴瀬東九百十四丁目
鶴瀬東九百十五丁目
鶴瀬東九百十六丁目
鶴瀬東九百十七丁目
鶴瀬東九百十八丁目
鶴瀬東九百十九丁目
鶴瀬東九百二十丁目
鶴瀬東九百二十一丁目
鶴瀬東九百二十二丁目
鶴瀬東九百二十三丁目
鶴瀬東九百二十四丁目
鶴瀬東九百二十五丁目
鶴瀬東九百二十六丁目
鶴瀬東九百二十七丁目
鶴瀬東九百二十八丁目
鶴瀬東九百二十九丁目
鶴瀬東九百三十丁目
鶴瀬東九百三十一丁目
鶴瀬東九百三十二丁目
鶴瀬東九百三十三丁目
鶴瀬東九百三十四丁目
鶴瀬東九百三十五丁目
鶴瀬東九百三十六丁目
鶴瀬東九百三十七丁目
鶴瀬東九百三十八丁目
鶴瀬東九百三十九丁目
鶴瀬東九百四十丁目
鶴瀬東九百四十一丁目
鶴瀬東九百四十二丁目
鶴瀬東九百四十三丁目
鶴瀬東九百四十四丁目
鶴瀬東九百四十五丁目
鶴瀬東九百四十六丁目
鶴瀬東九百四十七丁目
鶴瀬東九百四十八丁目
鶴瀬東九百四十九丁目
鶴瀬東九百五十丁目
鶴瀬東九百五十一丁目
鶴瀬東九百五十二丁目
鶴瀬東九百五十三丁目
鶴瀬東九百五十四丁目
鶴瀬東九百五十五丁目
鶴瀬東九百五十六丁目
鶴瀬東九百五十七丁目
鶴瀬東九百五十八丁目
鶴瀬東九百五十九丁目
鶴瀬東九百六十丁目
鶴瀬東九百六十一丁目
鶴瀬東九百六十二丁目
鶴瀬東九百六十三丁目
鶴瀬東九百六十四丁目
鶴瀬東九百六十五丁目
鶴瀬東九百六十六丁目
鶴瀬東九百六十七丁目
鶴瀬東九百六十八丁目
鶴瀬東九百六十九丁目
鶴瀬東九百七十丁目
鶴瀬東九百七十一丁目
鶴瀬東九百七十二丁目
鶴瀬東九百七十三丁目
鶴瀬東九百七十四丁目
鶴瀬東九百七十五丁目
鶴瀬東九百七十六丁目
鶴瀬東九百七十七丁目
鶴瀬東九百七十八丁目
鶴瀬東九百七十九丁目
鶴瀬東九百八十丁目
鶴瀬東九百八十一丁目
鶴瀬東九百八十二丁目
鶴瀬東九百八十三丁目
鶴瀬東九百八十四丁目
鶴瀬東九百八十五丁目
鶴瀬東九百八十六丁目
鶴瀬東九百八十七丁目
鶴瀬東九百八十八丁目
鶴瀬東九百八十九丁目
鶴瀬東九百九十丁目
鶴瀬東九百九十一丁目
鶴瀬東九百九十二丁目
鶴瀬東九百九十三丁目
鶴瀬東九百九十四丁目
鶴瀬東九百九十五丁目
鶴瀬東九百九十六丁目
鶴瀬東九百九十七丁目
鶴瀬東九百九十八丁目
鶴瀬東九百九十九丁目
鶴瀬東千丁目
鶴瀬東千一丁目
鶴瀬東千二丁目
鶴瀬東千三丁目
鶴瀬東千四丁目
鶴瀬東千五丁目
鶴瀬東千六丁目
鶴瀬東千七丁目
鶴瀬東千八丁目
鶴瀬東千九丁目
鶴瀬東千十丁目
鶴瀬東千十一丁目
鶴瀬東千十二丁目
鶴瀬東千十三丁目
鶴瀬東千十四丁目
鶴瀬東千十五丁目
鶴瀬東千十六丁目
鶴瀬東千十七丁目

衛生設備器具表

名称	仕様	1階 女子トイレ	1階 男子トイレ	1階 多目的トイレ	1階 通路	1階 事務室		合計
洋風大便器	パブリックコンパクト便器　フラッシュタンク式　普通便座　棚付二連紙巻器　他付属品一式	3	1					4
Ｃ－１	CFS498BMCK+TC291+YH702							
小便器	壁掛壁排水自動洗浄小便器(100V 0.5W) 他付属品一色		2					2
Ｕ－１	UFS900R							
洗面器	洗面器　自動単水栓(100V 0.6W　排水金具　他付属品一式	2	2					4
Ｌ－１	LSA135AN							
手洗器	洗面器　水栓金具　排水金具　他付属品一式					1		1
Ｌ－２	L30D+T205UNRC							
化粧鏡	３５０×８００	2	2					4
Ｍ－１	YM3580AC							
化粧鏡	３５０×４５０　耐食鏡					1		1
Ｍ－２	YM3545F							
掃除用流し	パック付掃除用流し　送り座付胴長横水栓　排水Ｓトラップ　バッグハンガー　その他付属品一式				1			1
ＳＫ－１	SK22A+T23AE20C							
多機能トイレパック	多機能トイレパック（タンク式・ストレート対応流し・洗面器・手洗器・化粧鏡）　洗浄暖房便座・蓋なし(AC100V 1260W)　排水ベンド管　他付属品一式			1				1
ＴＰ－１	UADAK21R1A1ADD2BA+YM3580AC+TCF5841AUP							
冷水器	床置型　冷水専用　水道直結式　2方式取水(足踏みペダル、ボタン)　冷水供給能力　11L/H　転倒防止し手形金具　消費電力：50Hz　170W　他付属品一式				1			1
ＣＷ－１	RW-226P							

▨：工事対象外

機器表

（注）　記載事項の適用について
●印のものを適用し、○印のものは適用しない。

●送風機類

名称	記号	形式	仕様 呼称	仕様 m3/h	仕様 静圧 Pa	電動機 相	電動機 V	電動機 W	電動機 極	台数	系統	備考
● 天井扇	CVF-1	●天井埋込形 ●低騒音型 ●樹脂製 ○金属製	150	170	100	1	100	45		1	1階　男子便所	8.11m2×2.55H×8回/H=166m3/H
	CVF-2	●天井埋込形 ●低騒音型 ●樹脂製 ○金属製	150	170	100	1	100	45		1	1階　女子便所	8.06m2×2.55H×8回/H=165m3/H
	CVF-3	●天井埋込形 ●低騒音型 ●樹脂製 ○金属製	100	120	100	1	100	30		1	1階　多目的便所	5.62m2×2.55H×8回/H=115m3/H
	CVF-4	●天井埋込形 ●低騒音型 ●樹脂製 ○金属製	100	80	100	1	100	30		1	1階　放送室	6.46m2×2.4H×5回/H=78m3/H

注記　1. スイッチは電気工事とする

名称	記号	形式	仕様 mmφ	仕様 m3/h	仕様 静圧Pa	電動機 相	電動機 V	電動機 W	電動機 極	台数	系統	24H換気量 m3/H	備考	参考型番
● 換気扇	VE-1	●普通形　○有圧形　○低騒音形	200	200	30	1	100	16		2	1F 柔道場		アルミパネル取付	

注記　1. VE-○は、シャッター（○風圧　●電気　○運動）、ウェザーカバー（●ステンレス製　○鋼板製）、防虫網、保護ガード、取付枠を付属とする。

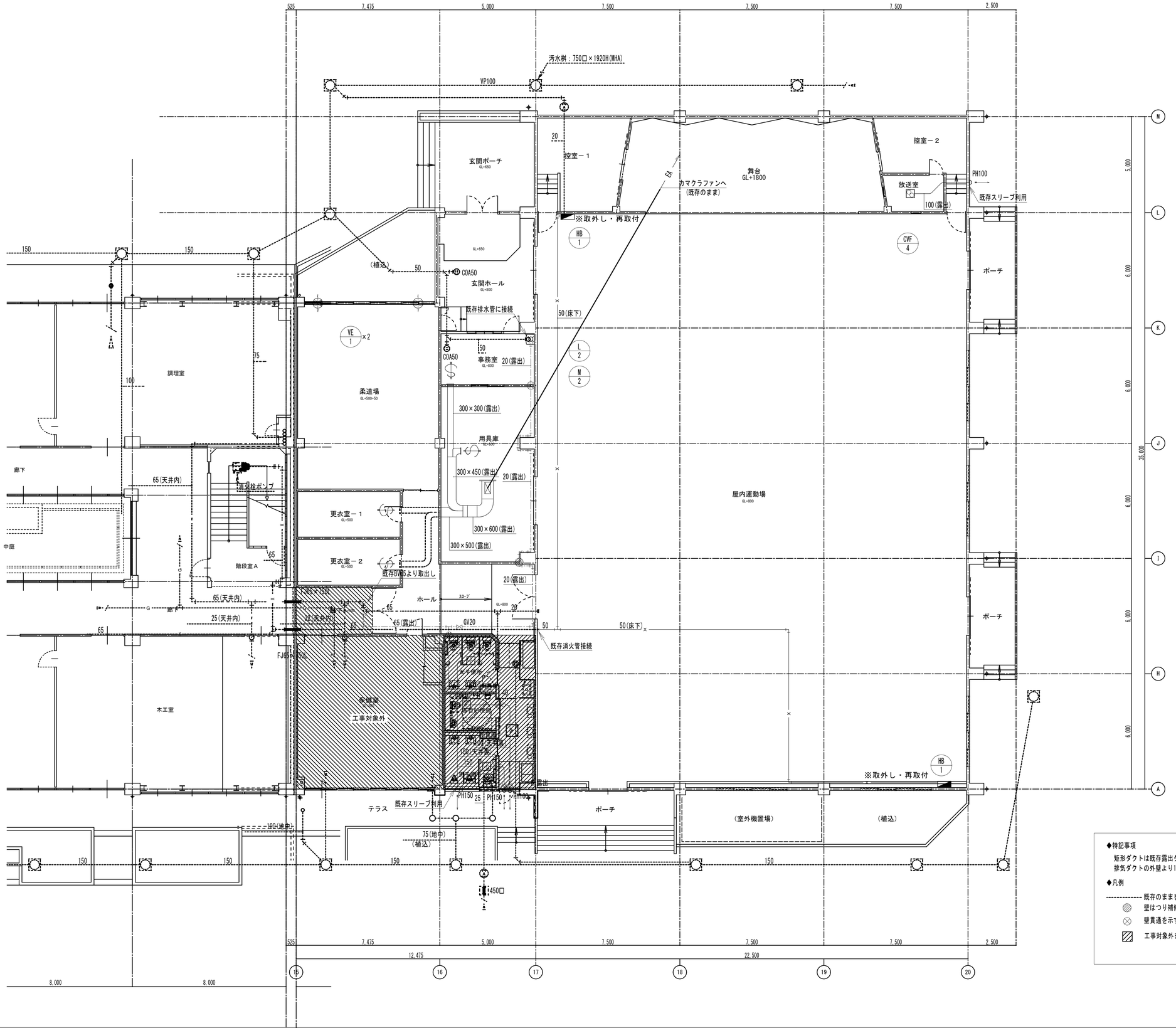
●消火栓

名称	記号	仕様	台数	設置場所	備考
●1号消火栓	HB-1	１号消火栓埋込型　総合盤併設型	2	運動場	取外し・再取付

特記

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）		設計図	
株式会社 宮下設計事務所　一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1)409　管理建築士 宮下光秀 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当	
図面名称	改修後　衛生器具表・機器表		縮尺	図面番号
ID:25 12 15 1608:54 M06 改修後 器具表・機器表　令和　年　月　日			A1：N.S A3：N.S	M — 06



◆特記事項

矩形ダクトは既存露出ダクトのため、ケレンの上、再塗装とすること。
排気ダクトの外壁より1.0mはGW25t巻きとする。

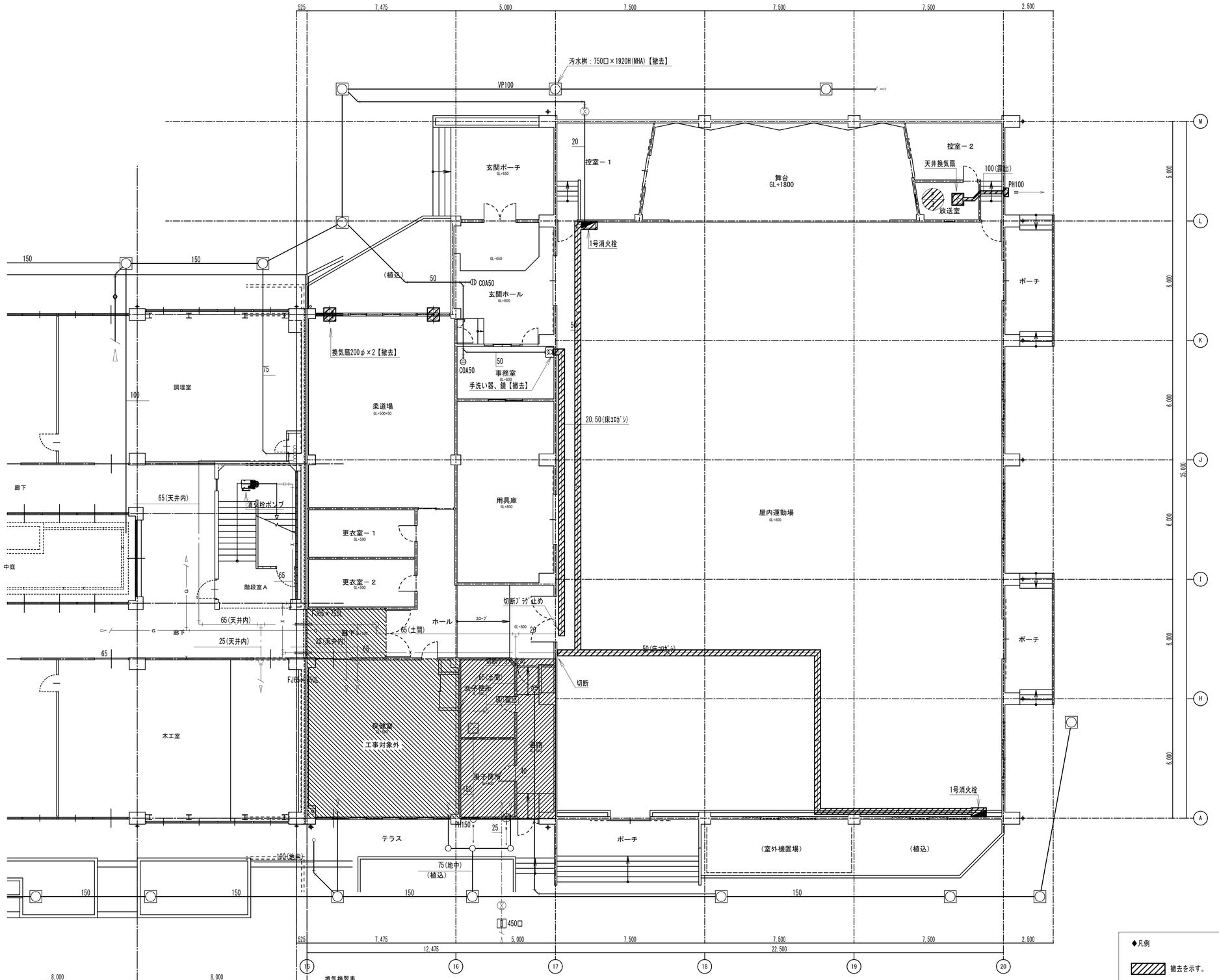
◆凡例

----------既存のままを示す。
壁はつり補修を示す
壁貫通を示す。
工事対象外を示す。

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	改修後 給排水・換気設備1階平面図	縮尺	A1：1/100 A3：1/200
図面番号	M — 07		

ID:25 12 15 1408.50 M07 改修後 給排水換気設備1階平面図 年 月 日



換気機器表

F-1	壁埋形換気扇	低騒音タイプ、格子パネル 単相 120 60m 3/h、φ200	1	
F-2	天井埋込形換気扇	低騒音タイプ 単相 14.5W 175m 3/h、φ100	1	
F-3	天井埋込形換気扇	低騒音タイプ 単相 14.5W 80m 3/h、φ100	1	

◆凡例

撤去を示す。

SGP－VB

X SGP－白

工事対象外を示す。

北

特記事項

工事名称	市立西中学校屋内運動場改修工事（ゼロ債務）	設計図	
株式会社 宮下設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)409 管理建築士 宮下光芳 一級建築士大臣登録第81291号	さいたま市浦和区岸町4丁目25番15号 TEL048(824)3286 FAX048(824)3658 URL http://www.archi-miya.co.jp/	設計	担当
図面名称	改修前 給排水・換気設備１階平面図	縮尺	A1：1/100 A3：1/200
図面番号	M — 08		

ID:25 12.15 1608:47 M08 改修前 給排水換気設備1階平面図 年 月 日